

2026年度

専門科目教育要項

東京科学大学歯学部口腔保健学科
口腔保健衛生学専攻

まえがき

この教育要項（シラバス）は、歯学部口腔保健学科の授業を受ける学生の皆さんに、**2026** 年度に行われる予定の専門教育科目の概要・授業計画・授業内容および知っておいていただきたい事項をまとめたものです。

本専攻での履修を円滑かつ充実したものにするため、内容を理解し、活用するようにしてください。

なお、教育要項（シラバス）は電子化され冊子体は配布致しませんので、教育内容に関する情報はインターネットを利用して本学ホームページから入手してください。

各科目のシラバスおよび授業スケジュールは教育支援システム（ドリームキャンパス）に、それぞれアクセスして参照してください。

また、授業に関するお知らせや資料等も随時 **e-learning** システムの **isctLMS** に掲載されますので、日々のチェックを心掛けるようお願いします。

学生の皆さんが、本学における口腔保健衛生学専攻教育の内容を把握すると共に、充実した履修が行えるよう本要項を有意義に活用されることを期待します。

2026 年 4 月

歯学部口腔保健学科教育委員会

基本理念、教育理念、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー等

○東京科学大学のミッション・コアバリュー

ミッション：「科学の進歩」と「人々の幸せ」とを探究し、社会とともに新たな価値を創造する

コアバリュー：常識や型にとらわれず、あらゆる知と技術を探求し、自在に融合させる一人一人の個性や想いを尊重し、豊かな創造の文化を育む自らの在り方をつねに問い続け、果敢に変革し続ける

○東京科学大学の教育理念

「挑戦し続けるフロンランナー」と「知と癒しの匠」としての気概と人間力をあわせ持ち、「科学の進歩」と「人々の幸せ」とを探究し、社会とともに新たな価値を創造する高度専門人材を輩出する。

○医歯学系の教育理念と養成する人材像

1. 幅広い教養と豊かな感性を備えた人材

病める人と向き合う医療人として、患者の痛みが分かり患者を取り巻く様々な状況をも理解できる、豊かな教養と人間への深い洞察力、高い倫理観と説明能力を備えた人材を養成する。

2. 自己問題提起、自己問題解決型の創造力豊かな人材

学業あるいは研究に当たり、常識や型にとらわれず、疑問を投げかけ、あらゆる知と技術を探求し、自在に融合させ、自ら解決する能力を持つ、独創的な研究とイノベーションを推進できる人材を養成する。

3. 国際感覚と国際競争力に優れる人材

研究成果が即座に世界に伝播する現代において、その情報と時間の共有化ができ、医学・医療の最尖端に挑戦し続ける人材を養成する。

歯学部口腔保健学科

●教育理念

温かく豊かな人間性を有し、口腔保健・福祉の立場から、人々の健康で幸せな生活の実現のため、専門的知識および技術をもって広く社会貢献し、指導的役割を果たすことのできる人材を育成します。

●教育目標

〈口腔保健衛生学専攻〉

1. 生命の尊厳と基本的な科学原理・概念を理解し、生命科学の知識を修得する。
2. 基本的人権を尊重し、相手の心情と行動を理解して人と接する能力を身につける。
3. 社会における口腔保健・福祉の果たす役割とその重要性を理解する。
4. 心身のさまざまな状態を理解し、口腔保健に関する知識および技術を修得する。
5. 科学的探究心と問題解決能力を身につけ、生涯学習への意欲を培う。
6. 保健・医療・福祉等の関連職種と連携して活動できる能力を身につける。
7. 口腔保健の立場から国際貢献ができる能力を修得する。

◆ディプロマ・ポリシー

歯学部口腔保健学科では、教養部および各専攻における、基礎から臨床、実践に統合する体系的学習を行い、進級要件を満たし、卒業までに、所定の単位を修得し、以下の要件を満たしている者に学位を授与する。

1.幅広い教養と豊かな感性

全学共通科目から専門の臨床・臨地実習に至る全教育課程を通して、口腔保健・医療領域の専門職に必要とされる幅広い教養ならびに人々の心情と行動を理解できる豊かな感性と高い倫理観を身につけている。

2.問題提起、解決能力

口腔保健・医療の急速な進歩ならびに口腔保健・医療・福祉への多様なニーズに対応できるよう、科学的根拠に基づいた論理的思考力と、主体的に問題を提起、解決する能力を有している。

3.国際性

口腔保健・医療・福祉分野における国際貢献への高い関心を有し、国際活動・協力を実践するための基礎力を備えている。

歯科衛生および歯科技工の領域において指導的役割を担えるよう、専門職としての高度な知識と技能を有していることが求められる。また、近年は関連他職種と連携した口腔保健の実践が求められており、チームとしての保健・医療・福祉活動に専門職として参加できる基礎力を修得していることが必須である。

◆カリキュラム・ポリシー

〈口腔保健衛生学専攻〉

東京科学大学の教育理念、および歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻の教育理念に基づき、「幅広い教養と豊かな感性を身につけ、口腔保健・医療・福祉への多様なニーズに対応できる問題提起、解決能力を培い、国際的な視野で活躍できる歯科衛生士を育成する」ことを目標としたディプロマ・ポリシーを実現するために、カリキュラムの策定方針を以下の通り定める。

1. 全学共通科目の自然科学の学びを基礎に、専門課程では人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復過程の促進等の履修により、科学的知識および思考力を養成する。
2. 全学共通科目の人文・社会科学、および専門科目の社会福祉、コミュニケーション、アカデミック・リテラシー関連の履修全体を通じて、人を思いやれる心とコミュニケーション力を育て、医療人としての倫理観やリテラシーを培う教育を行う。
3. グループ討論で学ぶ多職種連携、社会保障や、万人の健康増進へ寄与するための公衆衛生学等、幅広い科目の履修を通して、人々の健康・生活における諸問題を発見・分析し、解決へとつなげる力を養成する。
4. 歯科衛生学総論、歯科診療補助論、口腔疾患予防学、歯科衛生過程、健康教育の企画と実践、歯科衛生臨床・臨地実習等の履修を通して、歯科衛生に関する知識と技術を基礎から応用まで段階的に学び、人々の口腔と全身の健康を守り、推進するための専門的な力を養成する。
5. 多職種連携、保健医療サービス、社会福祉関連科目、臨床医学、チーム医療の実践等の履修および他学科・専攻との合同授業を通して、保健・医療・福祉分野において他職種と連携した口腔保健を実践するための基礎力を育成する。
6. AI・データサイエンスのための数学、医療とAI・ビッグデータ入門、メディア情報学基礎等を低学年から履修し、高学年では生命倫理、社会調査・研究の基礎を学ぶことで、科学的思考力および学際的視点と研究への意欲を培う。また、口腔保健・医療分野での研究力向上、研究マインドの育成を目的として、卒業研究を低学年から開始し、充実を図る。
7. 科学英語、口腔保健と国際協力等を学ぶことにより、国際協力に関心をもち、海外の文化、社会への理解を深め、国際貢献への姿勢と能力を身につける教育を行う。

目 次

2026年度歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻専門課程科目授業計画表	1
口腔保健学科（衛生学専攻）専門課程教育課程表.....	2
主な関係規則一覧.....	24
歯科衛生士国家試験について.....	60
学生周知事項	61
湯島キャンパス案内	68
歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻科目責任者連絡先一覧.....	69

【第 1 学年】

人体の構造と機能Ⅰ

栄養と代謝

歯の形態学

公衆衛生学

社会保障

メディア情報学基礎

多職種連携Ⅰ

AI・データサイエンスのための数学

医療とAI・ビッグデータ入門

アカデミックリテラシー

歯科衛生学総論

臨床体験実習

卒業研究Ⅰ

口腔保健衛生エクスターンシップA

【第 2 学年】

科学英語Ⅰ

科学英語Ⅱ

英語Ⅱ

International Course for Clinical Dentistry (ICCD) L1 ondemand

International Course for Clinical Dentistry (ICCD) L1 online

人体の構造と機能Ⅱ

歯・口腔の構造と機能

頭頸部の構造と機能

病理学総論

病原微生物と生体防御

口腔病理学

薬理学

高齢者福祉

保健医療サービス

多職種連携Ⅱ

医療とAI・ビッグデータ応用

歯科保存学

小児歯科学

歯科補綴学

口腔外科・歯科麻酔学

口腔疾患予防基礎学Ⅰ

口腔疾患予防基礎学Ⅱ

口腔疾患予防基礎学実習

健康教育の基礎Ⅰ

健康教育の基礎Ⅱ

食生活教育

生体材料学

口腔内科学

歯科診療補助論Ⅰ

歯科診療補助論Ⅱ

歯科診療補助実習Ⅰ

臨床体験実習

歯科衛生過程の基礎

卒業研究Ⅱ

児童・家庭福祉

障害児・者福祉

地域福祉

コミュニケーション論

口腔保健エクスターンシップB

【第3学年】

英語Ⅱ

International Course for Clinical Dentistry (ICCD) L2 ondemand

International Course for Clinical Dentistry (ICCD) L2 online

歯科薬理・薬剤学

社会調査・研究の基礎

生命倫理

歯科矯正学

歯科放射線学

チーム医療の実践
口腔機能管理実習
高齢者歯科学
障害者歯科学
臨床医学
口腔疾患予防応用学
口腔疾患予防応用学実習
健康教育の企画と実践Ⅰ
健康教育の企画と実践Ⅱ
歯科診療補助論Ⅲ
臨床口腔保健衛生実習Ⅱ
歯科衛生臨床実習Ⅰ
歯科衛生過程専門演習
卒業研究
社会福祉実習
口腔保健と国際協力
口腔保健衛生エクスターンシップ

【第4学年】

英語Ⅱ
International Course for Clinical Dentistry (ICCD) L3 ondemand
International Course for Clinical Dentistry (ICCD) L3 online
International Course for Clinical Dentistry (ICCD) L3 Advanced
臨床口腔保健応用学
歯科衛生学演習Ⅰ
歯科衛生学演習Ⅱ
歯科衛生臨床実習Ⅱ
歯科衛生臨床実習Ⅲ
歯科衛生臨地実習
卒業研究
地域口腔保健論
先端歯科医療学
在宅訪問・災害口腔保健医療
歯科衛生臨床・臨地応用論
口腔保健エクスターンシップ
口腔保健マネジメント論
保健行動科学

2026年度歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻専門科目授業計画表

第1学年

前期	専門科目 「多職種連携Ⅰ」	2026.4.2(木)入学式／保護者会 2026.4.8(水)健康診断／抗体検査／ 専門ガイダンス／情報ガイダンス 2026.4.14(火)多職種連携Ⅰ@湯島
後期	学部専門科目 「人体の構造と機能Ⅰ」 「栄養と代謝」「歯の形態学」 「公衆衛生学」「社会保障」 「メディア情報学基礎」 「AI・データサイエンスのための数学」 「医療とAI・ビッグデータ入門」 「アカデミック・リテラシー」 「歯科衛生学総論」 「卒業研究Ⅰ」「臨床体験実習」	2026.9.18(金)～2027.2.24(水) 専門科目授業 毎週月、火、金曜日 (教養科目授業 毎週水、木曜日)

※定期試験期間は設定しない。実施日については、シラバス／授業カレンダーで確認。

第2学年

区 分		期 間
前期	春季休業	(2026.3.31(火)まで)
	ガイダンス／大掃除	2026.4.6(月)
	T O E F L	2026.4.15(水)
	前期授業／補講／再追試験	2026.4.1(水)～2026.8.7(金)
	オープンキャンパス	2026.7.30(木)～2026.7.31(金)
	夏季休業	2026.8.8(土)～2026.9.10(木)
後期	後期授業①	2026.9.11(金)～2026.12.18(金)
	お茶の水祭	2026.10.17(土)～2026.10.18(日)?
	解剖体追悼式	2026.10.22(木)午後予定
	冬季休業	2026.12.21(月)～2027.1.3(日)
	後期授業②／補講／再追試験	2027.1.4(月)～2027.2.12(金)
	春季休業	2027.2.13(土)～2027.3.31(火)

※定期試験期間は設定しない。実施日については、シラバス／授業カレンダーで確認。

第3学年

区 分		期 間
前期	春季休業	(2026.3.31(火)まで)
	ガイダンス／大掃除	2026.4.6(月)
	T O E F L	2026.4.15(水)
	前期授業／補講／再追試験	2026.4.1(水)～2026.8.7(金)
	オープンキャンパス	2026.7.30(木)～2026.7.31(金)
	夏季休業①	2026.8.8(土)～2026.9.6(日)
	登院式	2026.9.7(月)(歯学部合同)予定
	夏季休業②	2026.9.8(火)～2026.9.29(火)
後期	臨床実習ガイダンス	2026.9.30(水)～2026.10.1(木)
	後期授業①	2026.10.2(金)～2026.12.18(金)
	お茶の水祭	2026.10.17(土)～2026.10.18(日)?
	冬季休業	2026.12.21(月)～2027.1.3(日)
	後期授業②／補講／再追試験	2027.1.4(月)～2027.3.2(火)
	春季休業(卒研等有り)	2027.3.3(水)～2027.3.31(火)

※定期試験期間は設定しない。実施日については、シラバス／授業カレンダーで確認。

第4学年

区 分		期 間
前期	春季休業	(2026.3.31(火)まで)
	ガイダンス／大掃除	2026.4.3(金)
	T O E F L	2026.4.15(水) ※許可された希望者のみ
	前期授業／補講／再追試験	2026.4.1(水)～2026.8.7(金)
	オープンキャンパス	2026.7.30(木)～2026.7.31(金)
	夏季休業(卒業研究あり)	2026.8.8(土)～2026.9.29(火)
後期	後期授業	2026.9.30(水)～2026.12.18(金)
	お茶の水祭	2026.10.17(土)～2026.10.18(日)?
	卒業研究発表会	2026.12.8(火)
	冬季休業	2026.12.21(月)～2027.1.3(日)
	授業・補講・自己研修	2027.1.4(月)～2027.2.19(金)
	卒業式	2027.3.26(木)

※定期試験期間は設定しない。実施日については、シラバス／授業カレンダーで確認。

2026年度入学者用

別表 1 授業科目及び単位数（第2条関係）

2 歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻

区分	授業科目	単位数			履修学年							
					1年次		2年次		3年次		4年次	
		必修	選択	自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門基礎分野	科学英語Ⅰ	1					○					
	科学英語Ⅱ			1				○				
	英語Ⅱ			1～4			○	○	○	○	○	○
	International Course for Clinical Dentistry(ICC) L1—L3 On—demand			1			○	○	○	○	○	○
	International Course for Clinical Dentistry(ICC) L1—L3 On—line			1			○	○	○	○	○	○
	International Course for Clinical Dentistry(ICC) Advanced			0.5								○
	人体の構造と機能	4				○	○	○				
	歯・口腔の構造と機能	5				○	○	○				
	疾病の成り立ちと回復過程の促進	6					○	○	○			
	公衆衛生学	1				○						
	社会保障	1				○						
	高齢者福祉	1					○					
	保健医療サービス	2					○	○				

	社会調査・研究の基礎	1						○			
	生命倫理	0.5						○			
	メディア情報学基礎	1			○						
	多職種連携Ⅰ	0.5		○							
	多職種連携Ⅱ	0.5				○					
	AI・データサイエンス のための数学	2			○						
	医療とAI・ビッグデー タ入門	2			○						
	医療とAI・ビッグデー タ応用	1				○					
	アカデミック・リテラ シー	1			○						
専 門 分 野	歯科衛生学総論	1			○						
	臨床歯科医学	6				○	○	○			
	チーム医療の実践	1						○	○		
	口腔機能管理実習	1						○	○		
	高齢者歯科学	1						○	○		
	障害者歯科学	1							○		
	臨床医学	2						○			
	口腔疾患予防学	8				○	○	○			
	臨床口腔保健応用学	1								○	
	健康教育の基礎	2				○	○				
	食生活教育	1				○	○				
	健康教育の企画と実 践	2						○	○		
	歯科衛生学演習	1								○	○
	多職種連携Ⅲ	1								○	
	生体材料学	1				○					
	口腔内科学	1					○				
	歯科診療補助論	7				○	○	○			

統 合 分 野	歯科衛生臨床実習	13								○	○	○
	歯科衛生臨地実習	6									○	○
	臨床体験実習	1				○	○	○				
	歯科衛生過程	2						○	○			
	卒業研究Ⅰ	0.5				○						
	卒業研究Ⅱ	1					○	○				
	卒業研究Ⅲ	1							○	○		
	卒業研究Ⅳ	1.5									○	○
	児童・家庭福祉	1					○					
	障害児・者福祉	1					○					
	地域福祉	1					○					
	コミュニケーション論	1					○					
	社会福祉実習	1							○	○		
	口腔保健と国際協力※		1						○			
	地域口腔保健論※		1								○	○
	先端歯科医療学※		1								○	○
	在宅訪問・災害口腔保健医療※		1								○	○
口 腔 保 健 衛 生 選 択 科 目	歯科衛生臨床・臨地応用論			1							○	○
	口腔保健衛生エクスターンシップA			1	○	○						
	口腔保健衛生エクスターンシップB			1			○	○				
	口腔保健衛生エクスターンシップC			1					○	○		
	口腔保健衛生エクスターンシップD			1							○	○
	口腔保健マネジメント論			1							○	○

	保健行動科学			1							○	○
計		99.5	4	11.5～14.5								

※選択科目から1単位以上修得する。

4 全学科共通自由科目

授業科目	単位数	履修対象学年					
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
Biosocial Research Topics	1	○	○	○	○	○	○
Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
Leadership	1	○	○	○	○	○	○
Negotiation	1	○	○	○	○	○	○
オンライン異文化交流 (※1)	0.5～3	○	○	○	○	○	○
ポストコロナ社会における感染症対策	1	○	○	○	○	○	○
AI実践演習	1		○	○	○	○	○
アントレプレナー教育	1		○	○	○	○	○
疫学基礎	1	○	○	○	○	○	○
生物統計学基礎	1	○	○	○	○	○	○
生物統計学応用I	1	○	○	○	○	○	○
生物統計学応用II	1	○	○	○	○	○	○
臨床試験方法論基礎	1	○	○	○	○	○	○

臨床試験方法論応用	1	○	○	○	○	○	○
口腔疫学基礎	1	○	○	○	○	○	○
疫学応用	1	○	○	○	○	○	○
計	17.5 ～20						

※1 所定のプログラムを修了した学生に対し、0.5単位を認定する。ただし、同一年次・年度に認定できる単位は、0.5単位を上限とする。

5 医歯学系異分野研究プロジェクト科目

授業科目	単位数	履修対象学年			
		1年次	2年次	3年次	4年次
異分野研究プロジェクトA	1			○	○
異分野研究プロジェクトB	2			○	○
異分野研究プロジェクトC	4			○	○
異分野研究プロジェクトD	6			○	○

※東京科学大学の学院の学士課程に属する学生のみ履修可能。

別表2（進級要件）

2 歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻

1年次	別表1の2に定める1年次に履修する必修科目の単位を全て修得し、かつ、次の授業科目において所定の到達基準を満たさなければ、2年次に進級することができない。 一 人体の構造と機能 二 歯・口腔の構造と機能
2年次	別表1の2に定める2年次に履修する必修科目の単位を全て修得し、かつ、次の授業科目において所定の到達基準を満たさなければ、3年次に進級することができない。 一 疾病の成り立ちと回復過程の促進 二 臨床歯科医学 三 口腔疾患予防学 四 歯科診療補助論 五 歯科衛生過程
3年次	別表1の2に定める3年次の前期に履修する必修科目の単位を全て修得し、かつ、健康教育の企画と実践において所定の到達基準を満たさなければ、3年次後期以降の授業科目を履修することができない。

また、別表1の2に定める3年次に履修する必修科目の単位を全て修得し、かつ、歯科衛生臨床実習において所定の到達基準を満たさなければ、4年次に進級することができない。

2025年度入学者用

別表 2（専門科目）

5 歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻

区分	授業科目	単位数			履修学年							
					1年次		2年次		3年次		4年次	
		必修	選択	自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門基礎分野	科学英語Ⅰ	1					○					
	科学英語Ⅱ			1				○				
	英語Ⅱ※1			1 ～ 4			○	○	○	○	○	○
	International Course for Clinical Dentistry(ICCD) L1—L3 On-demand			1			○	○	○	○	○	○
	International Course for Clinical Dentistry(ICCD) L1—L3 On-line			1			○	○	○	○	○	○
	International Course for Clinical Dentistry(ICCD) Advanced			0.5								○
	人体の構造と機能	4				○	○	○				
	歯・口腔の構造と機能	5				○	○	○				
	疾病の成り立ちと回復過程の促進	6					○	○	○			
	公衆衛生学	1				○						
	社会保障	1				○						
	高齢者福祉	1					○					
	保健医療サービス	2					○	○				
	社会調査・研究の基礎	1							○			
	生命倫理	0.5							○			
	メディア情報学基礎	1				○						
	多職種連携Ⅰ	0.			○							

		5										
	多職種連携Ⅱ	0.5				○						
	AI・データサイエンスのための数学	2			○							
	医療とAI・ビッグデータ入門	2			○							
	医療とAI・ビッグデータ応用	1				○	○					
	アカデミック・リテラシー	1			○							
専門分野	歯科衛生学総論	1			○							
	臨床歯科医学	6				○	○	○				
	チーム医療の実践	1						○	○			
	口腔機能管理実習	1						○	○			
	高齢者歯科学	1						○	○			
	障害者歯科学	1							○			
	臨床医学	2						○				
	口腔疾患予防学	8				○	○	○				
	臨床口腔保健応用学	1								○		
	健康教育の基礎	2				○	○					
	食生活教育	1				○	○					
	健康教育の企画と実践	2						○	○			
	歯科衛生学演習	1								○	○	
	多職種連携Ⅲ	1								○		
	生体材料学	1				○						
	口腔内科学	1					○					
	歯科診療補助論	7				○	○	○				
	歯科衛生臨床実習	13							○	○	○	
	歯科衛生臨地実習	6								○	○	
	臨床体験実習	1			○	○	○					
統	歯科衛生過程	2					○	○				

合 分 野	卒業研究Ⅰ	0. 5				○						
	卒業研究Ⅱ	1					○	○				
	卒業研究Ⅲ	1							○	○		
	卒業研究Ⅳ	1. 5									○	○
	児童・家庭福祉	1					○					
	障害児・者福祉	1						○				
	地域福祉	1					○					
	コミュニケーション論	1					○					
	社会福祉実習	1							○			
	口腔保健と国際協力※2		1						○	○		
	地域口腔保健論※2		1								○	○
	先端歯科医療学※2		1								○	○
	在宅訪問・災害口腔保健医療※2		1								○	○
口 腔 保 健 衛 生 選 択 科 目	歯科衛生臨床・臨地応用論			1							○	○
	口腔保健衛生エクスターン シップA			1	○	○						
	口腔保健衛生エクスターン シップB			1			○	○				
	口腔保健衛生エクスターン シップC			1					○	○		
	口腔保健衛生エクスターン シップD			1							○	○
	口腔保健マネジメント論			1							○	○
	保健行動科学			1							○	○
計		99 .5	4	11. 5 ～ 14. 5								

※英語Ⅱ(A)・(B)・(C)・(D)各1単位

※選択科目から1単位以上修得する。

7 全学科共通自由科目

授業科目	単位数	履修対象学年					
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
Biosocial Research Topics	1	○	○	○	○	○	○
Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
Leadership	1	○	○	○	○	○	○
Negotiation	1	○	○	○	○	○	○
Design Thinking	1	○	○	○	○	○	○
オンライン異文化交流（※1）	0.5～3	○	○	○	○	○	○
ポストコロナ社会における感染症対策	1	○	○	○	○	○	○
AI実践演習（※2）	1		○	○	○	○	○
アントレプレナー教育	1		○	○	○	○	○
疫学基礎	1	○	○	○	○	○	○
生物統計学基礎	1	○	○	○	○	○	○
生物統計学応用I	1	○	○	○	○	○	○
生物統計学応用II	1	○	○	○	○	○	○
臨床試験方法論基礎	1	○	○	○	○	○	○
臨床試験方法論応用	1	○	○	○	○	○	○
口腔疫学基礎	1	○	○	○	○	○	○
疫学応用	1	○	○	○	○	○	○
計	18.5～21						

※1 所定のプログラムを修了した学生に対し、0.5単位を認定する。ただし、同一年次・年度に認定できる単位は、0.5単位を上限とする。

※2 〔3 医学部保健衛生学科検査技術学専攻専門科目〕のうちAI実践演習を選択科目として履修する学生又は履修して単位を付与された学生を除く。

別表 3（進級要件）

5 歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻

1年次	全学科共通科目	別表1の1に定める単位を全て修得しなければ、2年次に進級することができない。
	専門科目	1年次の末までに次の授業科目の単位を修得しなければ、2年次に進級することができない。 一 公衆衛生学 二 社会保障 三 歯科衛生学総論 四 メディア情報学基礎 五 多職種連携Ⅰ 六 AI・データサイエンスのための数学 七 医療とAI・ビッグデータ入門 八 アカデミック・リテラシー 九 卒業研究Ⅰ （以下、第1学年に実施される授業を対象とする） 十 人体の構造と機能 十一 歯・口腔の構造と機能
2年次	全学科共通科目	別表1の2に定める単位を全て修得しなければ、3年次に進級することができない。
	専門科目	2年次の末までに次の授業科目の単位を修得しなければ、3年次に進級することができない。 一 科学英語Ⅰ 二 人体の構造と機能 三 歯・口腔の構造と機能 四 高齢者福祉 五 保健医療サービス 六 多職種連携Ⅱ 七 医療とAI・ビッグデータ応用 八 健康教育の基礎 九 食生活教育 十 生体材料学 十一 口腔内科学 十二 臨床体験実習 十三 卒業研究Ⅱ 十四 児童・家庭福祉 十五 障害児・者福祉 十六 地域福祉

		十七 コミュニケーション論 （以下、2年次に実施される授業を対象とする） 十八 疾病の成り立ちと回復過程の促進 十九 臨床歯科医学 二十 口腔疾患予防学 二十一 歯科診療補助論 二十二 歯科衛生過程
3年次	全学科共通科目	別表1の3に定める単位を全て修得しなければ、4年次に進級することができない。
	専門科目	3年次の前期までに次の授業科目の単位を修得しなければ、3年次後期以降の授業科目を履修することができない。 一 疾病の成り立ちと回復過程の促進 二 社会調査・研究の基礎 三 生命倫理 四 臨床歯科医学 五 臨床医学 六 口腔疾患予防学 七 歯科診療補助論 八 歯科衛生過程 九 卒業研究Ⅲ 十 社会福祉実習 （以下、3年次前期に実施される授業を対象とする） 十一 健康教育の企画と実践 また、3年次の末までに次の授業科目の単位を修得しなければ、4年次に進級することができない。 十二 チーム医療の実践 十三 口腔機能管理実習 十四 高齢者歯科学 十五 障害者歯科学 十六 健康教育の企画と実践

5 歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻

区分	授業科目	単位数			履修学年							
					1年次		2年次		3年次		4年次	
		必修	選択	自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門基礎分野	科学英語Ⅰ	1					○					
	科学英語Ⅱ			1				○				
	英語Ⅱ※1			1 ～ 4			○	○	○	○	○	○
	International Course for Clinical Dentistry(ICCD) L1—L3 On-demand			1			○	○	○	○	○	○
	International Course for Clinical Dentistry(ICCD) L1—L3 On-line			1			○	○	○	○	○	○
	International Course for Clinical Dentistry(ICCD) Advanced			0.5								○
	人体の構造と機能	4				○	○	○				
	歯・口腔の構造と機能	5				○	○	○				
	疾病の成り立ちと回復過程の促進	6					○	○	○			
	公衆衛生学	1				○						
	社会保障	1				○						
	高齢者福祉	1					○					
	保健医療サービス	2					○	○				
	社会調査・研究の基礎	1							○			
	生命倫理	0.5							○			
	メディア情報学基礎	1				○						
	多職種連携	1			○							

	AI・データサイエンスのための数学	2				○						
	医療とAI・ビッグデータ入門	2				○						
	アカデミック・リテラシー	1				○						
専門分野	歯科衛生学総論	1				○						
	臨床歯科医学	6					○	○	○			
	チーム医療の実践	1							○	○		
	口腔機能管理実習	1							○	○		
	高齢者歯科学	1							○	○		
	障害者歯科学	1								○		
	臨床医学	2							○			
	口腔疾患予防学	8					○	○	○			
	臨床口腔保健応用学	1									○	
	健康教育の基礎	2					○	○				
	食生活教育	1					○	○				
	健康教育の企画と実践	2							○	○		
	歯科衛生学演習	2									○	○
	生体材料学	1					○					
	口腔内科学	1						○				
	歯科診療補助論	7					○	○	○			
	歯科衛生臨床実習	13								○	○	○
	歯科衛生臨地実習	6									○	○
	臨床体験実習	1				○	○	○				
統合分野	歯科衛生過程	2						○	○			
	卒業研究	4				○	○	○	○	○	○	○
	児童・家庭福祉	1					○					
	障害児・者福祉	1						○				
	地域福祉	1					○					

	コミュニケーション論	1					○					
	社会福祉実習	1							○			
	口腔保健と国際協力※2		1						○	○		
	地域口腔保健論※2		1								○	○
	先端歯科医療学※2		1								○	○
	在宅訪問・災害口腔保健医療※2		1								○	○
口腔保健衛生選択科目	歯科衛生臨床・臨地応用論			1							○	○
	口腔保健衛生エクスターンシップ			1						○	○	○
	口腔保健マネジメント論			1							○	○
	保健行動科学			1							○	○
計		9 8 , 5	4	8. 5 ~ 1 1. 5								

※英語Ⅱ(A)・(B)・(C)・(D)各1単位

※選択科目から1単位以上修得する。

7 全学科共通自由科目

授業科目	単位数	履修対象学年					
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
Biosocial Research Topics	1	○	○	○	○	○	○
Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○

Leadership	1	○	○	○	○	○	○
Negotiation	1	○	○	○	○	○	○
Design Thinking	1	○	○	○	○	○	○
オンライン異文化交流（※1）	0.5～3	○	○	○	○	○	○
ポストコロナ社会における感染症対策	1	○	○	○	○	○	○
医療とAI・ビッグデータ応用（※2）（※3）	1		○	○	○	○	○
AI実践演習（※3）	1		○	○	○	○	○
アントレプレナー教育	1		○	○	○	○	○
疫学基礎	1	○	○	○	○	○	○
生物統計学基礎	1	○	○	○	○	○	○
生物統計学応用I	1	○	○	○	○	○	○
生物統計学応用II	1	○	○	○	○	○	○
臨床試験方法論基礎	1	○	○	○	○	○	○
臨床試験方法論応用	1	○	○	○	○	○	○
口腔疫学基礎	1	○	○	○	○	○	○
疫学応用	1	○	○	○	○	○	○
計	19.5～ 22						

※1 所定のプログラムを修了した学生に対し、0.5単位を認定する。ただし、同一年次・年度に認定できる単位は、0.5単位を上限とする。

※2 〔1 医学部医学科専門科目〕及び〔4 歯学部歯学科専門科目〕のうち医療とAI・ビッグデータ応用を必修科目として履修する学生又は履修して単位を付与された学生を除く。

※3 〔3 医学部保健衛生学科検査技術学専攻専門科目〕のうち医療とAI・ビッグデータ応用及びAI実践演習を選択科目として履修する学生又は履修して単位を付与された学生を除く。

別表3（進級要件）

5 歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻

1年次	全学科共通科目	別表1の1に定める単位を全て修得しなければ、2年次に進級することができない。
	専門科目	1年次の末までに次の授業科目の単位を修得しなければ、2年次に進級することができない。

		一 公衆衛生学 二 社会保障 三 歯科衛生学総論 四 メディア情報学基礎 五 多職種連携 六 AI・データサイエンスのための数学 七 医療とAI・ビッグデータ入門 八 アカデミック・リテラシー （以下、第1学年に実施される授業を対象とする） 九 人体の構造と機能 十 歯・口腔の構造と機能
2年次	全学科共通科目	別表1の2に定める単位を全て修得しなければ、3年次に進級することができない。
	専門科目	2年次の末までに次の授業科目の単位を修得しなければ、3年次に進級することができない。 一 科学英語 I 二 人体の構造と機能 三 歯・口腔の構造と機能 四 高齢者福祉 五 保健医療サービス 六 健康教育の基礎 七 食生活教育 八 生体材料学 九 口腔内科学 十 臨床体験実習 十一 児童・家庭福祉 十二 障害児・者福祉 十三 地域福祉 十四 コミュニケーション論 （以下、2年次に実施される授業を対象とする） 十五 疾病の成り立ちと回復過程の促進 十六 臨床歯科医学 十七 口腔疾患予防学 十八 歯科診療補助論 十九 歯科衛生過程
3年次	全学科共通科目	別表1の3に定める単位を全て修得しなければ、4年次に進級することができない。
	専門科目	3年次の前期までに次の授業科目の単位を修得し

	なければ、3年次後期以降の授業科目を履修することができない。 一 疾病の成り立ちと回復過程の促進 二 社会調査・研究の基礎 三 生命倫理 四 臨床歯科医学 五 臨床医学 六 口腔疾患予防学 七 歯科診療補助論 八 歯科衛生過程 九 社会福祉実習 （以下、3年次前期に実施される授業を対象とする） 十 健康教育の企画と実践 また、3年次の末までに次の授業科目の単位を修得しなければ、4年次に進級することができない。 十一 チーム医療の実践 十二 口腔機能管理実習 十三 高齢者歯科学 十四 障害者歯科学 十五 健康教育の企画と実践
--	--

2022年度以前入学者用

別表 1

(5) 口腔保健学科（口腔保健衛生学専攻）教育課程

区分	授業科目	単位数			履修学年							
		必修	選択	自由	1 年		2 年		3 年		4 年	
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門基礎分野	科学英語Ⅰ	1					○					
	科学英語Ⅱ			1				○				
	人体の構造と機能及び疾病	4				○	○	○				
	歯・口腔の構造と機能	6					○	○				
	疾病の成り立ちと回復過程の促進	6					○	○	○			
	公衆衛生学	1				○						
	社会保障Ⅰ	2				○						
	社会保障Ⅱ	2					○					
	保健医療サービス	2						○				
専門分野	口腔保健と専門職	1			○							
	歯科衛生学総論	1				○						
	臨床歯科医学	7					○	○	○	○		
	チーム医療の基礎	1								○		
	チーム医療の実践	1								○		
	口腔機能管理実習	1								○		
	高齢者歯科学	1								○		
	障害者歯科学	1								○		
	臨床医学	4						○	○			
	口腔疾患予防学	8					○	○	○	○		
	臨床口腔保健応用学	1									○	
	健康教育の基礎	2					○	○				
	メディア情報学	1				○						
	食生活教育	1					○	○				
	健康教育の企画と実践	3							○	○	○	○

	生体材料学	1					○					
	臨床検査	1						○				
	歯科診療補助論	5					○	○	○			
	臨床口腔保健衛生実習	2					○	○	○			
	歯科衛生臨床実習	13								○	○	○
	歯科衛生臨地実習	6									○	○
	臨床体験実習	1				○	○	○				
統合分野	歯科衛生過程	2						○	○			
	社会調査の基礎	2							○			
	卒業研究	4							○	○	○	○
	児童・家庭福祉Ⅰ		1				○					
	障害児・者福祉Ⅰ		1					○				
	地域福祉Ⅰ		1				○					
	高齢者福祉Ⅰ		1				○					
	介護福祉Ⅰ		1				○					
	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	1					○					
	相談援助演習Ⅰ		1					○				
	相談援助演習Ⅱ		1						○			
	口腔保健と国際協力	1							○	○		
	歯科衛生学演習	1									○	○
口腔保健衛生選択科目	歯科衛生臨床・臨地応用論			1							○	○
	歯科衛生研究			1						○	○	
	口腔保健衛生エクスターンシップ			1						○	○	○
	口腔保健マネジメント論			1							○	○
	保健行動科学			1							○	○
	地域口腔保健論			1							○	○
	在宅訪問・災害口腔保健医療			1							○	○
	先端歯科医療学			1							○	○
計		98	7	9								

※選択科目から4単位以上修得する。

(7) 全学科共通自由科目

授業科目	単位 数	履修対象学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
Biosocial Research Topics	1	○	○	○	○	○	○
Problem-solving in the Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
Leadership	1	○	○	○	○	○	○
Negotiation	1	○	○	○	○	○	○
Design Thinking	1	○	○	○	○	○	○
オンライン異文化交流 (※1)	0.5~3	○	○	○	○	○	○
ポストコロナ社会における感染症 対策	1	○	○	○	○	○	○
医療とAI・ビッグデータ応用 (※2)	1		○	○	○	○	○
AI実践演習 (※3)	1		○	○	○	○	○
計	11.5~ 14						

※1 所定のプログラムを修了した学生に対し、0.5単位を認定する。但し、同一年次・年度に認定できる単位は、0.5単位を上限とする。

※2 別表1(1)及び(4)のうち医療とAI・ビッグデータ応用を必修科目として履修する学生又は履修して単位を付与された学生を除く。

※3 別表1(3)のうちAI実践演習を選択科目として履修する学生又は履修して単位を付与された学生を除く。

別表 3

(4) 口腔保健学科 (口腔保健衛生学専攻)

(1) 第 1 学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第 2 学年に進級することができない。 公衆衛生学、社会保障Ⅰ、口腔保健と専門職、歯科衛生学総論、メディア情報学、 (第 1
(2) 第 2 学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第 3 学年に進級することができない。 療サービス、健康教育の基礎、食生活教育、生体材料学、臨床検査、臨床体験実習、相談援助の基盤と専門職Ⅰ、 介護福祉Ⅰ、相談援助演習Ⅰのうち少なくとも 3 単位 (第 2 科医学、臨床医学、口腔疾患予防学、歯科診療補助論、臨床口腔保健衛生実習、歯科衛生過程
(3) 第 3 学年の前期までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第 3 学年後期以降の授業科目を履修することができない。 歯科衛生過程、社会調査の基礎、口腔保健と国際協力 (選択科目の 4 単位目として選択した場合の) 相談援助演習Ⅱ、 (第 3 学年前期に実施される授業を対象とする) 臨床歯科医学、口腔疾患予防学、健康教育の企画と実践

規 則 集

目次

- 第1章 総則(第1条—第10条)
- 第2章 入学、再入学、転入学及び編入学(第11条—第18条)
- 第3章 休学、留学、退学、転学並びに転学院及び転系(第19条—第24条)
- 第4章 授業科目、単位数及び履修方法等(第25条—第28条)
- 第5章 履修の認定及び学位等(第29条—第36条)
- 第6章 入学料及び授業料(第37条—第43条)
- 第7章 表彰及び懲戒並びに除籍(第44条—第46条)
- 第8章 科目等履修生等(第47条—第51条)
- 第9章 寄宿舍(第52条)
- 附則

第1章 総則
(趣旨)

第1条 この学則は、[学校教育法\(昭和22年法律第26号。以下「学教法」という。\)](#)第85条及び[国立大学法人東京科学大学組織運営規則\(令和6年規則第1号。次条において「組織運営規則」という。\)](#)第22条第1項及び第24条第1項の規定に基づき東京科学大学(以下「本学」という。)に置く学院並びに学部及び学部に置く学科の修業年限、教育課程その他の学生の修学上必要な事項を定めるものとする。
(学院並びに学部及び学科)

第2条 本学に置く学院並びに学部及び学部に置く学科は、次のとおりとする。

- 理学院
- 工学院
- 物質理工学院
- 情報理工学院
- 生命理工学院
- 環境・社会理工学院
- 医学部 医学科
- 保健衛生学科
- 歯学部 歯学科
- 口腔保健学科

2 [前項](#)に規定する学院並びに学部及び学部に置く学科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的及び位置は、[組織運営規則第22条第2項](#)及び[第24条第2項](#)の定めるところによる。
(入学定員及び収容定員並びに系等)

第3条 学院並びに学部及び学部に置く学科の入学定員及び収容定員は、[別表1](#)のとおりとする。

- 2 学院に、教育上の目的に応じて、専門教育実施の基本的な単位として系を置く。
- 3 学部に置く学科に、専攻を置く。
- 4 [前2項](#)の系及び専攻は、[別表1](#)のとおりとする。
- 5 学修の課程については、別に定める。

(系への所属)

第4条 本学の学院に入学した1年次相当の学生に係る修学指導等については、各学院において行うこととし、所定の授業科目を履修し、所定の単位を修得した学生は、[前条第2項](#)に規定する学院に置く系に所属するものとする。

(修業年限)

第5条 修業年限は、医学部医学科及び歯学部歯学科を除き、4年とする。

- 2 医学部医学科及び歯学部歯学科の修業年限は、6年とする。
- 3 [前2項](#)の規定にかかわらず、再入学、転入学及び編入学の修業年限は、過去に本学又は他の大学において在学していた期間及び当該期間に修得した授業科目等を考慮して定める。

(在学年限)

第6条 在学年限は、医学部医学科及び歯学部歯学科を除き、8年とする。

- 2 医学部医学科及び歯学部歯学科の在学年限は、10年とする。
- 3 [前2項](#)の規定にかかわらず、再入学、転入学及び編入学の在学年限は、過去に本学又は他の大学において在学していた期間及び当該期間に修得した授業科目等を考慮して定める。

(学年)

第7条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第8条 学年を、次の区分のとおり2学期に分ける。

前期 4月1日から毎年度において学長が定める9月中の日まで

後期 前期最終日の翌日から翌年3月31日まで

2 前項に定める各学期を、前半及び後半に分けることができるものとする。

(休業日)

第9条 学生の休業日は、次に掲げるとおりとする。

一 日曜日

二 土曜日

三 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日

四 春期休業日、夏期休業日及び冬期休業日

2 前項の規定にかかわらず、教育上必要がある場合には、休業日に授業を行うことができる。

3 第1項第4号の休業日は、その都度、学長が別に定める。

4 第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

(教授会の審議及び学長の決定事項)

第10条 入学、卒業、学位の授与その他学生の在籍に関する事項及び教育課程の編成に関する事項は、学院又は学部の教授会の議を経て、学長が決定する。

第2章 入学、再入学、転入学及び編入学

(入学資格)

第11条 本学に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

一 高等学校又は中等教育学校を卒業した者

二 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者

三 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

四 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

五 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

六 文部科学大臣の指定した者(昭和23年文部省告示第47号)

七 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)

八 学教法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

九 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

(入学の時期)

第12条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、第16条第4項に規定する者については、学期の始めとすることがある。

(入学志願の手続)

第13条 入学志願者は、入学願書に所定の書類と別に定める検定料を添えて、願い出なければならない。

2 前項の検定料は、別に定めるところにより、免除することがある。

3 一度納付した検定料は、別に定めがある場合を除き返還しない。

4 入学志願の時期は、その都度決定して公告する。

(入学者選考)

第14条 入学志願者に対しては、学力その他に基づき選考の上、入学者を決定する。

2 前項の入学者選考の方法、期日等については、その都度決定して公告する。

3 入学者選考に関し必要な事項は別に定める。

(再入学)

第15条 本学を卒業した者(第17条第2項第1号及び第4項第2号により編入学を願い出た場合を除く。)又は第21条若しくは第22条の規定により退学した者が再び入学を願い出たときは、前条の規定にかかわらず、収容定員に余裕がある場合に限り、選考の上、入学を許可することがある。

2 三大学連合憲章に基づく協定による複合領域コースを履修する者(以下「複合領域コース履修者」という。)が第22条の規定により退学し、協定大学に編入学した後再び入学を願い出て入学を許可された場合であって、学院へ再び入学するときは3年次相当に、医学部医学科又は歯学部歯学科へ再び入学するときは退学時の在籍学科の在籍年次以上に入学する。

3 再入学に関し必要な事項は別に定める。

(転入学)

第16条 他の大学に在学している者で、本学に転入学を願ひ出る者があるときは、収容定員に余裕がある場合に限り、学力その他に基づき選考の上、入学を許可することがある。

2 前項の規定により、次の各号に掲げる学院等に転入学を願ひ出ることができる者は、当該各号に定める大学等に在学する者とする。

- 一 学院 国内の他の大学又は本学と協定を締結している外国の大学
- 二 医学部医学科 国内の他の大学の医学部医学科
- 三 歯学部歯学科 国内の他の大学の歯学部歯学科
- 四 医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科 国内の他の大学又は外国の大学

3 協定大学に2年以上在学する複合領域コース履修者(第22条の規定により退学した者を除く。)が本学の学院に転入学を願ひ出て選考の上、入学を許可された場合は3年次相当に、医学部保健衛生学科に転入学を願ひ出て選考の上、入学を許可された場合は2年次に入学する。

4 本学と協定を締結している外国の大学に2年以上在学する外国人が本学の学院に転入学を願ひ出て入学を許可された場合は、3年次相当に入学する。

5 転入学に関し必要な事項は別に定める。

(編入学)

第17条 高等専門学校又は短期大学を卒業した者で、本学の学院に編入学を願ひ出た者があるときは、学力その他に基づき選考の上、入学を許可する。

2 次の各号のいずれかに該当する者で、本学の医学部医学科の2年次に編入学を願ひ出た者があるときは、学力その他に基づき選考の上、入学を許可する。

- 一 大学(本学を含む。)を卒業した者(医学を履修する課程を卒業した者を除く。)
- 二 学教法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- 三 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者(学校教育における15年の課程を修了し、学士の学位に相当する学位を取得したと本学において認めた者を含む。)

3 短期大学を卒業した者で、本学の医学部保健衛生学科の2年次又は歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻の2年次に編入学を願ひ出た者があるときは、学力その他に基づき選考の上、入学を許可する。

4 次の各号のいずれかに該当する者で、本学の歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻の2年次に編入学を願ひ出た者があるときは、学力その他に基づき選考の上、入学を許可する。

- 一 高等専門学校又は短期大学を卒業した者
- 二 大学(本学を含む。)を卒業した者
- 三 歯科技工士を養成する専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者

5 編入学に関し必要な事項は別に定める。

(誓約書)

第18条 入学を許可された者は、所定の誓約書を提出し、これに記載された事項を守らなければならない。

第3章 休学、留学、退学、転学並びに転学院及び転系

(休学)

第19条 傷病その他やむをえない理由のため一定期間以上学修することができないときは、許可を受けて休学することができる。

2 傷病のため学修することが不適当と認められる学生及び行方不明の学生に対しては、休学を命ずることがある。

3 休学した期間は、在学期間に算入しない。

4 休学に関し必要な事項は、別に定める。

(留学)

第20条 外国の大学又はこれに相当する高等教育機関等に留学しようとするときは、願ひ出て留学することができる。

2 留学した期間は、在学期間に算入する。

3 留学に関し必要な事項は、別に定める。

(願ひによる退学)

第21条 傷病その他やむをえない事情があるときは、願ひ出て退学することができる。

(協定大学編入学のための退学)

第22条 複合領域コース履修者が協定大学に編入学するときは、願ひ出て退学するものとする。

(転学)

第23条 他の大学に転学しようとするときは、あらかじめ許可を受けなければならない。

(転学院及び転系)

第24条 学院に所属する者のうち、転学院又は転系を志願する者については、別に定めるところにより、許可することがある。

第4章 授業科目、単位数及び履修方法等

(授業科目、単位数及び履修方法等)

第25条 教育上の目的を達成するために必要な授業科目、単位数及び履修方法等については、別に定める。

(授業の方法)

第26条 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行う。

2 前項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 第1項の授業は、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

4 第1項の授業の一部を、本学の校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。

5 授業の方法に関し必要な事項は、別に定める。

(成績評価基準等の明示等)

第27条 本学においては、学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 本学においては、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準に従って適切に行うものとする。

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第28条 本学においては、学生に対する教育の充実を図るため、授業の内容及び方法を改善するための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

第5章 履修の認定及び学位等

(授業科目の履修の認定)

第29条 授業科目の履修の認定については、別に定める。

(他の大学における授業科目の履修等)

第30条 本学において教育上有益と認めるときは、学生が他の大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものと認定することができる。

2 前項の規定は、学生が、第19条の規定により休学し、当該休学期間中に外国の大学において授業科目を履修する場合、第20条の規定により外国の大学に留学する場合、外国の大学等が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び外国の大学等の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

(入学前の既修得単位の認定)

第31条 本学において教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位(大学設置基準(昭和31年文部省令第28号)第31条第1項に規定する科目等履修生及び同条第2項に規定する特別の課程の履修(いわゆる履修証明プログラムをいう。))により修得した単位を含む。)を、本学における授業科目の履修により修得したものと認定することができる。

2 前項の規定により認定することができる単位数は、編入学及び転入学の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、前条第1項(同条第2項において準用する場合を含む。)の規定により本学において修得したものと認定する単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(卒業)

第32条 第5条に規定する修業年限以上在学し、所定の授業科目を履修し、次の区分により定める単位数以上を修得した者については、卒業を認める。

学院／学部・学科・専攻			卒業に必要な単位数
学院			各学院が定める124単位以上の単位数以上
医学部	医学科		219.5単位以上
	保健衛生学科	看護学専攻	132単位以上
		検査技術学専攻	142.5単位以上
歯学部	歯学科		199.5単位以上
	口腔保健学科	口腔保健衛生学専攻	129.5単位以上
		口腔保健工学専攻	130.5単位以上

2 前項に規定する単位数には、各学院又は学部が別に定める授業科目の単位数を含まなければならない。

3 第1項の規定による卒業に必要な単位数のうち、第26条第2項に規定する授業の方法により修得した単位数は、60単位を超えないものとする。ただし、卒業に必要な単位数が124単位を超える学院又は学部にあつては、そのを超える単位数を60単位に加えて卒業要件として認定することができる。

(早期卒業)

第33条 本学の学院に3年以上在学(学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第149条の規定に該当する者を含む。)し、所定の授業科目を履修し、前条第1項に規定する各学院の定める124単位以上の単位数以上を優秀な

成績をもって修得したと認められる者については、[第5条](#)及び[前条第1項](#)の修業年限に係る規定にかかわらず、卒業を認めることができる。

- 2 [前項](#)に規定する単位数には、各学院が別に定める授業科目の単位数を含まなければならない。
- 3 [第1項](#)の規定による卒業に必要な単位数のうち、[第26条第2項](#)に規定する授業の方法により修得した単位数は、60単位を超えないものとする。ただし、卒業に必要な単位数が124単位を超える学院にあっては、その超える単位数を60単位に加えて卒業要件として認定することができる。
- 4 早期卒業に関し必要な事項は、別に定める。

(学位)

第34条 [前2条](#)の規定により、卒業を認められた者に対し、次の区分により学位を授与する。

学院／学部・学科・専攻			授与する学位(専攻分野)
理学院			学士(理学)
工学院			学士(工学)
物質理工学院			学士(理学)又は学士(工学)
情報理工学院			学士(理学)又は学士(工学)
生命理工学院			学士(理学)又は学士(工学)
環境・社会理工学院			学士(工学)
医学部	医学科		学士(医学)
	保健衛生学科	看護学専攻	学士(看護学)
		検査技術学専攻	学士(保健学)
歯学部	歯学科		学士(歯学)
	口腔保健学科		学士(口腔保健学)

(学位の授与)

第35条 学位の授与については、[東京科学大学学位規程\(令和6年規程第91号\)](#)による。

(教育職員免許状)

第36条 学院において[教育職員免許法\(昭和24年法律第147号\)](#)及び[教育職員免許法施行規則\(昭和29年文部省令第26号\)](#)に規定する所定の単位を修得した者が取得できる教育職員免許状の種類及び免許教科は、[別表2](#)のとおりとする。

第6章 入学料及び授業料

(入学料)

第37条 入学、再入学、転入学及び編入学の選考に合格した者で入学のため所要の手續をとろうとする者は、所定の期日までに別に定める入学料を納付しなければならない。ただし、[第42条](#)の規定により入学料の免除又は徴収猶予を申請した者については、免除又は徴収猶予を許可し、又は不許可とするまでの間、入学料の徴収を猶予する。

- 2 [前項](#)の規定にかかわらず、[第22条](#)の規定により退学した複合領域コース履修者が協定大学に編入学した後、再入学する場合は、入学料は徴収しないものとする。

(授業料)

第38条 授業料の額は、別に定めるところによるものとし、各年度に係る授業料について、次の区分で納付しなければならない。この場合において、それぞれの学期において納付する額は、年額の2分の1に相当する額とする。

納付区分	納期
前期分	5月31日まで
後期分	11月30日まで

- 2 [前項](#)の規定にかかわらず、学生の申出があったときは、前期分の授業料を徴収するときに、当該年度の後期分の授業料を併せて徴収するものとする。
- 3 [前2項](#)の規定にかかわらず、医学部及び歯学部の入学を許可される者の申出があったときは、入学年度の前期分又は前期分及び後期分の授業料を、入学を許可するときに併せて徴収するものとする。

(既納の入学料及び授業料)

第39条 一度納付した入学料及び授業料は返還しない。

(休学者及び復学者の授業料)

第40条 学生が休学を許可され、又は命ぜられ、[次の各号](#)のいずれかに該当する場合は、月割(前期の最終月は9月1日から前期の最終日まで、後期の初月は後期の開始日から10月末日までとみなす。以下同じ。)により、休学当月の翌月(休学の開始日が月の初日である場合にあっては、休学当月)から復学当月の前月までの授業料を免除する。

- 一 [第38条第1項](#)に規定する授業料の納期までに休学を願い出た場合
- 二 [第42条](#)の規定により、授業料の徴収猶予の許可を受けている場合
- 2 [前項](#)の規定により、授業料の免除を受けた学生が、[第38条第1項](#)に規定する授業料の納期より後に復学した場合にあっては、復学当月から当該学期末までに係る授業料を、直ちに納付しなければならない。
(退学者等の授業料)

第41条 退学又は除籍の場合であっても、その学期に属する分の授業料は、納付しなければならない。ただし、学生が退学を許可され、[次の各号](#)のいずれかに該当する場合は、月割により、退学当月の翌月以降の授業料を免除する。

- 一 [第38条第1項](#)に規定する授業料の納期までに退学を願い出た場合
- 二 [次条](#)の規定により、授業料の徴収猶予の許可を受けている場合
- 2 停学を命ぜられた場合であっても、その期間中の授業料は、納付しなければならない。
- 3 [前2項](#)の規定にかかわらず、[第46条第7号](#)に規定する死亡による除籍となった者その他別に定める者の除籍日の属する学期の未納の授業料は、全額を免除することがある。
(入学料及び授業料の免除又は徴収猶予)

第42条 入学料及び授業料は、別に定める基準により、免除又は徴収猶予することができる。

(授業料返還の特例)

第43条 [第39条](#)の規定にかかわらず、[第38条第3項](#)の規定に基づき授業料を納付した者が、入学年度の前年度の3月31日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申出により、当該授業料を返還する。

- 2 [第39条](#)の規定にかかわらず、授業料を納付した者において、当該授業料に係る期間に、休学した者については、月割により、休学当月の翌月(休学の開始日が月の初日である場合にあっては休学当月)から復学当月の前月までの授業料を、卒業、退学又は除籍により在籍しなくなった者については、月割により、卒業日、退学日又は除籍日の属する月の翌月以降の授業料を返還する。

第7章 表彰及び懲戒並びに除籍

(表彰)

第44条 学生に表彰に値する行為があったときは、表彰することがある。

- 2 表彰に関し必要な事項は、別に定める。

(懲戒)

第45条 学生が法令若しくは本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為を行ったときは懲戒する。

- 2 懲戒は、退学、停学及び訓告とする。
- 3 懲戒に関し必要な事項は、別に定める。

(除籍)

第46条 [次の各号](#)のいずれかに該当する者は、除籍する。

- 一 学力劣等で成業の見込みがないと認められるとき。
- 二 在学期間が[第6条](#)に規定する年数を超えるとき。
- 三 休学期間が[第19条第4項](#)に基づき別に定める期間を超えるととき。
- 四 入学料の免除若しくは徴収猶予を許可されなかった者又は半額免除若しくは徴収猶予を許可された者が、納付すべき入学料を所定の期日までに納付しなかったとき。
- 五 授業料の納付を怠り、督促しても、なお、納付しなかったとき。
- 六 [第19条第2項](#)の規定により休学を命ぜられた行方不明の学生が、別に定める休学期間を経過しても復学できないとき。
- 七 死亡したとき

第8章 科目等履修生等

(科目等履修生)

第47条 本学の学生以外の者で、本学が開設する授業科目のうち一又は複数の授業科目を履修することを願い出る者があるときは、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。

- 2 科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

(特別聴講学生)

第48条 他の大学との協定に基づき、国内の他の大学の学生で本学が開設する授業科目を履修することを願い出る者があるときは、特別聴講学生として入学を許可することがある。

- 2 特別聴講学生に関し必要な事項は、別に定める。

(海外交流学生)

第49条 本学と外国の大学との学術交流協定等に基づき、本学の教員の下で教育研究指導を受けることについて当該大学の学部学生から志願がある場合には、海外交流学生として、入学を許可することがある。

- 2 海外交流学生に関し必要な事項は、別に定める。

(海外訪問学生)

第50条 本学と外国の大学との相互了解に基づき、本学の教員の下で教育研究指導を受けることについて当該大学の学部学生から志願がある場合には、本学において教育研究上有益と認められ、支障のない場合に限り、海外訪

- 問学生として入学を許可することがある。
- 2 海外訪問学生に関し必要な事項は、別に定める。
(短期交流学生)

第51条 国内の他の大学等の学生で、本学と国内の他の大学等との間における学術交流のため、当該他の大学等の授業科目(別に定めるものを除く。)の一環として本学の教員から指導又は助言を受けることを志願する者があるときは、支障のない場合に限り、短期交流学生として入学を許可することがある。

- 2 短期交流学生に関し必要な事項は、別に定める。

第9章 寄宿舍

第52条 本学に、寄宿舍を置く。

- 2 寄宿舍に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この学則は、令和6年10月1日から施行する。

- 2 次に掲げる学則は、廃止する。

一 東京工業大学学則(平成23年学則第3号)

二 東京医科歯科大学学則(平成16年規程第4号)

- 3 第2条第1項に定めるもののほか、本学に、次の学部及び学科(以下「旧学部等」という。)を置く。

理学部 数学科

地球惑星科学科

工学部 情報工学科

- 4 旧学部等は、この学則の施行の日(以下「施行日」という。)前に東京工業大学に入学し、施行日において引き続き当該学部等に在学する者(この項において「在学生」という。)が当該学部等に在学しなくなるまでの間、存続するものとし、在学生の修学に係る取扱いについては、なお従前の例による。

- 5 別表1の規定にかかわらず、令和8年度の医学部医学科の入学定員は101人とし、令和8年度から令和13年度までの情報理工学院及び医学部医学科(令和9年度から令和13年度までにあつては、医学部医学科に限る。)に係る同表の「収容定員」欄に掲げる数並びに学院、学部及び大学の収容定員の合計については、次表のとおりとする。

学院・学部	系・学科	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
情報理工学院	数理・計算科学系 情報工学系	488	—	—	—	—	—
	(第3年次相当編入学定員)	4	—	—	—	—	—
計		492	—	—	—	—	—
学院計		4,452	—	—	—	—	—
医学部	医学科	604	589	574	558	542	526
		(第2年次編入学定員)	25	25	25	25	25
	計	629	614	599	583	567	551
学部計		1,450	1,435	1,420	1,404	1,388	1,372
合計		5,902	5,927	5,912	5,896	5,880	5,864

- 6 この学則第8章に定めるもののほか、当分の間、社会環境的な要因により、在籍している外国の大学での継続的な学修が困難となった者又は在籍予定の外国の大学での学修が困難となった者については、東京科学大学学則附則第6項及び大学院学則附則第6項に基づく海外特例学生に関する暫定取扱規程(令和7年規程第71号)の規定に基づき、海外特例学生として入学を許可することがある。

附 則(令6.10.1学3)

この学則は、令和7年4月1日から施行する。

附 則(令7.7.4学3)

この学則は、令和7年7月4日から施行する。

附 則(令7.9.22学5)

この学則は、令和8年4月1日から施行する。

別表1(第3条関係)

学院・学部	系・学科	専攻	入学定員 人	編入学定員 人	収容定員 人
理学院	数学系 物理学系 化学系 地球惑星科学系	—	151		604

計			151		604
工学院	機械系 システム制御系 電気電子系 情報通信系 経営工学系	—	358		1,432
	(第3年次相当編入学定員)			9	18
計			358	9	1,450
物質理工学院	材料系 応用化学系	—	183		732
	(第3年次相当編入学定員)			5	10
計			183	5	742
情報理工学院	数理・計算科学系 情報工学系	—	132		528
	(第3年次相当編入学定員)			2	4
計			132	2	532
生命理工学院	生命理工学系	—	150		600
	(第3年次相当編入学定員)			10	20
計			150	10	620
環境・社会理工学院	建築学系 土木・環境工学系 融合理工学系	—	134		536
	(第3年次相当編入学定員)			4	8
計			134	4	544
学院計			1,108	30	4,492
医学部	医学科	—	85		510
		(第2年次編入学定員)		5	25
	計		85	5	535
	保健衛生学科	看護学専攻	55		220
		検査技術学専攻	35		140
計			175	5	895
歯学部	歯学科	—	53		318
	口腔保健学科	口腔保健衛生学専攻	22		88
		口腔保健工学専攻	10		40
		(第2年次編入学定員)		5	15
		計	10	5	55
計			85	5	461
学部計			260	10	1,356
合計			1,368	40	5,848

別表2(第36条関係)

学院	免許状の種類	免許教科
理学院	中学校教諭一種免許状	数学、理科
	高等学校教諭一種免許状	数学、理科
工学院	高等学校教諭一種免許状	情報、工業
物質理工学院	中学校教諭一種免許状	理科
	高等学校教諭一種免許状	理科、工業
情報理工学院	中学校教諭一種免許状	数学
	高等学校教諭一種免許状	数学、情報

生命理工学院	中学校教諭一種免許状	理科
	高等学校教諭一種免許状	理科
環境・社会理工学院	高等学校教諭一種免許状	工業

(趣旨)

第1条 東京科学大学(以下「本学」という。)の学士課程における学修については、東京科学大学学則(令和6年学則第1号。以下「学則」という。)に定めるもののほか、この規程による。

(授業科目及びその単位数等)

第2条 授業科目及びその単位数は、各学院又は各学部(以下「各学院等」という。)の定めるところによる。

- 2 各学院等は、授業科目を必修科目、選択科目及び自由科目に分けて体系的に編成するものとし、卒業の要件として修得を必要としている授業科目のほか、卒業の要件に算入しない授業科目を置くことができる。
- 3 学院において必要と認める場合は、前項の授業科目のほか、選択必修科目を設けて、体系的に編成することができる。
- 4 授業科目及び単位数等に関し必要な事項は、別に定める。

(単位の計算方法及び授業期間)

第3条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

- 一 講義及び演習については、15時間以上30時間以内の別に定める時間数の授業をもって1単位とする。
- 二 実験、実習、製図及び実技については、30時間以上45時間以内の別に定める時間数の授業をもって1単位とする。
- 2 各授業科目の授業は、各学院では、各クォーター(学則第8条第2項に基づき各学期を前半と後半に分けた期間をいう。)において8週にわたる期間を単位として行うものとし、各学部では、各学期において10週又は15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上の必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合は、この限りでない。

(履修申告及び再履修)

第4条 学生は、所定の期間内に、履修申告を行うものとする。

- 2 学生は、第6条第2項の規定により不合格となった授業科目を再履修することができる。
- 3 履修申告及び再履修に関し必要な事項は、別に定める。

(履修申告の上限単位数)

第5条 学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、学生が1学年又は1学期に履修申告できる単位数の上限(以下「履修申告上限単位数」という。)を定めるものとする。

- 2 履修申告上限単位数に関し必要な事項は、別に定める。

(授業科目の履修の認定及び学修の評価)

第6条 授業科目の履修の認定は、授業の目的、形態又は内容に応じ、平常の学修成果や試験等の評価により、総合的に行う。

- 2 前項の規定による評価は、100点満点をもって表し、60点以上を合格とする。ただし、点数をもって評価しがたい場合は、合格(到達目標を最低限達成している。)及び不合格(到達目標を達成していない。)の評価をもってこれに代えることがある。
- 3 前2項の評価基準は、次の表のとおりとする。

評価基準	評価	単位認定
授業科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	90～100	合格
授業科目の到達目標を全て達成した	80～89	
授業科目の到達目標を概ね達成した	70～79	
授業科目の到達目標のうち最低限を達成した	60～69	
授業科目の到達目標を達成していない	0～59	不合格

- 4 第2項の評価により合格した者には、学期ごとに所定の単位を与える。なお、既修得単位の取消し及び成績の更新はできない。
- 5 学生は、第2項の評価の結果に疑義があるときは、別に定めるところにより、成績の確認又は不服申立てを行うことができる。
- 6 前各項のほか、授業科目の履修の認定及び学修の評価に関し必要な事項は、別に定める。

(学修の評価におけるGrade Point制度)

第7条 Grade Point(以下「GP」という。)とは、前条の学修の評価に基づき算出される0又は0.5から4.5までの数値をいう。

- 2 GPは、次の計算式により算出するものとする。ただし、学修の評価が59点以下の授業科目については「0」とする。

$$GP = (\text{学修の評価} - 55) / 10$$

- 3 Grade Point Average(以下「GPA」という。)とは、個々の学生の学修到達度を計る数値であって、履修申告した授業科目ごとのGPに単位数を乗じ、その総和を履修申告した授業科目の単位数の総和で除して算出されるものをいう。
- 4 Grade Point Total(以下「GPT」という。)とは、履修申告した授業科目ごとのGPに単位数を乗じ、その総和を特定の値で除して算出されるものをいう。
- 5 前各項のほか、GP、GPA及びGPTに関し必要な事項は、別に定める。
(試験等)

第8条 第6条第1項に定める試験等は、学院における期末試験及び学部における本試験並びに各学院等において独自に実施する試験等並びに追試験及び再試験とする。

- 2 試験方法は、授業の目的、形態に応じ、授業担当教員が決定する。
- 3 期末試験及び本試験等をやむを得ない理由により受けられなかった者については、別に定めるところにより、追試験を行うことがある。
- 4 期末試験及び本試験等又は追試験を受験し、第6条第2項の評価に合格しなかった者については、別に定めるところにより、再試験を行うことがある。
- 5 前各項のほか、試験等に関し必要な事項は、別に定める。
(他の大学における授業科目の履修等)

第9条 学生は、学則第30条第1項の規定に基づき、他の大学における授業科目の履修及び単位の認定を希望する場合は、所定の書類により所定の期間内に、所属する学院の長(以下「学院長」という。)又は学部の長(以下「学部長」という。)に申請し、許可を受けなければならない。

(外国の大学における授業科目の履修等)

第10条 学則第30条第2項の規定に基づき、外国の大学における授業科目の履修等を希望する場合の取扱いについては、別に定める。

(入学前の既修得単位の認定)

第11条 学則第31条の規定による単位認定を願い出た学生がある場合は、各学院等において教育上有益と認めるときは、別に定める授業科目及び単位数を超えない範囲で、かつ、合計60単位を超えない範囲で認定することができる。ただし、学院における系への所属に係る学生の選考に用いる授業科目として別に定めるもののうち、必修科目の認定は行わない。

(再入学者、転入学者及び編入学者の既修得単位の認定)

第12条 学則第15条の規定による再入学者に係る授業科目の既修得単位については、各学院等において審査の上、再入学した学院又は学部において修得した授業科目の単位として認定することができる。

2 学則第16条の規定による転入学者及び学則第17条の規定による編入学者に係る既修得単位については、各学院等において審査の上、別に定める授業科目の単位として認定することができる。

(卒業の要件等)

第13条 進級要件又は卒業要件等は、各学院等が別に定める。

(広域学修制度)

第14条 本学に、学生の所属する学院若しくは系又は学科等における専門分野以外の分野における幅広い教養及び専門力の涵養を目的として、広域学修制度を設ける。

- 2 前項の広域学修制度の目的を達成するため、本学に、学生が広域な学修を可能とするプログラムを置くものとする。
- 3 前項のプログラムは、次の各号に掲げるプログラムに分類するものとし、その趣旨は当該各号に定めるものとする。
- 一 挑戦的学修プログラム 新たな分野の学修に挑むことで、分野を横断した多様な素養及び幅広い視野や見識を身につけた人材を養成する。
 - 二 特別専門学修プログラム 分野横断的、かつ、機動的に編成された教育拠点において、学士課程の異なる専門分野を有機的に連携した教育を実施し、先端的分野や社会の課題に対応できる実務的人材を養成する。
- 4 前項の分類に基づき置かれるプログラムの履修要件等については、別に定める。

(雑則)

第15条 この規程に定めるもののほか、学士課程における学修に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この規程は、令和6年10月1日から施行する。
- 2 次に掲げる規程等は、廃止する。
- 一 東京工業大学学修規程(平成16年規程第10号)
 - 二 東京工業大学におけるGPA制度に関する要項(平成28年1月8日制定)
 - 三 東京医科歯科大学学部教育におけるGPA制度取り扱いに関する要項(平成28年3月31日制定)

- 3 令和6年9月30日において現に東京医科歯科大学の各学部に進学する者(以下「進学者」という。)及び令和6年10月1日以降進学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者に適用するGPA制度については、[第7条](#)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

(趣旨)

第1条 この規程は、東京科学大学学則(令和6年学則第1号。以下「学則」という。)第45条第3項及び東京科学大学大学院学則(令和6年学則第2号。以下「大学院学則」という。)第58条第3項の規定に基づき、東京科学大学(以下「本学」という。)における学生の懲戒及び教育的措置(以下「懲戒等」という。)に関し必要な事項を定めるものとする。

(基本的な考え方)

第2条 懲戒等は、対象となる行為の態様、経緯、結果、影響等を総合的に判断し、教育的配慮を加えて行うものでなければならない。

2 懲戒等によって学生に科せられる不利益は、過重なものとなってはならない。

3 懲戒等の取扱いについては、刑事訴追の有無を処分決定の絶対的な基準とはしないものとする。

(懲戒等の対象となる行為)

第3条 懲戒等の対象となる行為は、次に掲げるとおりとする。

一 犯罪行為又は犯罪未遂行為

二 国立大学法人東京科学大学におけるハラスメントの防止等に関する規則(令和6年規則第57号)第2条第7号に規定する行為

三 国立大学法人東京科学大学情報倫理規則(令和6年規則第69号)第3条に規定する行為

四 試験における不正又は論文の作成における不正等学問的倫理に反する行為

五 本学の教育研究活動を妨害する行為

六 本学の名誉・信用を失墜させる行為

七 本学の規則に違反する行為

八 その他学生の本分に著しく反する行為

(懲戒処分の種類及び内容)

第4条 懲戒処分の種類及び定義は、次に掲げるとおりとする。

一 退学 本学の学生としての身分を喪失させること。

二 停学 6月以下の期間を定めて、又は期間を定めずに、登校を禁じること。

三 訓告 文書により注意を与え、将来を戒めること。

2 停学期間の計算は、暦日によるものとする。

3 停学期間は、在学期間に算入する。ただし、卒業又は修了に係る在学期間の要件においては、在学期間に算入しない。

4 停学期間が1月以内の場合には、前項ただし書の規定は適用しない。

5 停学又は訓告の懲戒処分を受けた学生は、学長に反省文を提出しなければならない。

(教育的措置)

第5条 学院、学部及び研究科(以下「学院等」という。)の長(以下「学院長等」という。)は、第3条に規定する行為を行った当該学院等に所属する学生が、懲戒処分に相当しないとされた場合においても、学生の本分についての反省を促すため、当該学生に対し、次に掲げる教育的措置を行うことができる。

一 厳重注意 口頭又は文書により、強く反省を求めること。

二 注意 口頭又は文書により、反省を求めること。

(停学期間中の措置)

第6条 停学期間中の学生は、授業科目等の履修、定期試験等の受験、学位論文審査の申請、大学施設の利用及び課外活動への参加をすることができない。ただし、大学施設の利用については、学院長等が、特に必要と認めた場合は、許可することがある。

2 停学期間中の学生に対しては、当該学院等は、面談等により、更生に向けた指導を適宜行うものとする。

3 前項に規定する面談等は、必要に応じカウンセラー等の専門家の協力を得て行うことができるものとする。

4 停学期間中の休学の願い出は、受理しないものとする。

(定期試験等における不正行為)

第7条 定期試験等における不正行為を行った学生が、当該不正行為を行った学期に受験した定期試験等は全て無効とし、当該学期に履修した授業科目の成績を0点又は不合格とする。ただし、学期又は学年をまたぎ開講される授業科目の取扱いとは別に定める。

2 定期試験等における不正行為を行った学生は、当該不正行為を行った学期において、新たに授業科目の履修は認めないものとする。

(謹慎)

第8条 学生が懲戒に該当する行為を行ったことが明白であり、かつ、停学以上の懲戒がなされることが確実である場合は、学長は、当該学生に懲戒等の決定前に謹慎を命ずることができる。この場合において、謹慎開始日から懲戒等の決定した日までの間は懲戒に準じ、当該学生の登校等を禁止する。

- 2 謹慎の期間は、その全部又は一部を停学期間に通算することができる。
(自宅待機)
- 第9条 学院長等は、ハラスメントの防止その他の教育上の配慮が求められる場合は、[第3条](#)に規定する行為を行ったことが明白な学生に対し、懲戒等が決定するまでの間、自宅待機を命じることができる。
- 2 学院長等は、自宅待機を命じた学生に、授業科目の履修、大学施設の利用及び課外活動への参加を制限することができる。
- 3 自宅待機の期間は停学期間に含めないものとする。
- 4 自宅待機の期間中に謹慎に変更となる場合は、変更日から謹慎の扱いとする。
(懲戒等の決定前の休学又は自主退学)
- 第10条 学長は、[第3条](#)に規定する行為を行った学生が、懲戒等の決定前に休学又は退学を願い出た場合は、受理しないものとする。
(調査委員会)
- 第11条 学院長等は、学生の懲戒等の対象となる事案について、事実の確認及び当該学生を含む関係者への事情聴取(以下「事実調査」という。)を行うため、調査委員会を置くものとする。
- 2 異なる学院等に所属する複数の学生が関与している事案については、当該学生の所属する学院等で合同の調査委員会を置くことができる。合同の調査委員会を置かない場合であっても、各学院等の調査委員会は、相互に連携して事実調査を行うものとする。
- 3 [前2項](#)の規定にかかわらず、[第3条第2号](#)に係る事案については、ハラスメント対策委員会が行う事実調査をもって、[同条第3号](#)に係る事案については、情報倫理委員会が行う事実調査をもって、調査委員会及び事実調査に代えるものとする。
(学生懲戒審査委員会)
- 第12条 懲戒処分ของ要否及び懲戒処分を要する場合のその内容の案(以下「処分案」という。)、期間の定めのない停学の解除の可否及び不服申立の調査等について審議するため、学長の下に学生懲戒審査委員会(以下「審査委員会」という。)を置く。
- 2 審査委員会は、次に掲げる委員を持って組織する。
- 一 理事のうちから学長が指名する者 1人
 - 二 副学長のうちから学長が指名する者 若干人
 - 三 学院を主担当する専任の教授のうちから学長が指名する者 1人
 - 四 大学院医歯学総合研究科、大学院保健衛生学研究科、医学部及び歯学部(以下「研究科等」という。)に所属する専任の教授から学長が指名する者 1人
 - 五 学長が委嘱する学外有識者 1人
 - 六 その他学長が必要と認める者
- 3 審査委員会に委員長を置き、[前項第1号](#)の委員をもって充てる。
- 4 委員長は、審査委員会を招集し、その議長となる。
- 5 審査委員会には、必要に応じ班を設けることができる。
- 6 審査委員会は、必要があると認めた場合は、オブザーバーとして委員以外の者の出席を求め、その意見を聞くことができる。
(審査委員会に置ける議決)
- 第13条 審査委員会は、構成員の3分の2以上の出席がなければ、議事を開き、議決することができない。
- 2 審査委員会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
(懲戒等の手続)
- 第14条 学院長等は、学生について、懲戒等の対象となる事案が生じた場合は、速やかに事実関係を把握し、審査委員会を通じて学長に報告するとともに、調査委員会に、事実調査を行わせるものとする。
- 2 調査委員会は、調査に当たり当該学生に対し事情聴取を行うものとする。ただし、学生が心身の故障、身柄の拘束その他の事由により直接事情聴取を受けることができないときは、これに替えて文書による質問、照会等により事情聴取することができる。
- 3 調査委員会は、事情聴取に際し、学生から補佐人の同席及び補佐人からの陳述について求めがあった場合は、これに応じなければならない。ただし、事情聴取の妨げになると調査委員会が認めた場合、補佐人の数を制限することができる。
- 4 調査委員会は、事情聴取に際し、当該学生に口頭又は文書により弁明する機会を与えるものとする。ただし、学生が、正当な理由なく事情聴取に応ぜず、弁明しない場合は、この権利を放棄したものとみなす。
- 5 学生は、本学が行う必要な調査については、誠実に協力しなければならない。
- 6 調査委員会は、事実調査の結果に基づき、調査結果報告書を作成し、学院長等に報告するものとする。
- 7 学院長等は、[前項](#)の報告を受けたときは、審査委員会に調査結果報告書を報告するものとする。
- 8 審査委員会は、[前項](#)の報告を受けたときは、学長に報告するとともに審査委員会において処分案の審議を開始するものとする。

- 9 審査委員会は、処分案の審議に当たり、事実関係の再調査が必要と認めた場合は、学生又は補佐人等から事情聴取を行うことができる。
- 10 第2項及び第3項の規定は、前項の事情聴取について準用する。
- 11 審査委員会は、処分案を作成し、学長に報告するものとする。
- 12 学長は、前項の報告を受けたときは、審査委員会を通じて学院長等に処分案を通知するものとする。
- 13 学院長等は、前項の規定により通知を受けた処分案が懲戒処分を要するものであったときは、処分案の審議を教授会に付議し、審査委員会を通じてその審議結果を学長に報告するものとする。この場合において、教授会の審議結果が審査委員会の処分案と異なる場合は、その理由を付するものとする。
- (懲戒処分の決定)
- 第15条 学長は、前条第13項の報告に基づき、懲戒処分の要否及び懲戒処分を要する場合のその内容を決定し、審査委員会を通じて学院長等に通知するものとする。
- (懲戒等の告知)
- 第16条 懲戒等の効力は、学生に懲戒等を告知したときに生じるものとする。
- 2 懲戒処分の告知は、前条の通知を受けた学院長等が学生及び保護者等又は連絡先人に懲戒処分通知書を交付して行うものとする。ただし、学生の所在を知ることができない場合においては、公示送達又は他の適切な方法により行うものとする。
- 3 教育的措置の告知は、学院長等が学生に行うものとする。
- (懲戒処分の告示等)
- 第17条 学長は、懲戒処分を行ったときは、教育研究評議会に報告するとともに、学生の氏名を伏して学内に告示するものとする。
- 2 学院長等は、教育的措置を行ったときは、教育研究評議会に報告するものとする。
- (懲戒に関する記録)
- 第18条 懲戒処分を行ったときは、学生の学籍簿の「特記事項」又は累加記録に記載するものとする。
- (逮捕・勾留時の取扱い)
- 第19条 学生が逮捕・勾留され、学生からの事情聴取を行うことができない場合においては、事情聴取及び弁明の機会が付与されないことにより学生の権利を損なうことがないように十分に配慮した上で懲戒等を行うことができる。
- (期間を定めない停学の解除)
- 第20条 学院長等は、期間を定めない停学の処分を受けた学生について、その反省の程度及び学修意欲等を総合的に判断して、処分を解除することが妥当であると認めた場合は、教授会の議を経て、審査委員会を通じて学長に対し、当該処分の解除を申請することができる。
- 2 学長は、前項の申請があったときは、当該処分の解除の可否の審議を審査委員会に依頼するものとする。
- 3 審査委員会は、当該処分の解除の可否を審議し、学長に報告するものとする。
- 4 学長は、前項の報告を受けたときは、審査委員会を通じて学院長等に審査委員会の審議結果を通知するものとする。
- 5 停学処分解除の告知は、学院長等が学生に停学処分解除通知書を交付して行うものとする。
- 6 学長は、停学処分の解除を行ったときは、教育研究評議会に報告するものとする。
- 7 停学処分の解除を行ったときは、学生の学籍簿の「特記事項」又は累加記録に記載するものとする。
- 8 期間を定めない停学は、6月を経過した後でなければ解除することができないものとする。
- (不服申立て)
- 第21条 懲戒処分を受けた学生は、事実誤認、新事実の発見その他正当な理由がある場合は、懲戒処分通知書を受け取った日の翌日から起算して14日以内に、文書により、学長に対し、審査委員会を通じて不服申立てをすることができる。
- 2 学長は、前項の不服申立てを受理したときは、不服申立てを却下する場合を除き、審査委員会の議を経て、速やかに再調査の要否を決定しなければならない。
- 3 前項において、学長が不服申立てを却下する場合又は再調査の必要がないと決定した場合は、速やかに、当該学生に通知するものとする。この場合の通知は、学院長等が学生に文書を交付して行うものとする。
- 4 第2項において、学長が再調査の必要があると決定した場合の調査等については、第14条から第18条までの規定を準用する。なお、当初の調査等を行った調査委員会の委員となった者については、再調査等を行う調査委員会の委員とすることはできない。
- 5 不服申立ては、懲戒処分の効力を妨げないものとする。
- (科目等履修生等の懲戒等)
- 第22条 この規程の規定は、科目等履修生、特別聴講学生、海外交流学生、海外訪問学生、短期交流学生、大学院研究生及び特別研究学生の懲戒等について準用する。
- (守秘義務)
- 第23条 学生の懲戒等に関する事項に関わった職員は、職務上知り得た情報を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(事務)

第24条 学生の懲戒等に関する事務は、教育推進部学生支援課において処理する。

(雑則)

第25条 この規程に定めるもののほか、学生の懲戒等に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この規程は、令和6年10月1日から施行する。

2 次に掲げる規程等は、廃止する。

一 東京工業大学学生の懲戒等に関する規程(平成24年規程第1号。以下「旧東工大規程」という。)

二 東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ(平成20年2月8日申合せ。以下「旧医科歯科大申合せ」という。)

3 この規程の施行の日前にした行為に係る懲戒等については、旧東工大規程及び旧医科歯科大申合せの規定は、なおその効力を有する。ただし、令和7年4月1日以降、旧東工大規程の適用においては、この規程第12条の学生懲戒審査委員会を、旧東工大申合せ第11条の学生懲戒審査委員会とみなし、旧医科歯科大申合せの適用においては、この規程第12条の学生懲戒審査委員会を、旧医科歯科大申合せ6. (5)の懲戒委員会とみなす。

(趣旨)

第1条 この細則は、東京科学大学学修規程(令和6年規程第88号。以下「学修規程」という。)第15条の規定に基づき、東京科学大学に置く医学部及び歯学部における全学科に共通する授業科目(以下「全学科共通科目」という。)及び専門に関する授業科目(以下「専門科目」という。)の履修及び試験に関し必要な事項を定めるものとする。

(授業科目及びその単位数)

第2条 授業科目の単位数及び履修学年については、別に定めるとおりとする。

- 2 必修科目は、教育目的を達成するため、修了要件として修得を必要としている科目とする。
- 3 選択科目は、学生の履修目的に応じて選択し、修得単位を修了要件に算入する科目とする。
- 4 自由科目は、修了要件に算入しない科目とする。
- 5 授業科目の前3項の規定による区分については、別に定めるとおりとする。

(単位の計算方法)

第2条の2 学修規程第3条に定めるもののほか、講義実習(講義と実習を組み合わせた授業の形態をいう。以下に同じ)の授業科目の単位数は、講義10時間、実習15時間の授業をもって1単位とすることを基準として計算するものとする。

(成績不服申立て)

- 第3条 学修規程第6条第2項に規定する学修の評価の結果により付される授業科目の履修の認定の可否について疑義がある場合は、所定の期日までに科目責任者に対して確認を行うことができる。
- 2 前項の確認に対する回答に不服がある場合は回答受領後3日以内に別紙に定める「成績不服申立書」を所属する学科の教育委員会に対して学科を所掌する教務係を介して提出することができる。
 - 3 前項の成績不服申し立て書に対して提出を受けた教育委員会は、別紙に定める「成績不服申立回答書」を用いて回答を行う。

(本試験)

第4条 学修規程第8条第1項に定める本試験は、定期試験と共用試験とする。

(定期試験)

第5条 定期試験とは、履修した授業科目について行う試験をいう。

- 2 定期試験を受験することのできる学生は、原則として次のとおりとする。
 - 一 講義及び演習 当該授業科目の授業時間数の3分の2以上履修した者
 - 二 実習 当該授業科目の授業時間数の4分の3以上履修した者
 - 三 講義実習 講義の授業時間数の3分の2以上履修し、実習の授業時間数の4分の3以上履修した者

(共用試験)

第6条 共用試験とは、医療従事者として必要となる知識、習得した技術を確認することを目的とした試験をいう。

- 2 共用試験を受験することのできる学生は、別に定める。
- 3 共用試験の結果は、合否をもって掲示する。
- 4 前3項のほか、共用試験に関し必要な事項は、各学部が別に定めることができる。

(追試験)

第7条 追試験とは、病気その他やむを得ない理由により本試験を受験できなかった者に対して行う試験をいう。ただし、追試験は、原則として1回限りとする。

- 2 追試験を受験しようとする者は、試験申請書を用いて、本試験終了後、原則として5日以内に医学部長又は歯学部長(以下「学部長」という。)に願い出て、許可を受けなければならない。
- 3 追試験受験決定許可が否の場合は、本試験を不合格とする。
- 4 前3項のほか、追試験に関し必要な事項は、各学部が別に定めることができる。

(再試験)

第8条 再試験とは、本試験又は追試験を受験し、不合格となった者に対し行う試験をいう。ただし、再試験は、原則として1回限りとする。

- 2 再試験の実施日時は、所定の期日までに公示する。
- 3 再試験は学部長等の判断により、受験を許可しないことがある。
- 4 再試験受験決定許可が否の場合は、当該授業科目を不合格とする。
- 5 前各項のほか、再試験に関し必要な事項は、各学部が別に定めることができる。

(入学前の既修得単位の認定(全学科共通科目))

第9条 学修規程第11条に定める入学前の既修得単位の認定にあたり、全学科共通科目の単位認定に関する必要な事項は、別に定める。

(編入学者の既修得単位の認定(全学科共通科目))

第10条 学修規程第12条に定める編入学者の既修得単位の認定に当たり、医学部医学科及び歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻における2年次編入学者の全学科共通科目の単位認定に必要な事項は、当該学部において別に定める。

(進級要件)

第11条 学生は、別に定める要件を満たさなければ、進級し、又は所定の授業科目を履修し、単位を修得することができない。

2 休学期間を除き、同一学年の在籍は2年までとし、2年を超える学生は、特別に考慮すべき事由のない限り、東京科学大学学則(令和6年学則第1号)第46条第1号に規定する「成業の見込みがない」者として、同条の規定により除籍する。

3 前項の場合において、大学は、教授会等における審議を行う前に、除籍の対象となる学生に対し、書面又は口頭による弁明の機会を与えなければならない。ただし、当該学生が、弁明の機会を与えられたにもかかわらず、正当な理由なく欠席し、又は文書を提出しなかった場合は、この権利を放棄したものとみなす。

4 第2項の場合において、教授会等における審議の後、当該学生から不服が申立てられた場合で、学部長等が再審議の必要性があると判断したときは、学部長等は、教授会等に再度審議を行わせるものとする。

(仮進級)

第12条 別に定める進級要件(歯学部口腔保健学科3年次にあつては、後期以降の授業科目の履修要件を含む。)を満たさない者について、仮進級を認めることができる。

2 仮進級に関し必要な事項は、各学部が別に定めることができる。

附 則

1 この細則は、令和6年10月1日から施行する。

2 次に掲げる規則(以下「旧規則」という。)は廃止する。

一 東京医科歯科大学学部専門科目履修規則(平成22年規則第41号)

二 東京医科歯科大学試験規則(平成23年規則第1号)

三 東京医科歯科大学全学共通科目履修規則(平成16年規則第217号)

3 この細則の施行の日(以下「施行日」という。)の前日において、東京医科歯科大学の各学部¹に在学する学生(以下「在学者」という。)であつて、施行日以後、引き続き東京科学大学の各学部²に在学する者(施行日以後に在学者の属する年次に再入学、転入学又は編入学する者を含む。)に係る授業科目の履修等については、旧規則の規定は、なお効力を有する。

附 則(令6. 11. 5細75)

この細則は、令和6年11月5日から施行し、改正後の東京科学大学の学部における学修に関する細則の規定は、令和6年10月1日から適用する。

附 則(令6. 11. 5細76)

1 この細則は、令和7年4月1日から施行する。

2 この細則の施行の日(以下「施行日」という。)の前日において、東京科学大学の各学部¹に在学する学生(以下「在学者」という。)であつて、施行日以後、引き続き東京科学大学の各学部²に在学する者(施行日以後に在学者の属する年次に再入学、転入学又は編入学する者を含む。)に係る授業科目の履修等については、改正前の東京科学大学の学部における学修に関する細則の規定は、なおその効力を有する。

附 則(令7. 3. 7細10)

1 この細則は、令和7年4月1日から施行する。ただし、第2条の2、第5条、第9条、第12条及び別表2(1医学部医学科及び4歯学部歯学科の備考に限る。この項において同じ。)の改正規定は、令和7年3月7日から施行し、改正後の東京科学大学の学部における学修に関する細則第2条の2、第5条、第9条、第12条及び別表2の規定は、令和6年10月1日から適用する。

2 この細則の施行の日(以下「施行日」という。)の前日において、東京科学大学の各学部¹に在学する学生(以下「在学者」という。)であつて、施行日以後、引き続き東京科学大学の各学部²に在学する者(施行日以後に在学者の属する年次に再入学、転入学又は編入学する者を含む。)に係る授業科目の履修等については、改正前の東京科学大学の学部における学修に関する細則別表2(1医学部医学科及び4歯学部歯学科の備考を除く。)及び別表3の規定は、なおその効力を有する。

附 則(令7. 10. 14細35)

1 この細則は、令和8年4月1日から施行する。

2 この細則の施行の日(以下「施行日」という。)の前日において、東京科学大学の各学部¹に在学する学生(以下「在学者」という。)であつて、施行日以後、引き続き東京科学大学の各学部²に在学する者(施行日以後に在学者の属する年次に再入学、転入学又は編入学する者を含む。)に係る改正前の東京科学大学の学部における学修に関する細則別表1、別表2及び別表3の規定は、なお効力を有する。

別紙（成績不服申立書、成績不服申立回答書）

年 月 日

教育委員会 御中

（成績不服申立人）

学部 _____

学科・専攻 _____

学籍番号 _____

氏名 _____

成績不服申立書

科目名 _____

科目責任者名 _____

申立内容（記入欄）

--

科目責任者への確認内容（記入欄）

（確認実施日 年 月 日）

確認内容に対しての科目責任者の回答（記入欄）

（回答受領日 年 月 日）

※「科目責任者の確認内容」及び「確認内容に対しての科目責任者の回答」については、経緯の分かる資料を添付し記入に代えることも可能とする。

（成績不服申立書受領日 年 月 日）

年 月 日

(成績不服申立人)

学部

学科・専攻

学籍番号

氏名 殿

教育委員会

成績不服申立回答書

年 月 日付け成績不服申立書に対して、下記のとおり回答いたします。

記

成績不服申立書に対する回答

本件への措置

以上

(教育委員会議決日 年 月 日)

(趣旨)

第1条 この要項は、東京科学大学学修規程(令和6年規程第88号。以下「学修規程」という。)第7条第5項及び東京科学大学大学院学修規程(令和6年規程第94号。以下「大学院学修規程」という。)第8条第5項の規定に基づき、東京科学大学(以下「本学」という。)に置く学院並びに医学部、歯学部及び研究科における学修の評価におけるGrade Point Average(以下「GPA」という。)に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要項において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- 一 Grade Point(以下「GP」という。)学修規程第7条第1項及び第2項並びに大学院学修規程第8条第1項及び第2項に規定する履修申告した授業科目の成績に基づき算出される0又は0.5から4.5までの数値をいう。
- 二 Grade Point Average(以下「GPA」という。)学修規程第9条第3項及び大学院学修規程第8条第3項に規定する授業科目のGPと単位数の積の総和を履修申告した授業科目の単位数の総和で除した数値をいう。
- 三 クォーターGPA 各クォーターにおけるGPAをいう。
- 四 学期GPA 各学期におけるGPAをいう。
- 五 年度GPA 各年度におけるGPAをいう。
- 六 通算GPA 在学期間におけるGPAをいう。

(対象学生)

第3条 GPA制度を適用する対象学生は、本学の学士課程、修士課程、博士課程及び専門職学位課程に在学する全ての学生とする。ただし、工学部に在学する学生を除く。

(対象授業科目)

第4条 GPA制度の対象とする授業科目(以下「対象授業科目」という。)は、各課程において卒業又は修了の要件となる全ての授業科目とする。ただし、次に掲げる授業科目は、対象としない。

- 一 学修規程第6条第2項ただし書及び大学院学修規程第7条第2項ただし書の規定により「合格」又は「不合格」をもって学修の評価を行う授業科目
- 二 学修規程第9条から第12条まで並びに大学院学修規程第10条及び第12条の規定により単位を認定された授業科目
- 三 東京科学大学の学院における学修に関する細則(令和6年細則第48号)別表に規定する研究関連科目、横断科目(教養科目)及び横断科目(専門科目)並びに東京科学大学大学院の学院における学修に関する細則(令和6年細則第50号)別表に規定する講究科目、研究関連科目、横断科目(教養科目)及び横断科目(専門科目)に分類される授業科目

(GPAの算出方法)

第5条 学院においては、クォーターGPA、学期GPA、年度GPA及び通算GPAについて、全ての対象授業科目によるGPA並びに専門科目群及び教養科目群のGPAを算出するほか、学院の学士課程の学生については、併せて授業科目区分ごとの対象授業科目によるGPAを算出するものとする。

2 医学部、歯学部及び研究科においては、全ての対象授業科目による年度GPA及び通算GPAを算出するものとする。

3 前2項のGPAは、次の各号の計算式により算出するものとし、その数値に小数点以下第二位未満の端数があるときは、小数点以下第三位の値を四捨五入するものとする。

- 一 $\text{クォーターGPA} = (\text{当該クォーターに履修申告した対象授業科目のGP} \times \text{単位数}) \text{の総和} / (\text{当該クォーターに履修申告した対象授業科目の単位数}) \text{の総和}$
- 二 $\text{学期GPA} = (\text{当該学期に履修申告した対象授業科目のGP} \times \text{単位数}) \text{の総和} / (\text{当該学期に履修申告した対象授業科目の単位数}) \text{の総和}$
- 三 $\text{年度GPA} = (\text{当該年度に履修申告した対象授業科目のGP} \times \text{単位数}) \text{の総和} / (\text{当該年度に履修申告した対象授業科目の単位数}) \text{の総和}$
- 四 $\text{通算GPA} = (\text{在学期間に履修申告した対象授業科目のGP} \times \text{単位数}) \text{の総和} / (\text{在学期間に履修申告した対象授業科目の単位数}) \text{の総和}$

(再履修科目の単位修得時の取扱い)

第6条 不合格とされた授業科目を再履修し、単位を修得した場合は、当該科目の不合格とされた成績をGPAの算出から除外し、修正するものとする。

(GPAの成績証明書等への記載)

第7条 学院においては、成績証明書及び学業成績書、医学部、歯学部及び研究科においては成績証明書に、通算GPAを記載するものとする。

2 学院においては、教務Webシステムに、クォーターGPA、学期GPA、年度GPA及び通算GPAを記載するものとする。

(雑則)

第8条 この要項に定めるもののほか、GPA制度の取扱いに関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要項は、令和6年10月1日から施行する。

附 則(令7.3.7)

- 1 この要項は、令和7年4月1日から施行する。
- 2 この要項の施行の日(以下「施行日」という。)の前日において、東京科学大学の各学部 に在学する学生(以下「在学者」という。)であって、施行日以後、引き続き東京科学大学の各学部 に在学する者(施行日以後に在学者の属する年次に再入学、転入学又は編入学する者を含む。)に係る対象授業科目については、改正前の東京科学大学におけるGPA制度に関する要項の規定は、なおその効力を有する。

附 則(令7.6.16)

この要項は、令和7年6月16日から施行し、改正後の東京科学大学におけるGPA制度に関する要項の規定は、令和7年4月1日から適用する。

(趣旨)

第1条 この要項は、東京科学大学(以下「本学」という。)における公欠の制度(以下「公欠制度」という。)に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要項において「公欠」とは、本学の学生が、本学が認める一定の事由によりやむをえず授業を欠席した場合、これを欠席扱いとはしない取扱いをいう。

(対象学生)

第3条 公欠制度の対象学生は、次のとおりとする。

- 一 本学の学士課程又は大学院課程に在学する者
- 二 前号のほか、授業科目の履修が認められている者

(対象授業科目)

第4条 公欠制度が適用される授業科目は、原則として、学士課程及び大学院課程の全ての授業科目とする。ただし、授業科目の実施形態等を踏まえた授業担当教員の判断により、公欠制度が適用されない場合がある。

(適用事由)

第5条 公欠が適用される事由、公欠の期間の目安、届出時の必要書類及び届出時期は、次のとおりとする。

公欠事由	公欠として認められる期間の目安		届出時必要書類	届出時期の目安
(1) 学校保健安全法施行規則(昭和33年6月13日文部省令第18号。以下「施行規則」という。)第18条に規定する感染症に罹患した場合、又は感染しているおそれがある場合	施行規則第19条に規定する出席停止の期間の基準のとおり(右記診断書等に記載されている出席停止の期間のとおり)		診断書等	公欠事由該当期間終了後1週間以内
(2) 親族(配偶者及び2親等以内の親族に限る。)が死亡した場合	配偶者及び1親等(父母・子)	連続する7日以内(休日を含む。)	会葬礼状等	公欠事由該当期間終了後1週間以内
	2親等(祖父母、兄弟・姉妹、孫)	連続する3日以内(休日を含む。)		
(3) 裁判員制度による裁判員若しくは裁判員候補者又は検察審査会制度による検察審査員若しくは補充員に選任された場合	裁判所又は検察審査会事務局からの通知書その他事実が確認できる書類に記載のある期間		裁判所又は検察審査会からの通知書等	書類到着後から公欠事由期間開始前まで
(4) 被災等により通学が困難と学長が認めた場合	学長が必要と認めた期間		罹災証明書等	公欠事由発生後、相当の期間内

(手続等)

第6条 学生は、前条に規定する事由が生じたことにより公欠を希望する場合は、別に定める公欠届に、同条に定める必要書類を添えて、担当部署を通じて学長に提出するものとする。

- 2 担当部署は、前項の届出があったときは、前条の規定により公欠が適用される事由に該当することを確認した上で、当該学生が公欠制度の適用を希望する履修科目の授業担当教員に、届出の内容を連絡するものとする。
- 3 前項の連絡を受けた授業担当教員は、授業科目の実施形態等を踏まえた上で、公欠の適否を判断し、適当と認める場合には、配慮の内容等を当該学生に通知するものとする。

(学生への配慮義務)

第7条 授業担当教員は、公欠が適当であると認めた学生から求めがあった場合は、当該学生に対して、履修上の不利益が生じないよう配慮するものとする。

- 2 前項のほか、授業担当教員は、試験実施日に公欠が適当であると認めた学生に対しては、追試験又は課題提出による評価等の配慮を行うものとする。

(公欠制度の適用除外等)

第8条 第6条の規定により公欠が適当であると認めた場合であっても、公欠の期間が長期間にわたることにより、当該授業科目の単位を修得することが困難であると授業担当教員が判断した場合は、当該授業科目の履修申告を不許可とする場合がある。

- 2 第5条に規定する公欠が適用される事由に該当しない場合であっても、授業担当教員又は該当する授業科目を開設する部局の長等の判断により、欠席扱いとしない等の特別の配慮をする場合がある。

(雑則)

第9条 この要項に定めるもののほか、公欠制度に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この要項は、令和6年10月1日から施行する。
- 2 次に掲げる申合せ及び要項は、廃止する。
 - 一 東京工業大学における公欠の制度に関する申合せ(令和元年11月28日教育・国際連携本部制定)
 - 二 国立大学法人東京医科歯科大学における授業欠席に関する取扱要項(令和2年11月30日制定)
- 3 学部及び研究科に在学する学生については、令和7年3月31日までの間、第4条ただし書の規定は適用しない。

(趣旨)

第1条 東京科学大学の歯学部における専門に関する授業科目(以下「専門科目」という。)の履修及び試験等に関しては、東京科学大学学則(令和6年学則第1号。以下「学則」という。)、東京科学大学学修規程(令和6年規程第88号。以下「学修規程」という。)及び東京科学大学の学部における学修に関する細則(令和6年細則第49号。以下「学修細則」という。)に定めるもののほか、この内規の定めるところによる。

(授業科目及びその単位数)

第2条 学修細則第2条第1項に定める授業科目の単位数及び履修学年並びに同条第3項から第5項までの規定による区分については、別表1に定めるとおりとする。

(定期試験)

第3条 学修細則第5条第1項に定める定期試験とは、科目試験をいう。

2 科目試験とは、履修した授業科目について行う試験をいう。

3 科目試験の受験資格は、学修細則第5条第2項の定めるところによる。

4 科目試験の受験資格について、授業科目の目的、形態又は内容により、学修細則第5条第2項各号の規定と異なる条件を課すときは、教育要項に明示する。

(共用試験)

第4条 学修細則第6条に定める共用試験(以下「共用試験」という。)については、臨床実習前共用試験と臨床実習後共用試験の2種類とし、歯学科において実施する。

2 共用試験のうち、臨床実習前共用試験は5年次の包括臨床実習導入履修前に実施する。

3 臨床実習前共用試験を受験することのできる学生は、別表1の1に定める歯学部歯学科における授業科目のうち4年次に履修する必修科目の全ての単位を修得した学生とする。

4 共用試験のうち、臨床実習後共用試験は6年次の包括臨床実習Ⅲの履修期間内に実施する。

5 共用試験のうち、臨床実習後共用試験を受験することのできる者は、包括臨床実習導入、包括臨床実習Ⅰ及び包括臨床実習Ⅱの単位を修得した学生とする。

(追試験)

第5条 学修細則第7条に定める追試験の実施時期については、次のとおりとする。

一 歯学科においては、原則として当該科目を履修した学年の末までに実施するものとする。

二 口腔保健学科においては、原則として当該科目を履修した学期の学期内に実施するものとする。

(再試験)

第6条 学修細則第8条に定める再試験の実施時期については、次のとおりとする。

一 歯学科においては、原則として当該科目を履修した学年の末までに実施する。

二 口腔保健学科においては、原則として当該科目を履修した学期の学期内に実施するものとする。

(進級要件)

第7条 学修細則第11条第1項に定める進級要件は、別表2に定めるとおりとする。

2 前項のほか、全学科共通科目に係る進級要件については、東京科学大学学部全学科共通科目学修内規(令和6年10月1日医学部教授会・歯学部教授会共同決定)の定めるところによる。

(仮進級)

第8条 本人の責によらない、やむを得ない事情により、試験等を受験できず、別表2に定める進級要件を満たさなかった学生については、所属学科の教育委員会において協議し、仮進級を認めることができる。

2 前項のほか、科目試験の不合格により、前条に定める進級要件を満たさなかった学生については、不合格となった科目が3科目以内、かつ、特別な事情がある場合に限り、所属学科の教育委員会において協議し、仮進級を認めることができる。

3 仮進級が認められた学生は、原則として翌年度4月末日(口腔保健学科3年次後期への仮進級が認められた学生にあっては原則として当年度の10月末日)までに、未修得科目の単位認定を受けなければならない。

4 第2項の不合格となった科目について、前項の単位認定を受けた場合の学修の評価は、60点とする。

附 則

1 この内規は、令和6年10月1日から施行する。

2 次に掲げる内規は、廃止する。

一 東京医科歯科大学歯学部歯学科専門科目履修内規(平成23年2月2日歯学部長制定)

二 東京医科歯科大学歯学部歯学科試験内規(平成23年2月2日歯学部長制定)

三 東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規(平成23年12月7日歯学部長制定)

四 東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科試験内規(平成23年12月7日歯学部長制定)

附 則(令6.12.18)

1 この内規は、令和7年4月1日から施行する。

- 2 この内規の施行の日(以下「施行日」という。)の前日において、東京科学大学の歯学部に進学する学生(以下「在学者」という。)であって、施行日以後、引き続き東京科学大学の歯学部に進学する者(施行日以後に進学者の属する年次に再入学、転入学又は編入学する者を含む。)に係る学修の評価におけるGrade Point制度及び歯学科における仮進級制度は、改正前の東京科学大学歯学部専門科目学修内規の規定は、なおその効力を有する。

附 則(令7.9.17)

この内規は、令和8年4月1日から施行する。

別表1 授業科目及び単位数(第2条関係)

1 歯学部歯学科

授業科目	単位数		履修学年											
			1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次	
	必修	自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
多職種連携 I	0.5		○											
歯学入門	1			○										
早期臨床体験実習	1			○										
基礎情報医歯学	1			○										
行動科学基礎	2			○										
社会と環境	1.5			○										
遺伝の分子基盤	0.5			○										
細胞機能の分子基盤	1			○										
生命を構成する分子とその代謝	1			○										
硬組織生化学の分子基盤	1			○										
生命の分子基盤実習	0.5			○										
人体の構造と機能(歯の解剖)	0.5			○										
研究入門 I	0.5			○										
研究入門 I α		1		○										
AI・データサイエンスのための数学	2			○										
医療とAI・ビッグデータ入門	2			○										
アカデミック・リテラシー	1			○										
生命科学基礎	2			○										
英語Ⅱ※2・※3	1～4				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
International Course For Clinical Dentistry L1 ※3	2				○	○								
International Course For Clinical Dentistry L2 ※3									○					
International Course For Clinical Dentistry L3 ※3											○			
人体の構造と機能(人体解剖学)	4				○									

人体の構造と機能(人体解剖実習)	4				○									
人体の構造と機能(組織学総論)	1				○									
人体の構造と機能(組織学各論)	2					○								
人体の構造と機能(人体の発生)	1					○								
学年混合セミナーⅠ	0.5				○									
医療とAI・ビッグデータ応用	1				○									
人体の構造と機能(神経系の機能Ⅰ)	0.5				○									
人体の構造と機能(神経系の機能Ⅱ)	0.5				○									
人体の構造と機能(生命維持のための生体機能)	0.5					○								
人体の構造と機能(口腔生理)	0.5					○								
人体の構造と機能(生理学実習)	0.5					○								
人体の構造と機能(口腔組織学)	1					○								
予防と健康管理	3					○								
歯科医療基礎Ⅰ	1					○								
医療統計学・疫学基礎	1					○								
研究入門Ⅱ	0.5					○								
研究入門Ⅱα		1				○								
自然科学演習	1					○								
System—based medical terminologyⅠ	1						○							
System—based medical terminologyⅡ ※2・※3	1							○		○		○		○
IMRAD Format Presentation in English ※2	1						○	○	○	○				
多職種連携Ⅱ	0.5						○							
臨床歯学イントロダクション	1						○							
感染と生体防御(免疫学・細菌学)	4						○							
病因と病態(病理学)	3.5						○							
病態科学演習	3.5						○							
生体と薬物(薬理学)	3						○							
歯科法医学	1						○							

隣接医学Ⅰ(内科等)	1.5						○							
隣接医学Ⅱ(外科・耳鼻科・眼科等)	1.5						○							
歯科医療基礎Ⅱ	2						○							
学年混合セミナーⅡ	0.5						○							
行動科学発展		1					○							
生命倫理	2						○	○						
歯科材料と歯科医療機器(歯科理工学)	3.5							○						
歯科放射線学基礎	1.5							○						
総合診療・地域医療	1							○						
課題統合セミナー	2							○						
研究入門Ⅲ	0.5							○						
研究実習Ⅰ	7							○						
研究実習Ⅱ	1								○					
保存修復学	2								○					
歯内治療学	2								○					
歯周病学	2								○					
全部床補綴学	2								○					
部分床補綴学	2								○					
口腔外科学	2								○					
歯科麻酔学	2								○					
高齢者歯科学	1								○					
歯科医療基礎Ⅲ	1.5								○					
学年混合セミナーⅢ	0.5								○					
冠橋義歯補綴学	2									○				
インプラント治療学	1.5									○				
歯科矯正学	2									○				
小児歯科学	2									○				
障害者歯科学	0.5									○				
歯科放射線学臨床	1									○				
医療統計学・疫学演習	1									○				
医療情報学	0.5									○				
基礎医歯学総合学習	0.5									○				
発展歯科臨床	3										○			
歯科心身医学	1										○			
包括臨床実習導入※4	4										○			
包括臨床実習Ⅰ	6										○			
International Course For C1		0.5										○	○	

inical Dentist ry Advanced														
包括臨床実習Ⅱ	15											○		
口腔顎顔面臨床 解剖	1.5											○		
長寿口腔健康科 学	1.5											○		
包括医療統合教 育Ⅰ	1											○		
多職種連携Ⅲ	1												○	
包括臨床実習Ⅲ ※5	11												○	
包括医療統合教 育Ⅱ	1												○	
歯科医療総合学 習	2													○
配属選択実習		2												○
デンタルエク スターンシップ※ 1・※2		1～6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	163	6.5 ～1 1.5												

※1 所定のプログラムを修了した学生に対し、1プログラムにつき1単位を認定する。

ただし、一の学年に認定できる単位は、1単位を上限とする。

※2 履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。

※3 5科目から2単位以上修得する。

※4 包括臨床実習導入は、臨床実習前共用試験〔Computer Based Testing (CBT)及びPre—Clinical Clerkship Objective Structured Clinical Examination(Pre—CC OSCE)〕に合格しなければ、履修することができない。

※5 包括臨床実習Ⅲは臨床実習後共用試験〔臨床実地試験：Clinical Practice Examination(CPX)及び一斉技能試験：Clinical Skill Examination(CSX)〕に合格しなければ、単位を修得することができない。

2 歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻

区分	授業科目	単位数			履修学年							
					1年次		2年次		3年次		4年次	
		必修	選択	自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門 基礎 分野	科学英語Ⅰ	1					○					
	科学英語Ⅱ			1				○				
	英語Ⅱ			1～4			○	○	○	○	○	○
	International Course for Clinical Dentistry(ICCD) L1—L3 On—demand			1			○	○	○	○	○	○
	International Course for Clinical Dentistry(ICCD) L1—L3 On—line			1			○	○	○	○	○	○
	International Course for Clinical Dentistry(ICCD) Advanced			0.5								○
	人体の構造と機能	4				○	○	○				
	歯・口腔の構造と機能	5				○	○	○				
	疾病の成り立ちと回復過程の 促進	6					○	○	○			
	公衆衛生学	1				○						
	社会保障	1				○						
	高齢者福祉	1					○					

	保健医療サービス	2					○	○				
	社会調査・研究の基礎	1							○			
	生命倫理	0.5							○			
	メディア情報学基礎	1				○						
	多職種連携	1			○							
	AI・データサイエンスのための数学	2				○						
	医療とAI・ビッグデータ入門	2				○						
	アカデミック・リテラシー	1				○						
専門分野	歯科衛生学総論	1				○						
	臨床歯科医学	6					○	○	○			
	チーム医療の実践	1							○	○		
	口腔機能管理実習	1							○	○		
	高齢者歯科学	1							○	○		
	障害者歯科学	1								○		
	臨床医学	2							○			
	口腔疾患予防学	8					○	○	○			
	臨床口腔保健応用学	1									○	
	健康教育の基礎	2					○	○				
	食生活教育	1					○	○				
	健康教育の企画と実践	2							○	○		
	歯科衛生学演習	2									○	○
	生体材料学	1					○					
	口腔内科学	1						○				
	歯科診療補助論	7					○	○	○			
	歯科衛生臨床実習	13								○	○	○
	歯科衛生臨地実習	6									○	○
	臨床体験実習	1				○	○	○				
統合分野	歯科衛生過程	2						○	○			
	卒業研究	4				○	○	○	○	○	○	○
	児童・家庭福祉	1					○					
	障害児・者福祉	1					○					
	地域福祉	1					○					
	コミュニケーション論	1					○					
	社会福祉実習	1							○	○		
	口腔保健と国際協力※		1						○			
	地域口腔保健論※		1								○	○
	先端歯科医療学※		1								○	○
	在宅訪問・災害口腔保健医療※		1								○	○
口腔保健衛生選択科目	歯科衛生臨床・臨地応用論			1							○	○
	口腔保健衛生エクスターンシップ			1						○	○	○
	口腔保健マネジメント論			1							○	○
	保健行動科学			1							○	○
計		98.5	4	8.5 ～1 1.5								

※選択科目から1単位以上修得する。

3 歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻

区分		授業科目	単位数			履修学年							
						1年次		2年次		3年次		4年次	
			必修	選択	自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活	口腔保健と専門職	1				○						
		科学英語Ⅰ	1					○					
		科学英語Ⅱ	1							○			
		英語Ⅱ			1～4			○	○	○	○	○	○
		International Course for Clinical Dentistry (ICCD)L1—L3 On—demand※1		1				○	○	○	○	○	○
		International Course for Clinical Dentistry (ICCD)L1—L3 On—line			1			○	○	○	○	○	○
		International Course for Clinical Dentistry (ICCD) Advanced			0.5								○
		ヘルスプロモーション	1					○					
		メディア情報学基礎	1				○						
		メディア情報学応用	1				○						
		コミュニケーション学	1							○			
		造形美術概論実習	1				○						
		グローバル口腔保健工学	1						○				
		グローバル口腔保健工学実習	1							○	○		
		AI・データサイエンスのための数学	2				○						
		医療とAI・ビッグデータ入門	2				○						
		アカデミック・リテラシー	1				○						
専門基礎分野	歯科技工と歯科医療	歯科技工士と法律	1									○	
		感染予防	2				○						
		ポストコロナ社会における感染症対策※1		1				○					
		口腔保健工学管理学	1							○			
		早期臨床体験実習	1				○						
		周産期手術支援工学	1							○			
		う蝕と歯周病	1				○						
		高齢者歯科学	2								○		
	歯・口腔の構造と機能	人体の構造と機能	2				○						
		歯の解剖学	1				○						
		口腔と全身の基礎医学	2					○	○				
		硬組織薬理学※1		1				○					
		画像解析学※1		1								○	
		歯の形態実習	2					○	○				
		臨床咬合学	1							○			
	歯科材料・	口腔保健理工学	3					○					
		口腔保健理工学実習	3					○					

	歯科技工器と加工技術	デジタルデンティストリー基礎	1						○				
		デジタルデンティストリー応用	1							○			
専門分野	有床義歯工学	顎顔面補綴学	1								○		
		顎補綴学実習	2.5								○		
		顔面補綴学実習	1								○		
		臨床義歯管理工学	1								○		
		スポーツ歯科学※1		1								○	
		顎関節症とオーラルアプライアンス※1		1								○	
		睡眠とオーラルアプライアンス※1		1								○	
		全部床義歯補綴学	1					○					
		全部床義歯実習	2					○					
		デジタル全部床義歯実習	2					○					
		部分床義歯補綴学	1						○				
		部分床義歯補綴学実習	4						○				
		デジタル金属床義歯実習	2							○			
	歯冠修復工学	歯冠修復学	2						○				
		歯冠修復学実習	5						○				
		審美修復学実習	2							○			
		デジタル歯冠修復学実習	1							○			
		デジタルデンティストリー実習	1									○	
		インプラント歯科補綴学実習	2							○			
	小児歯科学	小児歯科学	1								○		
		小児歯科学実習	1								○		
	矯正歯科学	矯正歯科学	2							○			
	歯科技工実習	再建工学包括臨床実習Ⅰ	3.5								○		
		再建工学包括臨床実習Ⅱ	6									○	○
		再建工学包括臨床実習Ⅲ※2		2								○	○
		統合実習基礎	1.5										○
		統合実習応用※1		1									○
統合分野	統合口腔保健工学	医療倫理	1							○			
		研究体験実習※1		1			○						
		研究実習Ⅰ	1							○	○		
		研究実習Ⅱ	4									○	○
		研究実習Ⅲ※2		2								○	○
		多職種連携Ⅰ	0.5			○							
		多職種連携Ⅱ	0.5							○			

	多職種連携Ⅲ	1										○	
	口腔保健工学エクステンションシップ			1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	口腔保健工学企業研修※2		2									○	○
計		93.5	15	3.5 ～6.5									

※1 9科目から5単位以上修得する。

※2 3科目の中から1科目履修する。

4 全学科共通自由科目

授業科目	単位数	履修対象学年					
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
Biosocial Research Topics	1	○	○	○	○	○	○
Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
Leadership	1	○	○	○	○	○	○
Negotiation	1	○	○	○	○	○	○
オンライン異文化交流(※1)	0.5～3	○	○	○	○	○	○
ポストコロナ社会における感染症対策	1	○	○	○	○	○	○
AI実践演習	1		○	○	○	○	○
アントレプレナー教育	1		○	○	○	○	○
疫学基礎	1	○	○	○	○	○	○
生物統計学基礎	1	○	○	○	○	○	○
生物統計学応用I	1	○	○	○	○	○	○
生物統計学応用II	1	○	○	○	○	○	○
臨床試験方法論基礎	1	○	○	○	○	○	○
臨床試験方法論応用	1	○	○	○	○	○	○
口腔疫学基礎	1	○	○	○	○	○	○
疫学応用	1	○	○	○	○	○	○
計	17.5～20						

※1 所定のプログラムを修了した学生に対し、0.5単位を認定する。ただし、同一年次・年度に認定できる単位は、0.5単位を上限とする。

5 医歯学系異分野研究プロジェクト科目

授業科目	単位数	履修対象学年			
		1年次	2年次	3年次	4年次
異分野研究プロジェクトA	1			○	○
異分野研究プロジェクトB	2			○	○
異分野研究プロジェクトC	4			○	○
異分野研究プロジェクトD	6			○	○

※東京科学大学の学院の学士課程に属する学生のみ履修可能。

別表2 進級要件(第6条、第7条関係)

1 歯学部歯学科

1年次	別表1の1に定める1年次に履修する必修科目の単位を全て修得しなければ、2年次に進級することができない。
-----	---

2年次	別表1の1に定める2年次に履修する必修科目の単位を、全て修得しなければ、3年次に進級することができない。
3年次	別表1の1に定める3年次に履修する必修科目の単位を全て修得しなければ、4年次に進級することができない。
4年次	別表1の1に定める4年次に履修する必修科目の単位を全て修得し、かつ、共用試験に合格しなければ、5年次に進級することができない。
5年次	別表1の1に定める5年次に履修する必修科目の単位を全て修得しなければ、6年次に進級することができない。

2 歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻

1年次	1年次の末までに次の授業科目の単位を修得しなければ、2年次に進級することができない。 一 公衆衛生学 二 社会保障 三 歯科衛生学総論 四 メディア情報学基礎 五 多職種連携 六 AI・データサイエンスのための数学 七 医療とAI・ビッグデータ入門 八 アカデミック・リテラシー (以下、1年次に実施される授業を対象とする) 九 人体の構造と機能 十 歯・口腔の構造と機能
2年次	2年次の末までに次の授業科目の単位を修得しなければ、3年次に進級することができない。 一 科学英語 I 二 人体の構造と機能 三 歯・口腔の構造と機能 四 高齢者福祉 五 保健医療サービス 六 健康教育の基礎 七 食生活教育 八 生体材料学 九 口腔内科学 十 臨床体験実習 十一 児童・家庭福祉 十二 障害児・者福祉 十三 地域福祉 十四 コミュニケーション論 (以下、2年次に実施される授業を対象とする) 十五 疾病の成り立ちと回復過程の促進 十六 臨床歯科医学 十七 口腔疾患予防学 十八 歯科診療補助論 十九 歯科衛生過程
3年次	3年次の前期までに次の授業科目の単位を修得しなければ、3年次後期以降の授業科目を履修することができない。 一 疾病の成り立ちと回復過程の促進 二 社会調査・研究の基礎 三 生命倫理 四 臨床歯科医学 五 臨床医学 六 口腔疾患予防学 七 歯科診療補助論 八 歯科衛生過程 (以下、3年次前期に実施される授業を対象とする) 九 健康教育の企画と実践 また、3年次の末までに次の授業科目の単位を修得しなければ、4年次に進級することができない。 十 チーム医療の実践 十一 口腔機能管理実習 十二 高齢者歯科学 十三 障害者歯科学 十四 健康教育の企画と実践 十五 社会福祉実習

3 歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻

1年次	1年次の末までに次の授業科目の単位を修得しなければ、2年次に進級することができない。 一 口腔保健と専門職 二 メディア情報学基礎 三 メディア情報学応用
-----	--

	四 造形美術概論実習 五 AI・データサイエンスのための数学 六 医療とAI・ビッグデータ入門 七 アカデミック・リテラシー 八 感染予防 九 早期臨床体験実習 十 う蝕と歯周病 十一 人体の構造と機能 十二 歯の解剖学 十三 多職種連携Ⅰ
2年次	2年次の末までに次の授業科目の単位を修得しなければ、3年次に進級することができない。 一 科学英語Ⅰ 二 ヘルスプロモーション 三 グローバル口腔保健工学 四 口腔と全身の基礎医学 五 歯の形態実習 六 口腔保健理工学 七 口腔保健理工学実習 八 デジタルデンティストリー基礎 九 全部床義歯補綴学 十 全部床義歯実習 十一 デジタル全部床義歯実習 十二 部分床義歯補綴学 十三 部分床義歯補綴学実習 十四 歯冠修復学 十五 歯冠修復学実習
3年次	3年次の前期までに次の授業科目の単位を修得しなければ、3年次後期以降の授業科目を履修することができない。 一 デジタル金属床義歯実習 二 審美修復学実習 三 デジタル歯冠修復学実習 また、3年次の末までに次の授業科目の単位を修得しなければ、4年次に進級することができない。 四 科学英語Ⅱ 五 コミュニケーション学 六 グローバル口腔保健工学実習 七 口腔保健工学管理学 八 周術期手術支援工学 九 高齢者歯科学 十 臨床咬合学 十一 デジタルデンティストリー応用 十二 顎顔面補綴学 十三 顎補綴学実習 十四 顔面補綴学実習 十五 臨床義歯管理工学 十六 インプラント歯科補綴学実習 十七 小児歯科学 十八 小児歯科学実習 十九 矯正歯科学 二十 再建工学包括臨床実習Ⅰ 二十一 医療倫理 二十二 研究実習Ⅰ 二十三 多職種連携Ⅱ

歯科衛生士国家試験について

歯科衛生士国家試験

〔試験の概要〕

（試験科目）

人体（歯・口腔を除く。）の構造と機能、歯・口腔の構造と機能、疾病の成り立ち及び回復過程の促進、歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み、歯科衛生士概論、臨床歯科医学、歯科予防処置論、歯科保健指導論及び歯科診療補助論

（受験資格）

- (1)文部科学大臣の指定した歯科衛生士学校を卒業した者（卒業見込の者を含む）。
- (2)都道府県知事の指定した歯科衛生士養成所を卒業した者（卒業見込の者を含む）。
- (3)外国の歯科衛生士学校を卒業し、又は外国において歯科衛生士免許を得た者であって、厚生労働大臣が（1）又は（2）に掲げる者と同等以上の知識及び技能を有すると認めた者。

（試験期日）

例年、3月の第1日曜日に行われる。

第35回（前回）の歯科衛生士国家試験は、2026年3月1日（日）に行われた。

（受験手数料）

受験手数料の額は14,300円である（変更の可能性もあり）。

（受験手続き）

1.必要書類

ア.受験願書

イ.写真

ウ.卒業証明書又は卒業見込証明書（受験資格の（1）、（2）に該当する者）

なお、（1）（2）に該当する者で卒業見込証明書を提出した者にあつては、期日まで
に卒業証明書を提出する。期日までに、提出されないときは、当該受験は無効となる。

2.出願について

出願については、大学で必要書類をとりまとめ、一般財団法人歯科医療振興財団に提出する。

なお、受験願書、写真用台紙、受験手数料払込用紙等は、一般財団法人歯科医療振興財団から毎年10月中旬に各養成機関宛に届くので、受験予定者は口腔保健教務グループにて受領する。

試験の詳細については、受験案内で確認すること。

学 生 周 知 事 项 等

湯島地区 学生周知事項（教育要項 2026 年度版）

1 連絡・通知

告示、通知、連絡（試験関係、休講情報、講義室変更、奨学金関係、健康診断、授業料の納付、呼び出し等）は、isct LMS（電子掲示板）や大学メールアドレス isct への配信、Slack への投稿で行います。

特に大学メールアドレスへの連絡は、プライベートなメールアドレスの使用とは異なりますので、1 日に 1 回はメールを確認するように心がけ、見落として不利益を被らないよう十分注意してください。

2 電話等による学生の呼び出し等

電話等による学生の呼び出しは、緊急かつ重大な場合を除いて一切行わないので、各関係者（保護者等を含みます）に説明しておいて下さい。

3 学生証

学生証は、本学の学生である旨を証明するものです。

入学時に交付したものを卒業時まで使用しますので、紛失・破損等のないよう大切に取り扱いして下さい。

また、定期試験受験時、通学定期券の購入時等に提示を求められたときに提示できるよう、常に携帯するようにして下さい。

（1）再交付

学生証を紛失又は破損等した場合は、速やかに教務課 湯島学位審査グループ（1 号館西 1 階）に申し出て、再交付の手続きを行って下さい。

再交付には費用がかかりますので注意してください。また再交付まで約 1 ヶ月近くの期間を要します。

（2）返却

卒業、退学、除籍、又は有効期間が経過した場合は、速やかに学生証を湯島学位審査グループに返却して下さい。なお、返却できない場合は費用を負担することになります。

4 証明書等

証明書等は湯島教務室 歯学教務グループまたは口腔保健教務グループにて発行するものと、自動発行機にて発行するものがあります。

(1) 歯学教務グループまたは口腔保健教務グループで発行するもの

(受付時間：8：30～17：15)

次に掲げるものは、歯学教務グループまたは口腔保健教務グループで発行しますので証明書交付願を提出して下さい。(交付は、原則として、提出のあった日の7日～10日後(休日を含まない)となります。)

①成績証明書

②卒業見込証明書(英文) ※ただし最終学年の在学者のみ申請可能

③在学証明書(英文)

※その他：上記以外の証明書等については、個別に歯学教務グループまたは口腔保健教務グループに相談して下さい。

(2) 自動発行機(利用時間：月～金 8：30～21：00)

在学証明書・卒業見込み証明書(最終学年在籍者のみ)は、学生談話室(5号館4階)に設置されている[自動発行機]にて発行します。

(問い合わせ先) 教務課 湯島学位審査グループ(03-5803-5074)

5 学生旅客運賃割引証(学割証)

(1) 概要

学生が課外活動又は帰省などでJR線を利用する場合、乗車区間が片道100kmを超えるときに旅客運賃の割引(2割)を受けることができます。

この制度は、修学上の経済的負担を軽減し、学校教育の振興に寄与することを目的とするものなので、計画的に使用すること。(年間使用限度：10枚/人)

(2) 注意事項

次に掲げる行為があったときは、普通運賃の2倍の追徴金を取られるばかりでなく本学の全学生に対する学割証の発行が停止されることがありますので、乱用又は不正に使用することのないよう注意して下さい。

①他人名義の学割証を使って乗車券を購入したとき

②名義人が乗車券を購入し、これを他人に使用させたとき

③使用有効期間を経過したものを使用したとき

(3) 学割証の発行

学割証は、学生談話室（5号館4階）に設置されている「自動発行機」にて発行します。

（利用時間：8：30～21：00）

（問い合わせ先）湯島学生支援室 学生支援総括グループ（03-5803-5077）

6 住所・氏名等の変更

本人又は保証人等の住所・本籍又は氏名等（電話番号を含む。）に変更が生じた場合は、速やかに歯学教務グループまたは口腔保健教務グループに申し出て所定の手続きをとって下さい。

この手続きを怠った場合、大学から本人又は保護者等に緊急に連絡する必要があるが生じても連絡が取れないので注意して下さい。

7 休学、復学、退学、公欠、欠席

(1) 休学

傷病や家庭の事情等を事由として、2か月以上休学する場合は、「休学願」を歯学教務グループまたは口腔保健教務グループに提出し、学長の許可を受けて下さい。（最大申請期間は1年以内の月末となります。）

なお、傷病を事由とした休学を願い出る場合は、医師の診断書の添付が必要となります。

休学を許可される期間は、通算して3年（36か月）を超えることができません。

※休学を願い出る場合は2か月以上前までに歯学教務グループまたは口腔保健教務グループに連絡を行うこと。

(2) 復学

休学している学生が、復学をする場合は許可を受けた休学期間が満了する場合は自動復学となります。

ただし、傷病を事由とした休学をしている場合は期間満了の場合も自動復学とはならず、「復学願」の提出が必要となります。（医師の診断書と保健管理センター発行の復学に関する意見書を添付する必要があります。）

また、休学許可期間の途中で復学を希望する場合は、その事由を問わず、「復学願」を歯学教務グループまたは口腔保健教務グループに提出し、学長の許可を受けて下さい。

※復学を願い出る場合は2か月以上前までに歯学教務グループまたは口腔保健グループに連絡を行うこと。

(3) 退学

本学を退学しようとする場合は、「退学願」を歯学教務グループまたは口腔保健教務グループに提出し、学長の許可を受けて下さい。

※退学を願い出る場合は2か月以上前までに歯学教務グループまたは口腔保健教務グループに

連絡を行うこと。

(4) 公欠

「東京科学大学における公欠の制度に関する要項」で公欠として認められる事由に該当し授業等を欠席する（した）場合は「公欠届」を歯学教務グループまたは口腔保健教務グループに提出して下さい。

公欠として認められる事由と必要添付書類及び届出時期は次の通りです。

公欠事由	公欠として認められる期間の目安	必要添付書類	届出時期の目安
(1) 学校保健安全法施行規則（昭和 33 年 6 月 13 日文科省令第 18 号。以下「施行規則」という。）第 18 条に規定する感染症に罹患した場合、又は感染しているおそれがある場合	施行規則第 19 条に規定する出席停止の期間の基準のとおり（右記診断書等に記載されている出席停止の期間のとおり）	診断書等	公欠事由該当期間終了後 5 日以内
(2) 親族（配偶者及び 2 親等以内の親族に限る。以下同じ。）が死亡した場合	配偶者及び 1 親等（父母・子）を含む。）	会葬礼状等	公欠事由該当期間終了後 5 日以内
	2 親等（祖父母・兄弟・姉妹・孫）を含む。）		
(3) 裁判員制度による裁判員若しくは裁判員候補者又は検察審査会制度による検察審査員若しくは補充員に選任された場合	裁判所または検察審査会事務局からの通知書その他の事実が確認できる書類に記載のある期間	裁判所又は検察審査会からの通知書等	書類到着後から公欠事由期間開始前まで
(4) 被災等により通学が困難と学長が認めた場合	学長が必要と認めた期間	罹災証明書等	公欠事由発生後、相当の期間内

(5) 欠席届

公欠に該当しない事由により、授業等を欠席した場合は「授業欠席届」を欠席期間の最終日から原則として 5 日以内に歯学教務グループまたは口腔保健教務グループに提出することができます。

8 台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置（湯島地区）

湯島地区において、台風等の自然災害や交通機関運休に伴う授業の休講・試験の延長を決定した場合は、大学ホームページ「学生生活」トップページのお知らせ欄に掲載します。

（参考 URL）<https://www.tmd.ac.jp/faculties/kyukou/>

9 安否確認システムについて

安否確認システム（エマージェンシーコール）は、地震や火災をはじめとする災害等に際し、学生・教職員の安否確認等を行うためのものです。各自、登録マニュアルご参照のうえ、下記の登録サイトにアクセスし、緊急連絡先の登録を行ってください。

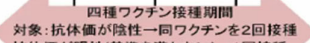
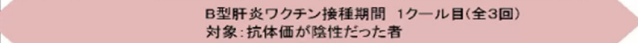
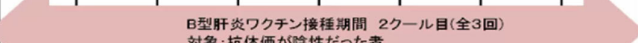
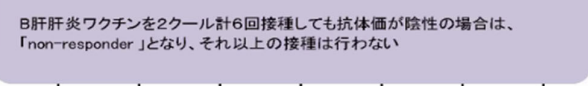
安否確認システム <https://www.gsmc.titech.ac.jp/anpi/anpi.html>

10 実習要件となる検査、ワクチン接種

歯学科、口腔保健学科の教育課程の中には臨地実習（附属病院をはじめ、近隣の医療機関等、臨床の現場で行う実習）が含まれます。こうした実習に参加するために、医学部、歯学部では実習要件を設定しています。

（参考 URL）https://www.tmd.ac.jp/hsc/74_59cdef94be987/

必要となる検査やワクチン接種の機会は全て大学で用意されています。期間内に参加できない場合は外部の医療機関にて実費対応をする必要が生じますので、検査や健康診断、ワクチン接種の案内を見逃さず、必ず参加する様にしてください。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	 四種抗体検査 麻疹/風疹/ 流行性耳下腺炎/水痘 （対象：全員）		 1回目			 2回目						
		 四種ワクチン接種期間 対象：抗体価が陰性→同ワクチンを2回接種 抗体価が陽性（基準を満たす）→1回接種										
2年	 B型肝炎抗原抗体検査 （対象：全員）	 1回目		 2回目					 3回目			
	 T スポット、TB検査 （対象：全員）	 B型肝炎ワクチン接種期間 1クール目（全3回） 対象：抗体価が陰性だった者										
3年	 B型肝炎抗原抗体検査 （対象：2年次にB肝ワクチン 1クール目を接種した者）	 1回目		 2回目					 3回目			
		 B型肝炎ワクチン接種期間 2クール目（全3回） 対象：抗体価が陰性だった者										
4年	 B型肝炎抗原抗体検査 （対象：2年でB肝ワクチン	 B型肝炎ワクチンを2クール計6回接種しても抗体価が陰性の場合は、 「non-responder」となり、それ以上の接種は行わない										

11 ユニット試験時の注意事項

歯学科、口腔保健学科専門科目定期試験（筆記試験）時には定期試験時の注意事項に従ってください。遵守しない場合には不正行為を行ったとみなされます。

参考：東京科学大学学生の懲戒等に関する規程（抜粋）

（定期試験等における不正行為）

第7条 定期試験等における不正行為を行った学生が、当該不正行為を行った学期に受験した定期試験等は全て無効とし、当該学期に履修した授業科目の成績を0点又は不合格とする。ただし、学期又は学年

をまたぎ開講される授業科目の取扱いとは別に定める。

2 定期試験等における不正行為を行った学生は、当該不正行為を行った学期において、新たに授業科目の履修は認めないものとする。

12 ロッカーの貸与

各人にロッカーを貸与します。私物は講義室等に置かず、全てロッカーに保管して下さい。

教室及びロッカー室内での盗難が多発しているため、貴重品等の管理は厳重にして下さい。

また、各人の責による備品等の破損については、各人の負担により現状に復して下さい。

13 授業中（大学行事や課外授業を含む）の本人及び賠償責任が伴う事故等

歯学部学生は入学時に「学校教育災害傷害保険」（学研災）及び「医学生教育研究賠償責任保険」（医学賠）に加入しています。

なお、針刺し事故が起こった場合は、湯島学生支援室 学生支援総括グループ（5号館3階：03-5803-5077）へ連絡のうえ指示を受けてください。

ただし、他人に対する針刺し事故については上記の「医学賠」保険の対象となります。

さらに補償を手厚くしたい方には、生協の保険（coop 学生総合共済）があります。

14 遺失物及び拾得物

学内での遺失物又は拾得物の届出は以下のとおりとなります。

- ・遺失または拾得した建物の防災センターまたは守衛所

15 各種事務手続きの窓口一覧

① 湯島地区の教務事務

【歯学科学生】湯島教務室 歯学教務グループ（1号館西1階：03-5803-5411）

【口腔保健学科学生】湯島教務室 口腔保健教務グループ（1号館西1階：03-5803-5104）

② 授業料の納入・・・経理課収入第2グループ（緑が丘地区3号館：03-5803-5042）

③ 奨学金・授業料免除・・・湯島学生支援室 学生支援総括グループ（5号館3階：03-5803-5077）

④ 学生証発行・・・教務課 湯島学位審査グループ（1号館西1階：03-5803-5074）

⑤ 大学メール・・・情報基盤課 ITサポート第2グループ

（6号館2階：03-5803-5599）

⑥ 図書館の利用・・・図書館利用支援課 御茶ノ水図書館グループ

（M&Dタワー3階：03-5803-5596）

⑦ 針刺し事故・・・湯島学生支援室 学生支援総括グループ（5号館3階：03-5803-5077）

講義室等一覧

【5号館】

福利厚生給与課	職員健康管理グループ	(3階)
湯島学生支援室	学生支援総括グループ	(3階)
湯島学生支援室	湯島保健管理センターグループ	(2階)
生協食堂		(1階)
生協購買図書部		(地下1階)

【2号館】

リフレッシュルーム (3階)
 第1講義室 (2階)
 第2講義室、第3講義室 (3階)
 第1-4実習室 (4階)
 リアルモドラボ (3階)
 CAD/CAM実習室、総合実習室 (4階)



【M & Dタワー】

鈴木章夫記念講堂 (2階)
 図書館 (3階)
 情報検索室1・2 (4階)

【1号館】

教務課 口腔保健教務グループ (1階)
 教務課 学位審査グループ (1階)
 グリルセインツ (9階)
 リフレッシュルーム (7階)
 第1-3講義室 (7階)
 第4講義室 (8階)
 基礎科学実習室 (7階)
 臨床基礎実習室・相互実習室 (8階)

歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻 教員連絡先一覧

医歯学総合研究科	分野名	氏名	メールアドレス
	生涯口腔保健衛生学分野	竹内 康雄	takeuchi.peri@tmd.ac.jp
		駒津 匡二	komatsu.peri@tmd.ac.jp
	健康支援口腔保健衛生学分野	樺沢 勇司	kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp
		伊藤 奏	ito.ocsh@tmd.ac.jp
		Liao Shin-Ru	liao.ocsh@tmd.ac.jp
	口腔疾患予防学分野	木野 志保	kino.s.f304@m.isct.ac.jp
		池川 麻衣	ikegawa.mai@tmd.ac.jp
	地域・福祉口腔機能管理学分野	松尾 浩一郎	matsuo.ohcw@tmd.ac.jp
		日高 玲奈	n-rena.ohcw@tmd.ac.jp
	口腔健康教育学分野	高橋 礼奈	rtakahashi.ope@tmd.ac.jp
		内田 佳代	kayo.uchida@md.isct.ac.jp

2026 年度学年別担当教員

口腔保健学科口腔保健衛生学専攻

担 当 学 年	氏 名
第 1 学年担当	日高 玲奈
第 2 学年担当	池川 麻衣
第 3 学年担当	内田 佳代
第 4 学年担当	伊藤 奏、Liao Shin-Ru

お知らせ

授業日程は、適宜変更となります。

最新のものは、isctLMS、及びキャンパス教育支援システムより、ご確認ください。

第 1 学年
履修科目

時間割番号	022480A					
科目名	人体の構造と機能 I (ユニット)			科目 ID		
担当教員	樺沢 勇司, 武智 正樹, 藤川 芳織[KABASAWA Yuji, TAKECHI Masaki, FUJIKAWA Kaoru]					
開講時期	2026 年度後期	対象年次	1			
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目	
科目名: 人体の構造と機能 ユニット番号: 1201 ユニット名: 人体の構造と機能 I 授業形態: 講義 (遠隔授業) 時間数: 必修 1 単位・90 分×8 回 科目責任者: 樺沢 勇司 ユニット責任者: 樺沢 勇司						
主な講義場所 ・遠隔授業は自宅学習						
授業の目的、概要等 人体の正常な構造と機能を学んで、生命現象が営まれるメカニズムを分子レベルから個体レベルへと統合的に理解するとともに、組織および器官の発生のしくみと成長と加齢に伴う変化ならびに生体の恒常性維持機構について理解する。						
授業の到達目標 ・人体を構成する細胞の構造と働きならびに遺伝子の役割を説明する。 ・人体の発生と発達の概要を説明する。 ・上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織の特徴と役割を説明する。 ・運動器(骨格系と筋系)の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/28	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	組織と発生	人体の構造と機能を学ぶにあたって、I 編 組織と発生 1 章 細胞と組織	樺沢 勇司, 武智 正樹
2	9/28	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期型)	組織と発生	人体の構造と機能を学ぶにあたって、I 編 組織と発生 1 章 細胞と組織	樺沢 勇司, 武智 正樹
3	10/5	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	構造と機能	Ⅱ 編 構造と機能 1 章 骨格系	樺沢 勇司, 武智 正樹
4	10/5	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期型)	構造と機能	Ⅱ 編 構造と機能 1 章 骨格系	樺沢 勇司, 武智 正樹
5	10/13	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	構造と機能	Ⅱ 編 構造と機能 3 章 消化・吸収	樺沢 勇司, 武智 正樹, 藤川 芳織
6	10/13	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期型)	構造と機能	Ⅱ 編 構造と機能 3 章 消化・吸収	樺沢 勇司, 武智 正樹, 藤川 芳織
7	10/20	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	構造と機能	Ⅱ 編 構造と機能 4 章 循環	樺沢 勇司, 武智 正樹, 藤川 芳織
8-11	10/23	08:50-12:25	遠隔授業	構造と機能	Ⅱ 編 構造と機能 5 章 感覚(特殊	樺沢 勇司,

			(非同期型)		感覚以外)	武智 正樹
12	11/10	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	構造と機能	Ⅱ 編 構造と機能 6章 中枢神経	樺沢 勇司, 武智 正樹
13	11/10	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期型)	構造と機能	Ⅱ 編 構造と機能 6章 伝導路	樺沢 勇司, 武智 正樹
14	11/17	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	構造と機能	Ⅱ 編 構造と機能 9章 内分泌	樺沢 勇司, 武智 正樹
15	11/17	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期型)	構造と機能	Ⅱ 編 構造と機能 9章 内分泌	樺沢 勇司, 武智 正樹
16	11/17	10:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	最終レポート課題	最終レポート課題の発表	樺沢 勇司

授業方法

遠隔講義(非同期型)を基本とする。

授業内容

- ・授業スケジュールの授業明細に記載。
- ・必要に応じて小テスト、課題演習を行う。

成績評価の方法

- ・最終課題で、理解度・習得度を評価する。小テスト、課題演習の評価も加える。

成績評価の基準

- ・学習の評価 B 以上を得るには、最終レポートで合格するように努めること。

準備学習等についての具体的な指示

- ・教科書は必ず購入して学習を進める事。
- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・事前に資料の配付、e ラーニングシステムへのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

- ・授業時間数(講義動画)の 3 分の 2 以上履修した者(ドリームキャンパスで確認すること)。

教科書

人体の構造と機能／全国歯科衛生士教育協議会,前田, 健康, 1959-,井上, 富雄, 口腔科学,山根, 瞳,畠中, 能子,山田, 小枝子, pub.2020,全国歯科衛生士教育協議会 監修,前田健康, 井上富雄 ほか 著,前田健康 [ほか] 編集:医歯薬出版, 2022.2
口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 : 歯・口腔の構造と機能／前田, 健康, 1959-,増田, 裕次,山根, 瞳,遠藤, 圭子,水上, 美樹,全国歯科衛生士教育協議会,前田健康, 増田裕次 ほか 著,前田健康 [ほか] 編集:医歯薬出版, 2022.3

参考書

標準組織学各論／藤田尚男, 藤田恒夫 原著,藤田, 尚男, 1928-2014,藤田, 恒夫, 1929-2012,岩永, 敏彦, 1954-,石村, 和敬, 1949-,:医学書院, 2017
標準生理学／小澤静司, 福田康一郎 監修,本間研一, 大森治紀, 大橋俊夫, 河合康明, 黒澤美枝子, 鯉淵典之, 伊佐正 編集,小澤, 静司, 福田, 康一郎,本間, 研一, 1946-,大森, 治紀, 1950-,大橋, 俊夫, 1949-,:医学書院, 2014
ラングマン人体発生学／T.W.サドラー 著,安田峯生, 山田重人 訳,Sadler, Thomas W,安田, 峯生, 1937-,山田, 重人,:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2016
分担解剖学 第 1 巻 総説・骨学・靱帯学・筋学 改訂第 11 版／森於菟,小川鼎三,大内弘 ほか,モリオ,オガワテイゾウ,オウチヒロム,:金原出版,

1982-02-20

分担解剖学 第2巻 脈管学・神経系 改訂第11版／平沢興,岡本道雄,上サワコウオカトミヲ.:金原出版, 1983-02-10

分担解剖学 第3巻 感覚器学・内臓学 改訂第11版／小川鼎三,山田英智,養老孟司,オガワテイゾウ,ヤマダエイチ,ヨウロウタケシ.:金原出版,

1982-02-20

, 1995

履修上の注意事項

・専門科目と教養部で行われる全学共通科目は、履修規則等が異なるので、よく確認すること。 ・学科および専攻によって規則が異なる条項があるので、よく確認すること。 ・教務係および教員からの連絡の掲示(LMS を含む)および Web メールを見落とさずに確認すること。

備考

責任者:樺沢勇司 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

質問等は責任者までメールで随時行うこと。

オフィスアワー

樺沢 勇司:平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。

1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022480C						
科目名	栄養と代謝(ユニット)			科目ID			
担当教員	木野 志保, 樺沢 勇司, 渡部 徹郎, 井上 カタジナアンナ, 小林 美穂, 品田 佳世子, 吉田 直美, 池川 麻衣 [KINO Shiho, KABASAWA Yuji, WATABE Tetsuro, INOUE Katajinaanna, KOBAYASHI Miho, SHINADA Kayoko, YOSHIDA Naomi, IKEGAWA Mai]						
開講時期	2026 年度後期	対象年次	1				
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
ユニット:栄養と代謝 科目:人体の構造と機能 時間数:45 分×15 回 1 単位 授業形態:遠隔講義							
主な講義場所 遠隔授業:非同期授業(WebClass のコース内にアップロードされた動画視聴)							
授業の目的、概要等 生体の構成要素、栄養素の消化吸収、代謝と作用を説明し、口腔の健康との関連を概説する。5 大栄養素(炭水化物、脂質、タンパク質、ビタミン、ミネラル)を多く含む食品と欠乏症について説明する。基礎代謝量、エネルギー換算係数を説明する。							
授業の到達目標 1)生体の構成要素を理解する。 2)栄養素の消化吸収を理解する。 3)栄養素の代謝、作用を理解する。 4)生体における恒常性の維持を理解する。 5)食品に多く含まれる栄養素を知り、欠乏症を説明できる。 6)基礎代謝量、エネルギー換算係数を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/29	8:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	栄養と代謝の総論	栄養と代謝の総論	品田 佳世子	6)基礎代謝量、エネルギー換算係数を説明できる。
3	10/6	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期型)	ミネラルおよび食物繊維、不飽和脂肪酸の吸収、代謝、作用	ミネラルおよび食物繊維、不飽和脂肪酸の吸収、代謝、作用	品田 佳世子	2)栄養素の消化吸収を理解する。 3)栄養素の代謝、作用を理解する。 5)食品に多く含まれる栄養素を知り、欠乏症を説明できる。
4-5	10/9	8:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	歯と歯周組織の生化学	歯と歯周組織の生化学	樺沢 勇司	1)生体の構成要素を理解する。
6-7	10/16	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	ビタミンの吸収、代謝、作用	ビタミンの吸収、代謝、作用	品田 佳世子	2)栄養素の消化吸収を理解する。 3)栄養素の代謝、作用を理解する。

[illegible]

2 年生の科目:食生活教育の基礎的知識

備考

責任者:木野志保 連絡先 shiho.kino.ohp@tmd.ac.jp

オフィスアワー

木野 志保毎週火曜日 10:00～17:00 1 号館西 8 階 口腔疾患予防学分野・教授室

時間割番号	022490B					
科目名	歯の形態学(ユニット)			科目ID		
担当教員	樺沢 勇司, 武智 正樹[KABASAWA Yuji, TAKECHI Masaki]					
開講時期	2026 年度後期	対象年次	1			
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目	
科目名:歯・口腔の構造と機能 ユニット番号:2205 ユニット名:歯の形態学 授業形態:講義(遠隔授業)と実習・演習 時間数:必須 1 単位・30 時間(演習) 科目責任者:樺沢 勇司 ユニット責任者:樺沢 勇司						
主な講義場所 ・遠隔授業は自宅学習						
授業の目的、概要等 歯の種類と形態的特徴および役割、頭蓋と顎関節および頭頸部の諸器官の構造を互いに関連付けて学び、歯と口腔の役割を包括的に理解するとともに、顎・顔面・口腔領域の健康と全身の健康との相互関係について理解を深める。						
授業の到達目標 ・ 口腔の構造とはたらきについて説明する。 ・ 歯と歯周組織の構成要素ならびに役割について説明する。 ・ 歯と歯列の方向用語、歯の形態を表す用語について説明する。 ・ 歯の分類と表記方法について説明する。 ・ 永久歯の種類ごとに歯冠と歯根の形態について説明する。 ・ 永久歯の種類と上下左右の区別について説明する。 ・ 乳歯の種類ごとに歯冠と歯根の形態について説明する。 ・ 乳歯の種類と上下左右の区別について説明する。 ・ 歯の形態について立体的に表現する。 ・ 頭蓋を構成する骨の種類と形態および顎関節の構造について説明する。 ・ 頭頸部の筋の種類と起始・停止、支配神経と作用を説明する。 ・ 頭頸部の動・静脈、リンパ系について説明する。 ・ ヒトの歯の形態と顎運動を互いに関連付けて説明する。 ・ 口腔諸器官の機能と全身の正常機能とを関連づける。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	10/2	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	永久歯の解剖学、乳歯の解剖学	Ⅱ編2章 歯の形態	樺沢 勇司, 武智 正樹
3-4	10/9	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	永久歯の解剖学、乳歯の解剖学	Ⅱ編2章 歯の形態	樺沢 勇司, 武智 正樹
5-6	10/26	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	永久歯の解剖学、乳歯の解剖学	Ⅱ編2章 歯の形態	樺沢 勇司, 武智 正樹
7-8	11/9	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	永久歯の解剖学、乳歯の解剖学	Ⅱ編2章 歯の形態	樺沢 勇司, 武智 正樹

9-10	11/13	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	永久歯の解剖学、乳歯の解剖学	Ⅱ 編 2 章 歯の形態	樺沢 勇司、 武智 正樹
11-12	11/24	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	永久歯の解剖学、乳歯の解剖学	Ⅱ 編 2 章 歯の形態	樺沢 勇司、 武智 正樹
13-15	12/11	13:30-16:10	遠隔授業 (非同期型)	永久歯の解剖学、乳歯の解剖学	Ⅱ 編 2 章 歯の形態	樺沢 勇司、 武智 正樹

授業方法

・授業は講義と実習を合わせて行い、ドリームキャンパスで授業日程の講義棟・講義室欄に授業形式が表示されている。

授業内容

授業スケジュールの授業明細に記載。

成績評価の方法

・最終課題で理解度・習得度を評価する。

・実習の履修状況は、参加態度、出された課題への提出物、提出レポート、等で評価する。

・出席状況、授業態度、小テスト、提出物、提出レポート、等を評価に加味する。

成績評価の基準

・評価 B 以上

準備学習等についての具体的な指示

・教科書は必ず購入し、それをもとに学習を行う事。

・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。

・事前に資料の配付、e ラーニングシステムへのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

・原則として授業時間数(講義動画)の 3 分の 2 以上履修した者。

最終課題にて理解度を評価する。

教科書

歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学／一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会:医歯薬出版、2022

人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学／一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会:医歯薬出版、2022

参考書

歯の解剖学／藤田恒太郎 原著、藤田、恒太郎、1903-1965、桐野、忠大、1915-、山下、靖雄、1945-、:金原出版、1996

分担解剖学 第 1 巻 総説・骨学・靱帯学・筋学 改訂第 11 版／森於菟、小川鼎三、大内弘 ほか、モリオト、オガワテイゾウ、オウチヒロム、:金原出版、1982-02-20

分担解剖学 第 2 巻 脈管学・神経系 改訂第 11 版／平沢興、岡本道雄、ヒラサワウオカモトミチオ、:金原出版、1983-02-10

分担解剖学 第 3 巻 感覚器学・内臓学 改訂第 11 版／小川鼎三、山田英智、養老孟司、オガワテイゾウ、ヤマダエイチ、ヨウロウタケシ、:金原出版、1982-02-20

履修上の注意事項

・専門科目は、教養部で行われる全学共通科目とは履修規則等が異なるので、よく確認すること。 ・学科および専攻によって規則が異なる条項があるので、よく確認すること。 ・教務係および教員からの連絡の掲示(掲示板、LMS)および Web メールを見落とさずに確認すること。

備考

責任者:樺沢勇司 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

質問等は責任者までメールで随時行うこと。

オフィスアワー

樺沢 勇司:平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。

1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022205						
科目名	公衆衛生学			科目 ID	DH130200L		
担当教員	木野 志保 吉田 直美 池川 麻衣[KINO Shiho, YOSHIDA Naomi, IKEGAWA Mai]						
開講時期	2026 年度後期	対象年次	1	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
科目名:公衆衛生学 時間数:45 分×15 1 単位 授業形態:遠隔講義 (Zoom 同期型の課題発表を含む)							
主な講義場所 遠隔授業:非同期授業(WebClass のコース内にアップロードされた動画視聴)、同期授業 (Zoom による課題発表)							
授業の目的、概要等 【授業目的】 公衆衛生学の基礎を理解・習得する。 【概要】 健康、疫学、人口、環境、感染症、食品と健康などの基本事項を理解し、公衆衛生課題の解決やヘルスプロモーションや予防医学を実践するための基礎的知識の習得と新たな発想を展開する方法を学ぶ。							
授業の到達目標 1)健康の概念を説明できる。 2)疫学について説明できる。 3)人口統計について説明できる。 4)環境による健康への影響を説明できる。 5)感染症の概念および感染成立の三要因について説明できる。 6)食品衛生について理解する。 7)公衆衛生課題を認識し、その対策について考察できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	11/10	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	健康の概念	健康の概念	木野 志保	1)健康の概念を説明できる。
3-4	11/17	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	疫学	疫学	木野 志保	2)疫学について説明できる。
5-6	11/24	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	人口	人口	木野 志保	3)人口統計について説明できる。
7-9	12/1	13:30-16:10	遠隔授業 (非同期型)	健康と環境	健康と環境	木野 志保	4)環境による健康への影響を説明できる。
10-11	12/8	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	感染症	感染症	木野 志保	5)感染症の概念および感染成立の三要因について説明できる。
12-13	12/15	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	食品と健康	食品と健康	木野 志保	6)食品衛生について理解する。
14-15	1/12	13:30-15:10	遠隔授業	公衆衛生課題とその政	公衆衛生課題とその政策に関する	木野 志保	7)公衆衛生課題

			(同期型)	策に関する発表	る発表		を認識し、その対策について考察できる。
16	1/19	13:30-14:15	口腔保健 学科第4 講義室	試験	試験	木野 志保	1)~6)についての知識確認
17	1/26	13:30-14:15	口腔保健 学科第4 講義室	再試験	再試験	木野 志保	1)~6)についての知識確認

授業方法
非同期授業が主であり、WebClass のコース内にアップロードされた授業動画を視聴する。ただし、Zoom 同期授業による課題発表もある。

授業内容
別表のとおり。

成績評価の方法
授業動画の視聴記録および練習問題への回答を以て、授業参加とみなす。
授業の参加状況・練習問題の回答・課題発表・試験により総合的評価を行う。

成績評価の基準
授業の参加状況・練習問題の回答・課題発表・試験により、授業に関する知識が習得されていることを判断し、全体で60点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示
事前に資料の配布、webclass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格
3分の2以上の出席を必要とする。

教科書
保健生態学／可児徳子ほか著、可児 徳子、:医歯薬出版、2019

参考書
:医歯薬出版、2019

他科目との関連
2 年生の口腔疾患予防学基礎 I、食生活教育、3 年生の社会調査の基礎と関連あり。

備考
責任者:木野志保 連絡先 shiho.kino.ohp@tmd.ac.jp

オフィスアワー
木野 志保毎週火曜日 10:00~17:00 1 号館西 8 階 口腔疾患予防学分野・教授室

時間割番号	022500						
科目名	社会保障			科目ID			
担当教員	樺沢 勇司, 日高 玲奈, 金原 明子[KABASAWA Yuji, HIDAKA Rena, KANEHARA Akiko]						
開講時期	2026 年度後期	対象年次	1	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	対面		
主な講義場所 1 号館 7 階第 3 講義室							
授業の目的、概要等 本講義では社会保障の制度体系・考え方について学びます。 社会保障、社会福祉の問題が、自分自身の生活と結びついていることを理解し、これら制度について考えられるようになってほしいと思います。							
授業の到達目標 SBOs 1. 社会保障制度の目的、機能と働きを説明できる。 2. 社会保障制度と私たちの生活を関連づけることができる。 3. 社会保障の各制度について説明できる。 4. 現代社会における社会保障制度の課題を説明できる。 5. 社会保障制度と保健・福祉・医療の実際を関連づけることができる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	10/6	15:25-18:00	口腔保健 学科第3 講義室	オリエンテーション	社会保障とは何か SBOs1,2	樺沢 勇司, 日高 玲奈	講義中に討論・演習を実施する。
4-6	10/13	15:25-18:00	口腔保健 学科第3 講義室	社会保障制度Ⅰ	社会保障の構造 SBOs1,2	樺沢 勇司, 日高 玲奈	講義中に討論・演習を実施する。
7-10	10/23	14:25-18:00	口腔保健 学科第3 講義室	社会保障制度Ⅱ	社会保障の国際比較、社会保障の財源、生活保護制度 SBOs1,2,4	樺沢 勇司, 日高 玲奈, 金原 明子	講義中に討論・演習を実施する。
11-13	10/26	15:25-18:00	口腔保健 学科第3 講義室	社会保障制度Ⅳ	所得保障(1 年金制度 SBOs1,2,3,4,5	樺沢 勇司, 日高 玲奈, 金原 明子	講義中に討論・演習を実施する。
14-15	11/6	15:25-17:05	口腔保健 学科第3 講義室	社会保障制度Ⅴ	所得保障(2)—医療保険制度 SBOs1,2,3,4,5	樺沢 勇司, 日高 玲奈	講義中に討論・演習を実施する。
授業方法 対面講義を原則とする。講義前に配布資料を WebClass 上に用意するので、講義の際に用意しておくこと。 講義中は毎回、演習あるいは講師との討論の時間を設ける。 講義中の質問は原則として、講義時間内に担当教員に対して行う事。 講義後の課題は原則 WebClass 上で提出を行う。 講義の動画は原則として公開しないが、課題提出等のため必要な場合には、講義についての質問も含めて担当教員(樺沢・日高)までメールにて連絡すること。							
授業内容 ・授業内での演習、振り返りシート、レポートなどで総合的に評価する。 ・授業内容について十分に理解できていること、授業内容と身の周りの出来事や私たちの社会で問題とされている事柄を関連付けて考え							

られているものをより評価する。
成績評価の方法 ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。
成績評価の基準 1) 出欠状況を基準点とする(例:100%の出席率で 100 点、80%の出席率で 80 点満点) ※60%未満しか出席しなかった場合は評価対象外とする。 2) 各回授業終了後の振り返りシートや小テスト、授業態度等 40 点 3) 講義終了後の最終レポート課題 60 点 振り返りシートや最終レポート課題の中で、課題やテーマに対して身の周りの出来事や私たちの社会で問題とされている事柄を関連付けて考えられているものをより評価する。
準備学習等についての具体的な指示 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
教科書 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み／全国歯科衛生士教育協議会:医歯薬出版, 2023.3 最新社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座／日本ソーシャルワーク教育学校連盟,日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集:中央法規出版, 2025.1
オフィスアワー 樺沢 勇司:平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。 1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022540						
科目名	メディア情報学基礎			科目ID			
担当教員	木下 淳博, 須永 昌代, 高市 敦士, 佐々木 好幸, 品田 佳世子, 樺沢 勇司, 金澤 学[KINOSHITA Atsuhiko, SUNAGA Masayo, TAKAICHI Atsushi, SASAKI Yoshiyuki, SHINADA KAYOKO, KABASAWA Yuji, KANAZAWA Manabu]						
開講時期	2026 年度後期	対象年次	1	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
科目名:メディア情報学基礎 時間数:15 時間 授業形態:講義・演習							
主な講義場所 遠隔授業 (Zoom、isct LMS)、M&D タワー 4 階 図書館内 情報検索室 (通常:3 階図書館入口より入館、試験時:4 階廊下からの入り口より入館)							
授業の目的、概要等 口腔保健活動および研究活動に必要なメディア情報処理、コンテンツ作成の基礎を修得し、演習を行う。							
授業の到達目標 1) 情報セキュリティ、著作権を理解して、口腔保健学に必要な情報処理を実践できる。 2) PC 上でプレゼンテーションファイル、静止画像、動画像を編集できる。 3) 表計算ソフトで簡単な集計ができる。 4) インターネットからの情報を適切に収集し、吟味できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/28	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	情報セキュリティと著作権	情報セキュリティ、著作権	木下 淳博 須永 昌代	到達目標:1 学習 方法:動画視聴 (終了後に課題提出)
3-4	10/5	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	メディアコンテンツ作成演習1	フリーソフトによる静止画像処理と パワーポイントによる動画作成演習	木下 淳博 須永 昌代	到達目標:2 学習 方法:動画視聴 (終了後に課題提出)
5-6	10/19	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	メディアコンテンツ作成演習 2	フリーソフトによる動画像処理演習	木下 淳博 須永 昌代	到達目標:2 学習 方法:動画視聴 (終了後に課題提出)
7-8	10/26	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	メディアコンテンツ作成演習 3	フリーソフトによる動画像処理演習	木下 淳博 須永 昌代	到達目標:2 学習 方法:動画視聴 (終了後に課題提出)
9-10	11/2	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	表計算演習	エクセルによる集計、グラフ作成演習	木下 淳博 須永 昌代	到達目標:3 学習 方法:動画視聴 (終了後に課題提出)
11-12	11/9	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	情報の収集と吟味	インターネットからの情報の収集と吟味	高市 敦士	到達目標:4 学習 方法:動画視聴 (終了後に課題提出)

木下 淳博金 16:00—17:00 3号館5階 教育メディア開発学分野

金澤 学火-金, 16:00- 18:00

1号館3階 高齢者歯科学分野学分野 Lab9

須永 昌代随時

時間割番号	022551						
科目名	多職種連携 I			科目 ID			
担当教員	樺沢 勇司, 池川 麻衣, 日高 玲奈, 鈴木 瞳, 木野 志保, 安達 奈穂子, 伊藤 奏, 吉田 直美[KABASAWA Yuji, IKEGAWA Mai, HIDAKA Rena, SUZUKI Hitomi, KINO Shiho, ADACHI Naoko, ITO Kanade, YOSHIDA Naomi]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	1	単位数	0.5		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	対面		
必修 0.5 単位							
主な講義場所 MD タワー2F 鈴木章夫記念講堂ほか							
授業の目的、概要等 医療・歯科医療において活躍する保健・医療・福祉の専門職について知り、共通する職業倫理や仕事に対する姿勢、多職種連携の重要性を学び、それぞれの将来像を共有する。患者の講演をとおして医療系大学初学者の自覚を持つ。医学部歯学部の 1 年生として、自らの知識や価値観を他学科の学生に共有することができる。また、他学科学生の役割や意見を尊重した説明や返答、問いかけができる。演習活動を行う中で、協働を実現するために自らの役割を果たすことができる。							
授業の到達目標 1. 本学初学年の学生として、自らの知識や価値観を、他学科の学生に共有することができる。 2. 本学初学年の学生として、他学科学生の役割や意見を尊重した説明や返答、問いかけができる。 3. 他学科学生との演習活動の中で、協働を実現するために、自らの役割を果たすことができる。							
R4 歯学教育モデル・コア・カリキュラム C-1-3 チーム医療 患者中心のチーム医療の重要性を理解し、他の医療従事者との連携を身に付ける。 学修目標: C-1-3-1 患者中心のチーム医療の意義を理解している。 C-1-3-2 医療チームや各構成員(歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、言語聴覚士、臨床検査技師、診療放射線技師、その他の医療職)の役割分担と連携、責任体制を理解している。 C-1-3-3 医療、保健、福祉、介護における多職種連携と歯科医師の役割を理解している。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/14	08:50-10:30	鈴木章夫記念講堂	オリエンテーション 教員講演	実習の概略説明 各学科教員から講演(学科専攻・キャリア紹介、学生に期待することなど)	樺沢 勇司, 池川 麻衣	到達目標 1-3、講義対面 事前学習:なし
3	4/14	10:45-11:30	鈴木章夫記念講堂	チームビルディング、グループワーク1	チームビルディングについて 取り組み説明 講演を聞いてグループで討論	樺沢 勇司, 池川 麻衣	到達目標 1-3、演習対面、課題提出
4	4/14	11:40-12:25	鈴木章夫記念講堂	質疑応答	教員講演に対する質問 学生質問に対して各学科専攻教員からの回答	樺沢 勇司, 池川 麻衣	到達目標 1-3、演習対面、課題提出
5	4/14	13:30-14:15	鈴木章夫記念講堂	<患者講師講演> 「多職種協働の大切さ」	患者から見た「多職種協働の大切さ」どのような医療者になってほしいか	樺沢 勇司, 日高 玲奈	到達目標 1-3、講義対面 非常勤講師:長岡亮介
6	4/14	14:25-15:10	鈴木章夫記念講堂	<グループワーク 2> 患者講師講演を踏まえて	講演を聞いてグループで討論	樺沢 勇司, 日高 玲奈	到達目標 1-3、演習対面
7	4/14	15:25-16:10	鈴木章夫	<質疑応答 2> 患	班ごとに代表学生から患者講師、	樺沢 勇司,	到達目標 1-3、講

			記念講堂	者講師講演とグループワークを踏まえて	教員へ質問 患者視点も含めた多職種連携について討論	日高 玲奈	義演習対面、課題提出
8	4/14	16:20-17:05	鈴木章夫 記念講堂	<グループワーク3> 実習全体を踏まえて 総括、事後課題に関する説明	多職種連携についてグループで討論 まとめと事後課題説明	樺沢 勇司、 日高 玲奈	到達目標 1-3、講義演習対面、課題提出、事後課題を提出すること

授業方法

講義、演習(グループワーク)

医学部歯学部の全学科全専攻の1年生(+2年次編入生)が参加し、グループに分かれて討論を行う。

課題の提出をLMSにて行うこと。

成績評価の方法

成績はグループワークへの参加態度(30%)、レポート等の個人事後課題提出物(70%)により評価する。

成績評価の基準

以下の1・2の合計点数が60点以上を合格とする。

1. 参加態度

到達目標1〜3に関連し、参加態度は、司会や書記を務め、積極的に発言しただけではなく、グループメンバーの話しやすい雰囲気を作るなど、聞く姿勢も評価の対象となる。

担当チューターによる評価を基本根拠する。 30点満点

2. 課題提出物

期日までに提出された課題を採点対象とし、講演で聞いた内容やグループワークで話し合った内容が含まれているか、自分自身の考えが描かれているかについて授業の到達目標の達成度に応じて採点する。70点満点

準備学習等についての具体的な指示

資料の配布、LMSへのアップロード等があった場合は、各自視聴すること。

課題の提出をLMSにて行うこと。

試験の受験資格

全ての授業への出席を成績評価対象の基本とし、提出された課題により評価を行う。

- ・授業に出席し、演習に参加する。
- ・演習発表資料、個人事後課題などの課題を提示された期限までに提出すること。
- ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。

これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

・1日で行われる授業のため、その欠席の際には、事情を考慮した対応を図ることがある。

他科目との関連

多職種連携Ⅱ、Ⅲへの導入科目である。

履修上の注意事項

積極的に参加すること。課題を提出すること。

備考

担当教員のオフィスアワーおよび連絡

樺沢勇司:kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

連絡先(メールアドレス)

樺沢 勇司:kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

樺沢 勇司:平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。

1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022560				
科目名	AI・データサイエンスのための数学			科目ID	
担当教員	中林 潤, 中山 まどか[NAKABAYASHI Jun, NAKAYAMA Madoka]				
開講時期	2026 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	対面
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 2-1)4-2)4-3)4-4)4-5)					
主な講義場所					
同期型遠隔授業と講義動画のオンデマンド配信					
授業の目的、概要等					
社会が高度にデジタル化され、様々な階層で大量のデータを AI を使って解析すると言ったことが盛んに行われるようになっている。これらの技術を使用するにあたって、その基礎理論をしっかりと理解しておくことが重要であるが、AI・データサイエンスの基礎理論を理解するためには、ある程度の数学的知識が必要である。					
この講義は数論など数学の基本から始めて、微積分や代数・行列など基礎数学について学び、AI やデータサイエンスを習得するために必要最低限の数理科学的基礎知識、つまり数理リテラシーを身につけることを目的としている。					
授業の到達目標					
数論や微積分、代数・行列などを理解し、AI・データサイエンスを習得するのに必要な数学的基礎知識を身につける。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1-2	9/17	10:45-12:25		中林 潤	
3-4	9/24	10:45-12:25		中林 潤	
5-6	10/1	10:45-12:25		中林 潤	
7-8	10/8	08:50-10:30		中林 潤	
9-10	10/22	08:50-10:30		中林 潤	
11-12	11/5	08:50-10:30		中林 潤	
13-14	11/19	08:50-10:30		中林 潤	
15-16	12/3	08:50-10:30		中林 潤	
17-18	12/17	08:50-10:30		中林 潤	
19-20	1/14	08:50-10:30		中林 潤	
21-22	1/20	08:50-10:30		中林 潤	
23-24	1/20	10:45-12:25		中林 潤	
25-26	1/21	08:50-10:30		中林 潤	
27-28	1/27	08:50-10:30		中林 潤	
29-30	1/28	10:45-12:25		中林 潤	
授業方法					
授業の前半にスライドを使って講義を行い、後半に課題の演習を行う。					
授業内容					
数論, 微積分, 変分, 代数, 行列, 確率, 統計					
成績評価の方法					
出席状況＋授業中の態度＋授業内課題(40%), 最終レポートの点数(60%)を勘案して総合的に評価する。期末試験の筆記試験は行わない。					
成績評価の基準					
「東京科学大学全学共通科目履修規則」に従う					
準備学習等についての具体的な指示					
特に準備学習は不要である。授業後半の課題をしっかりと行い、毎回の講義内容を身につけることが重要である。授業中に疑問が生じた場合、その場で質問して解消しておく。					
試験の受験資格					
講義全体の 2/3 以上に出席すること。出席は授業内の課題の提出で確認する。					

参考書

Python で体感医療と AI はじめの一步：糖尿病・乳がん・残存歯のデータ、肺の X 線画像を使って機械学習・深層学習を学ぶ体験型入門書／宮野 悟, 1954-, 中林 潤, 木下 淳博, 歯学, 須藤 毅頭, 宮野悟 監修, 中林潤, 木下淳博, 須藤毅頭 編集: 羊土社, 2024.9

他科目との関連

「医療と AI・ビッグデータ入門」の講義を理解し、実習を行うための基礎知識となる。

オフィスアワー

中林 潤: 月曜～金曜

A.M.10:00 – P.M. 05:00

国府台キャンパス 4 階 教官研究室—9

時間割番号	022570				
科目名	医療と AI・ビッグデータ入門			科目 ID	
担当教員	宮野 悟, 高橋 邦彦, 坂内 英夫, 清水 秀幸, 朱 欣, 江花 有亮, 曹 日丹, 田畑 寛治, 中林 潤, 木下 淳博, 須藤 毅顕, 平川 晃弘, 角 勇樹, 森田 久美子, 竹内 康雄, 土田 優美, 河原 智樹, 徳永 伸一, 中山 まどか, 原田 芽衣[MIYANO Satoru, TAKAHASHI Kunihiro, BANNAI Hideo, SHIMIZU Hideyuki, SHU Kin, EBANA Yusuke, CAO Ridan, TABATA Kanji, NAKABAYASHI Jun, KINOSHITA Atsuhiro, SUDO Takeaki, HIRAKAWA Akihiro, SUMI Yuki, MORITA Kumiko, TAKEUCHI Yasuo, TSUCHIDA Yumi, KAWAHARA Tomoki, TOKUNAGA Shinichi, NAKAYAMA Madoka, HARADA Mei]				
開講時期	2026 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目
主な講義場所 同期型遠隔授業と講義動画のオンデマンド配信					
授業の目的、概要等 今後のデジタル社会の基礎知識として捉えられている数理・データサイエンス・AI の基礎的素養を習得する。 なぜ、数理・データサイエンス・AI を学ぶのか、社会でどのように活用され新たな価値を生んでいるのかという全体像の把握と、健康・医療分野での AI の活用事例を学ぶ。 将来的に保健医療分野における AI 技術研究を自ら進めるもしくは企業等の技術者と共同で AI 技術開発を推進する機会を得た際に必要となる素養を習得する。					
授業の到達目標 ・社会で起きている変化を理解し、数理・データサイエンス・AI を学ぶことの意義を説明できる。 ・AI を活用した新しいビジネス/サービスを説明できる ・どんなデータが集められ、どう活用されているかを説明できる。 ・データ・AI を活用するために使われている技術を概説できる。 ・データ・AI を活用することによって、どのような価値が生まれているかを説明できる。 ・データ・AI 利活用における最新動向(ビジネスモデル、テクノロジー)を説明できる。 ・データ利活用プロセスを体験し、データを解析して考察できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1-2	10/8	10:45-12:25	遠隔授業 (同期型)	宮野 悟	
3-4	10/15	10:45-12:25	遠隔授業 (同期型)	宮野 悟	
5-6	10/22	10:45-12:25	遠隔授業 (同期型)	宮野 悟	
7-8	10/29	10:45-12:25	遠隔授業 (同期型)	宮野 悟	
9-10	11/5	10:45-12:25	遠隔授業 (同期型)	宮野 悟	
11-12	11/12	10:45-12:25	遠隔授業 (同期型)	宮野 悟	
13-14	11/19	10:45-12:25	遠隔授業 (同期型)	宮野 悟	
15-16	11/26	10:45-12:25	遠隔授業 (同期型)	宮野 悟	
17-18	12/3	10:45-12:25	遠隔授業 (同期型)	宮野 悟	

19-20	12/10	10:45-12:25	遠隔授業 (同期型)	宮野 悟
21-22	12/17	10:45-12:25	遠隔授業 (同期型)	宮野 悟
23-24	1/7	10:45-12:25	遠隔授業 (同期型)	宮野 悟
25-26	1/14	10:45-12:25	遠隔授業 (同期型)	宮野 悟
27-28	1/21	10:45-12:25	遠隔授業 (同期型)	宮野 悟
29-30	1/27	10:45-12:25	遠隔授業 (同期型)	宮野 悟
授業方法 ・前半は講義、後半は自分の PC で演習を行う。				
授業内容 AI・数理・データサイエンスに関する概論講義、実習 社会におけるデータ・AI 利活用に関する講義: 社会に起きている変化、社会で活用されているデータ、データ・AI の活用領域、データ・AI 利活用のための技術、データ・AI 利活用の現場、データ・AI 利活用の最新動向など データ解析実習: データハンドリング、機械学習など				
成績評価の方法 ・本科目では試験を実施せず、各講義および演習後の課題によって成績評価を行う。すべての課題を期限内に提出すれば、80 点以上の成績を得ることができます。 ・最終回終了時まで、以下の授業評価アンケートに回答していることを成績評価の前提とする。本科目では、学生の授業評価を基に、講義内容や演習内容の見直しを行う。 昨年度の授業評価にて「非同期動画視聴後に質問ができるチャットのようなものがあつたらよかったと感じた。」との意見があつたため、各回の課題には自由記述欄を設け、授業内容に関する質問や意見を随時受け付ける。また、「zoom の授業内だけではなく、提出課題などで挙げられた質問も取り扱っていただきたい」との意見があつたため、課題後に提出された質問には、次回演習内または補足資料にて回答する。 ○医学科の学生:「M1 コース評価アンケート 2026」の「2026 年度「医療と AI・ビッグデータ入門」コース評価」 ○保健衛生学科看護学専攻の学生:「科目評価(旧 科目別授業評価アンケート)【保健衛生学科】2026」の「科目評価 看護 1 年「医療と AI・ビッグデータ入門」」 ○保健衛生学科検査技術学専攻の学生:「科目評価(旧 科目別授業評価アンケート)【保健衛生学科】2026」の「科目評価 検査 1 年「医療と AI・ビッグデータ入門」」 ○歯学科の学生:「歯学科授業評価アンケートコース 2026」の「科目評価 医療と AI・ビッグデータ入門」 ○口腔保健学科口腔保健衛生学専攻の学生:「OH1-4 口腔保健衛生学専攻授業評価アンケートコース 2026」の「科目評価 医療と AI・ビッグデータ入門」 ○口腔保健学科口腔保健工学専攻の学生:「OE1-4 口腔保健工学専攻授業評価アンケートコース 2026」の「科目評価 医療と AI・ビッグデータ入門」				
成績評価の基準 ・課題をすべて期限内に提出し、提出課題により本科目の到達目標を全て達成したと判断された場合は、科目の評点を 80 点以上とする。 ・課題が提出されない場合は、当該授業を欠席として扱うのみならず、当該課題は 0 点として評価するので注意すること。 ・期限内に提出された課題、および期限後に再提出された課題は 100 点満点で、期限後に初めて提出された課題は 79 点満点で評価する。 ・LMS 上で提出された課題のみを評価対象とし、個別メール等で送られた課題は原則受け付けない。				

準備学習等についての具体的な指示 ・LMS にあげている動画教材を活用して予習・復習に役立てること。
試験の受験資格 ・試験は実施しないが、成績評価には講義の 2/3 の出席(課題提出)が必要である。 ・授業コマで課された課題の提出をもって、当該授業コマを出席とみなす。
教科書 Python で体感！ 医療と AI はじめの一步／宮野 悟,中林 潤,木下 淳博,須藤 毅顕,宮野 悟 監修,中林 潤 編集,木下 淳博 編集,須藤 毅顕 編集,羊土社
参考書 参考書 ・東京大学のデータサイエンティスト育成講座：Python で手を動かして学ぶデータ分析／中山浩太郎 監修,塚本邦尊, 山田典一, 大澤文孝 著,中山 浩太郎,塚本 邦尊,山田 典一,大沢 文孝, 1973-,.:マイナビ出版, 2019 ・データサイエンスの基礎／濱田悦生著；狩野裕編,濱田 悦生,狩野 裕,講談社サイエンティフィク,.:講談社, 2019 ・Python3 スキルアップ教科書/辻真吾、小林秀幸、鈴木庸氏、細川康博/技術評論社 ・みんなの Python 第4版/柴田淳/SB Creative ・新しい人工知能の教科書/多田智史、石井一夫/翔泳社 ・いちばんやさしいディープラーニング入門教室/谷岡広樹、廉鑫/ソーテック社 ・医療 AI とディープラーニングシリーズ 医用画像ディープラーニング入門 / 藤田広志/オーム社 他科目との関連 ・情報処理、数学、統計学の授業内容と密接に関わる。 履修上の注意事項 ・グループ演習および課題提出を行うので、対面授業の選択学生を含めて参加者は PC 持参を原則とする。 備考 ・実習では 1 人 1 台のコンピュータを使用する。 ・事前に LMS の資料『事前資料』に目を通しておくこと
オフィスアワー 中林 潤,月曜～金曜 A.M.10:00 – P.M. 05:00 国府台キャンパス 4 階 教官研究室—9

時間割番号	022580				
科目名	アカデミック・リテラシー			科目ID	
担当教員	木谷 真紀子[KITANI Makiko]				
開講時期	2026 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	対面
【科目責任者】木谷 真紀子					
別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する					
別表 1-3)人間の歴史的営みを理解する					
別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る					
別表 1-6)優れた芸術作品に触れて完成を高める					
別表 1-7)人間の心への理解を高める					
別表 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる					
別表 3-2)自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける					
主な講義場所					
国府台キャンパスにて対面で実施予定。					
授業の目的、概要等					
「アカデミック・リテラシー」は、調査力・思考力・表現力・コミュニケーション能力を総合的に向上させ、高校までの学習に対する受動的な意識から、大学生の主体的な学びの意識へと早期に転換させることを目指す取り組みである。「文章表現リテラシー」「情報活用リテラシー」「口頭表現リテラシー」の三種のリテラシーを育む内容で構成され、大学生活や今後に向け、調査、分析、考察、論理的文章の執筆、またアカデミックプレゼンテーションやディスカッションなどをする能力を身につけることを目標とする。					
三つに分けて記す。					
1情報活用リテラシー：レポートや論文などアカデミックな論理的文章の執筆や、発表のために必要で正確な情報を収集し、活用できるようになる。					
2文章表現リテラシー：複数の文献を用いて 3000 字以上の論理的文章が書けるようになる。					
3口頭表現リテラシー：PPT を用いたアカデミックプレゼンテーションができるようになる。					
授業の到達目標					
1情報活用リテラシー					
・研究倫理の観点から、情報収集のために必要なリテラシーを身につける					
・複数の情報を比較して、情報を精査する視点を得ることができるようになる					
2文章表現リテラシー					
・論理的に展開するための定型に則った文章を書けるようになる					
・自ら問いを立て、調査やデータに基いた考察分析ができるようになる					
3口頭表現リテラシー					
・論理的に展開するための口頭表現を身につけることができる					
・定型に則った明解なプレゼンテーションができるようになる					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1-2	9/17	08:50-10:30		木谷 真紀子	
3-4	9/24	08:50-10:30		木谷 真紀子	
5-6	10/1	08:50-10:30		木谷 真紀子	
7-8	10/15	08:50-10:30		木谷 真紀子	
9-10	10/29	08:50-10:30		木谷 真紀子	
11-12	11/12	08:50-10:30		木谷 真紀子	

13-14	11/26	08:50-10:30		木谷 真紀子
15-16	12/10	08:50-10:30		木谷 真紀子
17-18	1/7	08:50-10:30		木谷 真紀子
19-20	1/28	08:50-10:30		木谷 真紀子
授業方法 文章表現、情報活用、口頭表現の三種類の内容で構成し、担当者が講義を行う。受講者には、課題の執筆や口頭発表、ディスカッションなどを課す。アクティブラーニング形式で行うため、出席し、能動的な態度で臨むこと。				
授業内容 1. ガイダンス ・リテラシー授業、今後の課題について説明 ・自己紹介文執筆、提出(400字) ・文献検索と引用法について 2. 情報活用Ⅰ、文章表現Ⅰ 書評とディスカッションへの記事提出 優れた自己紹介文の紹介、メールの書き方、論理的文章の型や、レポートの描き方など説明。この授業で書く3000字のレポートについての説明。 3. 情報活用Ⅱ、口頭表現Ⅰ、文章表現Ⅱ ディスカッションで提出した記事について、他紙、全国紙、地方紙などを提出、記事内容の比較分析。情報倫理・研究倫理の要点についてZoom講義で説明。 ディスカッションについての説明の後、新聞記事に基づいたディスカッション 提出した記事から引用した論理的文章の提出。 4. 情報活用Ⅲ、文章表現Ⅲ 記事の比較分析、ディスカッションを通して考えたことなどを提出。書評記事を提出。 前回の文章の返却。それに基づいた説明。 5. 文章表現Ⅳ、口頭表現Ⅱ 第4回で提出した書評を引用し書籍を紹介する文章の提出。 アカデミックプレゼンテーションの型、スライドの作成方法など説明。 ブックトークについての説明。 6. 口頭表現Ⅲ 第4回で提出した書籍の、PPTを用いたブックトークの実施。 7. 文章表現Ⅴ、情報活用Ⅳ この授業で書く3000字のレポートについてのテーマの決定。 自分のテーマに基づく、アンケート、インタビューの実施について。 アンケート項目の検討と提出。				
成績評価の方法 情報活用の課題 20%、文章表現の課題 50%、口頭表現 20%、 期末コメントシート 10%				
成績評価の基準 (授業開始前)授業内容を把握し、学期を通して扱う書評と、ディスカッションのテーマとしたい記事を探し、初回授業で提出する。 (授業開始後)シラバスに則った課題を遅れることなく提出する。				
準備学習等についての具体的な指示 与えられた課題に取り組み、〆切を遅れず提出すること。				
試験の受験資格 授業内の課題を提出し、3分の2以上の授業に出席していること。				
教科書 授業内で指示。				

参考書

授業内で指示。

他科目との関連

グローバル教養総合講座「情報活用」。また本講義で学んだアカデミック・リテラシーを、他の授業でいかす。

履修上の注意事項

「アカデミック・リテラシー」そのものを身につける授業であるため、生成AIなどの使用が認められた場合は、不合格とする。課題は遅れることなく提出すること。授業には能動的に臨むこと。

オフィスアワー

月、金曜 12:20～13:30 管理研究棟 2 階

※原則的に上記の曜日時間としますが、事前に連絡のある学生には、上記時間外でも対応します。

時間割番号	022208						
科目名	歯科衛生学総論				科目ID	DH130500L	
担当教員	木野 志保 吉田 直美 鈴木 瞳 池川 麻衣[KINO Shiho, YOSHIDA Naomi, SUZUKI Hitomi, IKEGAWA Mai]						
開講時期	2026 年度後期	対象年次	1		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する				授業形態	メディア利用科目	
科目名: 歯科衛生学総論 時間数: 45 分×15 コマ 1 単位 授業形態: 遠隔講義および対面							
主な講義場所 遠隔講義、対面授業(シラバスを確認)							
授業の目的、概要等 歯科衛生の変遷と、歯科衛生業務に必要な専門知識・技術の概要および基本事項を理解するとともに、歯科衛生士の主要業務や歯科衛生過程の各場面で必要となる専門知識・技術の特徴を知る。							
授業の到達目標 1) 歯科衛生学とは何か、歯科衛生士の歴史と現況について学び、歯科衛生士の健康への役割について理解する。 2) 歯科衛生士法と倫理について理解する。 3) 歯科衛生実践のための理論と展開について理解する。 4) 歯科衛生士の役割と多職種連携について理解する。 5) 様々な場での歯科衛生士の活動について理解する。 6) 歯科衛生士のキャリア形成について理解する。 7) グループメンバーと積極的にコミュニケーションをとり、協働について学ぶ。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	10/5	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	歯科衛生学とは 歯科衛生の歴史と現況 歯科衛生と健康	歯科衛生学とは 歯科衛生の歴史と現況 歯科衛生と健康	木野 志保	1) 歯科衛生学とは何か、歯科衛生士の歴史と現況について学び、歯科衛生士の健康への役割について理解する。
3-4	10/13	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	歯科衛生士法と関係する法規 歯科衛生士と倫理	歯科衛生士法と関係する法規 歯科衛生士と倫理	木野 志保	2) 歯科衛生士法と倫理について理解する。
5-6	10/20	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	歯科衛生実践のための理論 歯科衛生実践の展開	歯科衛生実践のための理論 歯科衛生実践の展開	木野 志保	3) 歯科衛生実践のための理論と展開について理解する。
7-8	10/27	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	医療安全確保における歯科衛生士の役割 保健・医療・福祉の制度と多職種連携	医療安全確保における歯科衛生士の役割 保健・医療・福祉の制度と多職種連携	木野 志保	4) 歯科衛生士の役割と多職種連携について理解する。
9-10	11/6	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	災害時における歯科衛生活動 歯科衛生士の国際化	災害時における歯科衛生活動 歯科衛生士の国際化	木野 志保	5) 様々な場での歯科衛生士の活動について理解する。

11-12	11/16	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	組織活動 歯科衛生士のキャリア形成	組織活動 歯科衛生士のキャリア形成	木野 志保	6)歯科衛生士のキャリア形成について理解する。
13-15	12/15	09:45-12:25	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	演習 1,2 年生合同授業	AL 演習	木野 志保	7)グループメンバーと積極的にコミュニケーションをとり、協働について学ぶ。
16	1/19	14:25-15:10	口腔保健 学科第4 講義室	試験	試験	木野 志保	1-6)のまとめ
17	1/26	14:25-15:10	口腔保健 学科第4 講義室	再試験	再試験	木野 志保	1-6)のまとめ

授業方法

非同期授業が主であり、アップロードされた授業動画を視聴する。ただし、1, 2 年生合同対面授業もある。

授業内容

授業明細のとおり。

成績評価の方法

授業の参加状況・試験により総括的評価を行う。

成績評価の基準

授業の参加状況・試験により、授業に関する知識が習得されていることを判断し、全体で60点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

出席が2/3に満たない場合、単位は認定しない。出席要件を満たすように十分留意すること。

試験の受験資格

3分の2以上の出席を必要とする。

非同期型授業の場合は、授業動画の視聴記録を以て、授業出席とみなす。

教科書

歯科衛生学概論／合場 千佳子,全国歯科衛生士教育協議会,合場千佳子 ほか 編集:医歯薬出版, 2026.2

歯科医療倫理学／櫻則章 ほか 著,田村清美, 松井恭平, 山根瞳 編集,櫻 則章, 1956-,尾崎 哲則, 1956-,保坂 誠, 1950-,頭山 高子,田村, 清美,松井, 恭平, 1947-,山根 瞳,全国歯科衛生士教育協議会,:医歯薬出版, 2023

オフィスアワー

木野 志保,毎週火曜日 10:00～17:00 1号館西8階 口腔疾患予防学分野・教授室

時間割番号	022210						
科目名	臨床体験実習			科目ID	DH250700E		
担当教員	足達 淑子, 須永 昌代, 安達 奈穂子, LIAO SHIN RU, 駒津 匡二, 鈴木 瞳, 吉田 直美, 竹内 康雄 [ADACHI Toshiko, SUNAGA Masayo, ADACHI Naoko, LIAO SHIN RU, KOMATSU Keiji, SUZUKI Hitomi, YOSHIDA Naomi, TAKEUCHI Yasuo]						
開講時期	2026 年度 1.5 通年 (秋)	対象年次	1～2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	対面		
主な講義場所 口腔保健学科 第1 講義室・学外施設、非同期授業等							
授業の目的、概要等 多様な場における歯科衛生士の活動の見学体験を通して、歯科衛生士の専門性と社会的役割、専門職としての倫理観、態度、ならびに対人援助の基本を学ぶ。							
授業の到達目標 1.見学・体験した歯科衛生士の活動の実際について説明する。 2.歯科衛生士の専門的業務と社会的役割について説明する。 3.歯科衛生士としての倫理観、態度および対人援助の基本を説明する。 4.歯科衛生士に必要となる専門知識・専門技術の基本事項を概説する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/19	10:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	オリエンテーション	臨床体験実習の目的、スケジュール	駒津 匡二	目標 2-4 オンデマンド:授業日までに視聴すること
2-5	10/30	13:30-17:05	口腔保健学科第3講義室	地域における歯科衛生活動について	地域における歯科衛生活動について(歯科診療所・病院歯科・行政機関における活動の実際)	駒津 匡二, 安達 奈穂子	目標 2-4 口腔保健学科教員 府中市福祉保健部(山田先生) オーラルヘルスセンター(宮島先生、石井先生)からの講義
6	11/20	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期型)	歯科関連企業における歯科衛生活動	ガイダンス、事前学習	駒津 匡二	目標 1-4 オンデマンド:授業日までに視聴すること
7-10	12/4	13:30-17:05	その他	歯科関連企業における歯科衛生活動	GC インフォメーションセンター見学・実習	駒津 匡二	目標 1-4
11	1/15	10:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	本学病院における歯科衛生活動	ガイダンス、事前学習	駒津 匡二	目標 2-4 オンデマンド:授業日までに視聴すること
12-15	1/18	08:50-12:25	口腔保健学科第3講義室 口腔保健学科臨床基礎実習	本学病院における歯科衛生活動	東京科学大学病院における歯科衛生活動	駒津 匡二, LIAO SHIN RU, 須永 昌代, 足達 淑子	目標 1-4

			室 口腔 保健学科 相互実習 室				
16-18	1/18	13:30-16:10	口腔保健 学科第3 講義室	本学病院における歯科 衛生活動	東京科学大学病院における歯科 衛生活動	駒津 匡二	目標 1-4 病院紹 介:DH 和泉さん

成績評価の方法

- ・出席(20 点)、事前・事後課題レポートの内容(40 点)、グループ発表資料の内容(20 点)、授業出席時の態度と実習への取り組み姿勢(20 点)にて総合的に評価する。
- ・発表資料、レポートなどの課題を提示された際は、期限までに提出すること。

準備学習等についての具体的な指示

- ・試験規則に規定された出席要件を満たさない場合、本科目の単位は認定しない。
- ・やむをえない事情で遅刻・欠席する場合は、担当教員にその旨連絡する。
- ・事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

- ・定期試験はないが、4 分の 3 以上の出席で単位認定の最低条件とする
- ・対面実習に出席し、レポートなどの課題を提示された期限までに提出すること。

履修上の注意事項

- ・医療・福祉の現場における実習となるため、身だしなみに注意すること。身だしなみ、実習態度が不適切な場合は、実習停止とすることがある。
- ・3/4 以上の出席が必要、出席要件を満たさない場合、本科目の単位は認定しない。
- ・やむをえない事情で遅刻・欠席する場合は、担当教員にその旨連絡する。
- ・事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

備考

前年度履修学生の科目評価で、特段の改善意見がなかったため、前年度と同様の授業編成とする

オフィスアワー

駒津 匡二:月曜日 PM.5:00-PM.6:30 1 号館 8 階 814A

時間割番号	022850						
科目名	卒業研究 I			科目 ID			
担当教員	高橋 礼奈[TAKAHASHI Rena]						
開講時期	2026 年度後期	対象年次	1	単位数	0.5		
実務経験のある教員による授業				授業形態	メディア利用科目		
科目名:卒業研究 I							
授業形式:講義・演習・PBL							
主な講義場所							
遠隔授業:非同期授業(WebClass のコース内にアップロードされた動画視聴)、同期授業(Zoom)							
授業の目的、概要等							
各学生の知的興味、将来の方向性に沿って研究テーマを選択し、指導教員と相談しながら研究を遂行するための基礎的能力を培う。							
授業の到達目標							
1) 自分の知的興味、将来の方向性に沿って研究テーマが設定できる。 2) 研究テーマに対応した論文の検索と科学的吟味を行い、これまでの知見が整理できる。 3) 知見や問題点に基づいた研究の計画・立案ができる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	11/30	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究ガイダンス	卒業研究ガイダンス	松尾 浩一郎	1) 自分の知的興味、将来の方向性に沿って研究テーマが設定できる。
3-4	1/5	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	研究の進め方	研究の進め方	松尾 浩一郎	1) 自分の知的興味、将来の方向性に沿って研究テーマが設定できる。
5-6	1/19	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	各分野の研究紹介	各分野の研究紹介	松尾 浩一郎	1) 自分の知的興味、将来の方向性に沿って研究テーマが設定できる。
7-8	1/26	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	論文の読み方	論文の読み方	松尾 浩一郎	2) 研究テーマに対応した論文の検索と科学的吟味を行い、これまでの知見が整理できる。
9-10	2/1	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	研究計画立案の方法	研究計画立案の方法	松尾 浩一郎	3) 知見や問題点に基づいた研究の計画・立案ができる。
11-12	2/2	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究 I のまとめ	卒業研究 I のまとめ	松尾 浩一郎	1-3)のまとめ

授業方法 授業は非同期型遠隔講義が主であり、授業で出された課題に対し自己学習および集団での PBL 等を実施する。
成績評価の方法 授業の参加状況・課題などにより、総括的評価を行う。
成績評価の基準 授業の参加状況・課題などにより、授業に関する知識が習得されていることを判断し、全体で60点以上を合格とする。
準備学習等についての具体的な指示 口腔保健学、歯科学、また関連分野に関し興味のある事象について、調べておくこと。
試験の受験資格
教科書 歯科衛生研究の進め方論文の書き方／日本歯科衛生学会 監修、石井拓男、鳥山佳則、武井典子、吉田直美:医歯薬出版、2021 :医歯薬出版
参考書 卒業研究 HAND BOOK／眞木吉信 監著・著、薄井由枝、品田佳世子、白鳥たかみ、杉原直樹、田村清美、松田裕子:クインテッセンス出版、2011 歯科衛生士のためのペリオ・インプラント重要 12 キーワードベスト 240 論文：世界のインパクトファクターを決めるトムソン・ロイター社が選出：Q&A で深める歯科衛生士臨床／和泉雄一、佐藤秀一、岩野義弘、高山忠裕、武田朋子、松浦孝典、水谷幸嗣、村上恵子:クインテッセンス出版、2017 日常臨床に活かすエビデンスの調べかた・読み解きかた入門／丸尾勝一郎、蓮池 聡、上野大輔、豊嶋健史:クインテッセンス出版、2022 ゼロからわかる歯科臨床論文を読み解く方法：Evidence-based dentistry の実践のために／石丸美穂、大野幸子、康永秀生:新興医学出版社、2022 ・「保健・医療のための研究法入門」、朝倉隆司監訳、協同医書出版社 ・「医薬研究者の視点からみた道具としての統計学」、奥田千恵子、金芳堂

時間割番号	022890				
科目名	口腔保健衛生エクスターンシップ A			科目 ID	
担当教員	榊沢 勇司[KABASAWA Yūji]				
開講時期	2026 年度通年	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	対面
主な講義場所 未定					
授業の目的、概要等 本科目のための講義は特に行われない。 学生海外研修報告会については、開催日、開催方法ともに、現在のところ未定である。 報告会に該当する研修が行われた場合に適時連絡する。					
授業の到達目標 学生海外研修を奨励し、国際的な視野を持った歯科衛生士の育成を目指す。					
授業方法 本科目のための講義は特に行われない。 学生海外研修報告会については、開催日、開催方法ともに、現在のところ未定である。 報告会に該当する研修が行われた場合に適時連絡する。					
授業内容 本科目のための講義は特に行われない。 学生海外研修報告会については、開催日、開催方法ともに、現在のところ未定である。 報告会に該当する研修が行われた場合に適時連絡する。					
成績評価の方法 それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して合否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。					
成績評価の基準 それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して合否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。 評価としては、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等について具体的に論述できる場合は 80 点より上とする。					
準備学習等についての具体的な指示 外国での生活に支障をきたさないように語学の事前準備を行うこと。 別に記載している、履修上の注意事項に従うこと。					
試験の受験資格 ○単位認定条件 1)海外研修奨励賞による研修プログラムへの参加 (1) 語学能力(英語) 選考時面接にて英語能力を評価。Common European Framework of Reference for Languages (CEFR) B2 以上を積極的に評価する。(2) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修 (3) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (4) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。(5) 本学または海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上) 2)その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) (1) 語学能力(英語) 選考時面接にて英語能力を評価。Common European Framework of Reference for Languages (CEFR) B2 以上を積極的に評価する。もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。(2) 研修特別コースの履修 研修内容によって、特別に提供されるコースの履修(詳細は別に定める) (3) 海外における生活上の注意、危機管理に関する研修(講義)の履修 (4) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (5) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。(6) 本学または海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上) (*)なお、COVID-19 等の特殊な事情により、実際の海外派遣プログラムが実施できない場合に限り、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加をもって、単位申請することができる。					
・国際活動ポイント Point System for International Exchange(P-Sie)の総計が 15 以上あること。					

(各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。)
・大学が開催する P-Sie 対象のオンラインまたは対面のプログラムの単位認定条件は2)(2)以外のすべての条件を満たすこと。

履修上の注意事項

1. 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。 2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラムにおける単位認定条件は別に定める。 1) 大学海外研修奨励賞による研修プログラム(事前研修を含む) 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) 3. 所定のプログラムを終了した学生に対し、口腔保健学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は1単位を上限とする。また、「その他の海外研修プログラム」に該当するプログラムで認定できる単位は、プログラムの内容・年次・年度・回数に限らず、在学期間を通じて1単位とする。 (*)なお、COVID-19 等の特殊な事情により、実際の海外派遣プログラムが実施できない場合に限り、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加をもって、単位申請することができる。 ・国際活動ポイント Point System for International Exchange (P-Sie)の総計が15 以上あること。(各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。) ・大学が開催する P-Sie 対象のオンラインまたは対面のプログラムの単位認定条件は2)(2)以外のすべての条件を満たすこと。 履修についての質問は、科目責任者(樺沢)までメールで随時行うこと。

備考

担当教員の Office hour

樺沢勇司 健康支援口腔保健衛生学分野 随時 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。

1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

第 2 学年
履修科目

時間割番号	022211						
科目名	科学英語 I			科目ID	DH230800L		
担当教員	關 奈央子, JANELLE RENEE MOROSS, LIAO SHIN RU, 品田 佳世子, 樺沢 勇司[SEKI Naoko, JANELLE RENEE MOROSS, LIAO SHIN RU, SHINADA KAYOKO, KABASAWA Yuji]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
科目名:科学英語 I							
時間数:15 時間							
授業形態:講義 (英会話および e-learning 含む)							
主な講義場所							
対面授業(第 4 講義室)、非同期授業(LMS のコース内)							
授業の目的、概要等							
・口腔保健に関連する基本的英語表現を修得する。 ・口腔保健に関して、英語で対応するための基礎的能力を身につける。 ・口腔保健に関する議題について英語でディスカッションし、視野の拡大、意見交換する。							
授業の到達目標							
1. 口腔保健関連の専門用語を英語で表現する。 2. 英会話で、予約対応、医療面接の補助等を行うための基礎を学ぶ。 3. 英語で歯科疾患について説明するための基礎を学ぶ。 4. 英語でブラッシング、フッ化物の応用、シーラントを説明する。 5. 歯科、口腔保健関連の英文を読解し、内容を理解する。 6. 英語でディスカッションする際によく使用する表現を学ぶ。 7. 視野の拡大、相互理解、他者との協働に必要なスキルを学ぶ。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/3	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	Reading:Part1-1, 2	Part1-1: Healthy snacks and teeth, Part1-2: Toothbrush and brushing	LIAO SHIN RU	到達目標:シラバス(参照)1)、3)、4) 授業方法: WebClass のコースに動画配信、資料掲載 事前学習:Part2の①～⑧の単語を読み書きできるように
3-4	4/27	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	Reading Part1-3, Part1-5	Part1-3: Tooth designating system, Part1-5: First aid steps for a knocked-out tooth	LIAO SHIN RU	到達目標:シラバス(参照)1)、3)、4) 授業方法: WebClass のコースに動画配信、資料掲載 事前学習:Part2の①～⑧の単語を読み書きできるように

5-6	5/7	14:25-16:10	遠隔授業 (非同期型)	Reading: Part1-7, Part1-8	Part1-7: Tobacco and oral health	LIAO SHIN RU	到達目標:シラバス(参照)1)、3)、4) 授業方法: WebClass のコースに動画配信、資料掲載 事前学習:Part2の①～⑧の単語を読み書きできるように
7	5/11	13:30-14:15	口腔保健 学科第4 講義室	Conversation: Part1-1,2,3	Conversation: Part1-1,2,3	LIAO SHIN RU, 關 奈央 子, JANELLE RENEE MO ROSS	資料は WebClass の指定コースに 配布事前学習: Part1-①～③ Dialogue、Part2の ①～⑪の単語
8	5/25	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期型)	Reading:Part1-8,11	Part1-8,11	LIAO SHIN RU	到達目標:シラバス(参照)1)、3)、4) 授業方法: WebClass のコースに動画配信、資料掲載 事前学習:Part2の①～⑧の単語を読み書きできるように
9	5/25	13:30-14:15	口腔保健 学科第4 講義室	Conversation: Part1-5,6	Conversation: Part1-5,6	LIAO SHIN RU, 關 奈央 子, JANELLE RENEE MO ROSS	資料は WebClass の指定コースに 配布事前学習: Part1-⑤～⑥ Dialogue、Part2の ①～⑪の単語
10	6/1	13:30-14:15	口腔保健 学科第4 講義室	Conversation: Part1-7,9	Conversation: Part1-7,9 英語 Discussion 用語	LIAO SHIN RU, 關 奈央 子, JANELLE RENEE MO ROSS	資料は WebClass の指定コースに 配布事前学習: Part1-⑦、⑨ Dialogue、Part2の ①～⑪の単語
11	6/4	14:25-15:10	遠隔授業 (非同期型)	Reading:Part1-12,15	Part1-12,15	LIAO SHIN RU	到達目標:シラバス(参照)1)、3)、4) 授業方法: WebClass のコースに動画配信、資料掲載 事前学習:Part2の①～⑧の単語を読み書きできるように
12	6/8	13:30-14:15	口腔保健 学科第4 講義室	Conversation: Brushing 他	Conversation: Part1-14 Brushing 英語 Discussion 用語	LIAO SHIN RU, 關 奈央 子, JANELLE RENEE MO ROSS	資料は WebClass の指定コースに 配布事前学習: Part1-⑭ Dialogue、Part2の

							①～⑪の単語
13-14	6/30	13:30-15:10	口腔保健 学科第4 講義室	Conversation:Part1-10,1 5	Conversation:Part1-10,15 口腔保 健に関する議題を英語で Discussion	關 奈央子, LI AO SHIN R U, JANELLE RENEE MO ROSS	資料は WebClass の指定コースに 配布事前学習: Part1-⑩、⑪ Dialogue、Part2の ①～⑪の単語
15-16	7/14	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期 型)	歯科英語に関する e-learning	歯科英語に関する e-learning	LIAO SHIN RU, 關 奈央 子	到達目標:シラバ ス(参照)1)、2)、 3)、4) 授業方 法:WebClassの指 定コースにて指 定日時にて e-learning
17	7/29	11:40-12:25	口腔保健 学科第4 講義室	期末試験	Reading と conversation の内容より 試験内容作成	LIAO SHIN RU	

授業方法

英会話は対面授業で行い、双方向の会話を行う(AL)。Reading は非同期授業で、LMS のコース上に授業がアップされる。小テスト、課題発表やディスカッションを適宜行う(AL)。

※e-learning は指定時間に LMS のコース上に設定されるので必ず受講すること。

授業内容

授業は到達目標が達成でき、知識を修得し、それに関して説明できるようにする。英会話、小テスト・解説を適宜行い、知識が確実に修得できるようにする。演習、e-learning を行ったり、発表やディスカッションを行う(AL)。さらに、演習をとおして、基礎知識を応用する力を養う。

成績評価の方法

・期末の客観試験、論述試験は 90%、出席状況、授業態度、英語によるロールプレイの状況は 10%とし、総合的評価し 100 とする。

成績評価の基準

授業に関する知識が修得されていること(筆記試験 60 点以上)を合格とする。なお、B の基準は課題内容と筆記試験の合計が 70 点以上とし、A 以上の評価は総合的評価点が 80 点以上とする。

準備学習等についての具体的な指示

- ・教科書 Part2 の Important Vocabulary for Dental Hygienists の 1-11, 13 を学習しておくこと
- ・単語のテストの範囲を事前に知らせるので、学習しておくこと
- ・Discussion 用の参考資料は事前に予習すること

試験の受験資格

- ・3 分の 2 以上の出席(遠隔授業非同期は WebClass にアップ)を必要とする。
- 対面授業は授業時間に出席を確認する。
- 非同期授業は視聴記録を確認する。
- 非同期型の遠隔授業は授業日程後も視聴可能であり、視聴記録で出席を確認する。

教科書

歯科英語／Ward, Thomas R, 1944-,川口, 陽子, 1955-,廣瀬 浩二,全国歯科衛生士教育協議会,Thomas R.Ward, 川口陽子, 廣瀬浩二, 杉田めぐみ 著:医歯薬出版, 2007.3

参考書

丸ごと覚える歯科臨床英会話フレーズ集 川口陽子 監修・著 クインテッセンス出版
TMDU 臨床トレーニングシリーズ 英語医療面接教材 :56yo Female pain,他9本 關奈央子、須永昌代、福井雄二、ジャーナル・モロス、樺沢勇司、木下淳博 著 東京大学出版会

備考

『前年度からの改善点/工夫点』

1. 教科書以外、Discussion に使用する英語も加え、エビデンスに基づいた英語会話力の向上が期待できる。

2. 授業内容は歯科英語のみではなく、コースの内容に発展させ、国際的人材育成の観点より工夫する予定。

オフィスアワー

樺沢 勇司:平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。

1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

關 奈央子:毎週月曜日 15:00 - 16:00 M&D タワー7階 教員室

JANELLE RENEE MOROSS:ご予約をご希望の場合は、双方の都合のよい時間をご相談するためにメールをお送りください。

時間割番号	022212						
科目名	科学英語Ⅱ			科目ID	DH290900L		
担当教員	LIAO SHIN RU, 樺沢 勇司, 關 奈央子, Richard Foxton, 金森 ゆうな, 矢口 雅英[LIAO SHIN RU, KABASAWA Yuji, SEKI Naoko, Richard Foxton, KANAMORI Yuna, YAGUCHI]						
開講時期	2026 年度後期	対象年次	2		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
科目名:科学英語Ⅱ 時間数:15 時間 授業形態:講義・発表・討論・WebClass 学習							
主な講義場所 ZOOM 形式(ライブとオンデマンド)を主とする。							
授業の目的、概要等 ・口腔保健に関連する科学論文を読み内容を理解する能力を身につける。 ・研究に関して、英語で発表できる能力を身につける。							
授業の到達目標 ・英文科学論文の文献検索ができる。 ・口腔保健関連を含む英語論文中の専門用語を理解できる。 ・口腔保健関連を含む英文科学論文の内容を理解できる。 ・口腔保健関連を含む英文科学論文の内容を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	10/27	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	授業内容説明および論文読み	周術期に関する論文を読み、英語論文の構成について学習	樺沢 勇司, 關 奈央子, LIAO SHIN RU	周術期に関連する英語論文を読み、その構成や要素について学習します。論文の各セクションの役割と特徴を理解することを目指します。
3	11/4	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期型)	LMS による学習	紹介された論文に関する英語単語、歯科英語に関する内容の復習・テスト、宿題の配布	LIAO SHIN RU, 樺沢 勇司, 關 奈央子, Richard Foxton	・口腔保健関連を含む英語論文中の専門用語を理解できる。 ・口腔保健関連を含む英文科学論文の内容を理解できる。
4-5	11/9	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	グループディスカッションおよび論文読むときのコツと論文検索	論文の内容や学んだことについてグループでディスカッションを行い、意見交換を通じて理解を深める。 論文検索方法などの紹介	樺沢 勇司, 關 奈央子, LIAO SHIN RU	効率的に論文を読むためのテクニックを学び、関連する論文を効果的に検索する方法を習得する。
6-7	11/20	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	論文読み	歯科衛生教育に関する論文を読み、ジャーナルの情報と研究に関	樺沢 勇司, 關 奈央子, LIAO SHIN RU	歯科衛生教育に関連する英語論文

[illegible]

試験の受験資格

定期試験は行わず、下記の成績評価の方法をもって成績判定を行う。

3 分の 2 以上の出席(遠隔授業:同期 Zoom および非同期は LMS にアップ)を必要とする。

同期授業は授業時間に出席を確認する。非同期授業は視聴記録を確認する。

構成ユニット

ZOOM

オンデマンド

参考書

英和辞典、PC(文献検索に使用)

履修上の注意事項

以下の内容で 3 回繰り返す、論文のテーマは周術期口腔ケア関連、歯科衛生教育関連と歯周病関連 1、2 コマ目は論文の読み方、探し方、いくつかの質問を設定して正解を探してもらう(Zoom) 3 コマ目は単語のチェックなど宿題(オンデマンド) 4、5 コマ目はグループディスカッション、小論文書き、発表(Zoom)

備考

『前年度からの改善点/工夫点』

前年度履修学生からの強い希望はなかったが、学生の英語力(会話、単語量等)向上できるように工夫をする予定。

オフィスアワー

樺沢 勇司:平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。

1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022410a		
科目名	英語Ⅱ (A) Topical Discussion	科目ID	
担当教員	WHITAKER SIMON[WHITAKER SIMON]		
開講時期	2026 年度通年	対象年次	2～4
実務経験のある教員による授業		授業形態	メディア利用科目
・曜日・時間:水曜 3 講 ・対象:全学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3ー4) 別表4ー5)			
授業の目的、概要等 A course focused on in-depth discussion of contemporary social topics which affect everyone, from AI and social media to new or growing health and environmental challenges. We will consider a small set of such topics from different angles. You will continuously work on and develop important skills like those of open and impromptu discussion. You will also be building up and consolidating vocabulary, and even your own ideas, as we explore points of connection between these topical debates and the often-overlapping ways they can be approached.			
授業の到達目標 To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics 多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる To be able to comprehend and use new vocabulary 新しい語彙を理解して使用することができる To be able to speak in front of others more effectively 他の人の前でより効果的に話すことができる To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English 完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる To be able to productively engage in activities in a cross-cultural environment by collaborating with people from different cultural backgrounds in English 様々な文化的背景を持つ仲間と協働し、生産的に業務に貢献・遂行できる To be able to utilize critical thinking skills (including productively making and responding to counterarguments) and lateral thinking skills in English 英語でクリティカルシンキングやラテラルシンキングスキルを活用できる(健全で建設的な反論およびそれへの対応を含む) To be able to productively engage in academic and professional activities using English in an international setting 国際的な場面で、英語を使い、学問的および専門的な活動に生産的に貢献することができる 以下の 3 点を満たすことが、この授業の到達目標を概ね達成したレベル(70 点以上)の必要条件として要求される。 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。			

授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	6/10	13:30-14:15	遠隔授業 (同期型)	Class 1	Half-length session. Introduction to course and introducing each other.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar
2-3	6/17	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 2, Class 3	Topic 1. First tutor-led discussion.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar
4-5	6/24	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 4, Class 5	Further group discussion around topic 1.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar
6-7	7/1	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 6, Class 7	Topic 2. Second tutor-led discussion.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar
8-9	7/8	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 8, Class 9	Further group discussion around topic 2.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar
10-11	7/15	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 10, Class 11	Topic 3. Third tutor-led discussion.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar
12-13	7/22	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 12, Class 13	Further group discussion around topic 3.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar
14-15	7/29	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 14, Class 15	Discussion of topics covered + further areas of study/consideration.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar
授業方法							
Skills Instruction and Practice							
授業内容							
Class 1: Orientation							
Classes 2-15: Skills Instruction and Continuous Assessment							
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法							
Participation: 50%, Presentations: 30%. Discussion contributions: 20%							
再評価: 再評価はありません。							
成績評価の基準							
「東京科学大学学修規程第6条」による							
準備学習等についての具体的な指示							
Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格							
「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45 分×15 コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。							

履修上の注意事項

教員がとる出欠を優先します。既に履修済の英語Ⅱ科目と同一名の科目は原則として履修できません。

オフィスアワー

WHITAKER SIMON:水・木曜日 12時30分～13時 管理研究棟 3階 ウィタカー研究室

時間割番号	022420				
科目名	英語Ⅱ: Global Connections			科目ID	
担当教員	PATRICK FOSS[PATRICK FOSS]				
開講時期	2026 年度通年	対象年次	2～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目
・曜日・時間:水曜 3 講 ・対象:全学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3ー4) 別表4ー5)					
授業の目的、概要等					
While it is important for medical professionals in Japan to study and understand issues specific to their own country, it is also crucial to remember that we are all part of a global community as well. Learning about problems or innovations in other contexts can lead to greater respect and empathy and may spark ideas concerning ways we can better help others or even ourselves. This course will examine societal and healthcare-related challenges being faced in various countries through the perspectives of people from those countries.					
授業の到達目標					
To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics 多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる To be able to comprehend and use new vocabulary 新しい語彙を理解して使用することができる To be able to speak in front of others more effectively 他の人の前でより効果的に話すことができる To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English 完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる To be able to productively engage in activities in a cross-cultural environment by collaborating with people from different cultural backgrounds in English 様々な文化的背景を持つ仲間と協働し、生産的に業務に貢献・遂行できる To be able to utilize critical thinking skills (including productively making and responding to counterarguments) and lateral thinking skills in English 英語でクリティカルシンキングやラテラルシンキングスキルを活用できる(健全で建設的な反論およびそれへの対応を含む) To be able to productively engage in academic and professional activities using English in an international setting 国際的な場で、英語を使い、学問的および専門的な活動に生産的に貢献することができる 以下の 3 点を満たすことが、この授業の到達目標を概ね達成したレベル(70 点以上)の必要条件として要求される。 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。					

授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	9/16	13:30-14:15	遠隔授業 (同期型)	Orientation	Introduction to course	PATRICK F OSS	
2-3	9/30	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Discussion 1	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
4-5	10/7	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Discussion 2	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
6-7	10/14	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Discussion 3	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
8-9	10/21	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Discussion 4	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
10-11	10/28	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Discussion 5	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
12-13	11/4	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Discussion 6	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
14-15	11/11	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Discussion 7	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
授業方法							
Skills Instruction and Practice							
授業内容							
Class 1: Orientation							
Classes 2-15: Skills Instruction and Continuous Assessment							
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法							
Active and thoughtful participation: 80% Group discussion: 20%							
再評価: 再評価はありません。							
成績評価の基準							
「東京科学大学学修規程第 6 条」による							
準備学習等についての具体的な指示							
Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格							
「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45 分×15 コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。							
履修上の注意事項							
教員がとる出欠を優先します。既に履修済の英語Ⅱ科目と同一名の科目は原則として履修できません。							

オフィスアワー

PATRICK FOSS:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:00

管理研究棟 2階 フォス研究室

時間割番号	022430						
科目名	英語Ⅱ: Conversation I(前期)			科目ID			
担当教員	REED JESSE RYAN[REED JESSE RYAN]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	2～4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
・曜日・時間:水曜 3 講 ・対象:全学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3ー4) 別表4ー5)							
授業の目的、概要等							
English II, "Conversation I" is a course for students who want to improve their spoken English skills. The course focuses on practical conversational abilities, and students will engage in interviews, role-playing, and group discussions on a variety of topics. The course prioritizes vocabulary development, effective public speaking, and the development of confidence in expressing opinions, even in imperfect English. The course aims to create an active and supportive learning environment, emphasizing not only the improvement of English skills but also the use of those skills in real-world situations.							
授業の到達目標							
To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics 多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる							
To be able to comprehend and use new vocabulary 新しい語彙を理解して使用することができる							
To be able to speak in front of others more effectively 他の人の前でより効果的に話すことができる							
To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English 完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる							
以下の 3 点を満たすことが、この授業の到達目標を概ね達成したレベル(70 点以上)の必要条件として要求される。							
1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。							
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。							
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/1	13:30-14:15	遠隔授業 (同期型)	Class 1	Intro to Conversation I	REED JESS E RYAN	Active Learning, Seminar, Zoom
2-3	4/8	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 2, Class 3	Discussion/Presentation Practice	REED JESS E RYAN	Active Learning, Seminar, Zoom

4-5	4/15	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 4, Class 5	Discussion/Presentation Practice	REED JESS E RYAN	Active Learning, Seminar, Zoom
6-7	4/22	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 6, Class 7	Discussion/Presentation Practice	REED JESS E RYAN	Active Learning, Seminar, Zoom
8-9	5/13	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 8, Class 9	Discussion/Presentation Practice	REED JESS E RYAN	Active Learning, Seminar, Zoom
10-11	5/20	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 10, Class 11	Discussion/Presentation Practice	REED JESS E RYAN	Active Learning, Seminar, Zoom
12-13	5/27	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 12, Class 13	Discussion/Presentation Practice	REED JESS E RYAN	Active Learning, Seminar, Zoom
14-15	6/3	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 14, Class 15	Discussion Test	REED JESS E RYAN	Active Learning, Seminar, Zoom

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Class 1: Orientation

Classes 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Classes 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

Conversation I 評価: Attendance & Participation: 50% Homework: 10% English Interview: 15%

Discussion Test: 25%

再評価: 再評価はありません。

成績評価の基準

「東京科学大学学修規程第 6 条」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45 分×15 コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。

履修上の注意事項

教員がとる出欠を優先します。既に履修済の英語Ⅱ科目と同一名の科目は原則として履修できません。

オフィスアワー

猪熊 恵子 水・木曜日 12時30分～13時 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	022431						
科目名	英語Ⅱ ConversationⅠ（後期）			科目ID			
担当教員	REED JESSE RYAN[REED JESSE RYAN]						
開講時期	2026 年度後期	対象年次	2～4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
・曜日・時間:水曜 3 講 ・対象:全学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)							
授業の目的、概要等							
EnglishⅡ, "ConversationⅠ" is a course for students who want to improve their spoken English skills. The course focuses on practical conversational abilities, and students will engage in interviews, role-playing, and group discussions on a variety of topics. The course prioritizes vocabulary development, effective public speaking, and the development of confidence in expressing opinions, even in imperfect English. The course aims to create an active and supportive learning environment, emphasizing not only the improvement of English skills but also the use of those skills in real-world situations.							
授業の到達目標							
To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics 多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる							
To be able to comprehend and use new vocabulary 新しい語彙を理解して使用することができる							
To be able to speak in front of others more effectively 他の人の前でより効果的に話すことができる							
To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English 完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる							
以下の3点を満たすことが、この授業の到達目標を概ね達成したレベル(70点以上)の必要条件として要求される。							
1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。							
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。							
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	9/16	13:30-14:15	遠隔授業 (同期型)	Class 1	Intro to ConversationⅠ	REED JESSE RYAN	Active Learning, Seminar, Zoom
2-3	9/30	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 2, Class 3	Discussion/Presentation Practice	REED JESSE RYAN	Active Learning, Seminar, Zoom
4-5	10/7	13:30-15:10	遠隔授業	Class 4, Class 5	Discussion/Presentation Practice	REED JESSE	Active Learning,

時間割番号	022440						
科目名	英語Ⅱ: ConversationⅡ(前期)			科目ID			
担当教員	REED JESSE RYAN[REED JESSE RYAN]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	2～4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
・曜日・時間:水曜 3 講 ・対象:全学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3ー4) 別表4ー5)							
授業の目的、概要等							
EnglishⅡ "ConversationⅡ" (Improving Conversational Proficiency) is an advanced course designed for students aiming to refine their spoken English skills. Students will actively engage in extensive discussions, interviews, and group discussion tasks, fostering a higher level of language proficiency, cultural adaptability, and effective communication. The course places a strong emphasis on vocabulary expansion, advanced public speaking techniques, and the continued cultivation of confidence in expressing opinions, even within the complexities of the English language. Evaluation methods include individual interviews, group discussions, and reflective homework assignments. The objective is to create a stimulating and encouraging learning environment, helping students to not only excel in language proficiency but also to develop the application of advanced English skills in diverse real-world contexts.							
授業の到達目標							
To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics 多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる							
To be able to comprehend and use new vocabulary 新しい語彙を理解して使用することができる							
To be able to speak in front of others more effectively 他の人の前でより効果的に話すことができる							
To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English 完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる							
以下の3点を満たすことが、この授業の到達目標を概ね達成したレベル(70点以上)の必要条件として要求される。							
1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	6/10	13:30-14:15	遠隔授業 (同期型)	Class 1	Intro to ConversationⅡ	REED JESSE RYAN	Active Learning, Seminar, Zoom
2-3	6/17	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 2, Class 3	Discussion/Presentation Practice	REED JESSE RYAN	Active Learning, Seminar,

							Zoom
4-5	6/24	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 4, Class 5	Discussion/Presentation Practice	REED JESS E RYAN	Active Learning, Seminar, Zoom
6-7	7/1	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 6, Class 7	Discussion/Presentation Practice	REED JESS E RYAN	Active Learning, Seminar, Zoom
8-9	7/8	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 8, Class 9	Discussion/Presentation Practice	REED JESS E RYAN	Active Learning, Seminar, Zoom
10-11	7/15	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 10, Class 11	Discussion/Presentation Practice	REED JESS E RYAN	Active Learning, Seminar, Zoom
12-13	7/22	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 12, Class 13	Discussion/Presentation Practice	REED JESS E RYAN	Active Learning, Seminar, Zoom
14-15	7/29	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 14, Class 15	Discussion Test	REED JESS E RYAN	Active Learning, Seminar, Zoom

授業方法
Skills Instruction and Practice

授業内容
Class 1: Orientation
Classes 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment
Classes 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法
Conversation II 評価: Attendance & Participation: 40% Homework: 10% English Interview: 25% Discussion Test: 25%

再評価: 再評価はありません。

成績評価の基準
「東京科学大学学修規程第6条」による

準備学習等についての具体的な指示
Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格
「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45 分×15 コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。

履修上の注意事項
教員がとる出欠を優先します。 既に履修済の英語Ⅱ科目と同一名の科目は原則として履修できません。

オフィスアワー
猪熊 恵子・水・木曜日 12時30分～13時 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	022450					
科目名	International Course for Clinical Dentistry (ICCD) L1-L3 On-demand			科目ID		
担当教員	樺沢 勇司, JANELLE RENEE MOROSS, 關 奈央子, 金森 ゆうな, 駒ヶ嶺 友梨子, 水谷 幸嗣, LIAO SHIN RU[KABASAWA Yuji, JANELLE RENEE MOROSS, SEKI Naoko, KANAMORI Yuna, KOMAGAMINE Yuriko, MIZUTANI Koji, LIAO SHIN RU]					
開講時期	2026 年度3年通年	対象年次	2	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目	
主な講義場所 オンデマンド教材はLMSにて提供される。						
授業の目的、概要等 歯学部国際歯科臨床教育コース(International Course for Clinical Dentistry, ICCD)オンデマンドは歯学分野における語彙力向上や文章理解力と臨床の専門的な知識を習得するために、学部学生の臨床的な知識を高めることを目的としています。						
授業の到達目標 学生が全てのレベル(L1-3)を修了したとき、 1. 英語の理解能力を向上 2. 歯学分野の英語の語彙力を向上 することができる。 コース修了時、 英語で臨床歯学を学修することを期待できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/28	08:50-09:35	オンデマンド	L1 1. オンデマンド学習 配信期間 9/28(月) (9:00)- 10/2(金)(23:59)	・歯科英単語学習 ・リーディング教材	關 奈央子, JANELLE RENEE MOROSS, 駒ヶ嶺 友梨子, 金森 ゆうな
2	10/1	08:50-09:35	オンデマンド	L1 2. 学習確認テスト 配信期間 10/1(木) (9:00)-2(金)(23:59)	・学習確認テスト	關 奈央子, JANELLE RENEE MOROSS, 駒ヶ嶺 友梨子, 金森 ゆうな
3	10/19	08:50-09:35	オンデマンド	L1 3. 復習教材提供 配信期間 10/19(月) (9:00)- 23(金)(23:59)	・歯科英単語学習 ・リーディング教材	關 奈央子, JANELLE RENEE MOROSS, 駒ヶ嶺 友梨子, 金森 ゆうな
4	10/22	08:50-09:35	オンデマンド	L1 4. 学習確認テスト 配信期間 10/22(木) (9:00)-23(金)(23:59)	・学習確認テスト	關 奈央子, JANELLE RENEE MOROSS, 駒ヶ嶺 友梨子, 金森 ゆうな
授業方法 L1 では高齢者歯科学、L2 では歯周病学、L3 では保存修復学と矯正歯科学に関する歯科英単語と知識について、自習や課題を行う。						

成績評価の方法

オンデマンド教材履修状況により評価される。履修期間内に全ての教材学習を行なうこと。

準備学習等についての具体的な指示

課題に取り組む前に、記事／論文を読み、語彙を学ぶこと。

試験の受験資格

1. LMS コースに配信される課題

LMS の指定のコースにオンデマンドの課題が提供される。全ての当該課題を定められた期間内に履修し一定のスコアを記録すること。

履修上の注意事項

1. このコースを選択する学生は、必要な LMS のオンデマンド課題を全て修了すること。 2. ICCD はレベル 1 から 3 で構成されており、レベル 1 への履修登録をもってレベル 2 (OH/OE3) レベル 3 (OH/OE4) でもコースを受講することになる。 3. ICCD は全てのレベル(レベル 1-3)を履修したのちに単位が付与される。

備考

樺沢 勇司 kbasawa.y.16e8(@)misct.ac.jp

※E-mail は上記アドレス(@)の部分を@に変えてください。

關奈央子 seki.n.03df(@)misct.ac.jp

※E-mail は上記アドレス(@)の部分を@に変えてください。

※オフィスアワー: 月曜日 15~16 時

MOROSS Janelle

moross.j.1ee3(@)misct.ac.jp

※E-mail は上記アドレス(@)の部分を@に変えてください。

※オフィスアワー: ご予約をご希望の場合は、双方の都合のよい時間をご相談するためにメールをお送りください。

参照ホームページ

参考) <https://www.tmd.ac.jp/international/events/iccd/>

オフィスアワー

樺沢 勇司: 平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。

1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

關 奈央子: 毎週月曜日 15:00 - 16:00 M&D タワー7階 教員室

水谷 幸嗣: D 棟 11 階 総合診療歯科学分野研究室

JANELLE RENEE MOROSS: ご予約をご希望の場合は、双方の都合のよい時間をご相談するためにメールをお送りください。

時間割番号	022460					
科目名	International Course for Clinical Dentistry (ICCD) L1-L3 On-line			科目ID		
担当教員	樺沢 勇司, JANELLE RENEE MOROSS, 關 奈央子, 金澤 学, 駒田 亘, 駒ヶ嶺 友梨子, 水谷 幸嗣, 畑山 貴志, 保坂 啓一, 金森 ゆうな, Richard Foxton, LIAO SHIN RU, 米満 郁男, 前川 祥吾, 永田 瑞, 矢野 孝星 [KABASAWA Yuji, JANELLE RENEE MOROSS, SEKI Naoko, KANAZAWA Manabu, KOMADA Wataru, KOMAGAMINE Yuriko, MIZUTANI Koji, HATAYAMA Takashi, HOSAKA Keiichi, KANAMORI Yuna, Richard Foxton, LIAO SHIN RU, YONEMITSU Ikuo, MAEKAWA Shogo, NAGATA Mizuki, YANO Kosei]					
開講時期	2026 年度3年通年	対象年次	2	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目	
主な講義場所 オンラインセッション(入室のためのIDとパスワードはWebClassに掲示)						
授業の目的、概要等 歯学部国際歯科臨床教育コース(International Course for Clinical Dentistry, ICCD)オンラインは学部学生の臨症的な知識、文化的コンピテンシー、そしてコミュニケーションと論理的な問題解決の基本的な能力を高めることを目的としています。 ICCD は学生に国際的なネットワーキングに参加できるようにし、歯学分野における語彙と英語でのコミュニケーション能力を向上させ、さらに、歯学に関連した様々なアクティビティを通して臨床の専門的な知識を習得することを可能にします。 ディスカッションや、問題解決のためにチームで仕事をしたり、論理的な議論を作り上げたりする機会を提供し、チームビルディングや批判的吟味、批判的思考能力、そして学際的な臨床の治療計画の基本を強化します。						
授業の到達目標 学生が全てのレベル(L1-3)を修了したとき、 1. 英語の理解能力を向上 2. 歯学分野の英語の語彙力を向上 3. 仲間や教員と歯学分野のトピックについてディスカッション 4. 文化的規範について学び、互いの文化について理解 することができる。 コース修了時、 1. 文化的コンピテンシーの向上 2. ネットワーキング能力の向上 3. 問題解決能力の向上 4. 英語で臨床歯学を学修すること 5. コミュニケーション上の課題に対処するためのレジリエンス／柔軟性の獲得 6. 情報を批判的かつ客観的に吟味する能力の向上 7. より明確な推論能力と論理的な説明を行う能力の獲得 を期待できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/16	17:15-18:00	遠隔授業 (同期型)	L1 1. イントロ Zoom ID は後日配布 授業時間:17:15-18:00	・コースイントロダクション(日本語) ・本コースをプロデュースする臨床系教員との対談(日本語) ※前後で9/30 プレゼンの打ち合わせがあります。	金澤 学, 關 奈央子, 駒田 亘, 駒ヶ嶺 友梨子, 水谷 幸嗣, 畑山 貴志, 保坂 啓一, 金森 ゆうな
2	9/16	17:15-18:00	遠隔授業 (非同期型)	L1 2. プレゼン準備	・プレゼンテーション準備 ※LMS を適宜参照・使用すること。	金森 ゆうな

3	9/30	18:10-18:55	遠隔授業 (同期型)	L1 3. 国際交流 Zoom ID は後日配布 授業時間:18:10-19:50	・自己紹介 ・プレゼンテーション (国や文化、大学の紹介) ・コミュニケーションアクティビティ	關 奈央子, J ANELLE RE NEE MORO SS, 金森 ゆ うな
4	10/14	18:10-18:55	遠隔授業 (同期型)	L1 4. 国際交流 Zoom ID は後日配布 授業時間:18:10-20:45	・講義 ・ディスカッションとプレゼンテーション(「高齢化に付随した問題点と解決策」) ・フィードバック(20:10-20:45)	關 奈央子, J ANELLE RE NEE MORO SS, 駒ヶ嶺 友梨子

成績評価の方法

授業への参加、授業でのプレゼンテーションと論理的なスピーキングが考慮される。

準備学習等についての具体的な指示

コース開始前に WebClass にて提示する予定表により、各回で取り上げるテーマを再確認し、事前に当該テーマについて十分に予習した上で、授業に参加すること。

試験の受験資格

オンラインセッションへの出席と参加

定刻までにオンラインセッションに入室し、クラスでのディスカッションやアクティビティに参加する。また、参加にあたって準備をしてること。

各日、予定されているオンラインセッション時間の 2/3 以上の出席をもって出席とみなす。

履修上の注意事項

1. このコースを選択する学生は、全てのオンラインセッションに出席し、プレゼンテーションを準備し、そして授業でのディスカッションとプレゼンテーションに参加すること。 2. ICCD はレベル 1 から 3 で構成されており、レベル 1 への履修登録をもってレベル 2(OH/OE3)レベル 3(OH/OE4)でもコースを受講することになる。 3. ICCD は全てのレベル(レベル 1-3)を履修したのちに単位が付与される。 4. ICCD オンデマンドの履修も推奨される。 5. 履修においては TOEFL iBT61 (ITP500)程度の英語力が推奨される。

備考

オンライン授業においては AL(ペア/グループディスカッション、ケース演習など)を行う。

樺沢勇司 kbasawa.y.16e8(@)misct.ac.jp

※E-mail は上記アドレス(@)の部分を@に変えてください。

關奈央子 seki.n.03df(@)misct.ac.jp

※E-mail は上記アドレス(@)の部分を@に変えてください。

※オフィスアワー:月曜日 15~16 時

MOROSS Janelle

moross.j.1ee3(@)misct.ac.jp

※E-mail は上記アドレス(@)の部分を@に変えてください。

※オフィスアワー:ご予約をご希望の場合は、双方の都合のよい時間をご相談するためにメールをお送りください。

参照ホームページ

参考) <https://www.tmd.ac.jp/international/events/iccd/>

オフィスアワー

樺沢 勇司:平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。

1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

前川 祥吾:毎週月、火、木、金曜日 PM.17:00-18:00 10 号棟 7 階第 3 研究室

永田 瑞 10 号館 7 階 歯周病学分野医局 随時

駒田 亘:随時

金澤 学:火-金, 16:00- 18:00

1号館3階 高齢者歯科学分野学分野 Lab9

關 奈央子:毎週月曜日 15:00 - 16:00 M&D タワー7階 教員室

水谷 幸嗣D棟11階 総合診療歯科学分野研究室

JANELLE RENEE MOROSS:ご予約をご希望の場合は、双方の都合のよい時間をご相談するためにメールをお送りください。

時間割番号	022480B					
科目名	人体の構造と機能Ⅱ(ユニット)			科目ID		
担当教員	樺沢 勇司, 武智 正樹, 藤川 芳織[KABASAWA Yuji, TAKECHI Masaki, FUJIKAWA Kaoru]					
開講時期	2026 年度通年	対象年次	2			
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目	
科目名:人体の構造と機能及び疾病 ユニット番号:2203 ユニット名:人体の構造と機能Ⅱ 授業形態:講義(遠隔授業)を主として、実習(対面授業)を含む 時間数:必修 2 単位・30 時間 科目責任者:樺沢 勇司 ユニット責任者:樺沢 勇司						
主な講義場所 ・遠隔授業は自宅学習						
授業の目的、概要等 人体の正常な構造と機能を理解して、生命現象が営まれるメカニズムを分子レベルから個体レベルへと統合的に理解するとともに、組織および器官の発生のしくみと成長、発育、加齢の過程に伴う変化について理解する。						
授業の到達目標 ・運動器(骨格系と筋系)の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・循環器の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・循環調節のしくみおよび血液の役割を説明する。 ・内分泌器の構造および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・末梢神経系および中枢神経系の構造と機能およびその発生と成長に伴う変化を説明する。 ・感覚器系の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・呼吸器系の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・泌尿器系の構造と機能、尿の生成機序を説明する。 ・生体の恒常性維持機構(体温調節、体液組成および体液量の調節)を説明する。 ・生殖器の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・体幹体肢の運動器、循環器、神経系の相互関係と頭頸部へのつながりについて説明する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/1	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	呼吸	呼吸についての基本	樺沢 勇司, 武智 正樹
2-4	4/2	08:50-11:30	遠隔授業 (非同期型)	腎機能と排尿	腎機能と排尿についての基本	樺沢 勇司, 武智 正樹
5-7	4/3	08:50-11:30	遠隔授業 (非同期型)	内分泌	内分泌とホルモンについての基本	樺沢 勇司, 武智 正樹
8-9	4/6	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	内分泌	内分泌とホルモンについての基本	樺沢 勇司, 武智 正樹
10-11	4/7	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	生殖	生殖についての基本	樺沢 勇司, 武智 正樹

12-13	4/10	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	生殖	生殖についての基本	樺沢 勇司, 武智 正樹
14	4/14	16:20-17:05	遠隔授業 (非同期型)	特殊感覚について	特殊感覚についての基本	樺沢 勇司, 武智 正樹
15	4/17	16:20-17:05	遠隔授業 (非同期型)	特殊感覚について	特殊感覚についての基本	樺沢 勇司, 武智 正樹
16-17	4/21	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期型)	全身の末梢神経系	脊髄と脊髄神経	樺沢 勇司, 武智 正樹
18-19	5/1	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	全身の末梢神経系	脊髄神経系と自律神経系の走行	樺沢 勇司, 武智 正樹
20-21	5/18	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	全身の末梢神経系	脊髄神経系と自律神経系の走行	樺沢 勇司, 武智 正樹
22	5/26	18:10-18:55	遠隔授業 (非同期型)	まとめ	まとめ、成績評価の説明等	樺沢 勇司, 武智 正樹
23	5/29	18:10-18:55	遠隔授業 (非同期型)	中枢神経	中枢神経の基本	樺沢 勇司, 武智 正樹
24	6/18	13:30-14:15	遠隔授業 (非同期型)	全身の末梢神経系	脊髄神経系と自律神経系の走行	樺沢 勇司, 武智 正樹
25-28	9/11	08:50-12:25	遠隔授業 (非同期型)	中枢神経	中枢神経の基本	樺沢 勇司, 武智 正樹
29-30	9/18	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	体温	体温についての基本	樺沢 勇司, 武智 正樹

授業方法

遠隔講義は自宅学習が基本となる

授業内容

- ・授業スケジュールの授業明細に記載。
- ・必要に応じて小テスト、課題演習を行う。

成績評価の方法

- ・最終課題で、理解度・習得度を評価する。
- ・出席状況、授業態度、等を評価に加味する。

成績評価の基準

- ・学習の評価 B 以上を得るには、最終課題で合格するように努めること。

準備学習等についての具体的な指示

教科書は必ず購入し、それをもとに学習をすること。

インターネットを使用した講義を行うので、各回の授業形式と受講場所を確認すること。

試験の受験資格

授業時間数(講義動画)の3分の2以上履修した者(ドリームキャンパスで確認すること)。	
教科書	歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学／一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会:医歯薬出版, 2022 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学／一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会:医歯薬出版, 2022
参考書	人体の構造と機能／前田健康, 山田好秋 ほか著,前田, 健康, 1959-,山田, 好秋, 1949-,全国歯科衛生士教育協議会,:医歯薬出版, 2010 分担解剖学 第1巻 総説・骨学・靱帯学・筋学 改訂第11版／森於菟,小川鼎三,大内弘 ほか,モリオト,オガワテイゾウ,オウチヒロム,:金原出版, 1982-02-20 分担解剖学 第2巻 脈管学・神経系 改訂第11版／平沢興,岡本道雄,ヒラサワウオカトミヲ,:金原出版, 1983-02-10 分担解剖学 第3巻 感覚器学・内臓学 改訂第11版／小川鼎三,山田英智,養老孟司,オガワテイゾウ,ヤマダエイチ,ヨウロウタケシ,:金原出版, 1982-02-20 標準組織学総論／藤田尚男, 藤田恒夫 原著,:医学書院, 2015 標準組織学各論／藤田尚男, 藤田恒夫 原著,:医学書院, 2017 標準生理学／小澤澗司, 福田康一郎 監修,本間研一, 大森治紀, 大橋俊夫, 河合康明, 黒澤美枝子, 鯉淵典之, 伊佐正 編集,:医学書院, 2014 ラングマン人体発生学／T.W.サドラー 著,安田峯生, 山田重人 訳,:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2016
履修上の注意事項	・専門科目は、教養部で行われる全学共通科目とは履修規則等が異なるので、よく確認すること。 ・学科および専攻によって規則が異なる条項があるので、よく確認すること。 ・教務係および教員からの連絡の掲示(掲示板、LMS)および Web メールを見落とさずに確認すること。
備考	責任者:樺沢勇司 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp 質問等は責任者までメールで随時行うこと。
オフィスアワー	樺沢 勇司:平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。 1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022490A					
科目名	歯・口腔の構造と機能(ユニット)			科目ID		
担当教員	樺沢 勇司, 武智 正樹, 藤川 芳織[KABASAWA Yuji, TAKECHI Masaki, FUJIKAWA Kaoru]					
開講時期	2026 年度通年	対象年次	2			
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目	
科目名:歯・口腔の構造と機能 ユニット番号:2204 ユニット名:歯・口腔の構造と機能 授業形態:講義(遠隔授業)を主として、実習(対面授業)を含む 時間数:必修 4 単位・60 時間 科目責任者:樺沢 勇司 ユニット責任者:樺沢 勇司						
主な講義場所 ・遠隔授業は自宅学習						
授業の目的、概要等 顎・顔面・口腔領域の組織、器官の構造と機能および分子的基盤を学ぶとともに、それらの発生と成長について学び、顎・顔面・口腔領域の健康と全身の健康との関連について理解を深める。						
授業の到達目標 ・ 顎顔面と口腔諸器官の構造および発生と成長について説明する。 ・ 末梢神経系および中枢神経系の構造と機能およびその発生と成長に伴う変化を説明する。 ・ 感覚器系の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・ 脳神経の支配様式と働きについて説明する。 ・ 消化器系の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・ 唾液線の構造と分泌機構および唾液の成分とその作用について説明する。 ・ 歯と歯周組織の形態と構成成分ならびに機能について説明する。 ・ 歯と歯周組織の発生、成長過程を説明する。 ・ 脳の構造と上行性・下行性伝導路について説明する。 ・ 口腔領域の体性感覚器・味覚器官の構造と働きおよび発生と成長について説明する。 ・ 下顎反射のしくみとその役割について説明する。 ・ 咀嚼運動の神経機構と嚥下・吸引・嘔吐反射のしくみを説明する。 ・ 発声・構音のしくみを説明する。 ・ 口腔諸器官(歯・歯周組織・唾液線を含む)の機能と全身の正常機能とを関連づける。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/20	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期型)	口腔とは	口腔とは	藤川 芳織 樺沢 勇司, 武智 正樹
3-4	4/20	17:15-18:55	遠隔授業 (非同期型)	口腔周囲の骨	口腔周囲の骨について	藤川 芳織 樺沢 勇司, 武智 正樹
5	4/21	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	口腔周囲の骨	口腔周囲の骨について	藤川 芳織 樺沢 勇司, 武智 正樹
6	4/28	16:20-17:05	遠隔授業 (非同期型)	口腔周囲の骨	口腔周囲の骨について	藤川 芳織 樺沢 勇司, 武智 正樹

7	4/28	17:15-18:00	遠隔授業 (非同期 型)	咽頭喉頭	咽頭喉頭について	藤川 芳織 樺沢 勇司, 武智 正樹
8	4/28	18:10-18:55	遠隔授業 (非同期 型)	咽頭喉頭	咽頭喉頭について	藤川 芳織 樺沢 勇司, 武智 正樹
9	5/1	14:25-15:10	遠隔授業 (非同期 型)	顎関節	顎関節について	藤川 芳織 樺沢 勇司, 武智 正樹
10	5/1	15:25-16:10	遠隔授業 (非同期 型)	顎関節	顎関節について	藤川 芳織 樺沢 勇司, 武智 正樹
11	5/11	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期 型)	口腔周囲の筋	口腔周囲の筋について	藤川 芳織 樺沢 勇司, 武智 正樹
12	5/11	10:45-11:30	遠隔授業 (非同期 型)	口腔周囲の筋	口腔周囲の筋について	藤川 芳織 樺沢 勇司, 武智 正樹
13	5/11	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期 型)	口腔周囲の筋	口腔周囲の筋について	藤川 芳織 樺沢 勇司, 武智 正樹
14	5/11	14:25-15:10	遠隔授業 (非同期 型)	口腔周囲の筋	口腔周囲の筋について	藤川 芳織 樺沢 勇司, 武智 正樹
15	5/11	15:25-16:10	遠隔授業 (非同期 型)	口腔周囲の神経	口腔周囲の神経について	武智 正樹, 藤川 芳織 樺沢 勇司
16-17	5/12	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期 型)	口腔周囲の神経	口腔周囲の神経について	藤川 芳織 樺沢 勇司, 武智 正樹
18	5/26	16:20-17:05	遠隔授業 (非同期 型)	口腔周囲の神経	口腔周囲の神経について	藤川 芳織 樺沢 勇司, 武智 正樹
19-20	7/9	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期 型)	口腔周囲の脈管	口腔周囲の脈管について	藤川 芳織 樺沢 勇司, 武智 正樹
21-22	7/24	14:25-16:10	遠隔授業 (非同期 型)	口腔周囲の脈管	口腔周囲の脈管について	武智 正樹, 藤川 芳織 樺沢 勇司
23-25	9/14	08:50-11:30	遠隔授業 (非同期 型)	口腔周囲の脈管	口腔周囲の脈管について	藤川 芳織 樺沢 勇司, 武智 正樹
26-27	9/16	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期 型)	歯・口腔・顔面の感覚	歯・口腔・顔面の感覚について	藤川 芳織 樺沢 勇司, 武智 正樹
28-29	10/2	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期 型)	歯・口腔・顔面の感覚	歯・口腔・顔面の感覚について	藤川 芳織 樺沢 勇司, 武智 正樹
30-31	10/15	13:30-15:10	遠隔授業	歯・口腔・顔面の感覚	歯・口腔・顔面の感覚について	藤川 芳織

			(非同期型)			樺沢 勇司, 武智 正樹
32-33	10/19	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	味覚と嗅覚	味覚と嗅覚について	藤川 芳織, 樺沢 勇司, 武智 正樹
34	10/20	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期型)	味覚と嗅覚	味覚と嗅覚について	藤川 芳織, 樺沢 勇司, 武智 正樹
35-37	11/4	08:50-11:30	遠隔授業 (非同期型)	摂食嚥下	摂食嚥下について	藤川 芳織, 樺沢 勇司, 武智 正樹
38	11/6	10:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	摂食嚥下	摂食嚥下について	藤川 芳織, 樺沢 勇司, 武智 正樹
39	11/10	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	摂食嚥下	摂食嚥下について	藤川 芳織, 樺沢 勇司, 武智 正樹
40	11/10	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期型)	摂食嚥下	摂食嚥下について	藤川 芳織, 樺沢 勇司, 武智 正樹
41	11/20	10:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	発声発語	発声発語について	藤川 芳織, 樺沢 勇司, 武智 正樹
42-43	11/26	17:15-18:55	遠隔授業 (非同期型)	発声発語	発声発語について	藤川 芳織, 樺沢 勇司, 武智 正樹
44-45	12/4	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期型)	唾液	唾液について	藤川 芳織, 樺沢 勇司, 武智 正樹

授業方法 ・ドリームキャンパスで授業日程の講義棟・講義室欄に授業形式が表示されている。 ・学生は、LMS で講義資料、講義動画を学習する。
授業内容 授業スケジュールの授業明細に記載。
成績評価の方法 ・最終課題で、理解度・習得度を評価する。 ・出席状況、授業態度、実習課題への提出物、等を評価に加味する。 ・前期評価と後期評価を総合して年間評価とするが、原則として前期と後期それぞれに合格しなくてはならない。
成績評価の基準 ・学習の評価 B 以上を得るには、前・後期ともに最終課題で合格するように努めること。
準備学習等についての具体的な指示 ・教科書は必ず購入し、それをもとに学習を行う事。
試験の受験資格 ・授業時間数の 3 分の 2 以上履修した者(ドリームキャンパスで確認すること)。

・前期末と後期末に評価するので、前期と後期それぞれに受験資格を満たさなくてはならない。
教科書 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学／一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会:医歯薬出版, 2022 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学／一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会:医歯薬出版, 2022
参考書 Ten Cate 口腔組織学／Ten Cate [原著],Antonio Nanci 編著,川崎堅三 監訳,Ten Cate, Arnold Richard,Nanci, Antonio,川崎 堅三, 1942-,:医歯薬出版, 2006 分担解剖学 第2巻 脈管学・神経系 改訂第11版／平沢興,岡本道雄,ヒラサワウオカトミヲ.:金原出版, 1983-02-10 分担解剖学 第3巻 感覚器学・内臓学 改訂第11版／小川鼎三,山田英智,養老孟司,オガワテイゾウ,ヤマダエイチ,ヨウロウタケン.:金原出版, 1982-02-20 基礎歯科生理学／森本俊文, 山田好秋, 二ノ宮裕三, 岩田幸一 編,森本, 俊文, 1939-,山田, 好秋, 1949-,二ノ宮, 裕三.:医歯薬出版, 2014 標準組織学各論／藤田尚男, 藤田恒夫 原著,藤田, 尚男, 1928-2014,藤田, 恒夫, 1929-2012,岩永, 敏彦, 1954-,石村, 和敬, 1949-,:医学書院, 2017 標準生理学／小澤滯司, 福田康一郎 監修,本間研一, 大森治紀, 大橋俊夫, 河合康明, 黒澤美枝子, 鯉淵典之, 伊佐正 編集,小澤, 滯司, 福田, 康一郎,本間, 研一, 1946-,大森, 治紀, 1950-,大橋, 俊夫, 1949-,:医学書院, 2014 解剖学・組織発生学・口腔解剖学／全国歯科衛生士教育協議会 編,全国歯科衛生士教育協議会.:医歯薬出版, 1996 生理学／全国歯科衛生士教育協議会 編,全国歯科衛生士教育協議会.:医歯薬出版, 1995 Human Anatomy Atlas 2020; Muscle Premium 2018; Skeleton Premium; Physiology Animations; Heart & Circulatory Premium. 上記の5編が、 http://demo.ovid.com/custom/tmd999/ にて、学内で視聴できるので、興味がある人は、自己学習などに活用できます。
履修上の注意事項 ・専門科目は、教養部で行われる全学共通科目とは履修規則等が異なるので、よく確認すること。 ・学科および専攻によって規則が異なる条項があるので、よく確認すること。 ・教務係および教員からの連絡の掲示(掲示板、LMS)および Web メールを見落とさずに確認すること。
備考 責任者:樺沢勇司 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp 質問等は責任者までメールで随時行うこと。
オフィスアワー 樺沢 勇司:平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。 1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022490C					
科目名	頭頸部の構造と機能(ユニット)			科目ID		
担当教員	樺沢 勇司, 青木 和広, 吉本 由紀, 鈴木 敏彦, 中禮 宏, 岡野 徳壽, 濱 洋平, 芦田 浩, 土田 優美, 武智 正樹, 足立 礼孝, 小林 起穂, 伊藤 奏[KABASAWA Yuji, AOKI Kazuhiro, YOSHIMOTO Yuki, SUZUKI Toshihiko, CHUREI Hiroshi, OKANO Tokuju, HAMA Yohei, ASHIDA Hiroshi, TSUCHIDA Yumi, TAKECHI Masaki, ADACHI Noritaka, KOBAYASHI Yukiho, ITO Kanade]					
開講時期	2026 年度通年	対象年次	2			
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	対面	
授業形態:講義(遠隔授業)を主として、実習(対面授業)を含む 時間数:必修 4 単位・60 時間 科目責任者:樺沢 勇司 ユニット責任者:樺沢 勇司						
主な講義場所 ・遠隔授業は自宅学習 ・口腔保健学科 第 4 講義室(1 号館西 8 階) ・口腔保健学科 基礎科学実習室(1 号館西 7 階)						
授業の目的、概要等 顎・顔面・口腔領域の組織、器官の構造と機能および分子的基盤を学ぶとともに、それらの発生と成長について学び、顎・顔面・口腔領域の健康と全身の健康との関連について理解を深める。						
授業の到達目標 ・ 顎顔面と口腔諸器官の構造および発生と成長について説明する。 ・ 末梢神経系および中枢神経系の構造と機能およびその発生と成長に伴う変化を説明する。 ・ 感覚器系の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・ 脳神経の支配様式と働きについて説明する。 ・ 消化器系の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・ 唾液線の構造と分泌機構および唾液の成分とその作用について説明する。 ・ 歯と歯周組織の形態と構成成分ならびに機能について説明する。 ・ 歯と歯周組織の発生、成長過程を説明する。 ・ 脳の構造と上行性・下行性伝導路について説明する。 ・ 口腔領域の体性感覚器・味覚器官の構造と働きおよび発生と成長について説明する。 ・ 下顎反射のしくみとその役割について説明する。 ・ 咀嚼運動の神経機構と嚥下・吸引・嘔吐反射のしくみを説明する。 ・ 発声・構音のしくみを説明する。 ・ 口腔諸器官(歯・歯周組織・唾液線を含む)の機能と全身の正常機能とを関連づける。 ・ 薬理学総論特に、ED50 および生物学的検定について説明できる。 ・ 末梢神経系の薬理とくに交感神経と副交感神経の拮抗的2重支配とそれぞれの作動薬・拮抗薬について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	7/8	10:45-12:25	解剖学実習室	解剖学実習 1	解剖学実習を行う(詳細は別途連絡)	樺沢 勇司, 武智 正樹
3-4	7/22	10:45-12:25	口腔保健学科基礎科学実習室	解剖学実習 2	解剖学実習を行う(詳細は別途連絡)	樺沢 勇司, 武智 正樹
5-8	8/3	08:50-12:25	口腔保健学科基礎科学実習	歯の形態、鑑別についての実習、解剖学についてのまとめ(前期)	歯の形態、鑑別についての実習、解剖学についてのまとめを行う	樺沢 勇司, 土田 優美

			室			
9-12	8/3	13:30-17:05	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	細菌学実習	細菌標本の作製と観察	樺沢 勇司, 鈴木 敏彦, 岡野 徳壽, 芦田 浩
13-15	1/12	13:30-16:10	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖組織実習 2	組織標本作製(組織切片の染色)と 顕微鏡観察	樺沢 勇司, 吉本 由紀
16-18	1/19	13:30-16:10	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	薬理学実習 1	自律神経系の薬理実習__摘出腸 管を用いた実習 局所麻酔のアド レナリン添加の作用のシミュレー ション 蛍光色素の皮下注射によ る硬組織内時刻描記法 OE2 と の合同実習となります。	樺沢 勇司, 青木 和広
19-22	1/20	08:50-12:25	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	口腔機能の実習 1、2、3	咀嚼機能検査(下顎運動の測定)、 運動機能検査(咀嚼・その他の運 動と機能検査)	樺沢 勇司, 中禮 宏 濱 洋平
23-25	1/25	13:30-16:10	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	薬理学実習 2	全身麻酔薬の作用、アップダウン 法による ED50 の検討 OE2 との 合同実習となります。	樺沢 勇司, 青木 和広
26-28	1/26	09:45-12:25	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	口腔の感覚検査	感覚機能検査(皮膚感覚の測定・ 味覚閾値測定)	樺沢 勇司
29-30	2/1	10:45-12:25	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	まとめ	最終のまとめを行う	樺沢 勇司

授業方法

- ・ドリームキャンパスで授業日程の講義棟・講義室欄に授業形式が表示されている。

「同期型の遠隔授業」は、ZOOM(Web 会議サービスシステム)を使って行う。

- ・ドリームキャンパスの授業日程の備考欄に ZOOM 情報と WebClass(e ラーニングシステム)のコースが事前表示される。
- ・学生は、WebClass で講義資料を入手して、ZOOM 情報にしたがってインターネットで授業に参加する。
- ・授業中に質問時間をとれない場合は、終了後に e メールで質問するか、後日の登校時に質問する。

「実習(対面授業)」は、登校してドリームキャンパスに表示された実習室で行う。

- ・実習室では、必ず白衣とネームプレートを着用する。

授業内容

授業スケジュールの授業明細に記載。

成績評価の方法

- ・定期試験(筆記試験)で、理解度・習得度を評価する。
- ・出席状況、授業態度、実習課題への提出物、等を評価に加味する。
- ・前期評価と後期評価を総合して年間評価とするが、原則として前期と後期それぞれに合格しなくてはならない。

成績評価の基準

・学習の評価 B 以上を得るには、前・後期ともに本試験で合格するように努めること。 ・評価 B 以上、とくに A 以上の学生は、一般的に出席率が 100%で、授業中も説明を聞いていて、実習にも誠実に取り組むので、そのような姿勢が望まれる。
準備学習等についての具体的な指示 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・事前に資料の配付、e ラーニングシステムへのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 インターネットを使用した講義を行うので、各回の授業形式と受講場所を確認すること。 ・Web Class コース「OH2 歯・口腔の構造と機能 2021」に提示した講義資料を事前に確認すること。 ・ZOOM による講義は、上記の資料を見ながら受講すること。
試験の受験資格 ・授業時間数の 3 分の 2 以上履修した者(ドリームキャンパスで確認すること)。 ・前期末と後期末に評価するので、前期と後期それぞれに受験資格を満たさなくてはならない。
教科書 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学／一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会:医歯薬出版, 2022 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学／一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会:医歯薬出版, 2022
参考書 Ten Cate 口腔組織学／Ten Cate [原著],Antonio Nanci 編著,川崎堅三 監訳Ten Cate, Arnold Richard,Nanci, Antonio,川崎 堅三, 1942-,:医歯薬出版, 2006 分担解剖学 第 2 巻 脈管学・神経系 改訂第 11 版／平沢興,岡本道雄,ヒラコウ,オカモト,ヲ.:金原出版, 1983-02-10 分担解剖学 第 3 巻 感覚器学・内臓学 改訂第 11 版／小川鼎三,山田英智,養老孟司,オガワ,テイゾウ,ヤマダ,エイチ,ヨウロウ,タケシ.:金原出版, 1982-02-20 基礎歯科生理学／森本俊文, 山田好秋, 二ノ宮裕三, 岩田幸一 編森本, 俊文, 1939-,山田, 好秋, 1949-,二ノ宮, 裕三,:医歯薬出版, 2014 標準組織学各論／藤田尚男, 藤田恒夫 原著,藤田, 尚男, 1928-2014,藤田, 恒夫, 1929-2012,岩永, 敏彦, 1954-,石村, 和敬, 1949-,:医学書院, 2017 標準生理学／小澤静司, 福田康一郎 監修,本間研一, 大森治紀, 大橋俊夫, 河合康明, 黒澤美枝子, 鯉淵典之, 伊佐正 編集,小澤, 静司, 福田, 康一郎,本間, 研一, 1946-,大森, 治紀, 1950-,大橋, 俊夫, 1949-,:医学書院, 2014 解剖学・組織発生学・口腔解剖学／全国歯科衛生士教育協議会 編全国歯科衛生士教育協議会,:医歯薬出版, 1996 生理学／全国歯科衛生士教育協議会 編全国歯科衛生士教育協議会,:医歯薬出版, 1995 Human Anatomy Atlas 2020; Muscle Premium 2018; Skeleton Premium; Physiology Animations; Heart & Circulatory Premium. 上記の 5 編が、http://demo.ovid.com/custom/tmd999/ にて、学内で視聴できるので、興味がある人は、自己学習などに活用できます。
履修上の注意事項 ・専門科目は、教養部で行われる全学共通科目とは履修規則等が異なるので、よく確認すること。 ・学科および専攻によって規則が異なる条項があるので、よく確認すること。 ・教務係および教員からの連絡の掲示(掲示板、WebClass)および Web メールを見落とさずに確認すること。
備考
オフィスアワー 樺沢 勇司:平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。 1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022218						
科目名	病理学総論				科目ID	DH231101L	
担当教員	石丸 直澄, 樺沢 勇司, 牛尾 綾, 布川 裕規[ISHIMARU Naozumi, KABASAWA Yuji, USHIO Aya, FUKAWA Yuki]						
開講時期	2026 年度前期		対象年次		2		
実務経験のある教員による授業	該当する				授業形態	メディア利用科目	
科目名: 疾病の成り立ちと回復過程の促進 ユニット番号: 2207 ユニット名: 病理学総論 授業形態: 講義 (遠隔授業) 時間数: 必修 1 単位・15 時間 科目責任者: 樺沢勇司 ユニット責任者: 石丸 直澄							
主な講義場所 授業はすべて Zoom または LMS を用いた遠隔授業で行う。但し、定期試験は口腔保健学科講義室にて対面形式で行う。							
授業の目的、概要等 全疾患の病因と細胞・組織変化を全身疾患をモデルとして概説する。							
授業の到達目標 疾患を医学的な目で見、医学的な見地からとらえることができるようになり、分類ごとの病因論と細胞・組織変化の基礎を理解している。具体的には、病因論、遺伝性疾患、代謝障害、増殖と修復・再生、循環障害、炎症、免疫異常、腫瘍総論について理解できるようになる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/9	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	病理学序論	病理学の歴史・病因論	石丸 直澄	【到達目標】シラバス参照 【学習方法】オンデマンド授業
3-4	4/10	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	遺伝性疾患	染色体異常、遺伝子異常、奇形	石丸 直澄	【到達目標】シラバス参照 【学習方法】オンデマンド授業
5-6	5/1	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	代謝障害	萎縮、変性、壊死	石丸 直澄	
7-8	5/15	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	増殖と修復	創傷治癒、再生	牛尾 綾	
9-10	5/15	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	循環障害	循環器系の異常の病理	牛尾 綾	【到達目標】シラバス参照 【学習方法】オンデマンド授業
11-12	5/19	17:15-18:55	遠隔授業 (非同期型)	炎症	炎症、感染症の病理	牛尾 綾	【到達目標】シラバス参照 【学習方法】オンデマンド授業
13	5/26	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	腫瘍総論	腫瘍の発生機序、腫瘍の分類	布川 裕規	【到達目標】シラバス参照 【学習方法】オンデマン

時間割番号	022219						
科目名	病原微生物と生体防御			科目ID	DH231102L		
担当教員	樺沢 勇司, 鈴木 敏彦, 芦田 浩, 豊福 明, 片桐 さやか, 黒嶋 雄志, 道 泰之, 永井 重徳, 礪波 健一 [KABASAWA Yuji, SUZUKI Toshihiko, ASHIDA Hiroshi, TOYOFUKU Akira, KATAGIRI Sayaka, KUROSHIMA Takeshi, MICHII Yasuyuki, NAGAI Shigenori, TONAMI KENICHI]						
開講時期	2026 年度通年	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
科目名: 疾病の成り立ちと回復過程の促進 ユニット番号: 2208 ユニット名: 病原微生物と生体防御 授業形態: 講義 (遠隔授業) 時間数: 必須 2 単位・30 時間 科目責任者: 樺沢 勇司 ユニット責任者: 樺沢 勇司							
主な講義場所 ・遠隔授業は自宅学習 ・口腔保健学科 第 4 講義室(1 号館西 8 階)等							
授業の目的、概要等 病原微生物の特徴と病原性、口腔および全身の感染症の病因と感染成立の機序および生体の防御反応のしくみについて理解し、その理解に基づく感染予防の方法ならびに実際の対処法を理解する。							
授業の到達目標 ・細菌、ウィルス等による感染について、微生物の病原性を構造、機能、遺伝的因子から理解する。 ・感染の予防と治療の基礎を微生物の特性に着眼して理解する。 ・病原微生物の分類と病原性について説明する。 ・口腔細菌の特徴と病原性について説明する。 ・免疫獲得と免疫寛容の機構および免疫疾患の病因・病態について説明する。 ・病原微生物や様々な外来刺激に対する生態の防御系を説明する。 ・疼痛の病因・病態について説明する。 ・顎・顔面・口腔領域の神経痛の病因・病態について説明する。 ・歯科医療現場で遭遇する感染症について説明する。 ・感染予防の方法と限界について説明する。 ・医療現場における安全対策について説明する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/11	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	免疫概論	免疫システムとは、自己寛容	樺沢 勇司, 片桐 さやか	
2	6/8	10:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	免疫担当細胞	免疫担当細胞	片桐 さやか, 樺沢 勇司	
3	6/9	18:10-18:55	遠隔授業 (非同期型)	自然免疫	食細胞、抗体、補体、自然免疫	樺沢 勇司, 片桐 さやか	
4-6	6/11	13:30-16:10	遠隔授業 (非同期型)	適応免疫 1	細胞性免疫、エフェクター細胞	片桐 さやか, 樺沢 勇司	

7-9	6/25	15:25-18:00	遠隔授業 (非同期型)	微生物学総論 1-3	感染症の歴史、微生物の多様性と分類、微生物の構造	鈴木 敏彦	
10-12	6/26	13:30-16:10	遠隔授業 (非同期型)	微生物学総論 4、感染と発症 1、2	微生物の増殖、感染経路、ワクチンと病原性	鈴木 敏彦	
13-15	6/26	16:20-18:55	遠隔授業 (非同期型)	細菌学各論 1-3	グラム陽性菌、グラム陰性菌、その他の細菌	鈴木 敏彦	
16-18	7/1	08:50-11:30	口腔保健 学科第3 講義室	口腔微生物 1、2、ウイルス学各論	口腔内フローラ、口腔微生物と疾患	鈴木 敏彦、 樺沢 勇司	
19-21	7/3	08:50-11:30	遠隔授業 (非同期型)	アレルギー	過敏症、自己免疫	樺沢 勇司、 片桐 さやか	
22-23	7/3	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	歯科医療と感染症	歯科医療現場における感染予防法の実践	樺沢 勇司、 黒嶋 雄志	
24-26	7/21	13:30-16:10	遠隔授業 (非同期型)	化学療法と滅菌・消毒 1-3	化学療法 化学療法と薬剤耐性	芦田 浩	
27-28	12/1	09:45-11:30	口腔保健 学科第3 講義室	疼痛総論、顎顔面領域の疼痛	疼痛の概念と分類、疼痛発生の原因と機序	樺沢 勇司、 豊福 明	
29-30	12/11	17:15-18:55	遠隔授業 (非同期型)	まとめ 最終レポート課題	最終レポート課題を公表する	樺沢 勇司	

授業方法

・ドリームキャンパスで授業日程の講義棟・講義室欄に授業形式が表示されている。

「同期型の遠隔授業」は、ZOOM(Web 会議サービスシステム)を使って行う。

- ・ドリームキャンパスの授業日程の備考欄に ZOOM 情報と LMS(e ラーニングシステム)のコースが事前表示される。
- ・学生は、LMS で講義資料を入手して、ZOOM 情報にしたがってインターネットで授業に参加する。
- ・授業中に質問時間をとれない場合は、終了後にメールで質問するか、後日の登校時に質問する。

「非同期型の遠隔授業」は、LMS を使って行う。

- ・ドリームキャンパスの授業日程の備考欄に LMS が事前表示される。
- ・学生は、授業コースに掲載された教材にしたがって、指定された期限内(時間割表の講義日以降の 1 週間)に、各自の責任で履修する。
- ・質問方法が表示されてない場合は、e メールで質問するか、後日の登校時に質問する。

授業内容

- ・授業スケジュールの授業明細に記載。
- ・必要に応じて小テスト、課題演習を行う。

成績評価の方法

- ・成績は実習、講義(演習)への取り組みと講義後の課題で評価する。毎回、注意して、精一杯取り組むこと。
- ・前期評価と後期評価を総合して年間評価とするが、原則として前期と後期それぞれに合格しなくてはならない。

成績評価の基準

・

準備学習等についての具体的な指示

- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。

・事前に資料の配付、eラーニングシステムへのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 インターネットを使用した講義を行うので、各回の授業形式と受講場所を確認すること。 ・ZOOMによる講義は、上記の資料を見ながら受講すること。
試験の受験資格 ・授業時間数の3分の2以上履修した者(ドリームキャンパスで確認すること)。 ・非同期型の遠隔授業は、指定された期限内に履修すること。 ・前期末と後期末に評価するので、前期と後期それぞれに受験資格を満たさなくてはならない。 ・なお、試験は実習、講義(演習)への取り組みと講義後の課題で評価する。毎回、注意して、精一杯取り組むこと。
教科書 疾病の成り立ち及び回復過程の促進／木村重信 ほか 著,栗原英見, 前田健康, 遠藤圭子 編集,全国歯科衛生士教育協議会,:医歯薬出版, 2023
参考書 書き込み式歯科衛生士のための感染管理のきほん／柏井伸子編著 ; 入江悦子 [ほか] 著,柏井, 伸子,入江, 悦子,佐藤, 蘭美,佐藤, 久美子,早川, 幸太田, 知歩,山口, 千緒里,:デンタルダイヤモンド社, 2019 微生物学／梅本俊夫, 奥田克爾, 中山浩次, 三宅洋一郎 著,梅本, 俊夫, 1939-,奥田, 克爾, 1943-,中山, 浩次,全国歯科衛生士教育協議会,:医歯薬出版, 2007 標準微生物学／中込治, 神谷茂 編集,中込, 治,神谷, 茂, 1952-,,:医学書院, 2015 からだをまもる免疫のふしぎ／日本免疫学会編集,日本免疫学会,石川, ともこ,:羊土社, 2008-05 歯科衛生士のための歯科医療安全管理／尾崎哲則, 白土清司, 藤井一維編,尾崎, 哲則,白土, 清司,藤井, 一維,:医歯薬出版, 2014 歯科医療管理 : 安全・安心・信頼の歯科医療を提供するために／日本歯科医療管理学会編,日本歯科医療管理学会,:医歯薬出版, 2018 歯科衛生士のための感染予防スタンダード／井上孝 編著,井上, 孝, 1953-,,:医歯薬出版, 2006
履修上の注意事項 ・専門科目は、教養部で行われる全学共通科目とは履修規則等が異なるので、よく確認すること。 ・学科および専攻によって規則が異なる条項があるので、よく確認すること。 ・教務係および教員からの連絡の掲示(掲示板、WebClass)および Web メールを見落とさずに確認すること。
備考 授業評価アンケートにて特に改善したところは挙げられない。
オフィスアワー 樺沢 勇司:平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。 1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022220						
科目名	口腔病理学				科目ID	DH231103L	
担当教員	石丸 直澄, 樺沢 勇司, 牛尾 綾, 布川 裕規[ISHIMARU Naozumi, KABASAWA Yuji, USHIO Aya, FUKAWA Yuki]						
開講時期	2026 年度後期	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する				授業形態	メディア利用科目	
科目名:疾病の成り立ちと回復過程の促進 ユニット番号:2209 ユニット名:口腔病理学 授業形態:講義(遠隔授業) 時間数:必修 1 単位・15 時間 科目責任者:樺沢 勇司 ユニット責任者:石丸 直澄							
授業の目的、概要等							
人体の構造や機能を理解した上で、病気の成り立ち、臨床病態を理解する。							
授業の到達目標							
口腔を中心とした病気に成り立ち、治癒過程を理解する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/28	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	歯の異常	歯の発育異常、歯の損傷と付着物	石丸 直澄	【到達目標】シラ パス参照【学習方法】オンデマンド授業
3-4	10/8	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	う蝕	う蝕の病因と組織変化	石丸 直澄	【到達目標】シラ パス参照【学習方法】オンデマンド授業
5	10/27	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	歯周炎1	歯周病の原因と組織変化1	牛尾 綾	【到達目標】シラ パス参照【学習方法】オンデマンド授業
6	10/27	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期型)	歯周炎2	歯周病の原因と組織変化2	牛尾 綾	【到達目標】シラ パス参照【学習方法】オンデマンド授業
7-8	11/6	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	口腔領域の発育異常、嚢胞	口腔領域の発育異常、歯源性嚢胞、非歯源性嚢胞	牛尾 綾	【到達目標】シラ パス参照【学習方法】オンデマンド授業
9	11/13	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期型)	顎骨病変	顎骨の腫瘍性、炎症性病変	牛尾 綾	【到達目標】シラ パス参照【学習方法】オンデマンド授業
10	11/13	10:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	口腔粘膜疾患	口腔粘膜疾患の種類と組織変化	布川 裕規	【到達目標】シラ パス参照【学習方法】オンデマンド授業

11-12	12/1	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期型)	歯髄炎・根尖性歯周炎	歯髄炎・根尖性歯周炎の種類と組織変化	石丸 直澄	【到達目標】シラパス参照【学習方法】オンデマンド授業
13-14	12/10	17:15-18:55	遠隔授業 (非同期型)	口腔の腫瘍	口腔の歯源性、非歯源性腫瘍	布川 裕規	【到達目標】シラパス参照【学習方法】オンデマンド授業
15	12/14	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期型)	唾液腺疾患	腫瘍性、炎症性唾液腺疾患	布川 裕規	【到達目標】シラパス参照【学習方法】オンデマンド授業
16-17	1/19	09:45-11:30	口腔保健 学科第4 講義室	試験、最終評価	筆記試験を行う	石丸 直澄 樺沢 勇司	【到達目標】シラパス参照【学習方法】オンデマンド授業

授業方法
遠隔授業、質問、個別指導を組み合わせた双方向講義を実施する。

授業内容
教科書の内容に加え、該当カリキュラムの内容に則した授業内容とともにより高度な病理学的内容を盛り込む。

成績評価の方法
定期試験の得点に、小テストおよび課題レポートの得点を加味して評価する。

成績評価の基準
100 点満点に換算し、60 点(当該科目の到達目標を概ね達成した)以上を合格とする。合格点に達しなかった者については再試験を行い、60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示
・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
・教員への質問、個別指導を積極的に行うこと。

試験の受験資格
・大学の規定に基づいた出席日数授業に出席した者には受験資格を与える。
・授業時間数の 3 分の 2 以上履修した者(ドリームキャンパスで確認すること)
・LMS での非同期型講義は、時間割表の講義日を含む 1 週間以内に履修を済ませること。

教科書
疾病の成り立ち及び回復過程の促進／全国歯科衛生士教育協議会:医歯薬出版, 2023.1

参考書
新口腔病理学／下野, 正基, 1945-,高田, 隆, 1953-,田沼, 順一,下野正基, 高田隆, 田沼順一, 豊澤悟 編集:医歯薬出版, 2018.4
口腔病理アトラス／高木, 寛, 1938-,高田, 隆, 1953-,豊澤, 悟,高木寛 監,高田隆, 豊澤悟 編:文光堂, 2018.2

他科目との関連
病理学に加え、臨床各科目で学修する疾患と関連している。

履修上の注意事項
正常組織の構造と機能に基づいて病的な変化を説明するため、解剖学の知識を整理しておくこと。

参照ホームページ
日本臨床口腔病理学会 口腔組織基本画像アトラス <https://www.jsop.or.jp/atlas/>

時間割番号	022221						
科目名	薬理学		科目ID	DH231104L			
担当教員	青木 和広, 七田 崇[AOKI Kazuhiro, SHICHITA Takashi]						
開講時期	2026 年度後期	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する		授業形態	対面			
科目名: 疾病の成り立ちと回復過程の促進 ユニット番号: 2008 授業形態: 講義(遠隔授業 非同期型)、対面演習(TBL 講義) 時間数: 必修 1 単位・15 時間(50 分授業 15 コマ相当を 45 分授業 17 コマでカバー) 科目責任者・ユニット責任者: 樺沢 勇司・青木 和広							
主な講義場所 講義室を 3 種類使うので、シラバスを確認の上参加してください。 ・OE2 との合同対面授業 2 号館第 1 講義室(3 コマ)および 1 号館第 3 講義室(4 コマ: TBL 対面演習 3 コマ含む) ・OH2 のみの対面授業 1 号館第 4 講義室(2 コマ) ・オンデマンド授業 8 コマ(予習用のビデオ、確認テスト)							
授業の目的、概要等 ・薬理学の総論では、医薬品の薬理作用を理解し、薬物を安全かつ効果的に利用するために必要な基本的知識を修得する。国家試験に頻出の内容である。 ・薬理学の各論では、鎮痛薬、抗炎症薬、中枢神経系薬、自律神経系薬、運動神経系薬、硬組織系薬、循環器系薬について学ぶ。特に、自律神経・運動神経系の生理・薬理に関しては、理解を深めるために実習も含めて時間をとっている。 ・各論は、3 年生の前期にかけても学ぶ。							
授業の到達目標 1. オーダーメイド医療について説明できる。 2. 薬理作用の種類と薬物受容体と細胞内情報伝達系について説明できる。 3. 薬物の投与方法とその特徴について説明できる。 4. 薬物の生体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)について説明できる。 5. 薬物を安全に使用するための基本的考え方を修得する。 6. 薬理作用を規定する要因について説明できる。 7. 薬物の連用および併用に伴う現象について説明できる。 8. 薬物の構造活性相関について説明できる。 9. ライフステージと薬の効果について説明できる。 10. 末梢神経系作用薬物の種類と作用について説明できる。 11. 硬組織に作用する薬の種類と作用について説明できる。 12. 中枢神経系作用薬物の種類と作用について説明できる。 13. 循環器系薬、特に高血圧治療薬について説明できる。 14. 痛みと薬物について説明できる。 15. 抗炎症薬の種類と作用について説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/9	10:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	生体と薬物1	薬理学の基礎、薬力学、薬物動態学、オーダーメイド医療	青木 和広	到達目標: 1 講義視聴後に確認テストを合格点に

							到達するまで行い、感想を記載すること 10月16日(2号館第1講義室対面)に備えて、事前アンケートと事前学習を行うこと
2	10/9	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期型)	生体と薬物2	薬の使用目的とその作用、受容体と薬物	青木 和広	到達目標:2 講義視聴後に確認テストを合格点に到達するまで行い、感想を記載すること 10月16日(2号館第1講義室対面)に備えて、事前アンケートと事前学習を行うこと
3	10/16	08:50-09:35	第1講義室	生体と薬物3 ～9:45まで OE2と合同授業	薬物の適用方法	青木 和広	到達目標:3 講義後に確認テストと感想を記載すること 生体と薬物1-3および、10月9日に開示するアンケート回答したうえで授業に臨むこと
4	10/20	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	生体と薬物4	薬物の吸収、分布、代謝、排泄	青木 和広	到達目標:4 講義視聴後に確認テストを合格点に到達するまで行い、感想を記載すること
5	10/23	08:50-09:35	第1講義室	生体と薬物5	薬物の生物学的検定法、用量反応曲線	青木 和広	到達目標:5 講義後に確認テストと感想を記載すること 生体と薬物1-5を視聴したうえで臨むこと
6	10/27	15:25-16:10	遠隔授業 (非同期型)	生体と薬物6	薬理作用を規定する要因、薬物の反復、構造活性相関	青木 和広	到達目標:6-8 講義視聴後に確認テストを合格点に到達するまで行い、感想を記載すること
7	11/2	08:50-09:35	第1講義室	生体と薬物7	ライフステージと薬物	青木 和広	到達目標:9 講義後に確認テストと感想を記載すること 生体と薬物

							1-7を視聴したうえで臨むこと
8	11/17	11:40-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	末梢神経系作用薬物	神経伝達物質、自律神経系作用薬、運動神経系作用薬。	青木 和広	到達目標:10 講義後に確認テストと感想を記載すること 自律神経・運動神経系の生理・薬理を視聴したうえで臨むこと
9	11/20	08:50-09:35	口腔保健 学科第4 講義室	循環器系の薬理	高血圧治療薬	青木 和広	到達目標:13 講義後に確認テストと感想を記載すること 高血圧治療薬の授業を視聴したうえで臨むこと
10	11/20	09:45-10:30	口腔保健 学科第4 講義室	硬組織に作用する薬物	骨吸収抑制薬・骨形成促進薬・骨質改善薬	青木 和広	到達目標: 11 硬組織薬理の授業を視聴したうえで臨むこと
11	11/24	13:30-14:15	遠隔授業 (非同期型)	中枢神経系作用薬1	AL(演習)・講義 全身麻酔薬、睡眠薬、向精神薬、抗不安薬の種類と特徴	七田 崇	到達目標:12 講義視聴後に確認テストを合格点に到達するまで行い、感想を記載すること
12	11/24	14:25-15:10	遠隔授業 (非同期型)	中枢神経系作用薬2	AL(演習)・講義 中枢神経興奮薬、抗てんかん薬、パーキンソン病治療薬、アルツハイマー病治療薬の種類と特徴	七田 崇	到達目標:12 講義視聴後に確認テストを合格点に到達するまで行い、感想を記載すること
13	12/7	13:30-14:15	遠隔授業 (非同期型)	痛みと薬物	麻薬性鎮痛薬、非麻薬性鎮痛薬、解熱鎮痛薬	青木 和広	到達目標:14 講義視聴後に確認テストを合格点に到達するまで行い、感想を記載すること
14	12/7	14:25-15:10	遠隔授業 (非同期型)	抗炎症薬	非ステロイド性抗炎症薬、ステロイド性抗炎症薬、	青木 和広	到達目標:15 講義視聴後に確認テストを合格点に到達するまで行い、感想を記載すること
15-17	1/27	09:45-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	末梢神経系作用薬物	AL(演習)・TBL 方式の講義 神経伝達物質、自律神経系作用薬、運動神経系作用薬。 ・最初に確認テストを行います。 ・授業参加前に予習が必要です。 (11/17の授業を復習してくること)	青木 和広	到達目標:10 (OE2 と合同授業) 11/17 のビデオを再度視聴し、予習をしてくること。 9 時 45 分から知

							識確認テスト(5分ほど)を行うので、遅れないように5分前に集合すること
18	2/9	09:45-10:30	情報検索室1	知識確認テスト(10:30～11:30)	期末テスト(10:30～11:30)	青木 和広	試験範囲に、薬理学実習の内容も含まれる

成績評価の方法

- ・授業ごとの小テスト(30点)、定期試験(70点)で評価するが、出席状況および授業態度も加味した総合的な評価を行う。
- ・定期テストで6割の正答率が得られない者は、再試験となる。
- ・再試験でも6割の正答率が得られない場合は、不合格となる。

成績評価の基準

- ・小テストを平常点の評価基準とする。
- ・A+の評価は、対面授業におけるテストの成績を一つの評価基準とする。

準備学習等についての具体的な指示

本授業は、予習を前提とした反転授業(Flipped classroom)をおこなう。

以下、必要な予習を記載するので、LMS掲載の授業を視聴して臨むこと。

- ・10月9日、LMSに提示される授業前アンケートに必ず回答してから10月16日の初回授業に臨むこと。
- ・10月16日の授業には、生体と薬物1-3を視聴したうえで授業に臨むこと。
- ・10月23日の対面授業には、生体と薬物1-5を視聴したうえで授業に臨むこと。
- ・11月2日の対面授業には、生体と薬物1-7を視聴したうえで授業に臨むこと。
- ・11月17日の対面授業には、自律神経・運動神経の生理・薬理を視聴したうえで授業に臨むこと。
- ・1月27日のTBL授業前には、11月17日(末梢神経系作用薬物)の授業の復習をしてから臨むこと。
末梢神経系作用薬物の授業内容が、TBL授業最初におこなう確認テストの試験範囲である。
- ・非同期講義を受講した場合は、確認テストと感想記事を必ずおこなうこと。確認テストは合格点を採るまでおこない、授業の感想記入まで終らせて、出席として扱う。
- ・確認テストおよび感想記入は、公開日を含めて1週間以内に行うこと。
対面授業の準備のための確認テストと感想記入も、対面授業前に終わらせることが理想だが、回答締切は、対面授業から7日以内とする。感想は、対面授業に対する感想を記載すること。
- ・頭頸部の構造と機能で行う1月19日、25日のOE2との合同薬理学実習と授業内容が連携している。このため、実習の内容も試験範囲となる。
- ・非同期(オンデマンド)の講義を視聴した場合の質問は、LMS内の質問箱に書き込むことで、授業中に解説をすることが出来る。

試験の受験資格

3分の2の出席

なお、

非同期授業はビデオ受講記録だけでなく、感想記入と小テストの合格点をもって出席とする。

やむを得ない事情で欠席をする場合は、前もってユニット責任者(青木)に連絡すること。

連絡も無く欠席した場合、あるいは連絡はするが正当な理由と認められない場合は、出席に関しては考慮しない。

連絡があり、正当な理由と認められた場合は、出席に足るレポート提出をもって出席とする。

教科書

現代歯科薬理学／鈴木邦明 監修、戸苅彰史、青木和広、兼松隆、筑波隆幸、八田光世 編：医歯薬出版、2024.1

参考書

薬理学／全国歯科衛生士教育協議会 編、川口充、大浦清、大谷啓一、戸苅彰史、加藤有三、篠原光子 著：医歯薬出版、2011

シンプル薬理学／野村隆英、石川直久 編集：南江堂、2014

現代歯科薬理学／大谷啓一、鈴木邦明、戸苅彰史 編、加藤有三、篠田壽 監修：医歯薬出版、2012

コメディカルのための薬理学／渡邊泰秀、樋口マキコ 編集：朝倉書店、2012

現代歯科薬理学／大谷、啓一、1949-、鈴木、邦明、戸苅、彰史、青木、和広、大谷啓一 監修、鈴木邦明、戸苅彰史、青木和広、兼松隆、筑波隆幸 編：医歯薬出版、2018.2

最新薬理学：疾病の成り立ち及び回復過程の促進／大浦清、戸苅彰史 編集：学建書院、2017

歯科衛生学辞典／眞木吉信ほか編、眞木、吉信、全国歯科衛生士教育協議会、永末書店、2024.2

他科目との関連

頭頸部の構造と機能の薬理学実習1、2が本科目の理解を深める実習となる。 このため、試験範囲に頭頸部の構造と機能の薬理学実習の内容が含まれる。

備考

昨年度授業終了時アンケート結果より、昨年度より対面授業を増やした。

合同授業も増やし、理解を深めるために、予習を必須とする授業とした。

担当教員のオフィシアワーおよび連絡先

毎週月曜日 16 時～17 時

これ以外は

メールにて面談の日程を調整すること

青木和広 kazuhiro_aoki.bhoe@tmd.ac.jp

非同期(オンデマンド)授業は、授業動画視聴後に確認テストを合格点を採るまでおこない、感想記入を期限までに行うことをもって出席とする。

非同期(オンデマンド)授業の視聴による予習を前提とした反転授業をおこない、対面授業では、AL(グループディスカッションや TBL 方式の講義)を行う。

オフィシアワー

青木 和広毎週月曜日 16 時から 18 時 2 号館 2 階 216 号室(口腔基礎工学分野)

オフィスにいない場合もあるので、あらかじめメールで問い合わせすることを推奨。

時間割番号	022510						
科目名	高齢者福祉			科目ID			
担当教員	日高 玲奈, 中澤 栄理, 早田 雅美, 中澤 栄理, LIAO SHIN RU, 松尾 浩一郎[HIDAKA Rena, NAKAZAWA Eri, Masami Hayata, Eri Nakazawa, LIAO SHIN RU, MATSUO Koichiro]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	対面		
主な講義場所							
1 号館西 8 階第 4 講義室							
授業の目的、概要等							
・地域で活躍する歯科衛生士に必要となる、高齢者の特徴や社会情勢、高齢者の生活支援に必要な医療・保健・福祉の知識、生活機能や栄養など生活支援に必要な評価法を理解する。							
・地域で活躍する歯科衛生士に必要となる、介護が必要な高齢者の特徴や社会における介護の問題点、高齢者の生活支援に必要な介護・福祉の知識、介護の実際を知る。							
授業の到達目標							
・超高齢社会について説明できる。							
・高齢者の身体的・精神的特徴や高齢者に多い全身疾患や口腔の変化を説明できる。							
・高齢者の生活支援に必要な生活機能評価や栄養評価を説明できる。							
・包括的な高齢者支援を理解する。							
・介護と介護予防の概念、対象について説明できる。							
・生活支援に必要な介護の技術について説明できる。							
・認知症とその生活支援について説明できる。							
・介護の実際例から社会における介護の問題点を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/21	09:45-11:30	口腔保健 学科第4 講義室	超高齢社会とは	高齢者を取り巻く社会環境の変化、高齢者・高齢化の定義	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出
3-5	4/30	13:30-16:10	口腔保健 学科第3 講義室	介護の概念と対象	介護と介護予防の概念・理念と対象、自立支援と介護過程	日高 玲奈 中澤 栄理	グループ討論、グループおよび個人課題の提出
6-7	6/5	09:45-11:30	口腔保健 学科第4 講義室	生活支援技術	支度・移動・睡眠の看護と介護	日高 玲奈	看護部 小野夢花先生 グループ討論、グループおよび個人課題の提出
8-9	6/15	08:50-10:30	口腔保健 学科第3 講義室	生活支援と介護	自宅での介護の実際	日高 玲奈 早田 雅美	振り返りシートを作成し提出すること SBOs2, 3, 4
10-11	6/15	10:45-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者の栄養管理	栄養評価法、必要栄養量、高齢者で不足しやすい栄養 栄養ケアの実際	日高 玲奈	臨床栄養部 清水 行栄 先生 グループ討論、グループおよび個人課題の提出
12-15	6/29	08:50-12:25	口腔保健 学科臨床	生活支援技術	車いすの操作・介助方法、杖の種類および使用・介助方法	日高 玲奈 中澤 栄理	実習(基礎) グループ討論、グ

			基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室				ループおよび個人課題の提出
16	7/29	10:45-11:30	口腔保健 学科第4 講義室	期末試験	期末試験	日高 玲奈	期末試験

授業方法

講義終了後、振り返りシートを作成し提出してください。

質問等については振り返りシート及び担当教員へのメールにて随時対応する。

授業内容

授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。

成績評価の方法

- ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
- ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。
- ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。

成績評価の基準

1) 出欠状況を基準点とする(例:100%の出席率で 100 点、80%の出席率で 80 点満点)

2) 各回授業終了後の振り返りシート、授業態度等 20 点

3) 筆記試験(多肢選択問題、応用記述式問題含む) 80 点

振り返りシートや応用記述式問題の中で、課題やテーマに対して複数の意見や独自の考察がなされている場合などに加点対象とする。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。
- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席

教科書

最新社会福祉士養成講座／日本ソーシャルワーク教育学校連盟,日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集:中央法規出版, 2021.2

高齢者歯科学／全国歯科衛生士教育協議会,植田耕一郎 ほか 著:医歯薬出版, 2023.1

備考

授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。

オフィスアワー

松尾 浩一郎毎週月曜日 16:00-18:00 1 号館 8 階 818B 室

* 要事前連絡

時間割番号	022223						
科目名	保健医療サービス			科目ID	DH241300L		
担当教員	樺沢 勇司, 伊藤 奏, 五十嵐 公, 岡田 幸之, 山田 麻記子, 日高 玲奈, 山田 美代子, 品田 佳世子 [KABASAWA Yuji, ITO Kanade, IGARASHI Isao, OKADA Takayuki, YAMADA Makiko, HIDAKA Rena, YAMADA Miyoko, SHINADA KAYOKO]						
開講時期	2026 年度通年	対象年次	2	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
保健医療サービス (樺沢勇司) 科目番号:2014 授業形態:対面、遠隔授業(非同期型講義) コマ数:30 コマ							
主な講義場所 第4 講義室、自宅							
授業の目的、概要等 一般目標 保健医療サービスに関連する法律や衛生行政、医療保険制度、政策動向を理解し、保健医療の専門職の役割や実際、多職種連携やチーム医療を理解する。							
授業の到達目標 到達目標 SBOs 1.保健医療サービスに関連する法律(医療法、地域保健法、健康増進法など)の概要を説明できる。 2.保健医療サービスに関連する政策動向を説明できる 3.衛生行政の概要と政策動向を説明できる。 4.医療保険制度(診療報酬に関する内容を含む)の特徴や仕組みを説明できる。 5.保健医療サービスにおける専門職(医師、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、看護師、保健師、医療ソーシャルワーカー、他の医療技術職)の役割を説明できる。 6.保健医療サービスにおける多職種連携やチームアプローチを説明できる。 7.インフォームドコンセントの概要(関連制度、自己決定・自立尊重原理など)を説明できる。 8.災害時の保健医療サービスにおける多職種連携やチームアプローチを説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/3	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	保健医療サービス関連の法・制度	母子保健の関連法規、制度・政策 SBOs1,2	樺沢 勇司	課題、課題発表を設ける
3-4	4/13	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	保健医療サービス関連の法・制度	医療法など基本法規と保健医療制度、保健医療サービスの制度・政策 SBOs1	五十嵐 公, 樺沢 勇司	課題、課題発表を設ける
5-6	4/16	16:20-18:00	遠隔授業 (非同期型)	保健医療サービス関連の法・制度	学校保健の関連法規、制度・政策 SBOs1,2	樺沢 勇司	課題、課題発表を設ける
7	4/16	18:10-18:55	遠隔授業 (非同期型)	保健医療サービスにおける専門職1	保健医療サービスにおける専門職の役割、多職種連携 SBOs5,6	樺沢 勇司, 伊藤 奏	課題、課題発表を設ける
8-9	5/12	15:25-17:05	遠隔授業	保健医療サービス関連	医療法など基本法規と保健医療制	五十嵐 公	課題、課題発表を

			(非同期型)	の法・制度	度、保健医療サービスの制度・政策 SBOs1	樺沢 勇司	設ける
10	6/18	14:25-15:10	遠隔授業 (非同期型)	保健医療サービス関連 の法・制度	高齢者福祉・介護と保健医療サービス SBOs1,2,5,6	樺沢 勇司, 伊藤 奏	課題、課題発表を 設ける
11	6/18	15:25-16:10	遠隔授業 (非同期型)	保健医療サービス関連 の法・制度	成人・高齢者保健の関連法規、制度・政策 SBOs1,2,5,6	樺沢 勇司, 伊藤 奏	課題、課題発表を 設ける
12	6/18	16:20-17:05	遠隔授業 (非同期型)	保健医療サービス関連 の法・制度	産業保健の概要と関連法規、制度、政策 SBOs1-4	樺沢 勇司	課題、課題発表を 設ける
13	7/10	14:25-15:10	遠隔授業 (非同期型)	保健医療サービス関連 の法・制度	産業保健の概要と関連法規、制度、政策 SBOs1-4	樺沢 勇司	課題、課題発表を 設ける
14-15	7/10	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期型)	医療保険制度 1	医療保険の種類と仕組み 1 SBOs4	樺沢 勇司, 五十嵐 公	課題、課題発表を 設ける
16	9/16	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期型)	医療保険制度 3	診療報酬制度の概要 SBOs4	五十嵐 公, 樺沢 勇司	課題、課題発表を 設ける
17	9/25	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	医療保険制度 4	医療保険の関連制度 SBOs4	五十嵐 公, 樺沢 勇司	課題、課題発表を 設ける
18	9/25	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期型)	医療保険制度 5	医療費の範囲と動向 SBOs4	五十嵐 公, 樺沢 勇司	課題、課題発表を 設ける
19	10/5	13:30-14:15	遠隔授業 (非同期型)	保健医療サービス関連 の法・制度 10	精神保健の関連法規、制度・政策 SBOs1	岡田 幸之, 樺沢 勇司	
20	10/13	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	インフォームドコンセントの概要	関連制度、自己決定、自立尊重の 原理について SBOs7	樺沢 勇司	課題、課題発表を 設ける
21	10/13	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期型)	保健医療サービス関連 の法・制度 10	精神保健の関連法規、制度・政策 SBOs1	岡田 幸之, 樺沢 勇司	課題、課題発表を 設ける
22-23	11/27	13:30-15:10	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生士にとっての 保健医療サービス 2	病院における保健医療サービス SBOs5, 6	日高 玲奈, 樺沢 勇司	課題、課題発表を 設ける
24	11/27	15:25-16:10	遠隔授業 (非同期型)	保健医療サービスにお ける専門職 2	がん相談支援における MSW の役 割 SBOs5, 6	山田 麻記子, 樺沢 勇司	課題、課題発表を 設ける
25	12/4	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期型)	保健医療サービス関連 の法・制度 1	障害者福祉・児童福祉と保健医療 サービス SBOs1, 2, 5	日高 玲奈, 樺沢 勇司	課題、課題発表を 設ける
26	12/4	10:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	保健医療サービスにお ける専門職 3	医科歯科連携における歯科医師 の働き SBOs8	樺沢 勇司	課題、課題発表を 設ける
27	12/4	17:15-18:00	遠隔授業 (非同期型)	保健医療サービスにお ける専門職 5	被災地医療機関と受け入れ医療 機関との連携 SBOs8	山田 美代子	課題、課題発表を 設ける

			型)				
28	12/4	18:10-18:55	遠隔授業 (非同期 型)	保健医療サービスにお ける専門職 5	被災地医療機関と受け入れ医療 機関との連携 SBOs8	山田 美代子	課題、課題発表を 設ける
29	1/29	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期 型)	保健医療サービス関連 の法・制度 2	災害時における MSW の役割 SBOs8	山田 美代子	課題、課題発表を 設ける
30	1/29	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期 型)	まとめ	今までの講義の質問、最終課題	樺沢 勇司	課題、課題発表 提出を設ける

授業方法

遠隔授業(LMS による非同期型遠隔講義)が中心であるが、一部対面講義を行う。指定された動画および講義資料、参考資料などを閲覧し、指示された課題に回答する。

LMS 上の掲示板を作成するので、講義内容や課題についての感想や質問、コメントを自由に記載して下さい。回答は樺沢より全員に対してあるいは個人的に行うため、十分に活用すること。講義についての質問も含めて担当教員(樺沢)までメールでも受け付ける。

講義動画は原則学期末まで公開する。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

講義に課されるレポートや、期末の最終レポート課題で総括的評価を行う。

授業内容について十分に理解できていること、授業内容と歯科衛生士としての働きを関連付けて考えられているものをより評価する。

成績評価の基準

「到達目標」に明示している事項について、講義内容より概ね達成できている場合はB、発展的に学習して社会的課題に対する解決策などを具体的に論述できる場合はBより上とする。

準備学習等についての具体的な指示

非同期型の遠隔講義が中心であるので、事前に教科書等でよく予習の上、授業に臨むこと。

試験の受験資格

遠隔授業については、基本的にすべて視聴する事。

遠隔授業のため、接続に関して問題が生じた場合には、科目責任者(樺沢)までメールで必ず連絡をすること。

教科書

歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 2 保健・医療・福祉の制度／一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会 監修、一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会、:医歯薬出版、2023-03-31

参考書

歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み／石井、拓男、全国歯科衛生士教育協議会、:医歯薬出版、2018

歯科衛生士のための衛生行政社会福祉社会保険／末高武彦著、末高、武彦、:医歯薬出版、2021

履修上の注意事項

遠隔授業に関する注意事項について、周知されている内容を随時確認すること。 講義内容等の質問は、科目責任者(樺沢)までメールで随時行うこと。

備考

担当教員の Office hour

樺沢勇司 健康支援口腔保健衛生学分野 随時 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

樺沢 勇司:平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。

1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

伊藤 奏:随時(メールにて事前にアポイントメントをとること)

1 号館 8 階 817B

時間割番号	022552						
科目名	多職種連携Ⅱ			科目ID			
担当教員	樺沢 勇司, LIAO SHIN RU[KABASAWA Yuji, LIAO SHIN RU]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	2	単位数	0.5		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	対面		
英文名: Interprofessional Collaboration Ⅱ							
【科目責任者】樺沢勇司							
主な講義場所 鈴木章夫記念講堂(MD タワー2 階)							
授業の目的、概要等 医療・歯科医療において活躍する保健・医療・福祉の専門職について知り、共通する職業倫理や仕事に対する姿勢、多職種連携の重要性を学び、それぞれの将来像を共有する。患者の講演をとおして患者の気持ちを想像し、患者や利用者、家族、地域の重要な課題について議論する。他学科学生との協働学習を通して、自他の役割や思考・行為・感情・価値観を踏まえて協働する学生同士での信頼関係を構築し、時に生じる葛藤にも適切に対応し、互いの意見交換を円滑に進めるために必要な課題を認識することを目指す。							
授業の到達目標 1. 自らの知識や価値観を、他学科の学生に共有することができる。 2. 他学科学生の役割や意見を尊重した説明や返答、問いかけができる。 3. 自らの価値観や言動について、他学科の学生との関係性の中で、相対化できる。 4. 自分の職種の役割を他職種及び他の医療系学部の学生に説明できる。 5. 病院・診療所・施設等の職場環境やチームや部門等の所属に応じた他職種の役割を理解している。 6. 他学科学生との演習活動の中で、円滑な協働を進めるために、自らの役割を果たすことができる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	5/22	08:50-10:30	鈴木章夫 記念講堂	・オリエンテーショ ン ・グループワー ク1 ・講演 第1部	・実習オリエンテーション ・自己紹介、学科専攻紹介 ・AYA 世代について	樺沢 勇司	SBOs1-5
3-4	5/22	10:45-12:25	鈴木章夫 記念講堂	・講演 第2部 ・グ ループワーク2	・講演 第2部 ・グループワー ク2 ・AYA 世代の闘病 ・ 講演を踏まえたグループディスカ ッション	樺沢 勇司	SBOs1-5
5-6	5/22	13:30-15:10	鈴木章夫 記念講堂	・講義 ・グループワ ーク3	・多職種連携について ・仮想 シナリオを用いたグループディス カッション	樺沢 勇司, LI AO SHIN R U	SBOs1-5
7-8	5/22	15:25-17:05	鈴木章夫 記念講堂	・発表会 ・グループ ワーク4 ・総括	・患者を支える多職種連携 ・ 実習全体を踏まえたグループディ スカッション ・実習のまとめ	樺沢 勇司, LI AO SHIN R U	SBOs1-5
授業方法 演習(講義、討論) 全学での取り組み(医・歯・ロ工:3年、看護・検査・口衛:2年)で、グループに分かれて討論を行う。 課題の提出を LMS にて行うこと。							
成績評価の方法 成績はピア評価・チューター評価によるグループワークへの参加態度(50%)、レポート等の提出物(50%)により評価する。							
成績評価の基準							

・合計点数が 60%以上のものを合格とする。 ・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。 参加態度は、司会や書記を務め、積極的に発言しただけではなく、グループメンバーの話しやすい雰囲気を作るなど、聞く姿勢も評価の対象となる。 期日までに提出された課題を採点対象とし、講演で聞いた内容やグループワークで話し合った内容が含まれているか、自分自身の考えが描かれているかについて授業の到達目標の達成度に応じて採点する。
準備学習等についての具体的な指示 事前の資料配付および e-learning 上へのアップロードがあった場合には、予習をして授業に臨むこと。E-learning を連絡等に利用するので、チェックを怠らず、指示に従って課題および予習を行うこと。
試験の受験資格 試験は実施しない ・出席を基本とし、演習に参加する。 ・演習発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
参考書 へこんでも : 25 歳ナツコの明るいガン闘病記／多和田 奈津子, 1972- 多和田奈津子 著:新潮社, 2002.4 ・総合的な思春期・若年成人(AYA)世代のがん対策のあり方に関する研究(厚労科研)文献番号 201708005A ・がんノート (URL: https://gannote.com/)
他科目との関連 多職種連携Ⅰを基盤とし、多職種連携Ⅲ(チーム医療入門)の基礎となる科目である。多職種連携と歯科衛生士としてのプロフェッショナリズムを養成するための科目である。
履修上の注意事項 積極的に参加すること。レポートを提出すること。
備考 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 責任者: 樺沢勇司 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp 質問等は科目責任者までメールで相談すること。
オフィスアワー 樺沢 勇司: 平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。 1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022571				
科目名	医療と AI・ビッグデータ応用			科目 ID	
担当教員	中林 潤, 須藤 毅顕, 曹 日丹, 田畑 寛治, 清水 秀幸, 原田 芽衣[NAKABAYASHI Jun, SUDO Takeaki, CAO Ridan, TABATA Kanji, SHIMIZU Hideyuki, HARADA Mei]				
開講時期	2026 年度通年	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目
主な講義場所					
同期型遠隔授業と講義動画のオンデマンド配信					
授業の目的、概要等					
AI・データサイエンスの価値を理解し、将来的に医療分野におけるデータサイエンスを活用した AI 技術研究を自らあるいは企業などと共同で推進するために必要な実践力を身に付ける					
授業の到達目標					
・データサイエンスを実践するために必要な数理モデルの理論的背景を概説できる					
・データサイエンスを実践するために必要な AI モデルの理論的背景を概説できる					
・データサイエンスを実践するために必要な前処理を行うことができる					
・AI の基本的なモデルのプログラムを作成できる					
・教師あり機械学習と教師なし機械学習の違いを説明できる					
・機械学習を活用し、課題解決につなげることができる					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/23	10:45-11:30	遠隔授業 (同期型)	須藤 毅顕	
2	4/23	11:40-12:25	遠隔授業 (同期型)	須藤 毅顕	
3	5/7	10:45-11:30	遠隔授業 (同期型)	須藤 毅顕	
4	5/7	11:40-12:25	遠隔授業 (同期型)	須藤 毅顕	
5	5/14	10:45-11:30	遠隔授業 (同期型)	須藤 毅顕	
6	5/14	11:40-12:25	遠隔授業 (同期型)	須藤 毅顕	
7	5/28	10:45-11:30	遠隔授業 (同期型)	須藤 毅顕	
8	5/28	11:40-12:25	遠隔授業 (同期型)	須藤 毅顕	
9	6/18	10:45-11:30	遠隔授業 (同期型)	須藤 毅顕	
10	6/18	11:40-12:25	遠隔授業 (同期型)	須藤 毅顕	
11	7/2	10:45-11:30	遠隔授業 (同期型)	須藤 毅顕	
12	7/2	11:40-12:25	遠隔授業 (同期型)	須藤 毅顕	
13	7/9	10:45-11:30	遠隔授業 (同期型)	須藤 毅顕	
14	7/9	11:40-12:25	遠隔授業	須藤 毅顕	

			(同期型)	
15	7/16	10:45-11:30	遠隔授業 (同期型)	須藤 毅頭
16	7/16	11:40-12:25	遠隔授業 (同期型)	須藤 毅頭
授業方法 ・講義と Python を用いたプログラミング演習を Zoom で行う。 ・本科目の 1 コマでグループ演習を予定している。グループ演習は、非同期で受講する場合は 1 人で取り組んでも差し支えない。 ・授業の録画はできる限り授業当日のうちにアップロードし、1 週間の学習期間を確実に確保できるようにする。 ・昨年の学生の授業評価を踏まえ、今年度は使用するデータセットを MNIST, Fashion-MNIST, CIFAR10 から、医療に特化した MEDMNIST に変更する。				
授業内容 ・AI 総論(医療 AI、最新 AI 技術) ・データの読み込み ・データセットの理解と加工(繰り返し、one-hot encoding) ・多層パーセプトロン①(重み、ニューロン、活性化関数) ・多層パーセプトロン②(学習、エポック、正解率と誤差) ・多層パーセプトロン③(損失関数、誤差逆伝播法) ・畳み込みニューラルネットワーク①(畳み込み、プーリング) ・その他応用演習				
成績評価の方法 ・本科目は課題の提出をもって出席とみなす。 ・課題が提出されない場合は、当該授業を欠席した事実として扱うのみならず、当該課題は 0 点として評価するので注意すること。 ・最終回の課題提出期限までに、以下の授業評価アンケートに回答していることを最終評価の条件とする。 ○医学部の学生:「M2 コース評価アンケート 2026」の「2026 年度「医療と AI・ビッグデータ応用」コース評価」 ○保健衛生学科看護学専攻の学生:「科目評価(旧 科目別授業評価アンケート)【保健衛生学科】2026」の「科目評価 看護 2 年「医療と AI・ビッグデータ応用」」 ○保健衛生学科検査技術学専攻の学生:「科目評価(旧 科目別授業評価アンケート)【保健衛生学科】2026」の「科目評価 検査 2 年「医療と AI・ビッグデータ応用」」 ○歯学科の学生:「歯学科授業評価アンケートコース 2026」の「科目評価 医療と AI・ビッグデータ応用」 ○口腔保健学科口腔保健衛生学専攻の学生:「OH1-4 口腔保健衛生学専攻授業評価アンケートコース 2026」の「科目評価 医療と AI・ビッグデータ応用」 ○口腔保健学科口腔保健工学専攻の学生:「OE1-4 口腔保健工学専攻授業評価アンケートコース 2026」の「科目評価 医療と AI・ビッグデータ応用」				
成績評価の基準 本科目では試験を実施せず、各講義および演習後の課題によって成績評価を行う。 すべての課題を期限内に提出した場合は、基本的に 80 点以上となる。 (但し白紙もしくは白紙相当の課題内容は対象外とする)				
準備学習等についての具体的な指示 ・LMS にあげている動画教材を活用して予習・復習に役立てること。				
試験の受験資格 ・試験は実施しないが、成績評価には講義の 2/3 の出席(課題提出)が必要である。 ・授業コマで課された課題の提出をもって、当該授業コマを出席とみなす。				
参考書 ・Python で体感! 医療と AI はじめの一步/宮野 悟, 中林 潤, 木下 淳博, 須藤 毅頭:羊土社 ・東京大学のデータサイエンティスト育成講座: Python で手を動かして学ぶデータ分析/中山浩太郎 監修, 塚本邦尊, 山田典一, 大澤文孝 著, 中山 浩太郎, 塚本 邦尊, 山田 典一, 大沢 文孝, 1973-, :マイナビ出版, 2019				

・データサイエンスの基礎／濱田悦生著；狩野裕編 濱田, 悦生 狩野, 裕 講談社サイエンティフィク, 講談社, 2019
・Python3 スキルアップ教科書/辻真吾、小林秀幸、鈴木庸氏、細川康博/技術評論社
・新しい人工知能の教科書/多田智史、石井一夫/翔泳社
・医療 AI とディープラーニングシリーズ 医用画像ディープラーニング入門 / 藤田広志/オーム社
・Python によるディープラーニング Francois Chollet/マイナビ出版

備考

課題は LMS 上での提出のみを採点対象とし、授業担当者への個別メールでの対応は原則受け付けない

オフィスアワー

中林 潤:月曜～金曜

A.M.10:00 – P.M. 05:00

国府台キャンパス 4 階 教官研究室—9

須藤 毅頭:毎週火曜日 AM.11:00-PM.5:00 湯島キャンパス 1 号館東 3 階 教育メディア開発学分野研究室

時間割番号	022590A					
科目名	歯科保存学(ユニット)			科目ID	DH251401L	
担当教員	竹内 康雄, 八幡 祥生[TAKEUCHI Yasuo, YAHATA Yoshio]					
開講時期	2026 年度前期	対象年次	2			
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目	
科目名:臨床歯科医学 ユニット名:歯科保存学 必要自習時間:各講義 1 時間程度 授業形式:講義(遠隔非同期)30 コマ						
主な講義場所 遠隔非同期(Webclass)						
授業の目的、概要等 保存系歯科医学の内容を理解し、保存系歯科医療におけるチームアプローチを実践するために必要な知識を修得する。						
授業の到達目標 1) 歯の硬組織疾患を説明する。 2) う蝕のリスクファクターと診断法、病理と処置法を説明する。 3) 窩洞の分類と修復物の理想的臨床形態を説明する。 4) コンポジットレジン修復を説明する。 5) 歯科用セメントの種類と使用目的を説明する。 6) アマルガム修復を説明する。 7) メタルインレー修復を説明する。 8) 審美的間接法修復を説明する。 9) う蝕の保存修復治療に必要な器具、器材、前準備、ならびに術後管理を説明する。 10) 歯髄保存療法の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 11) 歯髄除去療法の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 12) 感染根管治療の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 13) 根管充填法の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 14) 外科的歯内治療の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 15) 歯周基本治療の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 16) 外科的歯周治療の種類、目的、器具、器材、前準備を説明する。 17) 歯周治療におけるメインテナンスの内容、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	5/18	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	保存修復治療概論	歯の構造と硬組織疾患、う蝕のリスクファクターと診断、う蝕の病理と処置法	高橋 礼奈
3-4	5/29	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	成形充填修復 1	成形充填修復の流れ	高橋 礼奈
5	6/1	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	歯周病の概論、病因	歯周病の概論、病因	竹内 康雄
6-7	6/1	09:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	成形充填修復 2 成形充填修復 3	コンポジットレジン修復 歯科用セメント、アマルガ ム修復	高橋 礼奈
8	6/1	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期型)	鑄造修復 1	修復物の形態学、間接法修復治療の流れ	高橋 礼奈

			型)			
9	6/2	13:30-14:15	遠隔授業 (非同期 型)	歯周病の診断、分類	歯周病の診断、分類	竹内 康雄
10	6/2	14:25-15:10	遠隔授業 (非同期 型)	歯周病検査	歯周病検査	竹内 康雄
11	6/5	13:30-14:15	遠隔授業 (非同期 型)	口腔衛生指導	口腔衛生指導	竹内 康雄
12	6/5	14:25-15:10	遠隔授業 (非同期 型)	スケーリング・ルートプ レーニング 1	スケーリングとルートプ レーニングの目的、手用スケーリング	竹内 康雄
13-14	6/5	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期 型)	歯内療法の概要	歯内療法概説	八幡 祥生
15	6/8	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期 型)	スケーリング・ルートプ レーニング 2	機械的スケーリング、シャープに ング	竹内 康雄
16	6/8	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期 型)	歯周外科治療	歯周外科の種類、目的、使用器 具・機材について	竹内 康雄
17	6/8	14:25-15:10	遠隔授業 (非同期 型)	鑄造修復 2	メタ ルインレー修復、審美的間接 法修復	高橋 礼奈
18-19	6/8	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期 型)	ケーススタ ディー	う蝕保存修復歯科治療にお ける 診療の流れと器材の準 備、治療 計画とメンテナンス	高橋 礼奈
20-21	6/12	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期 型)	歯髄保存療法、歯髄除 去療法	歯髄保存療法および歯髄除去療 法の種類・目的、基材・器具の準備	八幡 祥生
22-23	6/12	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期 型)	根管治療	感染根管治療の種類・目的 器 具・器材の準備	八幡 祥生
24	6/15	15:25-16:10	遠隔授業 (非同期 型)	歯周外科治療、根分歧 部病変の処置	歯周組織再生療法、歯周形成外 科、根分歧部病変の分類と処置	竹内 康雄
25	6/15	16:20-17:05	遠隔授業 (非同期 型)	口腔機能回復治療	修正治療の概要(矯正治療、咬合 治療)	竹内 康雄
26	6/15	17:15-18:00	遠隔授業 (非同期 型)	メンテナンス/SPT	メンテナンスと SPT の違い、処 置内容について	竹内 康雄
27-28	6/19	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期 型)	根管充填	根管充填法および外科的歯 内治 療の種類・目的、器 具・器材の準 備	八幡 祥生
29-30	6/19	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期 型)	外科的歯内療法、歯の 外傷、安全対策	外科的歯内治療の種類・目的、器 具・器材の準備	八幡 祥生

31	7/6	10:45-11:30	口腔保健 学科第4 講義室	定期試験	定期試験	竹内 康雄
授業方法 遠隔非同期(Webclass)						
授業内容 ・保存修復学・歯周病(歯周治療)学・歯内療法学それぞれにおける、病因・分類法・検査・診断法・治療法・治療実施時の準備・診療補助に関する事項について学ぶ。						
成績評価の方法 講義の出席状況、講義課題の提出状況、定期試験結果で総合的評価を行う。						
成績評価の基準 ・定期筆記試験については 60 点未満は不合格とする。 (原則、保存修復学・歯周病学・歯内療法学それぞれにおいて 60 点以上を求める) ・提出物の内容が不十分な場合は再提出を指示する。						
準備学習等についての具体的な指示 教本や事前配布資料等を用いて、各自予習して授業に臨むこと。						
試験の受験資格 ・講義の 2/3 以上出席すること(出席は視聴記録と課題の提出で確認する) 原則、保存修復学・歯周病学・歯内療法学それぞれにおいて講義の 2/3 以上出席を求める。 ・特別に勘案すべき事情がある場合には、その事情とともに科目責任者にメール等の日時の記録が残る形で連絡すること。						
構成ユニット 保存修復学、歯周病学、歯内療法学						
モジュールの単位判定 試験結果および出席状況を勘案して決定する。						
教科書 歯周病学／全国歯科衛生士教育協議会、申基結 ほか 著、松井恭平〔ほか〕編集：医歯薬出版、2023 保存修復学・歯内療法学／全国歯科衛生士教育協議会、千田彰、石井信之 ほか 著、千田彰〔ほか〕編集：医歯薬出版、2023						
参考書 歯周病学／全国歯科衛生士教育協議会 監修、佐藤 聡 ほか著：医歯薬出版、2026 保存修復学・歯内療法学／全国歯科衛生士教育協議会 監修、千田彰、石井信之 ほか 著：医歯薬出版、2023 歯周病学／上田雅俊、音琴淳一、栢豪洋、野村慶雄、渡辺孝章：クインテッセンス出版、2011 保存修復／片山直、小松正志、松尾敬志：クインテッセンス出版、2012 歯内治療／笠原悦男、林宏行、吉田隆一：クインテッセンス出版、2011						
備考 ・質問がある場合、科目責任者にメールで質問してください。科目責任者または授業担当者よりメール等で回答します。 ・前年度「練習問題なども一緒にのせてあると自学自習がしやすい」「プレテストが事前にあるとよい」との意見をいただいたことから、保存修復学と歯周病学について講義毎にレポート(練習問題含む)を行うこととします。						
オフィスアワー 竹内 康雄PM.5:00-PM.6:30 1号館 8階 812B						

時間割番号	022590B						
科目名	小児歯科学(ユニット)			科目ID	DH251402L		
担当教員	樺沢 勇司, 岩本 勉[KABASAWA Yuji, IWAMOTO Tsutomu]						
開講時期	2026 年度後期	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
科目名:臨床歯科医学 ユニット名:小児歯科学 単位数:1(15 時間) 授業形態:遠隔講義(非同期)							
主な講義場所 在宅学習を基本とする							
授業の目的、概要等 小児の心身の成長・発達をふまえ、発達期口腔保健の意義および発達期口腔疾患の特徴、予防・治療法を理解する。							
授業の到達目標 SBOs 1.出生から青少年期までの心身の成長・発達を理解する。 2.小児の情緒と社会性の発達を理解する。 3.小児の健康を育む食生活と支援の重要性を理解する。 4.歯の萌出と乳歯・幼若永久歯の特徴を理解する。 5.顎・顔面頭蓋の成長過程を理解する。 6.歯列咬合の発育過程を理解する。 7.小児期の口腔疾患とその治療法、チーム医療を理解する。 8.歯科治療時の小児の行動への対応法を理解する。 9.小児に特有な心身の問題とその解決策を概説できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/30	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	小児歯科学概論 小児の成長・発達1	小児歯科学とは。発育段階と口腔の変化。発育の概念、特徴。生理的年齢、器官の発育について。	岩本 勉	SBOs1,2
3-4	10/13	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	小児の成長・発達2	言語、情動、運動機能、哺乳・摂食・嚥下、社会性の発達、生理的特徴	岩本 勉	SBOs1,2,3
5-6	11/24	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期型)	顎顔面の発育	脳頭蓋、顔面頭蓋、上顎・下顎の発育	岩本 勉	SBOs4,5,6
7-8	11/30	17:15-18:55	遠隔授業 (非同期型)	歯の発育とその異常	乳歯、永久歯の特徴、歯の発生と形成異常	岩本 勉	SBOs4,5,6
9-10	12/11	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期型)	歯列・咬合の発育と異常	歯の萌出、無歯期・乳歯列期・混合歯列期・永久歯列の特徴	岩本 勉	SBOs4,5,6
11-12	12/16	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	小児齲蝕の特徴	齲蝕の原因、特徴、為害作用	岩本 勉	SBOs4,5,6,7
13-14	1/8	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	小児の歯冠修復、歯内療法、小児の歯周疾患、	小児の歯冠修復の特徴と種類、乳歯および幼若永久歯の歯内療法、	岩本 勉	SBOs4,5,6,7,8

時間割番号	022590C						
科目名	歯科補綴学(ユニット)			科目ID	DH251403L		
担当教員	松尾 浩一郎, 日高 玲奈, 駒田 亘, 金澤 学, 猪原 健, 高草木 謙介, 岩見 宏美, 竹内 康雄[MATSUO Koichiro, HIDAKA Rena, KOMADA Wataru, KANAZAWA Manabu, Ken Inohara, TAKAKUSAKI Kensuke, IWAMI Hiromi, TAKEUCHI Yasuo]						
開講時期	2026 年度後期	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
時間数:15 時間 1 単位 授業形態:講義 担当教員:金澤学、駒田亘、高草木謙介、猪原健、日高玲奈、松尾浩一郎							
主な講義場所 遠隔授業(同期型、非同期型)							
授業の目的、概要等 補綴歯科医療と補綴装置の特徴を理解し、補綴装置の予後管理に必要な口腔健康管理の知識を有する							
授業の到達目標 ・補綴歯科治療の意義と目的、種類と特徴を説明する。 ・補綴歯科治療に関連する顎口腔系の機能と形態を説明する。 ・冠橋義歯の種類・特徴を説明し、製作過程を概説する。 ・有床義歯の種類・特徴を説明し、製作過程を概説する。 ・補綴装置使用時における口腔の健康管理法を説明する。 ・超高齢社会の補綴歯科治療の特徴や現状を説明する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/9	16:20-17:05	遠隔授業 (非同期型)	補綴歯科治療の基礎	補綴歯科治療の意義と目的、歯と歯列の欠損、補綴装置の役割、種類と特徴	金澤 学	SBOs1,2
2	10/9	17:15-18:00	遠隔授業 (非同期型)	全部床義歯による治療1	全部床義歯の印象採得と咬合採得、筋圧形成による最終印象と咬合床による咬合採得	金澤 学	SBOs1,2,4,5
3	10/19	16:20-17:05	遠隔授業 (非同期型)	全部床義歯による治療2	全部床義歯の咬合採得、咬合床による咬合採得	金澤 学	SBOs1,2,4,5
4	10/19	17:15-18:00	遠隔授業 (非同期型)	全部床義歯による治療3	ゴシックアーチ、フェイスボウトランスファー、咬合器装着、義歯安定剤とは	金澤 学	SBOs1,2,4,5
5	10/19	18:10-18:55	遠隔授業 (非同期型)	部分床義歯による治療1	部分床義歯の印象採得と咬合採得の特徴、歯根膜負担と粘膜負担、部分床義歯の構成要素	高草木 謙介	SBOs1,2,4,5
6	11/18	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	部分床義歯による治療2	歯根膜負担と粘膜負担、部分床義歯の構成要素	高草木 謙介	SBOs1,2,4,5
7	11/18	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期型)	部分床義歯による治療3	有床義歯の試適・装着・調整・患者指導、短期予後と長期予後、義歯の管理と支台歯のメンテナンス	高草木 謙介	SBOs1,2,4,5
8	11/20	15:25-16:10	遠隔授業 (非同期型)	冠橋義歯の種類と特徴1	咀嚼効率と食事、様々なクラウンとその特徴1	駒田 亘	SBOs1,2,3

			型)				
9	11/20	16:20-17:05	遠隔授業 (非同期 型)	冠橋義歯の種類と特徴2	様々なクラウンとその特徴2、冠 橋義歯の材質	駒田 亘	SBOs1,2,3
10	11/20	17:15-18:00	遠隔授業 (非同期 型)	冠橋義歯の種類と特徴3	ブリッジとボンティックの種類と特 徴	駒田 亘	SBOs1,2,3
11	11/20	18:10-18:55	遠隔授業 (非同期 型)	冠橋義歯による治療1	冠橋義歯の印象採得と咬合採得、 テンポラリークラウン、冠橋義歯 の装着、仮着と合着	駒田 亘	SBOs1,2,3
12	12/9	08:50-09:35	遠隔授業 (同期型)	超高齢社会の補綴歯科 治療1	高齢者の補綴歯科治療、訪問診療 での補綴歯科治療と衛生管理の 重要性	日高 玲奈 猪原 健	ミーティング ID: 934 8885 8453 パスコード: dxvb8Z グルー プ討論、グループ および個人課題 の提出 SBOs1,2,6
13	12/9	09:45-10:30	遠隔授業 (同期型)	超高齢社会の補綴歯科 治療2	高齢者の補綴歯科治療、訪問診療 での補綴歯科治療と衛生管理の 重要性	猪原 健 日 高 玲奈	ミーティング ID: 934 8885 8453 パスコード: dxvb8Z グルー プ討論、グループ および個人課題 の提出 SBOs1,2,6
14	12/11	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期 型)	冠橋義歯による治療2	冠橋義歯のケア、クラウンブリッジ の失敗症例と対応方法、冠橋義歯 のメンテナンス	駒田 亘	SBOs1,2,3,5
15	12/11	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期 型)	冠橋義歯による治療3	全部床義歯のケア、クラウンブリ ッジの失敗症例と対応方法	駒田 亘	SBOs1,2,3,5
16-17	1/12	10:45-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	歯科補綴学筆記試験		松尾 浩一郎	

授業方法

原則として非同期型授業で実施する。Webclass 上に動画や講義資料等を掲載し、講義動画は復習に使用できるよう一定期間、閲覧可能な状態に置いておくので、活用してほしい。

講義に関する質問等は、掲示板に記載していただければ、担当教員から回答する。講義の出欠状況については閲覧履歴で代替する。

授業内容

授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。

成績評価の方法

1) 出欠状況(動画の閲覧状況)を基準点とする(例:100%の出席率で 100 点、80%の出席率で 80 点満点)

2) 期末試験(多肢選択問題、応用記述問題含む) 100 点

応用記述問題で複数の意見や独自の考察がなされている場合に加点対象とする。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。
- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。

・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席

教科書

歯冠修復と欠損補綴の治療と診療補助／松村英雄 [ほか] 編集委員松村, 英雄, 大久保, 力廣, 二川, 浩樹, 吉田, 直美.: 永末書店, 2020

オフィスアワー

松尾 浩一郎 毎週月曜日 16:00-18:00 1 号館 8 階 818B 室

* 要事前連絡

時間割番号	022590D		
科目名	口腔外科・歯科麻酔学(ユニット)	科目 ID	DH251404L
担当教員	榊沢 勇司, 関谷 秀樹[KABASAWA Yuji, SEKIYA Hideki]		
開講時期	2026 年度後期	対象年次	2
実務経験のある教員による授業	該当する	授業形態	メディア利用科目
科目名:臨床歯科医学 ユニット名:口腔外科・歯科麻酔学 単位数:1(15 時間) 授業形態:遠隔授業(Zoom または LMS 遠隔講義併用)			
主な講義場所 在宅学習			
授業の目的、概要等 GIO 1. チーム医療を行なうにあたって、口腔外科学、歯科麻酔科学における必要な基礎的知識を習得する。 2. 患者急変時の対応についても必要な基礎的知識を習得する。			
授業の到達目標 SBOs 1. 口腔外科の概要、口腔外科疾患の種類と診断法について説明できる。 2. 口腔外科でのチーム医療・多職種連携について説明できる。 3. 顎顔面口腔に症状を現す先天異常と発育異常を列挙し、その治療法を説明できる。 4. 顎口腔領域の損傷の診断と治療法を説明できる。 5. 顎口腔領域の炎症の診断と治療法を説明できる。 6. 顎口腔領域の嚢胞の診断と治療法を説明できる。 7. 顎口腔領域の腫瘍の診断と治療法を説明できる。 8. 口腔粘膜疾患の診断と治療法を説明できる。 9. 顎口腔領域の神経系疾患の診断および治療法を説明できる。 10. 唾液腺疾患の病因と病態について説明できる。 11. 顎口腔領域に症状を現す血液疾患、出血性素因について説明できる。 12. 代謝性疾患の口腔症状、口腔顎顔面領域に関連した疾患について説明できる。 13. 口腔外科疾患に関連する補綴治療について説明できる。 14. 顎関節疾患の病因、病態、診断および治療法を説明できる。 15. 口腔外科を受診する患者、口腔がん患者の口腔保健管理について説明できる。 歯科麻酔 16. 麻酔の目的について説明できる。 17. 局所麻酔薬の薬理学作用と局所麻酔法の施術時の注意点を説明できる。 18. 全身麻酔の適応症と種類について説明できる。 19. 精神鎮静法の適応症と種類について説明できる。 20. バイタルサインの項目や、測定法を説明できる。 21. バイタルサインの測定を実施できる。 22. 安全で快適な歯科治療のための各種方法を説明できる。 23. 歯科治療時の偶発症とその対策について説明できる。 救命救急処置 24. 一次救命処置の手順を説明できる。			

25. 一次救命処置に用いる器材を説明し、準備ができる。
26. 二次救命処置の手順を説明できる。
27. 二次救命処置に用いる器材を説明し、準備ができる。
28. AED の取り扱いを実施できる。
29. 神経性ショックを説明し、患者対応ができる。
30. 過換気症候群を説明し、患者対応ができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/30	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	総論、先天異常と発育異常	口腔外科とは、口腔外科を学ぶ重要性、口腔外科診断のプロセス、歯や軟組織の異常、口唇裂・口蓋裂、その他の口腔・顎・顔面の先天異常、顎変形症	樺沢 勇司	到達目標:1, 2, 3
3-4	10/2	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	損傷 炎症 嚢胞	歯の外傷、軟組織損傷、歯槽骨・顎骨骨折 歯槽部・顎骨・顎骨周囲組織の炎症 嚢胞の定義・分類・診断、顎骨の嚢胞、軟組織の嚢胞	樺沢 勇司	到達目標:4, 5, 6
5	10/5	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	腫瘍および腫瘍類似疾患 口腔粘膜疾患	良性腫瘍・腫瘍類似疾患の診断と治療、悪性腫瘍の診断と治療 口腔粘膜疾患の診断と治療	樺沢 勇司	到達目標:7, 8
6	10/8	15:25-16:10	遠隔授業 (非同期型)	顎関節疾患、薬剤関連顎骨壊死	顎関節症の診断と治療、顎関節症以外の顎関節疾患の種類、診断と治療、薬剤関連顎骨壊死について理解する	樺沢 勇司	到達目標:14
7	10/21	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	口腔顎顔面領域の神経系疾患、唾液腺疾患、血液疾患、出血性素因、代謝性疾患の口腔症状・症候群	口腔顎顔面領域の神経疾患、唾液腺疾患の診断と治療 血液疾患、出血性素因の診断と治療 代謝性疾患の口腔症状、口腔顎顔面領域に関連した症候群および疾患	樺沢 勇司	到達目標:9, 10, 11, 12
8-10	10/30	09:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	歯科麻酔1、2	精神鎮静法、全身麻酔、局所麻酔、急変時対応、歯科治療時の偶発症への対応	樺沢 勇司	到達目標:16, 17, 18, 19, 20-30
11-13	11/11	08:50-11:30	口腔保健 学科第4 講義室	周術期等口腔機能管理、がん治療の口腔健康管理	周術期等口腔機能管理、がん治療の口腔健康管理の実際と歯科衛生士の果たす役割について	樺沢 勇司、 関谷 秀樹	討論・演習を行う 到達目標:15 ミーティング ID: 953 3880 1841 パスコード: 742008
14	11/11	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期型)	口腔外科の診療補助について	抜歯や小手術について	樺沢 勇司	討論・演習を行う 到達目標:1-15
15	11/18	10:45-11:30	口腔保健 学科第4 講義室	まとめ	まとめ	樺沢 勇司	
16	11/18	11:40-12:25	口腔保健 学科第4 講義室	試験	試験		

授業方法 遠隔授業(LMSによる非同期型遠隔講義)が中心であるが、Zoomによる同期型講義も予定しているため注意すること。 非同期型遠隔講義においては指定された動画および講義資料、参考資料などを閲覧し、指示された課題に回答すること。 WebClass上の掲示板を作成するので、講義内容や課題についての感想や質問、コメントを自由に記載して下さい。回答は榊沢より全員に対してあるいは個人的に行うため、十分に活用すること。 ZOOMあるいは対面講義においては、事前にLMS上の講義資料、参考資料等を閲覧して講義に臨むこと。 講義中に討論、演習を実施する。 講義についての質問も含めて担当教員(榊沢)までメールでも受け付ける。 講義動画は原則学期末まで公開する。
授業内容 授業スケジュールを参照
成績評価の方法 最終課題および各講義の課題にて評価する。 各講義後に課題提出を求める。 同期型講義における演習時の評価や、期末に定期試験(知識確認テスト)を行い、各課題への取り組みも含めて総合的に評価する。
成績評価の基準 「到達目標」に明示している事項について、講義内容より概ね達成できている場合はB、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等について具体的に論述できる場合はBより上とする。
準備学習等についての具体的な指示 オンデマンドの遠隔講義が中心であるため、授業範囲について事前に教科書等でよく予習の上、授業に臨むこと。
試験の受験資格 遠隔授業については、授業への出席状況は成績付与の参考とするが、受験要件には用いない。 ただし、Zoomによる同期型講義には成績評価のためにも出席することが望ましい。 遠隔授業のため、接続に関して問題が生じた場合には、科目責任者(榊沢)までメールで必ず連絡をすること。
教科書 口腔外科学・歯科麻酔学／全国歯科衛生士教育協議会・野村武史、松浦信幸 [ほか] 著・野村武史 [ほか] 編集・医歯薬出版、2024.2
参考書 口腔外科学・歯科麻酔学／池邊哲郎、升井一郎、吉増秀實、伊賀弘起 編・池邊 哲郎、1959-、升井 一郎、吉増 秀實、1949-、クインテッセンス出版、2013 最新口腔外科学 = Oral and Maxillofacial Surgery／榎本昭二、道健一、天笠光雄、小村健 監修・榎本、昭二、1936-、道 健一、1936-、天笠 光雄、1946-、医歯薬出版、2017
履修上の注意事項 遠隔授業に関する注意事項について、周知されている内容を随時確認すること。 講義内容等の質問は、科目責任者(榊沢)までメールで随時行うこと。
備考 担当教員の Office hour 榊沢勇司 健康支援口腔保健衛生学分野 随時 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp
オフィスアワー 榊沢 勇司・平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。 1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022232						
科目名	口腔疾患予防基礎学Ⅰ				科目ID	DH251601L	
担当教員	木野 志保 品田 佳世子 相田 潤 吉田 直美 池川 麻衣[KINO Shiho, SHINADA Kayoko, AIDA Jun, YOSHIDA Naomi, IKEGAWA Mai]						
開講時期	2026 年度前期		対象年次	2			
実務経験のある教員による授業	該当する				授業形態	メディア利用科目	
ユニット名:口腔疾患予防基礎学Ⅰ 科目名:口腔疾患予防学 時間数:30 時間 2 単位 授業形態:遠隔講義							
主な講義場所 遠隔授業:非同期授業(WebClass のコース内にアップロードされた動画視聴)							
授業の目的、概要等 ・歯・口腔の健康状態を維持するための要因と、予防可能な口腔疾患の種類、その原因と予防について理解する。 ・歯・口腔の状態把握および歯科予防処置の基本的知識を修得する。 ・地域保健、母子保健、学校保健、産業保健、成人保健、高齢者保健、国際保健等における口腔保健の関わりとその推進について理解する。							
授業の到達目標 1) 歯・口腔の健康と予防の定義について説明できる。 2) 歯・口腔の健康と予防の方法と健康推進について説明できる。 3) セルフケア、プロフェッショナルケア、コミュニティケアの内容を説明できる。 4) 歯・口腔の付着物、沈着物について説明できる。 5) う蝕発生のメカニズム、う蝕の発生要因とう蝕活動性試験について説明できる。 6) ブラークコントロール、口腔清掃について説明できる。 7) フッ化物の応用とう蝕予防について説明できる。 8) フッ化物の代謝や毒性について説明できる。 9) 歯科疾患の疫学および歯科保健関連指標について説明できる。 10) 歯周疾患の予防について説明できる。 11) その他の疾患・異常と予防について説明できる。 12) 地域保健、母子保健、学校保健、成人保健、産業保健、高齢者保健、精神保健、災害時の歯科保健、国際保健における口腔保健のかかりとその推進について理解する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/6	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期型)	「教科書:保健生態学」Ⅱ 編1章 総論 ①&②	「教科書:保健生態学」Ⅱ 編1章 総 論 ①&②	木野 志保	1) 歯・口腔の健康と予防の定義について説明できる。 2) 歯・口腔の健康と予防の方法と健康推進について説明できる。 3) セルフケア、プロフェッショナルケア、コミュニティケアの内容を説明できる。

3-4	4/9	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期 型)	Ⅱ編1章 総論 ③ & 2章 歯科疾患の疫学	Ⅱ編1章 総論 ③ & 2章 歯科 疾患の疫学	木野 志保	4) 歯・口腔の付 着物、沈着物に ついて説明でき る。 9) 歯科疾 患の疫学および 歯科保健関連指 標について説明 できる。
5-6	4/16	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期 型)	Ⅱ編3章 口腔清掃	Ⅱ編3章 口腔清掃	木野 志保	6) プラークコン ロール、口腔清 掃について説明 できる。
7-9	4/24	13:30-16:10	遠隔授業 (非同期 型)	Ⅱ編4章 う蝕の予防	Ⅱ編4章 う蝕の予防	木野 志保	5) う蝕発生のメ カニズム、う蝕の 発生要因とう蝕活 動性試験につい て説明できる。
10-11	4/28	10:45-12:25	口腔保健 学科第4 講義室	Ⅱ編5章 フッ化物によ るう蝕予防	Ⅱ編5章 フッ化物によるう蝕予防	相田 潤 木 野 志保	7) フッ化物の応 用とう蝕予防につ いて説明できる。 8) フッ化物の代 謝や毒性につい て説明できる。
12	5/1	13:30-14:15	遠隔授業 (非同期 型)	Ⅱ編6章 歯周疾患の予 防	Ⅱ編6章 歯周疾患の予防	木野 志保	10) 歯周疾患の 予防について説 明できる。
13-14	5/8	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期 型)	「教科書:予防処置論」歯 科関連の Index(口腔清 掃指標、歯周組織の指 標等)	「教科書:予防処置論」歯科関連の Index(口腔清掃指標、歯周組織の 指標等)	木野 志保 品田 佳世子	9) 歯科疾患の疫 学および歯科保 健関連指標につ いて説明できる。
15-16	5/14	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期 型)	Ⅱ編7章 その他の疾 患・異常の予防	Ⅱ編7章 その他の疾患・異常の 予防	木野 志保 品田 佳世子	11) その他の疾 患・異常と予防に ついて説明でき る。
17-18	5/18	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期 型)	地域保健・保健所での歯 科衛生士の役割	地域保健・保健所での歯科衛生士 の役割	木野 志保	12) 地域保健、母 子保健、学校保 健、成人保健、産 業保健、高齢者 保健、精神保健、 災害時の歯科保 健、国際保健に おける口腔保健 のかかわりとそ の推進について 理解する。
19-20	5/28	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期 型)	Ⅲ編1章 地域保健・公 衆衛生	Ⅲ編1章 地域保健・公衆衛生	木野 志保	13) 地域保健、母 子保健、学校保 健、成人保健、産 業保健、高齢者 保健、精神保健、

							災害時の歯科保健、国際保健における口腔保健のかかわりとその推進について理解する。
21-22	6/4	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期型)	Ⅲ編2章 母子保健	Ⅲ編2章 母子保健	木野 志保	14)地域保健、母子保健、学校保健、成人保健、産業保健、高齢者保健、精神保健、災害時の歯科保健、国際保健における口腔保健のかかわりとその推進について理解する。
23-24	6/9	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	Ⅲ編3章 学校保健	Ⅲ編3章 学校保健	木野 志保	15)地域保健、母子保健、学校保健、成人保健、産業保健、高齢者保健、精神保健、災害時の歯科保健、国際保健における口腔保健のかかわりとその推進について理解する。
25-26	6/23	16:20-18:00	遠隔授業 (非同期型)	Ⅲ編4章 成人保健	Ⅲ編4章 成人保健	木野 志保	16)地域保健、母子保健、学校保健、成人保健、産業保健、高齢者保健、精神保健、災害時の歯科保健、国際保健における口腔保健のかかわりとその推進について理解する。
27-28	7/2	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期型)	Ⅲ編5章 産業保健	Ⅲ編5章 産業保健	品田 佳世子, 木野 志保	17)地域保健、母子保健、学校保健、成人保健、産業保健、高齢者保健、精神保健、災害時の歯科保健、国際保健における口腔保健のかかわりとその推進について理解する。

29-30	7/6	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期 型)	Ⅲ編6章 高齢者保健、 7章 精神保健、8章 災 害時の歯科保健、9 章 国際保健	Ⅲ編6章 高齢者保健、7章 精神 保健、8章 災害時の歯科保健、9 章 国際保健	木野 志保	18)地域保健、母 子保健、学校保 健、成人保健、産 業保健、高齢者 保健、精神保健、 災害時の歯科保 健、国際保健に おける口腔保健 のかかわりとそ の推進について 理解する。
31-32	7/14	13:30-15:10	口腔保健 学科第4 講義室	試験	試験	木野 志保	1)～18)について の知識確認
33	7/21	09:45-10:30	口腔保健 学科第4 講義室	再試験	再試験	木野 志保	1)～18)について の知識確認

授業方法

非同期授業が主であり、WebClass のコース内にアップロードされた動画を視聴する。

授業内容

別表のとおり。

成績評価の方法

授業動画の視聴記録を以て、授業参加とみなす。
授業の参加状況および試験により総合的評価を行う。

成績評価の基準

授業の参加状況および試験により、授業に関する知識が習得されていることを判断し、全体で 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布、webclass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

3分の2以上の出席を必要とする。

教科書

保健生態学／全国歯科衛生士教育協議会:医歯薬出版, 2023.2
歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会,高阪利美 [ほか] 著,高阪利美 [ほか] 編集:医歯薬出版, 2023.1

備考

責任者:木野志保 連絡先 shiho.kino.ohp@tmd.ac.jp

オフィスアワー

木野 志保毎週火曜日 10:00～17:00 1号館西8階 口腔疾患予防学分野・教授室

時間割番号	022233					
科目名	口腔疾患予防基礎学Ⅱ			科目ID	DH251602L	
担当教員	竹内 康雄, LIAO SHIN RU, 三木 真規子, 池川 麻衣, 駒津 匡二, 安達 奈穂子, 吉田 直美, 木野 志保 [TAKEUCHI Yasuo, LIAO SHIN RU, MIKI Makiko, IKEGAWA Mai, KOMATSU Keiji, ADACHI Naoko, YOSHIDA Naomi, KINO Shiho]					
開講時期	2026 年度前期	対象年次	2			
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	対面	
科目名:口腔疾患予防学 ユニット名:口腔疾患予防基礎学Ⅱ 時間数:1 単位 15コマ 必要自習時間:各講義 1 時間程度 授業形態:講義・実習						
主な講義場所 臨床基礎実習室・相互実習室 遠隔授業(Zoom、WebClass)						
授業の目的、概要等 ・歯・口腔の健康状態を維持するための要因と、予防可能な口腔疾患の種類、その原因と予防について理解する。 ・歯・口腔の状態把握および歯科予防処置の基本的知識と技術を修得する。						
授業の到達目標 ・歯・口腔の健康と予防の定義について説明できる。 ・歯・口腔の健康と予防の方法と健康づくりについて説明できる。 ・セルフケア、プロフェッショナルケア、コミュニティーケアの内容を説明できる。 ・歯・口腔の付着物、沈着物について説明できる。 ・歯周病の症状、種類、検査を説明できる。 ・歯周病の予防について説明できる。 ・歯質損耗(tooth wear)の症状、種類、予防、治療法を説明できる。 ・生体への配慮(器具の消毒・滅菌、感染予防、手指消毒法、偶発事故の防止)の基本を実践しながら、歯科予防処置を実施できる。 ・歯科予防処置のうち、歯石除去・歯面清掃を実施できる。 ・歯科衛生過程における情報収集・アセスメントの実践方法を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	4/17	09:45-12:25	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習の基本	実習の目的と基本事項、実習室の 使い方 インスツルメントの種 類、位置と姿勢	池川 麻衣
4-5	4/20	09:45-11:30	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン1	インスツルメント(診査・検査器具) の基本操作 プロービング	竹内 康雄 駒津 匡二 池川 麻衣
6	4/28	10:45-11:30	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン2	スケーラーについて スケーリン グの基本操作	LIAO SHIN RU, 竹内 康 雄, 池川 麻 衣

7	5/12	10:45-11:30	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン3	前歯部のスケーリング1	竹内 康雄 池川 麻衣 三木 真規子
8	5/19	10:45-11:30	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン4	前歯部のスケーリング2	竹内 康雄, U AO SHIN R U, 池川 麻衣
9	5/26	09:45-10:30	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン5	スケーリング・ルートプレーニング の基本動作 前歯部のスケーリ ング・ルートプレーニング1	竹内 康雄 三木 真規子 池川 麻衣
10	6/9	09:45-10:30	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン6	前歯部のスケーリング・ルートブレ ーニング2	竹内 康雄, U AO SHIN R U, 池川 麻衣
11	6/16	09:45-10:30	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン7	臼歯部のスケーリング1	竹内 康雄 三木 真規子 池川 麻衣
12	6/23	09:45-10:30	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン8	臼歯部のスケーリング2	竹内 康雄, U AO SHIN R U, 池川 麻衣
13	6/30	09:45-10:30	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン9	臼歯部のスケーリング・ルートブレ ーニング1	池川 麻衣 竹内 康雄, U AO SHIN R U
14	7/7	10:45-11:30	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン10	臼歯部のスケーリング・ルートブレ ーニング2	池川 麻衣 竹内 康雄 三木 真規子
15	7/14	09:45-10:30	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン11	スケーリング・ルートプレーニング 基本技術の評価	竹内 康雄, U AO SHIN R U, 三木 真規 子, 池川 麻 衣
16-17	7/21	10:45-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	前期試験	前期試験	竹内 康雄 池川 麻衣

授業方法
この科目は、実践的な実技に関わる講義を行う。基礎的な講義と実技実習を組み合わせた時間割構成となっており、講義と実習を別々には実施しない。
実技は積み重ねの手技修得のため、欠席があった場合、次の講義や実習ができないこともある。

授業内容
口腔疾患予防における実践的な技術に関わる基礎知識、方法、操作、応用についてレクチャーする。並行して口腔疾患予防基礎学Ⅰにおける知識が必要である。
本授業は、「口腔疾患予防基礎学実習」と連動している。

成績評価の方法

・出席状況、定期試験、提出レポート・課題などにより総括的評価する。 実技試験を実施する場合もある。 ・プロフェッショナリズムとして、実習態度、学内規則に則る体調報告の有無を総括的評価に加味する。
成績評価の基準 筆記試験については、試験毎に 60 点未満は不合格とする。 提出物の内容が不十分な場合は再提出を指示する。
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に資料の配布、e-learning へのアップロードがあった場合は、各自予習して授業に臨むこと。
試験の受験資格 全講義の 2/3 以上出席すること。 課題を提出すること。 特別に勘案すべき事情がある場合には、その事情とともに、講義開始前までに科目責任者に、メール等の日時の記録が残る形で連絡すること。 なお、緊急の場合には電話でもよいが、その後メールをすること。 連絡ができないような特別な事情があったと後で判断された場合にはその限りではない。 以上の十分な対応がおこなわれていたと判断された場合には、事情などに応じて補講等の対応を行うこととする。
教科書 歯科衛生学シリーズ歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会監修；高阪利美ほか著、全国歯科衛生士教育協議会、高阪 利美：医歯薬出版、2023 ：医歯薬出版
参考書 目で見えるペリオドンタルインストルメンテーションⅠベーシックスキル／Jill S.Nield-Gehrig 著、吉田直美、小森朋栄 監訳、堀江明子、富田裕子 訳：医歯薬出版、2009 目で見えるペリオドンタルインストルメンテーションⅡアセスメントとインストルメンテーション／Jill S.Nield-Gehrig 著、和泉雄一、吉田直美、小森朋栄 監訳：医歯薬出版、2010 目で見えるペリオドンタルインストルメンテーションⅢデブライドメント／Jill S.Nield-Gehrig 著、和泉雄一、吉田直美、小森朋栄 監訳：医歯薬出版、2009 目で見えるペリオドンタルインストルメンテーションⅣアドバンススキル／Jill S.Nield-Gehrig 著、和泉雄一、吉田直美、小森朋栄 監訳：医歯薬出版、2010 ウィルキンス歯科衛生士の臨床／E・M・ウィルキンス 著、遠藤圭子、中垣晴男、西真紀子、真木吉信、松井恭平、山根瞳、若林則幸 監訳：医歯薬出版、2015
他科目との関連 口腔疾患予防基礎学Ⅰ、口腔疾患予防基礎学実習と連動している。
履修上の注意事項 ・実習の際は身だしなみを整え、指定の白衣を着用すること。 ・授業毎に使用する器材を確認し、準備すること。 ・実習態度いかによっては、実習停止とすることがある。 ・原則として、欠席した実習について補講は行わないので、必ず全実習に出席すること。 ・欠席の場合、事前に欠席理由と配布資料希望の連絡がない限り資料は配布しない。
備考 実習および AL(グループディスカッション、ケース演習など)を行う。 質問がある場合、 遠隔授業(同期型)では、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より直接回答もしくはメールで回答します。 遠隔授業(非同同期型)では、授業担当者にメールで質問してください。授業担当者が確認後、メールで回答します。
オフィスアワー 竹内 康雄PM.5:00-PM.6:30 1号館8階812B 木野 志保毎週火曜日 10:00～17:00 1号館西8階 口腔疾患予防学分野・教授室

時間割番号	022234					
科目名	口腔疾患予防基礎学実習			科目ID	DH251603E	
担当教員	竹内 康雄, LIAO SHIN RU, 三木 真規子, 池川 麻衣, 駒津 匡二, 安達 奈穂子, 塚本 恵, 木野 志保 [TAKEUCHI Yasuo, LIAO SHIN RU, MIKI Makiko, IKEGAWA Mai, KOMATSU Keiji, ADACHI Naoko, TSUKAMOTO Megumi, KINO Shiho]					
開講時期	2026 年度通年	対象年次	2			
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	対面	
科目名:口腔疾患予防学 ユニット名:口腔疾患予防基礎学実習 時間数:30コマ×2 単位 60 コマ 必要自習時間:各講義 1 時間程度 授業形態:講義・実習						
主な講義場所 臨床基礎実習室・相互実習室 遠隔授業(Zoom、WebClass)						
授業の目的、概要等 ・歯・口腔の健康状態を維持するための要因と、予防可能な口腔疾患の種類、その原因と予防について理解する。 ・歯・口腔の状態を把握するためのアセスメント方法を修得する。 ・口腔疾患予防に必要なアセスメント、スケーリング、歯面清掃に必要な技術を修得する。						
授業の到達目標 ・生体への配慮(器具の消毒・滅菌、感染予防、手指消毒法、偶発事故の防止)の基本を実践しながら、歯科予防処置を実施できる。 ・歯科予防処置のうち、歯石除去・歯面清掃を実施できる。 ・歯科衛生過程における情報収集・アセスメントの実践方法を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/20	11:40-12:25	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 インスツルメンテーション 1	(AL) プロービング	池川 麻衣 竹内 康雄 駒津 匡二
2	4/28	11:40-12:25	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 インスツルメンテーション 2	(AL) スケーリングの基本操作	竹内 康雄 池川 麻衣 L AO SHIN R U
3	5/12	11:40-12:25	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 インスツルメンテーション 3	(AL) 前歯部のスケーリング 1	竹内 康雄 池川 麻衣 三木 真規子
4	5/19	11:40-12:25	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 インスツルメンテーション 4	(AL) 前歯部のスケーリング 2	竹内 康雄 池川 麻衣 L AO SHIN R U
5	5/26	10:45-11:30	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 インスツルメンテーション 5	(AL) 前歯部のスケーリング・ルートプレーニング 1	竹内 康雄 池川 麻衣 三木 真規子

6	6/9	10:45-11:30	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 インスツルメンテーション 6	(AL) 前歯部のスケーリング・ルートプレーニング 2	竹内 康雄 池川 麻衣 U AO SHIN R U
7	6/16	10:45-11:30	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 インスツルメンテーション 7	(AL) 臼歯部のスケーリング 1	竹内 康雄 池川 麻衣 三木 真規子
8	6/23	10:45-11:30	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 インスツルメンテーション 8	(AL) 臼歯部のスケーリング 2	竹内 康雄 池川 麻衣 U AO SHIN R U
9	6/30	10:45-11:30	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 インスツルメンテーション 9	(AL) 臼歯部のスケーリング・ルートプレーニング 1	竹内 康雄 池川 麻衣 U AO SHIN R U
10	7/7	11:40-12:25	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 インスツルメンテーション 10	(AL) 臼歯部のスケーリング・ルートプレーニング 2	竹内 康雄 池川 麻衣 三木 真規子
11-12	7/14	10:45-12:25	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 インスツルメンテーション 11	(AL) スケーリング・ルートプレーニング基本技術の評価	竹内 康雄 池川 麻衣 U AO SHIN R U, 三木 真規子
13-15	10/19	13:30-16:10	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 リスク評価 1	(AL) う蝕、歯周病のリスクテスト	池川 麻衣 U AO SHIN R U
16-18	10/23	13:30-16:10	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 リスク評価 2/シャープニング	(AL) リスクテスト結果に基づいたリスク評価の実践 シャープニングの基本 シックルスケーラー・グレーシーキュレットスケーラーのシャープニング	池川 麻衣 U AO SHIN R U, 三木 真規子
19-22	10/29	13:30-17:05	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室	実習 インスツルメンテーション 12	(AL) 超音波スケーラーでのスケーリング 相互実習について 実習で使用する器材の準備	池川 麻衣 U AO SHIN R U, 三木 真規子
23-26	11/5	13:30-17:05	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室	実習 相互実習 1	(AL) アセスメント 1 (医療面接・口腔内診査検査)	竹内 康雄 池川 麻衣 U AO SHIN R U, 三木 真規子
27-30	11/12	13:30-17:05	口腔保健	実習 相互実習 2	(AL) アセスメント 2 (ブラーク	竹内 康雄

			学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室		の付着・歯石の沈着状態の評価	池川 麻衣 LI AO SHIN R U、三木 真規 子
31-34	11/26	13:30-17:05	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室	実習 相互実習 3	(AL) ハンドスケーリング上顎前 歯	池川 麻衣 LI AO SHIN R U、三木 真規 子
35-38	12/3	13:30-17:05	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室	実習 相互実習 4	(AL) ハンドスケーリング下顎前 歯	池川 麻衣 LI AO SHIN R U、三木 真規 子
39-42	12/10	13:30-17:05	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室	実習 相互実習 5	(AL) ハンドスケーリング下顎臼 歯	池川 麻衣 LI AO SHIN R U、三木 真規 子
43-46	12/17	13:30-17:05	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室	実習 相互実習 6	(AL) ハンドスケーリング上顎臼 歯	池川 麻衣 LI AO SHIN R U、三木 真規 子
47-49	1/14	13:30-16:10	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 インストルメンテ ーション 13	(AL) 歯面研磨の実際	池川 麻衣 LI AO SHIN R U、三木 真規 子
50-53	1/21	13:30-17:05	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室	実習 相互実習 7	(AL) 歯面研磨	池川 麻衣 LI AO SHIN R U、三木 真規 子
54-56	1/26	13:30-16:10	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科	エアスケーラー	(AL) NSK 社によるエアスケーラ ー、ソニックブラシの実習	池川 麻衣 LI AO SHIN R U

			相互実習室				
57-60	1/28	13:30-17:05	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室	実習 相互実習 8	(AL) 処置後の評価(医療面接、口腔内観察、検査)	池川 麻衣, UO SHIN R U, 三木 真規子	
61-62	2/2	10:45-12:25	口腔保健学科第4講義室	後期試験	通年のまとめ	竹内 康雄, 池川 麻衣	

授業方法

この科目は、実践的な実技に関わる講義をベースに実技を行う。口腔疾患予防基礎学Ⅱの講義とともに実技の実習を組み合わせた時間割構成となっているので、講義と実習を別々には実施しない。

実技は積み重ねの手技修得のため、欠席があった場合、次の講義や実習ができないこともある。

必ず、事前に連絡し、指示を仰ぐこと。

授業内容

口腔疾患予防における実践的な技術に関わる基礎知識、方法、操作、応用について基本的な知識をもとに実技の実習を行う。口腔疾患予防基礎学Ⅰ、口腔疾患予防基礎学Ⅱにおける知識が必要である。

成績評価の方法

- ・出席状況、定期試験、提出レポート・課題などにより総括的評価する。
実技試験を実施する場合もある。
- ・プロフェッショナリズムとして、実習態度、学内規則に則る体調報告の有無等を総括的評価に加味する。

成績評価の基準

実技試験をする場合は、80 点以上を合格とする。
試験の可否は試験毎に行い、不合格の者は 1 回の再試験を受けることができる。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に資料の配布、e-learning へのアップロードがあった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

全講義・実習の 3/4 以上出席する必要がある
各技術ステップを全て履修すること。
特別に勘案すべき事情がある場合には、その事情とともに、講義開始前までに科目責任者に、メール等の日時の記録が残る形で連絡すること。
なお、緊急の場合には電話でもよいが、その後メールをすること。
連絡ができないような特別な事情があったと後で判断された場合にはその限りではない。
以上の十分な対応がおこなわれていたと判断された場合には、事情などに応じて補講等の対応を行うこととする。

教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会、高阪利美 [ほか] 著、高阪利美 [ほか] 編集：医歯薬出版，2023.1
：医歯薬出版

参考書

目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅠ ベーシックスキル／Jill S.Nield-Gehrig 著、吉田直美、小森朋栄 監訳堀江明子、富田裕子 訳：医歯薬出版，2009
目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅡ アセスメントとインスツルメンテーション／Jill S.Nield-Gehrig 著、和泉雄一、吉田直美、小森朋栄 監訳：医歯薬出版，2010

目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅢデブライドメント／Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳:医歯薬出版, 2009

目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅣアドバンススキル／Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳:医歯薬出版, 2010

ウィルキンス歯科衛生士の臨床／E・M・ウィルキンス 著,遠藤圭子, 中垣晴男, 西真紀子, 眞木吉信, 松井恭平, 山根瞳, 若林則幸 監訳:医歯薬出版, 2015

ペリオドンタル・デブライドメント:“超音波”を攻略せよ:プラス 1／大野, 純一,光家, 由紀子,加藤, 雄大,倉治, 竜太郎,大野純一 編著,光家由紀子, 加藤雄大, 倉治竜太郎 著:医歯薬出版, 2024.9

歯科衛生士のためのペリオ・インプラント重要 12 キーワードベスト 240 論文:世界のインパクトファクターを決めるトムソン・ロイター社が選出:Q&Aで深める歯科衛生士臨床／岩野, 義弘,高山, 忠裕,武田, 朋子,松浦, 孝典,水谷, 幸嗣,村上, 恵子,和泉, 雄一,佐藤, 秀一,岩野義弘 [ほか] 著:クインテッセンス出版, 2017.12

スウェーデンのすべての歯科医師・歯科衛生士が学ぶトータルカリオロジー／Hansson, Bengt Olof,Ericson, Dan,西, 真紀子,ベント・オロフ・ハンソン, ダン・エリクソン 著,西真紀子 訳:オーラルケア, 2014.3

履修上の注意事項

・実習の際は身だしなみを整え、所定の白衣およびユニフォームを着用すること。 ・授業毎の使用器材を確認し、準備すること。 ・実習態度いかんによっては、実習停止とすることがある。 ・原則として、欠席した実習について補講は行わないので、必ず全実習に出席すること。 ・欠席の場合、事前に欠席理由と配布資料希望の連絡がない限り資料は配布しない。

備考

AL(実習、演習)

質問がある場合、

遠隔授業(同期型)では、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より直接回答もしくはメールで回答します。

遠隔授業(非同期型)では、授業担当者にメールで質問してください。授業担当者が確認後、メールで回答します。

前年度履修学生の科目評価で、特段の改善意見がなかったが、より学びやすい環境を整え、効率的に技術を体得できるよう授業編成を工夫する予定。

オフィスアワー

竹内 康雄PM.5:00-PM.6:30 1号館8階812B

木野 志保毎週火曜日 10:00～17:00 1号館西8階 口腔疾患予防学分野・教室

時間割番号	022236						
科目名	健康教育の基礎 I				科目 ID	DH231701L	
担当教員	吉田 直美, 木野 志保, 池川 麻衣, 高橋 礼奈[YOSHIDA Naomi, KINO Shiho, IKEGAWA Mai, TAKAHASHI Rena]						
開講時期	2026 年度前期		対象年次	2			
実務経験のある教員による授業	該当する				授業形態	メディア利用科目	
コマ数:15 必要自習時間:1 コマにつき 1～3 時間 授業形態:講義 10・実習 5							
主な講義場所 Webclass 臨床基礎実習室 第 4 講義室							
授業の目的、概要等 歯科保健指導・健康教育の実践に必要な基本的知識・技術を修得する。							
授業の到達目標 1. 歯科保健指導・健康教育の概念を説明する 2. 発達段階における健康教育について概説する 3. 学童期における特徴と口腔健康における課題と対応策を概説する 4. 保健行動理論を概説する 5. 地域保健活動の概要を説明する 6. 禁煙指導を概説する 7. 歯口清掃の方法、用具の種類、用途を説明する 6.							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/8	09:45-11:30	口腔保健学科第4講義室	講義 健康教育の基礎について	ガイダンス 講義の進め方 ① 歯科保健指導・健康教育の定義	吉田 直美	1.歯科保健指導・健康教育の概念を説明する 2. 発達段階における健康教育について概説する
3-4	4/13	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	講義 口腔衛生管理 セルフケア支援	⑥ 口腔清掃法/口腔清掃用具(歯垢染色剤 歯ブラシの基礎知識 デンタルフロス 歯磨剤 2458 ⑦ 口腔清掃法の URL	吉田 直美	7 歯口清掃の方法、用具の種類、用途を説明する
5-7	4/22	08:50-11:30	口腔保健学科臨床基礎実習室	演習 口腔清掃について	⑩歯ブラシと歯磨剤および歯垢染色について⑦課題実施・提出	吉田 直美	7 歯口清掃の方法、用具の種類、用途を説明する 購入した口腔清掃用具と鏡を用い、実際に使用し、使用感などをまとめ、課題提出

							すること 積極的に質問をすること
8	4/22	11:40~12:25	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	演習 口腔清掃用具について	様々な口腔清掃用具の違いに関する課題の説明	吉田 直美	7 歯口清掃の方法、用具の種類、用途を説明する
9	5/13	09:45~10:30	遠隔授業 (非同期型)	講義 歯科保健指導に関する理論	③歯科保健指導に関する理論	吉田 直美	4. 保健行動理論を概説する
10	5/19	09:45~10:30	遠隔授業 (非同期型)	講義 歯科保健指導に関する理論	④歯科保健指導に関する理論	吉田 直美	4. 保健行動理論を概説する
11	5/20	11:40~12:25	遠隔授業 (非同期型)	講義 学校における健康教育	②学童期(小学校低学年)の特徴と健康教育	吉田 直美	2. 発達段階における健康教育について概説する 3. 学童期における特徴と口腔健康における課題と対応策を概説する
12	5/27	08:50~09:35	遠隔授業 (非同期型)	講義 地域における健康教育	⑤地域保健活動について	吉田 直美	5. 地域保健活動の概要を説明する
13	6/3	08:50~09:35	遠隔授業 (非同期型)	講義 禁煙指導について	禁煙指導 1~4 章 禁煙指導 5 章	吉田 直美	6 禁煙指導を概説する
14	6/10	08:50~09:35	遠隔授業 (非同期型)	講義 禁煙指導について	禁煙指導 1~4 章 禁煙指導 5 章	吉田 直美	6 禁煙指導を概説する
15	6/17	11:40~12:25	遠隔授業 (非同期型)	演習 健康教育の基礎	セルフケア支援まとめ	吉田 直美	7 歯口清掃の方法、用具の種類、用途を説明する 購入した口腔清掃用具と鏡を用い、実際に使用し、使用感などをまとめ、課題提出すること

成績評価の方法

- ・授業内での課題 80%および小テスト 20%で総括的評価を行う
- ・受講態度、出席状況等を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

事前配布資料や e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

2/3 以上の出席

- ・期日までの設定課題提出(全ての課題)を成績評価対象となるための条件する。
- 設定課題については、必ず、実施・提出を行うこと。内容に不足がある場合は、未履修とする。

・遠隔授業の出席記録については、課題を締切日までに提出することで読み替える。

教科書

新歯科保健指導ハンドブック：ライフコースに沿った歯・口腔の健康づくりの展開にむけて／日本歯科衛生士会,小方, 頼昌, 1959-,三浦, 宏子,吉田, 直美,日本歯科衛生士会 監修,小方頼昌, 三浦宏子, 吉田直美 編集:医歯薬出版, 2024.10

歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会,高阪利美 [ほか] 著,高阪利美 [ほか] 編集:医歯薬出版, 2023.1

備考

・講義、実習 口腔清掃用具の実演

・前年度履修学生の科目評価の非同期の出欠システムに対しての不満があったとの指摘をもとに、課題が十分な内容を記載していれば、締切日までに提出することで出席と読み替えることにする予定。授業内容については、わかりやすかったとのコメントから、ほぼ同様の内容とする。

時間割番号	022237						
科目名	健康教育の基礎Ⅱ				科目ID	DH231702L	
担当教員	吉田 直美, 池川 麻衣, 高橋 礼奈, 木野 志保, 内田 佳代, LIAO SHIN RU, 駒津 匡二, 鈴木 瞳, 木下 淳博[YOSHIDA Naomi, IKEGAWA Mai, TAKAHASHI Rena, KINO Shiho, UCHIDA Kayo, LIAO SHIN RU, KOMATSU Keiji, SUZUKI Hitomi, KINOSHITA Atsuhiro]						
開講時期	2026 年度後期		対象年次		2		
実務経験のある教員による授業	該当する				授業形態	対面	
コマ数:30 コマ 必要自習時間数:1 コマ当たり 1 時間程度 授業形態:講義 3・演習 9・実習 18							
主な講義場所 臨床基礎実習室、相互実習室など							
授業の目的、概要等 口腔健康教育の実践に必要な知識・技術・態度を修得し、実践力を培う。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/29	9:45-10:30	口腔保健学科第3講義室	実習 健康教育の実践	3年生との交流 T 小学校健康教育準備	吉田 直美 内田 佳代	目標 1、2
2-4	6/2	8:50-11:30	その他	実習 健康教育の実践	ALT 小学校健康教育実習	吉田 直美 内田 佳代 高橋 礼奈	目標 2
5	10/2	10:45-11:30	口腔保健学科第4講義室	健康教育の基礎Ⅱの進め方、課題等について	健康教育の基礎Ⅱの進め方、課題等について	高橋 礼奈	
6-8	10/6	13:30-16:10	口腔保健学科臨床基礎実習室	実習 口腔清掃用具 デンタルガム	ソニックケアの特徴、デンタルガム	高橋 礼奈	目標 4.5 モリタ歯科衛生士
9-10	10/9	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	講義 歯磨剤の科学	歯磨剤について	高橋 礼奈	目標 3 *事前に資料を渡すので受け取ること 歯磨工業会 市橋先生
11-13	10/16	13:30-16:10	その他	実習 口腔清掃用具	AL 電動ブラシ1演習(GC) 口腔衛生用具の選択	高橋 礼奈	目標 4.5
14-15	10/21	09:45-11:30	口腔保健学科第4講義室	演習 ライフステージ別の口腔健康課題と対策	課題について	高橋 礼奈	目標 6, 7, 8, 9, 12
16-21	10/26	09:45-16:10	口腔保健学科第4講義室	演習 ライフステージ別の口腔健康課題と対策	ライフステージ別健康課題発表	高橋 礼奈	目標 6, 7, 8, 9, 12
22	11/9	15:25-16:10	遠隔授業(非同期型)	演習 ライフステージ別の口腔健康課題と対策	課題について	高橋 礼奈	目標 6, 7, 8, 9, 12
23-25	11/17	13:30-16:10	口腔保健	実習 口腔内撮影	AL 口腔内写真撮影	内田 佳代	目標 10, 11

時間割番号	022239						
科目名	食生活教育			科目ID	DH231800L		
担当教員	木野 志保, 品田 佳世子, 池川 麻衣, 鳥越 純子, 吉田 直美[KINO Shiho, SHINADA Kayoko, IKEGAWA Mai, TORIGOE Jiyunko, YOSHIDA Naomi]						
開講時期	2026 年度通年	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
科目名:食生活教育 時間数:45 分×15 1 単位 授業形態:遠隔講義(Zoom 同期型の課題発表を含む)							
主な講義場所 遠隔授業:非同期授業(WebClass のコース内にアップロードされた動画視聴)、同期授業(Zoom による課題発表)							
授業の目的、概要等 栄養と代謝の知識を基に、健康を維持するための栄養と食生活について、国民健康・栄養調査、食事摂取基準等を理解し、食育・食生活教育に必要な知識と技能を修得する。							
授業の到達目標 1)栄養や食生活に関する国の取り組み(健康日本 21)および国民健康・栄養調査について説明できる。 2)食生活指針について説明できる。 3)日本人の食事摂取基準について説明できる。 4)食育について食育基本法、食育推進計画について説明できる。 5)各ライフステージに適した食生活、歯科保健と食育について説明できる。 6)う蝕と発酵性糖質、代用甘味料との関係について説明できる。 7)全身及び口腔の疾病と食生活指導の必要性を理解できる。 8)地域や家族等における食の伝承について発表する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/7	13:30-14:15	遠隔授業 (非同期型)	食生活教育総論、食生活の指針	食生活教育総論、食生活の指針	木野 志保 品田 佳世子	1)栄養や食生活に関する国の取り組み(健康日本 21)および国民健康・栄養調査について説明できる。 2)食生活指針について説明できる。
2-3	5/15	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	国民健康栄養調査	国民健康栄養調査	木野 志保 品田 佳世子	1)栄養や食生活に関する国の取り組み(健康日本 21)および国民健康・栄養調査について説明できる。 2)食生活指針について説明できる。
4	5/27	11:40-12:25	遠隔授業	食事摂取基準	食事摂取基準	木野 志保	3)日本人の食事

			(非同期型)			品田 佳世子	摂取基準について説明できる。
5	6/4	13:30-14:15	遠隔授業 (非同期型)	食育基本法、食育について	食育基本法、食育について	木野 志保 品田 佳世子	4)食育について食育基本法、食育推進計画について説明できる。
6	6/9	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期型)	食育乳幼児期	食育乳幼児期	木野 志保 品田 佳世子	5)各ライフステージに適した食生活、歯科保健と食育について説明できる。
7	6/16	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	食育学齢期から高齢期	食育学齢期から高齢期	木野 志保 品田 佳世子	5)各ライフステージに適した食生活、歯科保健と食育について説明できる。
8	6/23	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期型)	咀嚼と口腔機能と食生活	咀嚼と口腔機能と食生活	木野 志保 品田 佳世子	5)各ライフステージに適した食生活、歯科保健と食育について説明できる。
9	6/29	15:25-16:10	遠隔授業 (非同期型)	う蝕と糖、代用甘味料	う蝕と糖、代用甘味料	木野 志保 品田 佳世子	6)う蝕と発酵性糖質、代用甘味料との関係について説明できる。
10	7/1	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期型)	病態栄養、病院の患者への給食	病態栄養、病院の患者への給食	鳥越 純子	7)全身及び口腔の疾病と食生活指導の必要性を理解できる。
11-12	7/3	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期型)	う蝕と糖の疫学、酸蝕歯	う蝕と糖の疫学、酸蝕歯	木野 志保 品田 佳世子	7)全身及び口腔の疾病と食生活指導の必要性を理解できる。
13	7/10	13:30-14:15	口腔保健 学科第4 講義室	試験	試験	池川 麻衣 木野 志保	1)～7)についての知識確認
14	7/17	09:45-10:30	口腔保健 学科第4 講義室	再試験	再試験	木野 志保 池川 麻衣	1)～7)についての知識確認
15-17	1/15	9:45-12:25	遠隔授業 (同期型)	自分の住んでいる地域(実家のある地域)や家庭における伝承・伝統食の発表	自分の住んでいる地域(実家のある地域)や家庭における伝承・伝統食の発表	木野 志保	8)地域や家族等における食の伝承について発表する。

授業方法

非同期授業が主であり、Webclass のコース内にアップロードされた動画を視聴する。ただし、Zoom 同期授業による課題発表もある。

授業内容

別表のとおり。

成績評価の方法

授業動画の視聴記録を以て、授業参加とみなす。

授業の参加状況・課題発表・試験により、総括的評価を行う。
成績評価の基準 授業の参加状況・課題発表・試験により、授業に関する知識が習得されていることを判断し、全体で60点以上を合格とする。
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配布、webclass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席を必要とする。
教科書 人体の構造と機能2 栄養と代謝／全国歯科衛生士教育協議会:医歯薬出版, 2023.1 保健生態学／全国歯科衛生士教育協議会:医歯薬出版, 2023.2
参考書 八訂食品成分表 2023／香川 明夫 監修,香川 明夫,:女子栄養大学出版部, 2023-02-17 腎臓病食品交換表：治療食の基準／黒川清 監修,中尾俊之 編集代表,:医歯薬出版, 2016
履修上の注意事項 1 年生の栄養と代謝を復習しておくこと。
備考 講義は品田佳世子先生が担当する。 責任者:木野志保 shiho.kino.ohp@tmd.ac.jp
オフィスアワー 木野 志保:毎週火曜日 10:00～17:00 1 号館西 8 階 口腔疾患予防学分野・教授室

時間割番号	022240						
科目名	生体材料学				科目ID	DH231900L	
担当教員	伊藤 奏, 宇尾 基弘, LIAO SHIN RU, 樺沢 勇司[Ito Kanade, UO Motohiro, LIAO SHIN RU, KABASAWA Yûji]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	2		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する				授業形態	メディア利用科目	
科目名:生体材料学 時間数:15 時間 授業形態:講義							
主な講義場所 isct LMS、第 4 講義室							
授業の目的、概要等 顎口腔歯科領域の治療に使用される歯科生体材料の種類と使用法について学習する。							
授業の到達目標 1. 歯科生体材料の一般的性質を理解する。 2. 歯科生体材料の安全性について理解する。 3. 印象材の種類と使用方法について理解する。 4. 石膏の種類と使用方法を理解する。 5. セメント(合着用セメント、成形修復用セメント)の種類と使用方法について説明する。 6. 成形修復材料の種類と使用方法を説明する。 7. 歯科補綴装置(義歯, 金属冠, セラミックス, インプラントを含む)に使用する材料の種類とその製法を概説する。 8. 矯正装置に用いる材料を理解する。 9. その他の歯科材料・器械について理解する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	4/10	13:30-16:10	口腔保健 学科第4 講義室	材料の基礎	・材料の物性評価 ・歯科衛生に関わる材料・器具	宇尾 基弘 伊藤 奏, LIAO SHIN RU	目標 1、2
4-5	4/23	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	印象材等	・印象材 ・模型材	宇尾 基弘 伊藤 奏	目標 3、4
6-8	4/27	16:20-18:55	遠隔授業 (非同期型)	合着材、成形修復材、仮封材等	・合着材 ・成形修復材 ・仮封材 ・暫間修復材	宇尾 基弘 伊藤 奏	目標 5、6
9-10	4/30	16:20-18:00	遠隔授業 (非同期型)	ワックス・レジン 歯科用合金等	・ワックス ・レジン ・歯科用合金 ・セラミックス	宇尾 基弘 伊藤 奏	目標 7、9
11-12	5/8	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	その他の材料	その他の材料	宇尾 基弘 伊藤 奏	目標 8、9
13-15	5/25	14:25-17:05	口腔保健 学科第4 講義室	まとめ	総括、小テスト	宇尾 基弘 伊藤 奏	目標 1～9
16-17	7/17	15:25-17:05	口腔保健 学科第3 講義室	試験	試験	伊藤 奏	
授業方法							

本授業には、非同期授業を含む。指定された動画等を視聴し、指示にあるようにレポート課題を提出すること。
授業内容 授業スケジュールに各回の授業内容を示している。
成績評価の方法 レポートや小テスト、平常点、期末試験にて評価する。
成績評価の基準 期末試験の得点をベースとし、小テストやレポート、平常点等を考慮して評価する。 期末試験で得点が6割未満の場合は再試験を行う。
準備学習等についての具体的な指示 isct LMS に講義資料等をアップするので、疑問点があれば質問すること。
試験の受験資格 対面授業参加および isct LMS の講義動画の視聴およびレポート提出により試験の受験を認める。 明らかに教材の視聴が認められない場合は受験資格を満たさない。
教科書 歯科材料／末瀬 一彦, 1951-, 全国歯科衛生士教育協議会, 末瀬一彦 ほか 著: 医歯薬出版, 2023.1
参考書 スタンダード歯科理工学：生体材料と歯科材料／新谷, 明一, 中嶋, 裕, 宮崎, 隆, 1953-, 米山, 隆之, 新谷明一, 中嶋裕, 宮崎隆, 米山隆之 編集(幹事)・執筆: 学建書院, 2024.3
備考 授業担当教員: 先端材料評価学分野 宇尾 基弘 (uo.abm@tmd.ac.jp) ※原則質問はメールにて受け付ける。直接訪問する場合はメールでアポイントメントを取ること。 前年度履修学生の科目評価で、対面授業が好評であったため、対面授業を増やす予定。
オフィスアワー 伊藤 奏 随時(メールにて事前にアポイントメントをとること) 1号館8階 817B 樺沢 勇司: 平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。 1号館8階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022630						
科目名	口腔内科学			科目ID			
担当教員	樺沢 勇司, 岩井 秀之, 立石 知也, 笹野 哲郎, 村上 正憲, 伊藤 剛, 廣瀬 明日香, 光井 潤一郎, 安藤 史顕, 天野 永一郎, 雁金 大樹, 藤本 侑花, 長尾 俊景, 鈴木 基弘, 宮島 美穂, 萬代 新太郎[KABASAWA Yuji, Iwai Hideyuki, TATEISHI Tomoya, SASANO Tetsuo, MURAKAMI Masanori, ITO Go, HIROSE Asuka, MITSUI Junichiro, ANDO Fumiaki, AMANO Eiichiro, KARIGANE Daiki, FUJIMOTO Yuka, NAGAO Toshikage, SUZUKI Motohiro, MIYAJIMA Miho, MANDAI Shintaro]						
開講時期	2026 年度後期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
科目名:口腔内科学 ユニット名:口腔内科学 時間数:15 時間(1 単位) 授業形態:遠隔講義(LMS による非同期型遠隔授業)							
主な講義場所 自宅							
授業の目的、概要等 口腔保健の実践に必要な口腔内科学についての理論と実際を理解し、個々の対象者に応用できる問題解決能力を身につける。							
授業の到達目標 SBOs 1. 口腔内科学の目的および意義を理解する。 2. 血液検査について理解する。 3. 口腔領域の検査について理解する。 4. 口腔病理検査について理解する。 5. 口腔領域のエックス線写真を読影できる。 6. 歯科金属アレルギー検査を理解する。 7. 歯科診療に関連する臨床医学を理解する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	12/16	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	呼吸器疾患について	呼吸器疾患の発症機序・症状・診断・治療(アレルギー性疾患、気道閉塞性疾患、気胸、肺水腫、肺がん、結核、インフルエンザなど)	樺沢 勇司, 立石 知也	到達目標:1ー6 講義中に演習を行う
2	12/16	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期型)	循環器内科について	循環器系疾患の発症機序・症状・診断・治療について	樺沢 勇司, 笹野 哲郎	到達目標:1ー6 講義中に演習を行う
3	1/8	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	内分泌代謝疾患について	1. 内分泌疾患の発症機序・症状・診断・治療 2. 代謝性疾患の発症機序・症状・診断・治療	樺沢 勇司, 村上 正憲	到達目標:2 講義中に演習を行う
4	1/8	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期型)	神経変性疾患について	神経変性疾患の発症機序・症状・診断・治療	樺沢 勇司, 天野 永一郎	到達目標:1ー6 講義中に演習を行う
5	1/8	15:25-16:10	遠隔授業 (非同期型)	腎臓内科学について	腎臓疾患の発症機序・症状・診断・治療(人工透析を含む)	樺沢 勇司, 安藤 史顕	到達目標:1ー6 講義中に演習を行う
6	1/18	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	血液疾患について	血液疾患の発症機序・症状・診断・治療(骨髄移植を含む)	樺沢 勇司, 雁金 大樹	到達目標:1ー6 講義中に演習を行う

			型)				行う
7-8	1/25	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期 型)	消化器疾患について	1. 消化管疾患の発症機序・症状・ 診断・治療 2. 肝・胆・膵疾患の発 症機序・症状・診断・治療 3. 消化 器系感染症	樺沢 勇司, 伊藤 剛	到達目標:4 講 義中に演習を行う
9	1/25	10:45-11:30	遠隔授業 (非同期 型)	自己免疫疾患について	自己免疫疾患の発症機序・症状・ 診断・治療	樺沢 勇司, 岩井 秀之	到達目標:1-6 講義中に演習を 行う
10	2/1	13:30-14:15	遠隔授業 (非同期 型)	臨床検査	臨床検査について	樺沢 勇司	到達目標:1-6 講義中に演習を 行う
11	2/1	14:25-15:10	遠隔授業 (非同期 型)	口腔内科学について	口腔内科学概論、各論	樺沢 勇司	到達目標:1-6 講義中に演習を 行う
12	2/2	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期 型)	産科について	1. 妊娠、出産の機序・診断・身体 の変化 2. 不妊治療、異常妊 娠、高齢出産	樺沢 勇司, 廣瀬 明日香	到達目標:1-6 講義中に演習を 行う
13	2/2	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期 型)	婦人科について	3. 婦人科疾患の発症機序・症状・ 診断・治療1(子宮筋腫、子宮内膜 炎、子宮癌など) 4. 婦人科疾患 の発症機序・症状・診断・治療2(卵 巣嚢腫、卵巣がん、更年期障害な ど)	樺沢 勇司, 光井 潤一郎	到達目標:1-6 講義中に演習を 行う
14-15	2/5	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期 型)	精神科について	1. 精神科疾患の発症機序・症状・ 診断・治療(統合失調症、うつ病不 安障害、PTSD、依存症など) 2. 認知症の発症機序・症状・診断・治 療および予防	樺沢 勇司, 藤本 侑花	到達目標:1-6 講義中に演習を 行う

授業方法

遠隔授業(LMS による非同期型遠隔講義)が中心となる(同期型講義が実施される場合もあり、その場合には事前に連絡を行う)

非同期型遠隔講義においては指定された動画および講義資料、参考資料などを閲覧し、指示された課題に回答すること。

WebClass 上の掲示板を作成するので、講義内容や課題についての感想や質問、コメントを自由に記載して下さい。回答は樺沢より全員に
対してあるいは個人的に行うため、十分に活用すること。

講義についての質問も含めて担当教員(樺沢)までメールでも受け付ける。

講義動画は原則学期末まで公開する。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

試験は実施しない。最終課題レポートを課す。

講義後の小テストおよび最終課題レポートの評価を総括的評価に加味する。

成績評価の基準

「到達目標」に明示している事項について、講義内容より概ね達成できている場合は B、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等につ
いて具体的に論述できる場合は B より上とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に指示した教材、アップロードされた資料に目を通して講義に臨むこと。

講義に関する質問については、科目責任者(樺沢)までメールにて適時行うこと。

樺沢勇司:kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

試験の受験資格

遠隔講義への出席状況は成績付与の参考とする。

遠隔講義のため、接続に関して問題が生じた場合には、科目責任者(樺沢)までメールで必ず連絡をすること。

教科書

臨床検査／全国歯科衛生士教育協議会,野村武史 ほか 著,野村武史, 升井一朗, 高阪利美, 畠中能子 編集:医歯薬出版, 2023.1

参考書

歯科衛生士のための口腔内科：全身と口腔をつなぐオーラルメディシン／山根 源之, 1946-,酒巻 裕之,里村 一人,山根源之, 酒巻裕之, 里村一人, 野村武史 編著:医歯薬出版, 2019.10

履修上の注意事項

事前に指示した教材、アップロードされた資料に目を通して講義に臨むこと。 講義に関する質問については、科目責任者(樺沢)までメールにて適時行うこと。

備考

担当教員の Office hour

樺沢勇司 健康支援口腔保健衛生学分野 随時 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

樺沢 勇司:平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。

1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022640A						
科目名	歯科診療補助論Ⅰ(ユニット)				科目ID		
担当教員	伊藤 奏, 塩沢 真穂, LIAO SHIN RU, 樺沢 勇司[ITO Kanade, SHIOZAWA Maho, LIAO SHIN RU, KABASAWA Yuji]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する				授業形態	対面	
科目名: 歯科診療補助論Ⅰ 時間数: 30 時間 授業形態: 演習・実習・講義							
主な講義場所 Zoom、isct LMS、口腔保健学科第 4 講義室・臨床基礎実習室・相互実習室							
授業の目的、概要等 歯科診療の補助における医療安全や感染予防を含む歯科臨床の場で必要な知識、器具・器材および材料の取扱や技術を理解し、歯科診療補助に必要な基礎的な技術を身につける。							
授業の到達目標 1) 歯科診療補助の基本的な枠組みと法的定義について説明できる。 2) 医療安全の基本的概念を説明できる。 3) 歯科医療現場における感染予防を実践できる。 4) 歯科患者の特徴、心理状態を説明できる。 5) 歯科患者を想定した医療面接を実施できる。 6) 石膏の所要性質および操作時の注意点を説明できる。 7) 印象材の種類とその特徴を説明できる。 8) 印象材の操作が実施できる。 9) 合着材やコンポジットレジンの特徴を説明できる。 10) 歯科臨床の場で使用する材料の取り扱い・管理を説明できる。 11) 歯科診療室の環境整備が理解できる。 12) 歯科診療における基本的な姿勢を説明できる。 13) 歯科臨床で使用する基本的な器具の操作が説明できる。 14) 歯科診療器具・器材の取り扱い・管理を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/7	10:45-11:30	口腔保健 学科第4 講義室	歯科診療補助の概要	三大業務について 歯科診療補助の範囲、法的な定義	伊藤 奏	目標 1 講義・演習
2	4/7	11:40-12:25	口腔保健 学科第4 講義室	感染予防Ⅰ	感染予防の重要性、スタンダードプリコーションの概念、手指衛生	伊藤 奏	目標 2 講義・演習
3-4	4/13	13:30-15:10	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	感染予防Ⅱ	手指衛生、グローブ、エプロン、マスクの装着方法	伊藤 奏, LIAO SHIN RU	目標 2、3 実習(基礎)
5	4/17	13:30-14:15	口腔保健 学科第4 講義室	歯科診療における医療安全	医療安全の基本的概念、BLS、医療法 医療安全に関わる用語の整理	伊藤 奏	目標 2 講義・演習
6	4/17	14:25-15:10	口腔保健 学科第4	歯科材料の取り扱いと管理について	滅菌と消毒、医療廃棄物の取扱い	伊藤 奏	目標 2 講義・演習

			講義室				
7-8	4/21	13:30-15:10	口腔保健 学科第4 講義室	滅菌と消毒、医療廃棄物 の取扱い	石膏、印象材、薬品等の管理と取 り扱い	伊藤 奏	目標 10 講義・ 演習
9	4/27	13:30-14:15	口腔保健 学科第4 講義室	歯科診療室の基礎知識	歯科診療室の環境、設備と構造	伊藤 奏	目標 11 講 義・演習
10-11	4/27	14:25-16:10	口腔保健 学科第4 講義室	歯科診療における患者 対応と医療面接	歯科診療の流れと患者の接遇 医 療者としての心構え 主訴、現病 歴、既往歴について 医療コミュニ ケーション(良い例、悪い例)	伊藤 奏	目標 4、5 講 義・演習・グルー プワーク
12	5/12	13:30-14:15	口腔保健 学科第4 講義室	診療室の環境整備	下拭き、中拭き、清拭の違い	伊藤 奏	目標 11 講 義・演習
13	5/12	14:25-15:10	口腔保健 学科第4 講義室	歯科診療器具の基本操 作	バキューム、ライティング、3way シリンジの操作	伊藤 奏	目標 12、13 講義・演習
14-15	5/25	10:45-12:25	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	衛生材料の作成	綿球、ロールワッテ、小折ガー ゼ、アルコールワッテ等	伊藤 奏、LIA O SHIN RU	目標 10 実習 (基礎)
16-19	5/29	13:30-17:05	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	生体材料実習①:石膏	石膏の練和方法、硬化時間、硬化 膨張、硬化時の発熱	塩沢 真穂 伊藤 奏、LIA O SHIN RU	目標 6 実習 (基礎)
20-21	6/1	14:25-16:10	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	アルジネート印象材練 和実習	アルジネート印象材の取り扱い	伊藤 奏、LIA O SHIN RU	目標 8 実習 (基礎)
22	6/1	16:20-17:05	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習に向けて① 滅菌と消毒の実際	各種器材の準備実習(リネン包 み、滅菌バッグ、滅菌物の取り扱 い等)	伊藤 奏、LIA O SHIN RU	目標 14 実習 (基礎)
23-26	6/12	13:30-17:05	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	生体材料実習②:印象	ハイドロコロイド印象材と模型の 再現性	塩沢 真穂 伊藤 奏、LIA O SHIN RU	目標 7、8 実 習(基礎)
27-30	6/19	13:30-17:05	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	生体材料実習③:印象	ゴム質印象材と模型の再現性	塩沢 真穂 伊藤 奏、LIA O SHIN RU	目標 7、8 実 習(基礎)
31-32	6/29	13:30-15:10	口腔保健 学科第3 講義室	期末試験	筆記試験	伊藤 奏	対面実施

授業方法

【非同期授業】

指定された動画や講義資料、参考資料を閲覧し、指示にあるように課題を提出する。課題にはそれぞれ期限が設けられているため、必ず確認を行うこと。原則、授業設定時間までには資料を掲示するが、それ以外の場合には適宜指示を行う。 質問は原則メール(ito.ocsh@tmd.ac.jp)にて対応もしくは実習時などに直接受けつける。いずれにおいても、課題提出期限内に行うことが前提である。 【対面・同期授業】 同期授業の場合、多くは事前に授業配布資料を isct LMS へ掲示する。適宜確認の上、必ず手元に準備した上で授業に臨むこと。 同期授業では、授業中質問等ある場合、ミュートを外して直接発言もしくはチャットにて発言を認める。質問や意見は積極的に行うことが望ましい。 授業内で演習としてグループワークを行うことがあるが、その際にも積極的な発言や意見交換が行われることが望ましい。 【実習】 原則対面で行うため、常に感染対策を徹底して参加すること。マスク(可能であれば不織布)の常時着用に加え、適宜フェイスシールドの着用が必要である。フェイスシールドは実習科目を通じて使用するため、配布後には必ず自己管理を徹底し、紛失や忘れないようにすること。万が一、紛失や忘れがあった場合には、必ず授業開始前に自己申告し、教員へ相談すること。 ユニフォームや白衣等への着替えは密を避けるため、ロッカーでは行わない。適宜更衣や昼食用に部屋が設けられているため、指示に従い、決められた部屋および座席にて行うこと。 実習中の座席も定められているため、それ以外のところへ着席は避け、使用した座席や物品等は必ず除菌して返却すること。 実習中にレポート課題を課すことがあるが、提出期限を遵守し、提出すること。実習のメモではなく、提出物であることを意識してレポートを作成すること。
授業内容 授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。
成績評価の方法 ・ 筆記試験、提出課題の結果により総合的評価を行う。 ・ 出席状況および平常学習態度等を総合的評価に加味する。
成績評価の基準 ・ 筆記試験により 60 点を超すことで試験は合格とする。60 点以下の場合、再試験の対象となる。 ・ 筆記試験と提出課題を適宜重み付けし、100 点満点として評価する。しかし、再試験受験者は筆記試験の点数は 60 点が最高点となるため注意すること。 ・ 最終的には、上述の評価に加え、平常点等を考慮して判断する。平常点については、授業に関わる学習意欲、参加状況、参加態度等を評価対象とする。
準備学習等についての具体的な指示 ・ e-learning に事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(isct LMS へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。 ・ 事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 ・ 欠席の場合、事前に欠席理由と配布資料希望の連絡がない限り資料は配布しない。
試験の受験資格 1) 3 分の 2 以上の出席を満たしていることが条件である。 2) 非同期授業の場合には、視聴履歴が 100%であることが出席の条件である。また、課題がある場合には、課題を期限内に提出することも出席の条件となる。質問等ある場合には、必ず期限内に申し出ること。 3) Zoom による同期授業の場合は必ず顔を確認して本人が出席していることを確認した上で受講と認める。途中で不在が判明した場合には、早退もしくは欠席と判断する。さらに、ログイン記録を参照し、所定の時間より大幅に時間が足りない場合には遅刻もしくは欠席と判断する。ただし、ネット環境等の問題で参加を試みたが参加できない場合、必ず授業時間内に伊藤(ito.ocsh@tmd.ac.jp)に連絡すること。連絡があった場合のみ、事後の動画視聴および課題提出によって出席と認める。 4) 実習は、実習にふさわしい身だしなみを整えた上で開始時間前に着席していた場合に出席とみなす。着席していても身だしなみが不十分だった場合には遅刻とみなすため注意すること。また、授業開始前には必ずカードリーダーへタッチし、出席の記録をすること。万が一忘れた場合には、必ず自ら授業担当教員に申し出ること。 5) 授業出席については自身で管理を徹底し、万が一何か不安や疑問がある場合には、必ず事前に伊藤まで連絡すること。
教科書 歯科診療補助論／全国歯科衛生士教育協議会・合場千佳子 ほか 編：医歯薬出版、2025.2

歯科材料／末瀬 一彦, 1951-, 全国歯科衛生士教育協議会, 末瀬一彦 ほか 著: 医歯薬出版, 2023.1

参考書

デンタルスタッフのクリニカルマナー：歯科医院における受付・患者対応と事務／合場 千佳子, 品田 和美, 水木 さとみ, 合場千佳子, 品田和美, 水木さとみ, 山根瞳 編: 医歯薬出版, 2018.2

履修上の注意事項

・教科書「歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版」を必携とする。・講義場所が実習室となっている場合は、必ず実習の身だしなみを整えた状態で、授業開始時間までに実習室に集合すること。授業開始時間までに身だしなみが整っていない場合は、遅刻扱いとする。・実習に欠席しても、原則的に補講は行わないため、必ず実習に出席すること。

備考

前年度履修学生の科目評価で、配布資料へ授業内容を書き写す時間が足りないという指摘があったため、授業時間内に十分な時間を確保するよう前年度以上に配慮する予定。

オフィスアワー

伊藤 奏 随時(メールにて事前にアポイントメントをとること)

1号館8階 817B

樺沢 勇司: 平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。

1号館8階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022640B						
科目名	歯科診療補助論Ⅱ(ユニット)				科目ID		
担当教員	樺沢 勇司, 伊藤 奏, LIAO SHIN RU[KABASAWA Yuji, ITO Kanade, LIAO SHIN RU]						
開講時期	2026 年度後期	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する				授業形態	対面	
科目名: 歯科診療補助論Ⅱ 時間数: 30 時間 授業形態: 演習・実習・講義							
主な講義場所 Zoom、isct LMS、口腔保健学科第 4 講義室・臨床基礎実習室・相互実習室、スキルスラボ I							
授業の目的、概要等 歯科診療の補助における歯科臨床の場で必要な知識、器具・器材・材料の取扱や技術および診療の流れを理解し、歯科診療補助に必要な基礎的な技術を身につける。							
授業の到達目標 1)精密印象材の取り扱いを説明できる。 2)精密印象材の操作を実施できる。 3)印象体への模型材注入を実施できる。 4)基礎的な概形印象採得を実施できる。 5)歯科用セメントの所要性質を説明できる。 6)歯科用セメントの操作を実施できる。 7)印象材の種類とその特徴を説明する。 8)臨床検査の目的について説明できる。 9)バイタルサインの測定と評価を実施できる。 10)頭頸部診察の目的について説明できる。 11)頭頸部診察を実施できる。 12)各診療科目における歯科診療補助の実際の流れを説明できる。 13)各診療科目における歯科診療補助で使用する器具・器材を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/5	11:40-12:25	口腔保健学科臨床基礎実習室、口腔保健学科相互実習室	相互実習に向けて② 歯科診療室の管理の実際	歯科診療室の管理(下拭き、中拭き、清拭)	伊藤 奏, LIAO SHIN RU	目標 2-4、6 実習(基礎)
2-3	10/16	10:45-12:25	その他	シリコーン印象材・石膏実習	シリコーン印象材と石膏の取り扱い	伊藤 奏, LIAO SHIN RU	目標 1-3 実習 (基礎・株式会社GC) ☆現地集合(白衣持参、スーツ着用)時間が変則になるため注意
4-5	10/19	10:45-12:25	口腔保健学科臨床基礎実習	概形印象採得基礎実習	概形印象採得(アルジネート印象材、マネキン)	伊藤 奏, LIAO SHIN RU	目標 4 実習 (基礎)

			室				
6-7	11/9	10:45-12:25	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯科診療補助各論(保存 修復)	歯科診療補助の概要、器具・器材 の理解	伊藤 奏	目標 12 講義・ 演習 WebClass: IL2500602 口腔 保健衛生学専攻 2 年授業 2025 年 後期
8-10	11/13	13:30-16:10	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯科診療補助各論(歯内 療法)	歯科診療補助の概要、器具・器材 の理解	伊藤 奏	目標 12 講義・ 演習 WebClass: IL2500602 口腔 保健衛生学専攻 2 年授業 2025 年 後期
11-13	11/25	09:45-12:25	口腔保健 学科第4 講義室 スキルス ラボ	バイタルサインおよび 頭頸部触診実習	体温、脈拍、血圧測定、頭頸部の 触診実習	樺沢 勇司, 伊藤 奏 LIA O SHIN RU	目標 8、9 実 習(基礎) 秒付 き砂時計持参(あ れば) ☆9:35 第 4 講義室集合
14-15	11/30	13:30-15:10	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯科用セメント実習	各種セメントの取り扱い	伊藤 奏 LIA O SHIN RU	目標 5、6 実 習(基礎)
16-18	12/1	11:40-15:10	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	器具・器材試験1(保存修 復・歯内療法・口腔外科)	器具・器材の確認実習 器具・器 材の名称および用途について筆 記試験	伊藤 奏 LIA O SHIN RU	目標 13 実習 (基礎)
19-21	12/8	13:30-16:10	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯科診療補助各論(口腔 外科)	歯科診療補助の概要、器具・器材 の理解	伊藤 奏	目標 12 講義・ 演習 WebClass: IL2500602 口腔 保健衛生学専攻 2 年授業 2025 年 後期
22-24	12/18	13:30-16:10	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯科診療補助各論(歯周 外科)	歯科診療補助の概要、器具・器材 の理解	伊藤 奏	目標 12 講義・ 演習 WebClass: IL2500602 口腔 保健衛生学専攻 2 年授業 2025 年 後期
25-27	1/15	13:30-16:10	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯科診療補助各論(歯科 補綴)	歯科診療補助の概要、器具・器材 の理解	伊藤 奏	目標 12 講義・ 演習 WebClass: IL2500602 口腔 保健衛生学専攻 2 年授業 2025 年 後期
28-30	1/22	11:40-15:10	口腔保健 学科臨床	器具・器材試験2(歯周外 科・歯科補綴)	器具・器材の確認実習 器具・器 材の名称および用途について筆	伊藤 奏 LIA O SHIN RU	目標 13 実習 (基礎)

			基礎実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室		記試験		
31-32	2/3	13:30-15:10	口腔保健 学科第3 講義室	期末試験	筆記試験	伊藤 奏	対面実施

授業方法

【非同期授業】

指定された動画や講義資料、参考資料を閲覧し、指示にあるように課題を提出する。課題にはそれぞれ期限が設けられているため、必ず確認を行うこと。原則、授業設定時間までには資料を掲示するが、それ以外の場合には適宜指示を行う。

質問は原則メール(ito.ocsh@tmd.ac.jp)にて対応もしくは実習時などに直接受けつける。いずれにおいても、課題提出期限内に行うことが前提である。

【対面・同期授業】

同期授業の場合、多くは事前に授業配布資料を isct LMS へ掲示する。適宜確認の上、必ず手元に準備した上で授業に臨むこと。

同期授業では、授業中質問等ある場合、ミュートを外して直接発言もしくはチャットにて発言を認める。質問や意見は積極的に行うことが望ましい。

授業内でグループワークを行うことがあるが、その際にも積極的な発言や意見交換が行われることが望ましい。

【実習】

原則対面で行うため、常に感染対策を徹底して参加すること。マスク(可能であれば不織布)の常時着用に加え、適宜フェイスシールドの着用が必要である。フェイスシールドは実習科目を通じて使用するため、配布後には必ず自己管理を徹底し、紛失や忘れがないようにすること。万が一、紛失や忘れがあった場合には、必ず授業開始前に自己申告し、教員へ相談すること。

ユニフォームや白衣等への着替えは密を避けるため、ロッカーでは行わない。適宜更衣や昼食用に部屋が設けられているため、指示に従い、決められた部屋および座席にて行うこと。

実習中の座席も定められているため、それ以外のところへ着席は避け、使用した座席や物品等は必ず除菌して返却すること。

実習中にレポート課題を課すことがあるが、提出期限を遵守し、提出すること。実習のメモではなく、提出物であることを意識してレポートを作成すること。

授業内容

授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。

成績評価の方法

- ・ 筆記試験の結果、器材試験の結果、提出課題により総括的評価を行う。
- ・ 出席状況および平常学習態度等を総括的評価に加味する。

成績評価の基準

- ・ 筆記試験により 60 点を超すことで試験は合格とする。60 点以下の場合、再試験の対象となる。
- ・ 筆記試験、器材試験、提出課題を適宜重み付けし、100 点満点として評価する。しかし、再試験受験者においては筆記試験の点数は 60 点が最高点となるため注意すること。
- ・ 最終的には、上述の評価に加え、平常点等を考慮して判断する。平常点については、授業に関わる学習意欲、参加状況、参加態度等を評価対象とする。

準備学習等についての具体的な指示

- ・ e-learning に事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(isct LMS へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。
- ・ 事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。
- ・ 欠席の場合、事前に欠席理由と配布資料希望の連絡がない限り資料は配布しない。

試験の受験資格

- 1) 3 分の 2 以上の出席を満たしていることが条件である。
- 2) 非同期授業の場合には、提示した課題を期限内に提出することで出席と認める。質問等ある場合には、必ず期限内に申し出ること。
- 3) Zoom による同期授業の場合は必ず顔を確認して本人が出席していることを確認した上で受講と認める。さらに、ログイン記録を参照

し、所定の時間より大幅に時間が足りない場合には遅刻もしくは欠席と判断する。ただし、ネット環境等の問題で参加を試みたが参加できない場合、必ず授業時間内に伊藤(ito.ocsh@tmd.ac.jp)に連絡すること。連絡があった場合のみ、事後の動画視聴および課題提出によって出席と認める。

4)実習は、実習にふさわしい身だしなみを整えた上で開始時間前に着席していた場合に出席とみなす。着席していても身だしなみが不十分だった場合には遅刻とみなすため注意すること。また、授業開始前には必ずカードリーダーへタッチし、出席の記録をすること。万が一忘れた場合には、必ず自ら授業担当教員に申し出ること。

5)授業出席については自身で管理を徹底し、万が一何か不安や疑問がある場合には、必ず事前に伊藤まで連絡すること。

教科書

歯科診療補助論 第2版／全国歯科衛生士教育協議会、合場千佳子 ほか 編：医歯薬出版、2025.2

歯科機器／全国歯科衛生士教育協議会、末瀬一彦 ほか 著、合場千佳子 [ほか] 編集：医歯薬出版、2023.1

保存修復学・歯内療法学／全国歯科衛生士教育協議会、千田彰、石井信之 ほか 著、千田彰 [ほか] 編集：医歯薬出版、2023.1

歯周病学 第2版／全国歯科衛生士教育協議会、佐藤 聡、高阪 利美、犬飼 順子、一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会 監修、佐藤 聡 編集、高阪 利美 編集、犬飼 順子 編集：医歯薬出版、2026.2

口腔外科学・歯科麻酔学 第2版／全国歯科衛生士教育協議会、野村武史、松浦信幸 ほか 著、野村武史 [ほか] 編集：医歯薬出版、2024.2

ISBN: 9784263426159 歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学

全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社、2023.1

参考書

歯冠修復と欠損補綴の治療と診療補助／松村英雄 [ほか] 編集委員、松村、英雄、大久保、力廣、二川、浩樹、吉田、直美：永末書店、2020

デンタルスタッフのクリニカルマナー：歯科医院における受付・患者対応と事務／合場、千佳子、品田、和美、水木、さとみ、合場千佳子、品田和美、水木さとみ、山根瞳 編：医歯薬出版、2018.2

歯科衛生士のための補綴科アシストハンドブック／宮田、孝義、1946-、三浦、英司、1957-、宮田孝義、三浦英司 著：学建書院、2018.3

歯科衛生士のための保存科アシストハンドブック／渡辺、孝章、小林、一行、長野、孝俊、渡辺孝章、小林一行、長野孝俊、山崎泰志、山本雄嗣 著：学建書院、2014.12

履修上の注意事項

・教科書「歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版」を必携とする。・講義場所が実習室となっている場合は、必ず実習の身だしなみを整えた状態で、授業開始時間までに実習室に集合すること。授業開始時間までに身だしなみが整っていない場合は、遅刻扱いとする。・実習に欠席しても、原則的に補講は行わないため、必ず実習に出席すること。

備考

前年度履修学生の科目評価で、特段の改善意見がなかったため、前年度と同様の授業構成とする。

オフィスアワー

伊藤 奏 随時(メールにて事前にアポイントメントをとること)

1号館8階 817B

樺沢 勇司:平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。

1号館8階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022640C						
科目名	歯科診療補助実習 I (ユニット)			科目 ID			
担当教員	伊藤 奏, 池田 正臣, LIAO SHIN RU, 塩沢 真穂, 安達 奈穂子, 鈴木 瞳, 日高 玲奈, 樺沢 勇司[ITO Kanade, IKEDA Masaomi, LIAO SHIN RU, SHIOZAWA Maho, ADACHI Naoko, SUZUKI Hitomi, HIDAKA Rena, KABASAWA Yuji]						
開講時期	2026 年度通年	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	対面		
科目名: 歯科診療補助実習 I 時間数: 30 時間 授業形態: 実習・演習							
主な講義場所 isct LMS、口腔保健学科第 4 講義室・臨床基礎実習室・相互実習室、歯学科補綴実習室							
授業の目的、概要等 歯科診療における基本的な器具の操作や共同動作、歯科診療補助に関わる臨床技術を身につける。							
授業の到達目標 1) 歯科診療における基本的な姿勢を実施できる。 2) 歯科臨床で使用する基本的な器具の操作が実施できる。 3) 歯科診療に必要な器械・材料・薬品の適切な準備と取り扱いを実施できる。 4) 歯科診療器具・器材の管理方法を説明できる。 5) 歯科診療器具・器材の特性にあわせ、滅菌・消毒を実施できる。 6) 患者を安全に誘導できる。 7) 患者に対して医療従事者として適した対応ができる。 8) 歯科診療における共同動作を実施できる。 9) 安全に配慮した概形印象採得が実施できる。 10) 平行模型の目的を説明できる。 11) 平行模型を作製できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	5/19	13:30-16:10	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	器具の基本的操作および共同動作実習	バキューム、ライティング、3way シリンジの実践 フォーハンドシ ステムの実践	LIAO SHIN RU, 伊藤 奏	目標 1、2 実 習(基礎)
4-8	10/13	13:30-18:00	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	共同動作相互実習①	姿勢と位置の確認、ライティング、 バキューム、3way シリンジの操作	伊藤 奏, LIA O SHIN RU	目標 1-8 実習 (相互)
9-13	10/20	13:30-18:00	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習	共同動作相互実習②	フォーハンドテクニックの実際、器 具の受け渡し	LIAO SHIN RU, 伊藤 奏	目標 1-8 実習 (相互)

			室				
14-19	10/30	13:30-18:55	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	概形印象採得相互実習 ①(下顎)	アルジネート印象材と石膏の取り 扱い	伊藤 奏, LIA O SHIN RU	目標 1-7, 9 実習(相互)
20-25	11/6	13:30-18:55	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	概形印象採得相互実習 ②(上顎)	アルジネート印象材と石膏の取り 扱い	LIAO SHIN RU, 伊藤 奏	目標 1-7, 9 実習(相互)
26-30	1/18	09:45-15:10	補綴実習 室	平行模型作製実習	平行模型の作製	池田 正臣, 塩沢 真穂, 伊藤 奏, LIA O SHIN RU	目標 10, 11 実習(基礎) 持 ち物: 上下顎石膏 模型、フェイスシ ールド(ゴーグ ル)、マスク、筆記 用具 ☆臨床 基礎実習室集合

授業方法

【非同期授業】

指定された動画や講義資料、参考資料を閲覧し、指示にあるように課題を提出する。課題にはそれぞれ期限が設けられているため、必ず確認を行うこと。原則、授業設定時間までには資料を掲示するが、それ以外の場合には適宜指示を行う。

質問は原則メール(ito.ocsh@tmd.ac.jp)にて対応もしくは実習時などに直接受けつける。いずれにおいても、課題提出期限内に行うことが前提である。

【実習】

原則対面で行うため、常に感染対策を徹底して参加すること。マスク(可能であれば不織布)の常時着用に加え、適宜フェイスシールドの着用が必要である。フェイスシールドは実習科目を通じて使用するため、配布後には必ず自己管理を徹底し、紛失や忘れがないようにすること。万が一、紛失や忘れがあった場合には、必ず授業開始前に自己申告し、教員へ相談すること。

ユニフォームや白衣等への着替えは密を避けるため、ロッカーでは行わない。適宜更衣や昼食用に部屋が設けられているため、指示に従い、決められた部屋および座席にて行うこと。

実習中の座席も定められているため、それ以外のところへ着席は避け、使用した座席や物品等は必ず除菌して返却すること。

実習中にレポート課題を課すことがあるが、提出期限を遵守し、提出すること。実習のメモではなく、提出物であることを意識してレポートを作成すること。

授業内容

授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。

成績評価の方法

- ・筆記試験、実技試験及び提出課題により総合的評価する。
- ・出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。

成績評価の基準

- ・筆記試験(歯科診療補助論Ⅰ・Ⅱを含む)により 60 点を超すことで試験は合格とする。60 点以下の場合、再試験の対象となる。
- ・必要に応じて実技試験を課す。
- ・筆記試験、実技試験及び提出課題を適宜重み付けし、100 点満点として評価する。しかし、再試験受験者においては筆記試験の点数は 60 点が最高点となるため注意すること。
- ・最終的には、上述の評価に加え、平常点等を考慮して判断する。平常点については、授業に関わる学習意欲、参加状況、参加態度等を

評価対象とする。
準備学習等についての具体的な指示 ・e-learning に事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備 (isct LMS へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。 ・事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 ・欠席の場合、事前に欠席理由と配布資料希望の連絡がない限り資料は配布しない。
試験の受験資格 1)4 分の 3 以上の出席を満たしていることが条件である。 2)非同期授業の場合には、提示した課題を期限内に提出することで出席と認める。質問等ある場合には、必ず期限内に申し出ること。 3)実習は、実習にふさわしい身だしなみを整えた上で開始時間前に着席していた場合に出席とみなす。着席していても身だしなみが不十分だった場合には遅刻とみなすため注意すること。また、授業開始前には必ずカードリーダーへタッチし、出席の記録をすること。万が一忘れた場合には、必ず自ら授業担当教員に申し出ること。 5)授業出席については自身で管理を徹底し、万が一何か不安や疑問がある場合には、必ず事前に伊藤まで連絡すること。
教科書 歯科診療補助論／全国歯科衛生士教育協議会,合場千佳子 ほか 編:医歯薬出版, 2025.2
履修上の注意事項 ・教科書「歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第 2 版」を必携とする。 ・講義場所が実習室となっている場合は、必ず実習の身だしなみを整えた状態で、授業開始時間までに実習室に集合すること。授業開始時間までに身だしなみが整っていない場合は、遅刻扱いとする。 ・実習に欠席しても、原則的に補講は行わないため、必ず実習に出席すること。 ・実習態度いかんによって、実習中止とすることがある。 ・スキルスラボ等を積極的に活用し、技術習得のため自己学習に励むこと。
備考 前年度履修学生の科目評価にて、学生の人数によりデモが見えにくいという指摘があったため、配置の工夫等を行う予定である。
オフィスアワー 伊藤 奏随時(メールにて事前にアポイントメントをとること) 1 号館 8 階 817B 樺沢 勇司:平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。 1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022210						
科目名	臨床体験実習			科目ID	DH250700E		
担当教員	鈴木 瞳, 足達 淑子, 須永 昌代, 安達 奈穂子, LIAO SHIN RU, 吉田 直美, 駒津 匡二, 池川 麻衣, 日高 玲奈[SUZUKI Hitomi, ADACHI Toshiko, SUNAGA Masayo, ADACHI Naoko, LIAO SHIN RU, YOSHIDA Naomi, KOMATSU Keiji, IKEGAWA Mai, HIDAKA Rena]						
開講時期	2025 年度 1.5 通年 (秋)	対象年次	1～2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	対面		
主な講義場所 口腔保健学科 第1 講義室・学外施設、非同期授業等							
授業の目的、概要等 多様な場における歯科衛生士の活動の見学体験を通して、歯科衛生士の専門性と社会的役割、専門職としての倫理観、態度、ならびに対人援助の基本を学ぶ。							
授業の到達目標 1.見学・体験した歯科衛生士の活動の実際について説明する。 2.歯科衛生士の専門的業務と社会的役割について説明する。 3.歯科衛生士としての倫理観、態度および対人援助の基本を説明する。 4.歯科衛生士に必要な専門知識・専門技術の基本事項を概説する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/21	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期型)	オリエンテーション	臨床体験実習の目的、スケジュール	鈴木 瞳, 安達 奈穂子	目標 2-4 オンデマンド:授業日までに視聴すること
2-5	10/27	13:30-17:05	口腔保健学科第3講義室	地域における歯科衛生活動について	AL 地域における歯科衛生活動について(歯科診療所・病院歯科・行政機関における活動の実際)	安達 奈穂子	目標 2-4 AL
6	11/25	10:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	歯科関連企業における歯科衛生活動	AL ガイダンス、事前学習	鈴木 瞳, 安達 奈穂子	目標 1-4 オンデマンド:授業日までに視聴すること
7-10	12/2	13:30-17:05	その他	歯科関連企業における歯科衛生活動	GC インフォメーションセンター見学・実習	安達 奈穂子	目標 1-4 AL
11	1/14	13:30-14:15	遠隔授業 (非同期型)	本学病院における歯科衛生活動	ガイダンス、事前学習	鈴木 瞳, 安達 奈穂子	目標 2-4 オンデマンド:授業日までに視聴すること
12-15	1/20	08:50-12:25	口腔保健学科第3講義室 口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室	本学病院における歯科衛生活動	AL 東京科学大学病院における歯科衛生活動	LIAO SHIN RU, 須永 昌代, 安達 奈穂子, 足達 淑子	目標 1-4 TA 藤本さん・TA 佐藤さん
16-18	1/20	13:30-16:10	口腔保健	本学病院における歯科	AL 東京科学大学病院における	吉田 直美	目標 1-4 DH 肝

			学科第3 講義室	衛生活動	歯科衛生活動		付さん
19	6/8	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期 型)	高齢者施設における歯 科活動	ガイダンス、事前学習	駒津 匡二	目標1-4 提出課 題を設定してある ため、余裕を持っ て視聴してくださ い。
20-25	6/22	09:45-16:10	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者施設における歯 科活動	高齢者施設での生活支援の実際	駒津 匡二	目標1-4 中澤先 生からの講義
26-28	7/27	09:45-12:25	口腔保健 学科第4 講義室	研究、教育現場におけ る歯科衛生士の活動	研究、教育現場における歯科衛生 士の活動	駒津 匡二、 池川 麻衣	目標1-4 池川先 生からの講義
29-31	7/27	13:30-16:10	口腔保健 学科第4 講義室	研究、教育現場におけ る歯科衛生士の活動	研究、教育現場における歯科衛生 士の活動	駒津 匡二	目標1-4 林桜先 生からの講義 (ZOOM 同期予 定)
32-33	10/9	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期 型)	職域における歯科衛生 活動	ガイダンス、事前学習	駒津 匡二	目標1-4 提出課 題を設定してある ため、余裕を持っ て視聴してくださ い。
34-41	11/16	09:45-18:00	その他	職域における歯科衛生 活動	産業歯科保健の現場見学実習	駒津 匡二、U AO SHIN R U、池川 麻衣、 日高 玲奈、 伊藤 奏	目標1-4
42-45	12/14	13:30-17:05	遠隔授業 (同期型)	職域における歯科衛生 活動	振り返り、各グループによる発表 会	駒津 匡二	目標1-4

成績評価の方法

- ・出席(20 点)、事前・事後課題レポートの内容(40 点)、グループ発表資料の内容(20 点)、授業出席時の態度と実習への取り組み姿勢(20 点)にて総合的に評価する。
- ・発表資料、レポートなどの課題を提示された際は、期限までに提出すること。

準備学習等についての具体的な指示

- ・試験規則に規定された出席要件を満たさない場合、本科目の単位は認定しない。
- ・やむをえない事情で遅刻・欠席する場合は、担当教員にその旨連絡する。
- ・事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

- ・定期試験はないが、4 分の 3 以上の出席で単位認定の最低条件とする
- ・対面実習に出席し、レポートなどの課題を提示された期限までに提出すること。

履修上の注意事項

- ・医療・福祉の現場における実習となるため、身だしなみに注意すること。身だしなみ、実習態度が不適切な場合は、実習停止とすることがある。
- ・3/4 以上の出席が必要、出席要件を満たさない場合、本科目の単位は認定しない。
- ・やむをえない事情で遅刻・欠席する場合は、担当教員にその旨連絡する。
- ・事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

備考

前年度履修学生の科目評価で、特段の改善意見がなかったため、前年度と同様の授業編成とする

オフィスアワー

駒津 匡二:月曜日 PM.5:00-PM.6:30 1号館8階 814A

時間割番号	022248						
科目名	歯科衛生過程の基礎				科目 ID	DH252301L	
担当教員	吉田 直美, 内田 佳代[YOSHIDA Naomi, UCHIDA Kayo]						
開講時期	2026 年度後期	対象年次	2				
実務経験のある教員による授業	該当する				授業形態	対面	
科目名: 歯科衛生過程の基礎 時間数: 15 コマ 必要自習時間: 1 コマにつき 1～2 時間 授業形態: 講義 8 コマ 演習 7 コマ							
主な講義場所 1 号館 8 階第 4 講義室 遠隔授業							
授業の目的、概要等 人々の健康ニーズにあった支援を提供するために、論理的に思考し、問題を解決する知識・技術を理解する。							
授業の到達目標 1. 歯科衛生過程の概念を説明する。 2. 歯科衛生過程の構成要素を説明する。 3. 歯科衛生過程の必要性和重要性を説明する。 4. 対象者の情報を分類・整理する。 5. 対象者の歯科衛生分野における問題を明確化し、優先順位をつける。 6. 明確化した問題の関連因子を特定し、歯科衛生診断文を作成する。 7. 歯科衛生計画を立案する(目標・歯科衛生介入・期待される結果)。 8. 歯科衛生評価を説明する。 9・ 下級生とコミュニケーションを通じて関係構築を行う 10. 歯科衛生活動と研究との関連性を説明する							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	10/6	09:45-11:30	口腔保健 学科第4 講義室	講義 歯科衛生過程の 概念 歯科衛生アセスメント	歯科衛生過程とは、歯科衛生過程 の構成要素、情報収集、情報処理 (分類・整理・解釈・分析)	吉田 直美	目標 1～4 課題 を忘れずに提出 すること
3-4	10/20	09:45-11:30	口腔保健 学科第4 講義室	講義 歯科衛生アセスメントから診断まで	情報収集、情報処理(分類・整理・ 解釈・分析)、情報の統合 AL 課 題実施	吉田 直美	目標 1～4 課題 を忘れずに提出 すること
5-6	10/27	09:45-11:30	口腔保健 学科第4 講義室	講義 歯科衛生診断か ら計画まで	情報収集、情報処理(分類・整理・ 解釈・分析)、情報の統合 AL 課 題実施	吉田 直美	目標 1～4 課題 を忘れずに提出 すること
7-8	11/10	09:45-11:30	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生診断から計画 まで	情報の統合・歯科衛生診断文 計 画立案 業務記録 評価 課題の 説明 AL 課題実施	吉田 直美	目標 5～8 課題を 忘れずに提出す ること
9-10	11/17	09:45-11:30	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生診断から計画 まで	AL 課題実施	吉田 直美	目標 5～8 課題を 忘れずに提出す ること
11-12	12/11	10:45-12:25	口腔保健 学科第4 講義室	講義 介入から評価まで	経過記録、SOAP、歯科衛生評価	吉田 直美	目標 5～8 課題を 忘れずに提出す ること
13-15	12/15	09:45-12:25	口腔保健	演習 12 年生合同授業	AL 演習	吉田 直美	目標 9 課題を忘

			学科基礎 科学実習 室				れずに提出すること
成績評価の方法 課題レポート 80%、小テスト 20%で総合的評価を行う。受講態度・出席状況を総合的評価に加味する。							
準備学習等についての具体的な指示 事前配布資料や e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席 出席確認 ・対面の場合の出席管理は、教室のカードタッチによる記録で確認する。 ・遠隔授業の出席記録については、視聴・参加履歴、課題の提出をもって出席とする。							
教科書 歯科衛生過程 HAND BOOK：歯科衛生士教育サブテキスト：やさしく学べる・これならわかる／吉田直美、遠藤圭子、渡邊麻理、鈴木純子 著、吉田、直美、遠藤、圭子、渡邊、麻理：クインテッセンス出版、2015							
参考書 歯科衛生ケアプロセス／下野正基 監修、佐藤陽子、齋藤淳 編著、下野正基、保坂誠、Ginny Cathcart 著、：医歯薬出版、2007 よくわかる歯科衛生過程／全国歯科衛生士教育協議会 編：医歯薬出版、2015 歯科衛生ケアプロセス実践ガイド／佐藤陽子、齋藤淳：医歯薬出版株式会社、2015							
備考 教本をよく読んでから課題に取り組むこと 課題は提出締切を守ること 前年度履修学生の科目評価での指摘事項はなかったため、前年度と同様の編成とする。							
オフィスアワー 吉田 直美オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡してから訪問すること。							

時間割番号	022860						
科目名	卒業研究Ⅱ			科目ID			
担当教員	木野 志保, 池川 麻衣, 吉田 直美[KINO Shiho, IKEGAWA Mai, YOSHIDA Naomi]						
開講時期	2026 年度通年	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業				授業形態	メディア利用科目		
科目名:卒業研究Ⅱ 授業形式:動画視聴・実習・課題発表 45 分×46 コマ							
主な講義場所 非同期型および対面							
授業の目的、概要等 各学生の知的興味、将来の方向性に沿って研究テーマを選択し、計画・立案するために必要な基礎的能力を培う。実習・演習を通して、研究の意義・実際の活動についての理解と意欲を養う。							
授業の到達目標 1)文献検索の方法を習得する。 2)研究テーマに基づいた文献を適切に検索し収集できる。 2)収集した文献から情報を適切に抽出できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	5/28	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究Ⅱガイダンス	卒業研究Ⅱガイダンス	木野 志保 池川 麻衣	1)文献検索の方法を習得する。 2)研究テーマに基づいた文献を適切に検索し収集できる。 3)収集した文献から情報を適切に抽出できる。
3-4	6/15	13:30-15:10	情報検索 室 1	文献検索実習・文献管理 実習 (前期課題の説明)	文献検索知識 医中誌実習 RefWorks(登録と取り込み) (前期課題の説明)	木野 志保 池川 麻衣	1)文献検索の方法を習得する。 2)研究テーマに基づいた文献を適切に検索し収集できる。
5-6	6/26	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	文献検索実習・文献管理 実習	自己学習	木野 志保 池川 麻衣	1)文献検索の方法を習得する。 2)研究テーマに基づいた文献を適切に検索し収集できる。
7-8	6/26	10:45-12:25	情報検索 室 1	文献検索実習・文献管理 実習	文献入手方法 PubMed・Web of Science 実習 RefWorks(グループ分け)	木野 志保 池川 麻衣	1)文献検索の方法を習得する。 2)研究テーマに

							基づいた文献を適切に検索し収集できる。
9-10	6/30	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期型)	文献検索実習・文献管理 実習	自己学習	木野 志保 池川 麻衣	1)文献検索の方法を習得する。 2)研究テーマに基づいた文献を適切に検索し収集できる。
11-12	7/6	13:30-15:10	情報検索 室 1	グループ課題発表会	グループで論文内容紹介のプレゼンテーションを行い、その内容について討議し考察する。	木野 志保 池川 麻衣	1)文献検索の方法を習得する。 2)研究テーマに基づいた文献を適切に検索し収集できる。 3)収集した文献から情報を適切に抽出できる。
13-15	7/13	15:25-18:00	遠隔授業 (非同期型)	文献検索実習・文献管理 実習	自己学習	木野 志保 池川 麻衣	1)文献検索の方法を習得する。 2)研究テーマに基づいた文献を適切に検索し収集できる。 3)収集した文献から情報を適切に抽出できる。
16-17	7/17	13:30-15:10	口腔保健 学科第4 講義室	個人課題発表会	個人で論文内容紹介のプレゼンテーションを行い、その内容について討議し考察する。	木野 志保 池川 麻衣	1)文献検索の方法を習得する。 2)研究テーマに基づいた文献を適切に検索し収集できる。 3)収集した文献から情報を適切に抽出できる。
18-20	10/7	09:45-12:25	遠隔授業 (同期型)	先輩の卒業研究体験談 (前期課題の説明)	先輩の卒業研究体験談 (前期課題の説明)	木野 志保	1)文献検索の方法を習得する。 2)研究テーマに基づいた文献を適切に検索し収集できる。 3)収集した文献から情報を適切に抽出できる。
21-23	10/14	09:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	論文抄読 1-1	文献検索実習	木野 志保	1)文献検索の方法を習得する。 2)研究テーマに基づいた文献を適切に検索し収

							集できる。 3)収集した文献から情報を適切に抽出できる。
24-25	10/22	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期型)	論文抄読 1-2	論文抄読実習	木野 志保	1)文献検索の方法を習得する。 2)研究テーマに基づいた文献を適切に検索し収集できる。 3)収集した文献から情報を適切に抽出できる。
26-28	11/2	13:30-16:10	遠隔授業 (非同期型)	論文抄読 2-1	文献検索実習	木野 志保	1)文献検索の方法を習得する。 2)研究テーマに基づいた文献を適切に検索し収集できる。 3)収集した文献から情報を適切に抽出できる。
29-30	11/10	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	論文抄読 2-2	論文抄読実習	木野 志保	1)文献検索の方法を習得する。 2)研究テーマに基づいた文献を適切に検索し収集できる。 3)収集した文献から情報を適切に抽出できる。
31-32	11/24	09:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	論文抄読 3-1	文献検索実習	木野 志保	1)文献検索の方法を習得する。 2)研究テーマに基づいた文献を適切に検索し収集できる。 3)収集した文献から情報を適切に抽出できる。
33-34	11/27	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	論文抄読 3-2	論文抄読実習	木野 志保	1)文献検索の方法を習得する。 2)研究テーマに基づいた文献を適切に検索し収集できる。 3)収集した文献から情報を適切に抽出できる。
35-37	12/2	09:45-12:25	遠隔授業	課題発表会の準備	自己学習	木野 志保	1)文献検索の方

[illegible]

・授業の 3/4 以上の出席を必要とする。 ・出席状況の判定について、非同期で行われるものについては、動画の視聴記録および提出物で確認する。 ・特別に勘案すべき事情がある場合には、その事情とともに、科目責任者に、メール等の日時の記録が残る形で連絡すること。
教科書 歯科衛生研究の進め方論文の書き方／日本歯科衛生学会 監修、石井拓男、鳥山佳則、武井典子、吉田直美:医歯薬出版、2021 :共立出版 :共立出版
参考書 卒業研究 HAND BOOK／眞木吉信 監著・著、薄井由枝、品田佳世子、白鳥たかみ、杉原直樹、田村清美、松田裕子:クインテッセンス出版、2011 歯科衛生士のためのペリオ・インプラント重要 12 キーワードベスト 240 論文：世界のインパクトファクターを決めるトムソン・ロイター社が選出：Q&A で深める歯科衛生士臨床／和泉雄一、佐藤秀一、岩野義弘、高山忠裕、武田朋子、松浦孝典、水谷幸嗣、村上恵子:クインテッセンス出版、2017 日常臨床に活かすエビデンスの調べかた・読み解きかた入門／丸尾勝一郎、蓮池 聡、上野大輔、豊嶋健史:クインテッセンス出版、2022 ゼロからわかる歯科臨床論文を読み解く方法：Evidence-based dentistry の実践のために／石丸美穂、大野幸子、康永秀生:新興医学出版社、2022 これからレポート・卒論を書く若者のために／酒井聡樹:共立出版、2017 これから論文を書く若者のために／酒井聡樹:共立出版、2015
オフィスアワー 木野 志保毎週火曜日 10:00～17:00 1 号館西 8 階 口腔疾患予防学分野・教授室

時間割番号	022650						
科目名	児童・家庭福祉			科目ID			
担当教員	樺沢 勇司, 雨宮 由紀枝[KABASAWA Yuji, AMEMIYA Yukie]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	対面		
科目名:児童・家庭福祉 I 時間数:15 時間 授業形態:遠隔講義 (Zoom による同期型遠隔講義)							
主な講義場所 自宅							
授業の目的、概要等 ・現代社会における児童の成長・発達と生活実態について理解するとともに、現代社会における児童福祉の社会的背景、理念と意義について理解する。 ・社会福祉士に必要な児童福祉の特質への理解を深める。							
授業の到達目標 SBOs 1. 現代社会における児童の成長・発達と生活実態について説明できる。 2. ライフサイクルにおける児童期の位置づけ・とらえ方を説明できる。 3. 近代・現代社会における子どもの権利および子どもを巡る問題について説明できる。 4. 現代社会における児童福祉の理念と意義について説明できる。 5. 児童福祉に関する法とサービス体系について説明できる。 6. 児童のための地域・住環境整備と相談援助活動について説明できる。 7. 近代・現代社会における国家・家族・児童の関連について説明できる。 8. 児童福祉の歴史、児童福祉の仕組み、問題発生の機序について説明できる。 9. 児童福祉サービスの種類やあり方について説明できる。 10. 少年非行や社会的養護について説明できる。 11. 母子保健、保育政策など発達期の児童福祉について説明できる。 12. 子ども虐待の問題とその防止の取り組みについて概説できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	6/17	08:50-11:30	口腔保健 学科第4 講義室	現代社会と子ども、家庭	現代社会における児童の成長・発達と生活実態について説明できる。 ライフサイクルにおける児童期の位置づけ・とらえ方を説明できる。到達目標:1,2	雨宮 由紀枝 樺沢 勇司	講義中に討論・演習を実施する。
4-6	6/24	08:50-11:30	口腔保健 学科第4 講義室	児童・家庭福祉とは何か、子どもと家庭の権利保障	現代社会における児童福祉の理念と意義について説明できる。 近代・現代社会における子どもの権利および子どもを巡る問題について説明できる。到達目標:3,4	雨宮 由紀枝 樺沢 勇司	講義中に討論・演習を実施する。
7-9	7/10	08:50-11:30	口腔保健 学科第4 講義室	児童福祉の発展 児童福祉と法	児童福祉の歴史、児童福祉の仕組み、問題発生の機序について説明できる。 近代・現代社会における国家・家族・児童の関連について説明できる。 児童福祉に	雨宮 由紀枝 樺沢 勇司	講義中に討論・演習を実施する。

					関する法とサービス体系について説明できる。到達目標:5,6,7,8		
10-12	7/13	08:50-11:30	口腔保健 学科第1 講義室	母子保健 障害・難病のある子どもと家庭への支援 地域における子育てと青少年育成保育	母子保健、保育政策など発達期の児童福祉について説明できる。障害・難病のある子どもと家庭への福祉サービスの種類やあり方について説明できる。到達目標: 9,10,11,12	雨宮 由紀枝 樺沢 勇司	講義中に討論・演習を実施する。
13-15	7/15	08:50-11:30	口腔保健 学科第4 講義室	子育て支援 ひとり親家庭の福祉	子育て支援に関する福祉サービスの種類やあり方について説明できる。ひとり親家庭への福祉サービスの種類やあり方について説明できる。到達目標: 5,6,9,11	雨宮 由紀枝 樺沢 勇司	講義中に討論・演習を実施する。

授業方法

遠隔授業(Zoomによる同期型遠隔講義)を原則とする。講義前に配布資料をWebClass上に用意するので、講義の際に用意しておくこと。
講義中は毎回、演習あるいは講師との討論の時間を設ける。
講義中の質問は原則として、講義時間内に担当教員に対して行う事。
講義後の課題は原則WebClass上で提出を行う。
講義の動画は原則として公開しないが、課題提出等のため必要な場合には、講義についての質問も含めて担当教員(樺沢)までメールにて連絡すること。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

講義内のディスカッション、授業への参加状況、課題レポート等により総合的に評価する。

成績評価の基準

・「到達目標」に明示している事項について、講義内容より概ね達成できている場合はB、発展的に学習して社会的課題に対する解決策などを具体的に論述できる場合はBより上とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に指示した教材、アップロードされた資料に目を通して講義に臨むこと。
講義に関する質問については、科目責任者(樺沢)までメールにて適時行うこと。

試験の受験資格

本科科目は定期試験は実施せず、講義中の演習等への取り組み、講義後に実施されるレポートや課題において総合的に評価を行う。成績評価のため全講義15時間の2/3以上出席することを原則とする。
遠隔講義のため、接続に関して問題が生じた場合には、科目責任者(樺沢)までメールで必ず連絡をすること。

教科書

児童・家庭福祉／社会福祉士養成講座編集委員会編 社会福祉士養成講座編集委員会:中央法規出版, 2019

履修上の注意事項

事前に指示した教材、事前にWebClassにアップロードされた資料に目を通して講義に臨むこと。講義に関する質問については、科目責任者(樺沢)までメールにて適時行うこと。

備考

担当教員(非常勤)
雨宮由紀枝 日本女子体育大学
担当教員のOffice hour
樺沢勇司 健康支援口腔保健衛生学分野 随時 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

樺沢 勇司:平日PM5時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。
1号館8階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022660						
科目名	障害児・者福祉			科目ID			
担当教員	日高 玲奈, 山田 美代子, 松尾 浩一郎, 宮島 沙紀[HIDAKA Rena, YAMADA Miyoko, MATSUO Koichiro, MIYAJIMA Saki]						
開講時期	2026 年度後期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
主な講義場所							
1 号館西 第 3 講義室・第 4 講義室							
授業の目的、概要等							
・障害福祉制度の変遷について学び、保健・医療・福祉・教育・労働の連携について理解する。							
・障害者福祉の理念の変化を概観し、障害者自身の活躍に注目する中で「共に歩む」を考える。							
授業の到達目標							
・医療従事者に必要な障害児・者福祉について理解できる。							
・国際的な障害の概念と障害者福祉制度の変遷と現代社会における障害者の福祉課題を理解できる。							
・障害者と家族の生き方や社会的役割、保健・医療・福祉などの専門職に共通する価値・倫理との関連を説明できる。							
・ノーマライゼーション、リハビリテーション、インクルージョンなどの障害者福祉の理念を説明できる。							
・障害児教育の変遷について学び、「共に学ぶ」「共に生きる」の意義を理解し、福祉教育や心のバリアフリーと社会のあり方を理解できる。							
・現代の障害者福祉の法体系について学び、「障害者が地域で生きる」ことの意義、ユニバーサル社会の本質について(フィールドワークを通じて理解し)説明できる。							
・国連・障害者権利条約の特徴と意義について理解し、障害者差別とは何かを考え、「共生社会」を築くためのわが国の課題について理解できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	4/7	13:30-16:10	遠隔授業 (同期型)	障害者福祉の現状	わが国の障害者の生活実態、現代社会における障害児・者福祉の課題	日高 玲奈 山田 美代子	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3
4-6	4/14	13:30-16:10	遠隔授業 (同期型)	障害者福祉制度の変遷 「障害」概念の変遷	「障害」概念とわが国の障害者観の変遷	日高 玲奈 山田 美代子	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3,4
7-9	4/28	13:30-16:10	遠隔授業 (同期型)	障害者福祉の理念 1 障害者福祉の理念 2	リハビリテーション理念の進展 国際的な ICIDH/ICF モデル 自立生活運動と当事者活動 優生保護法と障害者観	日高 玲奈 山田 美代子	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3,5,7
10-12	6/23	13:30-16:10	遠隔授業 (同期型)	障害者福祉の理念 3 障害者福祉の理念 4	ノーマライゼーション理念の進展 特殊教育、特別支援教育 インクルージョン理念と多様性の尊重	日高 玲奈 山田 美代子	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,4,5,6
13-15	7/28	13:30-16:10	遠隔授業 (同期型)	障害者と「生命の尊厳」 障害者福祉のまとめ	障害者福祉制度の現状、改革 グループディスカッション	日高 玲奈 山田 美代子	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2,3,4,5,6,7
授業方法							
全て対面型授業にて実施される。各講義内で課題についてディスカッションを実施し、講義終了後に振り返りシートを作成し提出してもら							

う。講義資料や参考資料などは Webclass 上に講義前日までに掲載し、一定期間閲覧可能な状態に置いておくので、活用してほしい。 質問等については講義中、振り返りシート、メールにて随時対応する。
授業内容 授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。
成績評価の方法 ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時的小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。
成績評価の基準 1) 出欠状況を基準点とする(例:100%の出席率で 100 点、80%の出席率で 80 点満点) 2) 各回授業終了後の振り返りシートや小テスト、授業態度等 40 点 3) 講義終了後の最終レポート課題 60 点 振り返りシートや最終レポート課題の中で、課題やテーマに対して複数の意見や独自の考察がなされている場合などに加点対象とする。
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席
教科書 最新社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座／日本ソーシャルワーク教育学校連盟,日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集:中央法規出版, 2025.1
備考 課題発表、グループワークを含む
オフィスアワー 松尾 浩一郎:毎週月曜日 16:00-18:00 1 号館 8 階 818B 室 * 要事前連絡

時間割番号	022670						
科目名	地域福祉			科目ID			
担当教員	日高 玲奈, 小山 幸, 松尾 浩一郎[HIDAKA Rena, Tsukasa Oyama, MATSUO Koichiro]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
時間数:15 時間 1 単位							
授業形態:講義(課題発表、グループワーク含む)							
担当教員:小山幸、日高玲奈、ほか							
主な講義場所							
同期型							
授業の目的、概要等							
・地域福祉の歴史や基本的考え方を理解する。							
・地域福祉に係る組織や専門職の役割について理解する。							
授業の到達目標							
・地域福祉に関わる基本的な用語を理解し、説明できる。							
・地域福祉の関わる法制度を理解し説明できる。							
・地域福祉の歴史と発展に寄与した人物について説明できる。							
・地域福祉に係る組織、団体及び専門職の役割と実際について説明できる。							
・地域福祉の推進方法(ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発、福祉ニーズの把握方法、地域トータルケアシステムの構築方法、サービスの評価方法を含む)について説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	4/14	08:50-11:30	遠隔授業 (同期型)	地域福祉の基本概念	地域コミュニティと住民、社会福祉法、人権尊重、権利擁護、社会的包摂	小山 幸	ミーティング ID: 913 6427 7388 パスコード: 408155st グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1,2
4-6	5/8	08:50-11:30	遠隔授業 (同期型)	地域福祉の歴史的展開とコミュニティケアの展開	地域福祉の源流、COS 活動とセツルメント運動、戦後日本の地域福祉、地域コミュニティ視点の登場	小山 幸	ミーティング ID: 913 6427 7388 パスコード: 408155st 課題の提出 SBOs3,4
7-9	6/2	15:25-18:00	遠隔授業 (同期型)	地域福祉を支える組織	行政組織、地方自治体、民間組織、社会福祉協議会、地域住民、民生委員、児童委員の役割と実際	小山 幸	ミーティング ID: 913 6427 7388 パスコード: 408155st 課題の提出 SBOs4
10-12	6/9	15:25-18:00	遠隔授業 (同期型)	地域連携	地域包括システム、地域住民を支える地域ネットワーク、地域福祉計画	小山 幸	ミーティング ID: 913 6427 7388 パスコード: 408155st グ

							ループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs5
13-15	6/16	15:25-18:00	遠隔授業 (同期型)	地域福祉の現状と課題、まとめ	地域福祉に関する基本的用語、今日の地域福祉における課題	小山 宰	ミーティング ID: 913 6427 7388 パスコード: 408155st グ ループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs5

授業方法

各講義内で小テストやワークシートを用いた演習を実施する。
質問等は講義内、振り返りシート、メールにて随時対応します。

授業内容

授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。

成績評価の方法

- ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
- ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。
- ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。

成績評価の基準

1) 出欠状況を基準点とする(例:100%の出席率で 100 点、80%の出席率で 80 点満点)
2) 各回授業終了後の振り返りシートや小テスト、授業態度等 40 点
3) 講義終了後の最終レポート課題 60 点
振り返りシートや最終レポート課題の中で、課題やテーマに対して複数の意見や独自の考察がなされている場合などに加点対象とする。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。
- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席

教科書

最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座6 地域福祉と包括的支援体制／日本ソーシャルワーク教育学校連盟:中央法規出版, 2021

備考

課題発表、グループワークを含む

オフィスアワー

松尾 浩一郎毎週月曜日 16:00-18:00 1 号館 8 階 818B 室
* 要事前連絡

時間割番号	022680						
科目名	コミュニケーション論				科目ID		
担当教員	吉田 直美, 木野 志保, 池川 麻衣, 高橋 礼奈[YOSHIDA Naomi, KINO Shiho, IKEGAWA Mai, TAKAHASHI Rena]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	2		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する				授業形態	対面	
演習 15 時間 必要自習時間 1 コマにつき 1 時間程度							
主な講義場所 口腔保健学科基礎科学実験室							
授業の目的、概要等 保健・医療・福祉に携わる専門職として、対象との信頼関係を構築するためにコミュニケーションスキルの基本知識、基本技術、基本的態度を修得する							
授業の到達目標 1 保健・医療・福祉サービスの専門職としての基本的態度・基本姿勢を説明する 2 保健・医療・福祉サービスの専門職としてのコミュニケーションにおける基本スキルを説明する 3 保健・医療・福祉サービスの専門職として有効なコミュニケーション方法を概説する 4 保健・医療・福祉サービスの専門職として有効なコミュニケーションをとる							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	5/19	13:30-15:10	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	演習 医療コミュニケーション、 カウンセリング 概説	AL 医療コミュニケーションに関する 基本知識と基本スキル	吉田 直美	目標1～4
3-4	6/3	09:45-11:30	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	演習 カウンセリング基本 スキル 1	AL 医療コミュニケーションのた めのカウンセリング基本スキル演 習	吉田 直美	目標1～4
5-6	6/10	09:45-11:30	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	演習 カウンセリング基本 スキル 2	AL 医療コミュニケーションのた めのカウンセリング基本スキル演 習	吉田 直美	目標1～4
7-8	6/16	13:30-15:10	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	演習 カウンセリング基本 スキル 3	AL 医療コミュニケーションのた めのカウンセリング基本スキル演 習	吉田 直美	目標1～4
9-10	6/25	13:30-15:10	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	演習 カウンセリング基本 スキル 4	AL 医療コミュニケーションのた めのカウンセリング基本スキル演 習	吉田 直美	目標1～4
11-12	7/2	13:30-15:10	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	演習 カウンセリング基本 スキル 5	AL 医療コミュニケーションのた めのカウンセリング基本スキル演 習	吉田 直美	目標1～4
13-15	7/7	13:30-16:10	口腔保健	演習 カウンセリング基	AL 医療コミュニケーションのた	吉田 直美	目標1～4

			学科基礎 科学実習 室	本スキル 6	めのカウンセリング基本スキル演 習		
準備学習等についての具体的な指示							
試験の受験資格 4 分の 3 以上の出席 ・対面の場合の出席管理は、教室のカードタッチによる記録で確認する							
教科書 みるみる身につく歯科衛生士のコミュニケーション力／中村千賀子, 吉田直美 著, 中村, 千賀子, 1945-, 吉田, 直美.: 口腔保健協会, 2014 マンガでわかる! 歯科臨床での動機づけ面接超入門 : 患者さんがみるみる変わる、スタッフも楽になる／吉田, 直美, 新田, 浩, 磯村, 毅, うさっぱ, 吉田直美, 新田浩, 磯村毅 著, うさっぱ 著・マンガ: クインテッセンス出版, 2024.5							
参照ホームページ 授業アンケート結果を反映し、 ・演習を中心にを行い、その場でのフィードバックが十分に行えるよう時間配分する。 ・スライドがわかりやすいとの評価があったため、引き続きわかりやすい教材を提供する。 ・授業後のフィードバックシートの課題が、復習効果を高めたとの感想があり、引き続き実施する。 ・対面で演習中心であることに高評価を得たため、引き続き実施する。							
オフィスアワー 吉田 直美オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。							

時間割番号	022900				
科目名	口腔保健衛生エクスターンシップ B			科目 ID	
担当教員	榊沢 勇司[KABASAWA Yūji]				
開講時期	2026 年度通年	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	対面
主な講義場所 未定					
授業の目的、概要等 本科目のための講義は特に行われない。 学生海外研修報告会については、開催日、開催方法ともに、現在のところ未定である。 報告会に該当する研修が行われた場合に適時連絡する。					
授業の到達目標 学生海外研修を奨励し、国際的な視野を持った歯科衛生士の育成を目指す。					
授業方法 本科目のための講義は特に行われない。 学生海外研修報告会については、開催日、開催方法ともに、現在のところ未定である。 報告会に該当する研修が行われた場合に適時連絡する。					
授業内容 本科目のための講義は特に行われない。 学生海外研修報告会については、開催日、開催方法ともに、現在のところ未定である。 報告会に該当する研修が行われた場合に適時連絡する。					
成績評価の方法 それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して合否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。					
成績評価の基準 それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して合否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。 評価としては、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等について具体的に論述できる場合は 80 点より上とする。					
準備学習等についての具体的な指示 外国での生活に支障をきたさないように語学の事前準備を行うこと。 別に記載している、履修上の注意事項に従うこと。					
試験の受験資格 ○単位認定条件 1)海外研修奨励賞による研修プログラムへの参加 (1) 語学能力(英語) 選考時面接にて英語能力を評価。Common European Framework of Reference for Languages (CEFR) B2 以上を積極的に評価する。(2) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修 (3) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (4) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。(5) 本学または海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上) 2)その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) (1) 語学能力(英語) 選考時面接にて英語能力を評価。Common European Framework of Reference for Languages (CEFR) B2 以上を積極的に評価する。もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。(2) 研修特別コースの履修 研修内容によって、特別に提供されるコースの履修(詳細は別に定める) (3) 海外における生活上の注意、危機管理に関する研修(講義)の履修 (4) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (5) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。(6) 本学または海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上) (*)なお、COVID-19 等の特殊な事情により、実際の海外派遣プログラムが実施できない場合に限り、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加をもって、単位申請することができる。					
・国際活動ポイント Point System for International Exchange(P-Sie)の総計が 15 以上あること。					

(各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。)
・大学が開催する P-Sie 対象のオンラインまたは対面のプログラムの単位認定条件は2)(2)以外のすべての条件を満たすこと。

履修上の注意事項

1. 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。 2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラムにおける単位認定条件は別に定める。 1) 大学海外研修奨励賞による研修プログラム(事前研修を含む) 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) 3. 所定のプログラムを終了した学生に対し、口腔保健学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は1単位を上限とする。また、「その他の海外研修プログラム」に該当するプログラムで認定できる単位は、プログラムの内容・年次・年度・回数に限らず、在学期間を通じて1単位とする。 (*)なお、COVID-19 等の特殊な事情により、実際の海外派遣プログラムが実施できない場合に限り、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加をもって、単位申請することができる。 ・国際活動ポイント Point System for International Exchange (P-Sie)の総計が15 以上あること。(各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。) ・大学が開催する P-Sie 対象のオンラインまたは対面のプログラムの単位認定条件は2)(2)以外のすべての条件を満たすこと。 履修についての質問は、科目責任者(樺沢)までメールで随時行うこと。

備考

担当教員の Office hour

樺沢勇司 健康支援口腔保健衛生学分野 随時 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。

1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

第 3 学年
履修科目

時間割番号	022930		
科目名	英語Ⅱ (A) Topical Discussion	科目 ID	
担当教員	WHITAKER SIMON[WHITAKER SIMON]		
開講時期	2026 年度通年	対象年次	3
実務経験のある教員による授業		授業形態	メディア利用科目
・曜日・時間:火曜 3 講 ・対象:全学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3ー4) 別表4ー5)			
授業の目的、概要等 A course focused on in-depth discussion of contemporary social topics which affect everyone, from AI and social media to new or growing health and environmental challenges. We will consider a small set of such topics from different angles. You will continuously work on and develop important skills like those of open and impromptu discussion. You will also be building up and consolidating vocabulary, and even your own ideas, as we explore points of connection between these topical debates and the often-overlapping ways they can be approached.			
授業の到達目標 To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics 多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる To be able to comprehend and use new vocabulary 新しい語彙を理解して使用することができる To be able to speak in front of others more effectively 他の人の前でより効果的に話すことができる To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English 完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる To be able to productively engage in activities in a cross-cultural environment by collaborating with people from different cultural backgrounds in English 様々な文化的背景を持つ仲間と協働し、生産的に業務に貢献・遂行できる To be able to utilize critical thinking skills (including productively making and responding to counterarguments) and lateral thinking skills in English 英語でクリティカルシンキングやラテラルシンキングスキルを活用できる(健全で建設的な反論およびそれへの対応を含む) To be able to productively engage in academic and professional activities using English in an international setting 国際的な場面で、英語を使い、学問的および専門的な活動に生産的に貢献することができる 以下の 3 点を満たすことが、この授業の到達目標を概ね達成したレベル(70 点以上)の必要条件として要求される。 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。			

授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	9/15	13:30-14:15	遠隔授業 (同期型)	Class 1	Half-length session. Introduction to course and introducing each other.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar
2-3	9/29	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 2, Class 3	Topic 1. First tutor-led discussion.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar
4-5	10/6	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 4, Class 5	Further group discussion around topic 1.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar
6-7	10/13	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 6, Class 7	Topic 2. Second tutor-led discussion.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar
8-9	10/20	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 8, Class 9	Further group discussion around topic 2.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar
10-11	10/27	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 10, Class 11	Topic 3. Third tutor-led discussion.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar
12-13	11/10	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 12, Class 13	Further group discussion around topic 3.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar
14-15	11/17	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 14, Class 15	Discussion of topics covered + further areas of study/consideration.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar
授業方法 Skills Instruction and Practice							
授業内容 Class 1: Orientation Classes 2-15: Skills Instruction and Continuous Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法 Participation: 50%, Presentations: 30%, Discussion contributions: 20% 再評価: 再評価はありません。							
成績評価の基準 「東京科学大学学修規程第6条」による							
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格 「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45 分×15 コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。							

履修上の注意事項

教員がとる出欠を優先します。既に履修済の英語Ⅱ科目と同一名の科目は原則として履修できません。

オフィスアワー

WHITAKER SIMON:水・木曜日 12時30分～13時 管理研究棟 3階 ウィタカー研究室

時間割番号	022940						
科目名	英語Ⅱ(C)ConversationⅠ(前期)			科目ID			
担当教員	野口 大斗[NOGUCHI Hiroto]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業				授業形態	メディア利用科目		
・曜日・時間:火曜 3 講 ・対象:全学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3ー4) 別表4ー5)							
授業の目的、概要等							
EnglishⅡ, "ConversationⅠ" is a course for students who want to improve their spoken English skills. The course focuses on practical conversational abilities, and students will engage in interviews, role-playing, and group discussions on a variety of topics. The course prioritizes vocabulary development, effective public speaking, and the development of confidence in expressing opinions, even in imperfect English. The course aims to create an active and supportive learning environment, emphasizing not only the improvement of English skills but also the use of those skills in real-world situations.							
授業の到達目標							
To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics 多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる							
To be able to comprehend and use new vocabulary 新しい語彙を理解して使用することができる							
To be able to speak in front of others more effectively 他の人の前でより効果的に話すことができる							
To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English 完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる							
以下の3点を満たすことが、この授業の到達目標を概ね達成したレベル(70点以上)の必要条件として要求される。							
1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。							
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。							
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/7	13:30-14:15	遠隔授業 (同期型)	Class 1	Intro to ConversationⅠ	野口 大斗	Active Learning, Seminar, Zoom
2-3	4/14	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 2, Class 3	Discussion/Presentation Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar, Zoom

4-5	4/21	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 4, Class 5	Discussion/Presentation Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar, Zoom
6-7	4/28	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 6, Class 7	Discussion/Presentation Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar, Zoom
8-9	5/12	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 8, Class 9	Discussion/Presentation Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar, Zoom
10-11	5/19	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 10, Class 11	Discussion/Presentation Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar, Zoom
12-13	5/26	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 12, Class 13	Discussion/Presentation Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar Zoom
14-15	6/2	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 14, Class 15	Discussion Test	野口 大斗	Active Learning, Seminar Zoom

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Class 1: Orientation

Classes 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Classes 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

Conversation I 評価: Attendance & Participation: 40% Assignments: 20% Speaking Test I: 20% Speaking Test II: 20%

再評価: 再評価はありません。

成績評価の基準

「東京科学大学学修規程第 6 条」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45 分×15 コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。

履修上の注意事項

教員がとる出欠を優先します。既に履修済の英語Ⅱ科目と同一名の科目は原則として履修できません。

オフィスアワー

猪熊 恵子・水・木曜日 12時30分～13時 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	022941																																					
科目名	英語Ⅱ(C)ConversationⅠ(後期)				科目ID																																	
担当教員	野口 大斗[NOGUCHI Hiroto]																																					
開講時期	2026 年度後期	対象年次	3																																			
実務経験のある教員による授業					授業形態	メディア利用科目																																
・曜日・時間:火曜 3 講 ・対象:全学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3ー4) 別表4ー5)																																						
授業の目的、概要等 EnglishⅡ, "ConversationⅠ" is a course for students who want to improve their spoken English skills. The course focuses on practical conversational abilities, and students will engage in interviews, role-playing, and group discussions on a variety of topics. The course prioritizes vocabulary development, effective public speaking, and the development of confidence in expressing opinions, even in imperfect English. The course aims to create an active and supportive learning environment, emphasizing not only the improvement of English skills but also the use of those skills in real-world situations.																																						
授業の到達目標 To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics 多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる To be able to comprehend and use new vocabulary 新しい語彙を理解して使用することができる To be able to speak in front of others more effectively 他の人の前でより効果的に話すことができる To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English 完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる 以下の3点を満たすことが、この授業の到達目標を概ね達成したレベル(70点以上)の必要条件として要求される。 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。																																						
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>授業題目</td><td>授業内容</td><td>担当教員</td><td>到達目標・学習方法・その他</td></tr><tr><td>1</td><td>9/15</td><td>13:30-14:15</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>Class 1</td><td>Intro to ConversationⅠ</td><td>野口 大斗</td><td>Active Learning, Seminar, Zoom</td></tr><tr><td>2-3</td><td>9/29</td><td>13:30-15:10</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>Class 2, Class 3</td><td>Discussion/Presentation Practice</td><td>野口 大斗</td><td>Active Learning, Seminar, Zoom</td></tr><tr><td>4-5</td><td>10/6</td><td>13:30-15:10</td><td>遠隔授業</td><td>Class 4, Class 5</td><td>Discussion/Presentation Practice</td><td>野口 大斗</td><td>Active Learning,</td></tr></table>							回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他	1	9/15	13:30-14:15	遠隔授業(同期型)	Class 1	Intro to ConversationⅠ	野口 大斗	Active Learning, Seminar, Zoom	2-3	9/29	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 2, Class 3	Discussion/Presentation Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar, Zoom	4-5	10/6	13:30-15:10	遠隔授業	Class 4, Class 5	Discussion/Presentation Practice	野口 大斗	Active Learning,
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他																															
1	9/15	13:30-14:15	遠隔授業(同期型)	Class 1	Intro to ConversationⅠ	野口 大斗	Active Learning, Seminar, Zoom																															
2-3	9/29	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 2, Class 3	Discussion/Presentation Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar, Zoom																															
4-5	10/6	13:30-15:10	遠隔授業	Class 4, Class 5	Discussion/Presentation Practice	野口 大斗	Active Learning,																															

			(同期型)				Seminar, Zoom
6-7	10/13	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 6, Class 7	Discussion/Presentation Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar, Zoom
8-9	10/20	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 8, Class 9	Discussion/Presentation Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar, Zoom
10-11	10/27	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 10, Class 11	Discussion/Presentation Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar, Zoom
12-13	11/10	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 12, Class 13	Discussion/Presentation Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar, Zoom
14-15	11/17	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 14, Class 15	Discussion Test	野口 大斗	Active Learning, Seminar, Zoom

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Class 1: Orientation

Classes 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Classes 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

Conversation I 評価: Attendance & Participation: 40% Assignments: 20% Speaking Test I: 20% Speaking Test II: 20%

再評価: 再評価はありません。

成績評価の基準

「東京科学大学学修規程第6条」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45 分×15 コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。

履修上の注意事項

教員がとる出欠を優先します。既に履修済の英語Ⅱ科目と同一名の科目は原則として履修できません。

オフィスアワー

猪熊 恵子・水・木曜日 12時30分～13時 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	022950						
科目名	英語Ⅱ (D)ConversationⅡ (前期)			科目ID			
担当教員	野口 大斗[NOGUCHI Hiroto]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業				授業形態	メディア利用科目		
・曜日・時間:火曜 3 講 ・対象:全学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3ー4) 別表4ー5)							
授業の目的、概要等							
EnglishⅡ “ConversationⅡ” (Improving Conversational Proficiency) is an advanced course designed for students aiming to refine their spoken English skills. Students will actively engage in extensive discussions, interviews, and group discussion tasks, fostering a higher level of language proficiency, cultural adaptability, and effective communication. The course places a strong emphasis on vocabulary expansion, advanced public speaking techniques, and the continued cultivation of confidence in expressing opinions, even within the complexities of the English language. Evaluation methods include individual interviews, group discussions, and reflective homework assignments. The objective is to create a stimulating and encouraging learning environment, helping students to not only excel in language proficiency but also to develop the application of advanced English skills in diverse real-world contexts.							
授業の到達目標							
To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics 多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる							
To be able to comprehend and use new vocabulary 新しい語彙を理解して使用することができる							
To be able to speak in front of others more effectively 他の人の前でより効果的に話すことができる							
To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English 完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる							
以下の3点を満たすことが、この授業の到達目標を概ね達成したレベル(70点以上)の必要条件として要求される。							
1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	6/9	13:30-14:15	遠隔授業 (同期型)	Class 1	Intro to ConversationⅡ	野口 大斗	Active Learning, Seminar, Zoom
2-3	6/16	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 2, Class 3	Discussion/Presentation Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar,

							Zoom
4-5	6/23	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 4, Class 5	Discussion/Presentation Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar, Zoom
6-7	6/30	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 6, Class 7	Discussion/Presentation Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar, Zoom
8-9	7/7	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 8, Class 9	Discussion/Presentation Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar, Zoom
10-11	7/14	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 10, Class 11	Discussion/Presentation Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar, Zoom
12-13	7/21	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 12, Class 13	Discussion/Presentation Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar, Zoom
14-15	7/28	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 14, Class 15	Discussion Test	野口 大斗	Active Learning, Seminar, Zoom

授業方法
Skills Instruction and Practice

授業内容
Class 1: Orientation
Classes 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment
Classes 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法
Conversation II 評価: Attendance & Participation: 40% Assignments: 20% Speaking Test I: 20% Speaking Test II: 20%

再評価: 再評価はありません。

成績評価の基準
「東京科学大学学修規程第6条」による

準備学習等についての具体的な指示
Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格
「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45分×15コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。

履修上の注意事項
教員がとる出欠を優先します。既に履修済みの英語Ⅱ科目と同一名の科目は原則として履修できません。

オフィスアワー
猪熊 恵子・水・木曜日 12時30分～13時 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	022951						
科目名	英語Ⅱ (D)ConversationⅡ (後期)			科目ID			
担当教員	野口 大斗[NOGUCHI Hiroto]						
開講時期	2026 年度後期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業				授業形態	メディア利用科目		
・曜日・時間:火曜 3 講 ・対象:全学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3ー4) 別表4ー5)							
授業の目的、概要等							
EnglishⅡ "ConversationⅡ" (Improving Conversational Proficiency) is an advanced course designed for students aiming to refine their spoken English skills. Students will actively engage in extensive discussions, interviews, and group discussion tasks, fostering a higher level of language proficiency, cultural adaptability, and effective communication. The course places a strong emphasis on vocabulary expansion, advanced public speaking techniques, and the continued cultivation of confidence in expressing opinions, even within the complexities of the English language. Evaluation methods include individual interviews, group discussions, and reflective homework assignments. The objective is to create a stimulating and encouraging learning environment, helping students to not only excel in language proficiency but also to develop the application of advanced English skills in diverse real-world contexts.							
授業の到達目標							
To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics 多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる To be able to comprehend and use new vocabulary 新しい語彙を理解して使用することができる To be able to speak in front of others more effectively 他の人の前でより効果的に話すことができる To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English 完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる 以下の3点を満たすことが、この授業の到達目標を概ね達成したレベル(70点以上)の必要条件として要求される。 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	11/24	13:30-14:15	遠隔授業 (同期型)	Class 1	Intro to ConversationⅡ	野口 大斗	Active Learning, Seminar, Zoom
2-3	12/1	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 2, Class 3	Discussion/Presentation Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar,

							Zoom
4-5	12/8	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 4, Class 5	Discussion/Presentation Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar, Zoom
6-7	12/15	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 6, Class 7	Discussion/Presentation Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar, Zoom
8-9	12/22	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 8, Class 9	Discussion/Presentation Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar, Zoom
10-11	1/5	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 10, Class 11	Discussion/Presentation Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar, Zoom
12-13	1/12	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 12, Class 13	Discussion/Presentation Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar, Zoom
14-15	1/19	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 14, Class 15	Discussion Test	野口 大斗	Active Learning, Seminar, Zoom

授業方法
Skills Instruction and Practice

授業内容
Class 1: Orientation
Classes 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment
Classes 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法
Conversation II 評価: Attendance & Participation: 40% Assignments: 20% Speaking Test I: 20% Speaking Test II: 20%

再評価: 再評価はありません。

成績評価の基準
「東京科学大学学修規程第6条」による

準備学習等についての具体的な指示
Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格
「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45分×15コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。

履修上の注意事項
教員がとる出欠を優先します。既に履修済の英語Ⅱ科目と同一名の科目は原則として履修できません。

オフィスアワー
猪熊 恵子・水・木曜日 12時30分～13時 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	022450					
科目名	International Course for Clinical Dentistry (ICCD) L1-L3 On-demand			科目ID		
担当教員	樺沢 勇司, JANELLE RENEE MOROSS, 關 奈央子, 金森 ゆうな, 駒ヶ嶺 友梨子, 水谷 幸嗣, LIAO SHIN RU[KABASAWA Yuji, JANELLE RENEE MOROSS, SEKI Naoko, KANAMORI Yuna, KOMAGAMINE Yuriko, MIZUTANI Koji, LIAO SHIN RU]					
開講時期	2025 年度3年通年	対象年次	2	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目	
主な講義場所 オンデマンド教材						
授業の目的、概要等 歯学部国際歯科臨床教育コース (International Course for Clinical Dentistry, ICCD) オンデマンドは歯学分野における語彙力向上や文章理解力と臨床の専門的な知識を習得するために、学部学生の臨床的な知識を高めることを目的としています。						
授業の到達目標 学生が全てのレベル(L1-3)を修了したとき、 1. 英語の理解能力を向上 2. 歯学分野の英語の語彙力を向上 することができる。 コース修了時、 英語で臨床歯学を学修することを期待できます。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/19	08:50-09:35	オンデマンド	L1 1. オンデマンド学習 配信期間 9/19(金) (9:00)- 26(金)(23:59)	・歯科英単語学習 ・リーディング教材	關 奈央子, JANELLE RENEE MOROSS, 駒ヶ嶺 友梨子, 金森 ゆうな
2	9/25	08:50-09:35	オンデマンド	L1 2. 学習確認テスト 配信期間 9/25(木) (9:00)-26(金)(23:59) (学修所要時間:70 分)	・学習確認テスト	關 奈央子, JANELLE RENEE MOROSS, 駒ヶ嶺 友梨子, 金森 ゆうな
3	10/10	08:50-09:35	オンデマンド	L1 3. 復習教材提供 配信期間 10/10(金) (9:00)- 17(金)(23:59)	・歯科英単語学習 ・リーディング教材	關 奈央子, JANELLE RENEE MOROSS, 駒ヶ嶺 友梨子, 金森 ゆうな
4	10/16	08:50-09:35	オンデマンド	L1 4. 学習確認テスト 配信期間 10/16(木) (9:00)-17(金)(23:59) (学修所要時間:70 分)	・学習確認テスト	關 奈央子, JANELLE RENEE MOROSS, 駒ヶ嶺 友梨子, 金森 ゆうな
5	10/9	08:50-09:35	オンデマンド	L2 1. オンデマンド学習 配信期間 10/9(金)	・歯科英単語学習 ・リーディング教材	關 奈央子, JANELLE RE

				(9:00)~ 16(金)(23:59)		NEE MORO SS, 水谷 幸 嗣 金森 ゆう な
6	10/15	08:50-09:35	オンデマ ンド	L2 2. 学習確認テスト 配信期間 10/15(木) (9:00)~16(金)(23:59) (学修所要時間:70分)	・学習確認テスト	關 奈央子, J ANELLE RE NEE MORO SS, 水谷 幸 嗣 金森 ゆう な
7	10/19	08:50-09:35	オンデマ ンド	L2 3. オンデマンド学 習 配信期間 10/19(月) (9:00)~ 23(金)(23:59)	・医療面接 ・インフォームドコンセ ント教材	關 奈央子, J ANELLE RE NEE MORO SS, 水谷 幸 嗣 金森 ゆう な
8	10/22	08:50-09:35	オンデマ ンド	L2 4. 学習確認テスト 配信期間 10/22(木) (9:00)~23(金)(23:59) (学修所要時間:210分)	・学習確認テスト	關 奈央子, J ANELLE RE NEE MORO SS, 水谷 幸 嗣 金森 ゆう な

授業方法

L1では高齢者歯科学、L2では歯周病学、L3では保存修復学と矯正歯科学に関する歯科英単語と知識について、自習や課題を行います。

成績評価の方法

オンデマンド教材履修状況により評価されます。履修期間内に全ての教材学習を行ってください。

準備学習等についての具体的な指示

課題に取り組む前に、記事／論文を読み、語彙を学んでください。

試験の受験資格

1. WebClass コースに配信される課題

WebClass の指定のコースにオンデマンドの課題が提供される。全ての当該課題を定められた期間内に履修し一定のスコアを記録すること。

履修上の注意事項

1. このコースを選択する学生は、必要な WebClass のオンデマンド課題を全て修了すること。 2. ICCD はレベル 1 から 3 で構成されており、レベル 1 への履修登録をもってレベル 2(OH/OE3)レベル 3(OH/OE4)でもコースを受講することになります。 3. ICCD は全てのレベル(レベル 1-3)を履修したのちに単位が付与されます。

参照ホームページ

参考) <https://www.tmd.ac.jp/international/events/iccd/>

オフィスアワー

樺沢 勇司:平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。

1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

關 奈央子:毎週月曜日 15:00 - 16:00 M&D タワー7階 教員室

水谷 幸嗣:D 棟 11 階 総合診療歯科学分野研究室

JANELLE RENEE MOROSS:ご予約をご希望の場合は、双方の都合のよい時間をご相談するためにメールをお送りください。

時間割番号	022460					
科目名	International Course for Clinical Dentistry (ICCD) L1-L3 On-line			科目ID		
担当教員	樺沢 勇司, JANELLE RENEE MOROSS, 關 奈央子, 金澤 学, 駒田 亘, 駒ヶ嶺 友梨子, 水谷 幸嗣, 畑山 貴志, 保坂 啓一, 金森 ゆうな, Richard Foxton, LIAO SHIN RU, 米満 郁男, 前川 祥吾, 永田 瑞, 矢野 孝星 [KABASAWA Yuji, JANELLE RENEE MOROSS, SEKI Naoko, KANAZAWA Manabu, KOMADA Wataru, KOMAGAMINE Yuriko, MIZUTANI Koji, HATAYAMA Takashi, HOSAKA Keiichi, KANAMORI Yuna, Richard Foxton, LIAO SHIN RU, YONEMITSU Ikuo, MAEKAWA Shogo, NAGATA Mizuki, YANO Kosei]					
開講時期	2025 年度3年通年	対象年次	2	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目	
主な講義場所 オンラインセッション(入室のためのIDとパスワードはWebClassに掲示)						
授業の目的、概要等 歯学部国際歯科臨床教育コース(International Course for Clinical Dentistry, ICCD)オンラインは学部学生の臨床的な知識、文化的コンピテンシー、そしてコミュニケーションと論理的な問題解決の基本的な能力を高めることを目的としています。 ICCD は学生に国際的なネットワーキングに参加できるようにし、歯学分野における語彙と英語でのコミュニケーション能力を向上させ、さらに、歯学に関連した様々なアクティビティを通して臨床の専門的な知識を習得することを可能にします。 ディスカッションや、問題解決のためにチームで仕事をしたり、論理的な議論を作り上げたりする機会を提供し、チームビルディングや批判的吟味、批判的思考能力、そして学際的な臨床の治療計画の基本を強化します。						
授業の到達目標 学生が全てのレベル(L1-3)を修了したとき、 1. 英語の理解能力を向上 2. 歯学分野の英語の語彙力を向上 3. 仲間や教員と歯学分野のトピックについてディスカッション 4. 文化的規範について学び、互いの文化について理解 することができる。 コース修了時、 1. 文化的コンピテンシーの向上 2. ネットワーキング能力の向上 3. 問題解決能力の向上 4. 英語で臨床歯学を学修すること 5. コミュニケーション上の課題に対処するためのレジリエンス／柔軟性の獲得 6. 情報を批判的かつ客観的に吟味する能力の向上 7. より明確な推論能力と論理的な説明を行う能力の獲得 を期待できます。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/10	17:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	L1 1. イントロ Zoom ID は後日配布	・コースイントロダクション(日本語) ・本コースをプロデュースする 臨床系教員との対談(日本語) ※前後で9/10 プレゼンの打ち合わせがあります。	金澤 学, 關 奈央子, 駒田 亘, 駒ヶ嶺 友梨子, 水谷 幸嗣, 畑山 貴志, 保坂 啓一
2	9/10	17:00-17:50	遠隔授業 (非同期型)	L1 2. プレゼン準備	・プレゼンテーション準備 ※ WebClass「歯学部国際歯科臨床教育コース L1 2025」の掲示板を適宜 使用してください。	金森 ゆうな

3	9/24	18:30-20:30	遠隔授業 (同期型)	L1 3. 国際交流 Zoom ID は後日配布	・自己紹介 ・プレゼンテーション (国や文化、大学の紹介) ・コミュニケーションアクティビティ	關 奈央子, J ANELLE RE NEE MORO SS, 金森 ゆ うな
4-5	10/8	18:30-20:50	遠隔授業 (同期型)	L1 4. 国際交流 Zoom ID は後日配布	・講義 ・ディスカッションとプレゼンテーション(「高齢化に付随した問題点と解決策」) ・フィードバック(20:35-20:50)	關 奈央子, J ANELLE RE NEE MORO SS, 駒ヶ嶺 友梨子
6	10/23	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	L2 1. 事前学習 各自 で実施	・LMSを参照し事前学習・準備をして今後のオンライン授業に臨むこと	關 奈央子, J ANELLE RE NEE MORO SS, 金森 ゆ うな
7	10/28	17:15-18:00	遠隔授業 (同期型)	L2 2. ライブ講義 Zoom ID は後日配布 授業時間:17:15-18:00	・インタラクティブ講義(英語で医療面接) 健康調査票等医療面接に関する資料は開催1週間前の9:00から配信(LMSにアップロード)	關 奈央子, J ANELLE RE NEE MORO SS
8	11/4	18:10-18:55	遠隔授業 (同期型)	L2 3. ライブ講義 Zoom ID は後日配布 授業時間:18:10-18:55	・講義「インフォームドコンセント」・ディスカッション ・プレゼンテーション	金森 ゆうな, Richard Fox ton
9	11/6	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	L2 4. 事前学習 各自 で実施	・LMSを参照し事前学習・準備をして次週のオンライン授業に臨むこと	關 奈央子, J ANELLE RE NEE MORO SS, 金森 ゆ うな
10	11/11	18:10-18:55	遠隔授業 (同期型)	L2 5. 国際交流セッション Zoom ID は後日配布 授業時間: 18:10-20:45	・講義 ・ディスカッションとプレゼンテーション(「歯周病と全身疾患」) ・フィードバック(20:10-20:45) ・ライティング提出	關 奈央子, 水谷 幸嗣, J ANELLE RE NEE MORO SS, Richard Foxton

成績評価の方法

授業への参加、授業でのプレゼンテーションと論理的なスピーキングが考慮されます。

準備学習等についての具体的な指示

コース開始前に WebClass にて提示する予定表により、各回で取り上げるテーマを再確認し、事前に当該テーマについて十分に予習した上で、授業に参加してください。

試験の受験資格

オンラインセッションへの出席と参加

定刻までにオンラインセッションに入室し、クラスでのディスカッションやアクティビティに参加する準備をしてくる。

各日、予定されているオンラインセッション時間の 2/3 以上の出席をもって出席とみなす。

履修上の注意事項

1. このコースを選択する学生は、全てのオンラインセッションに出席し、プレゼンテーションを準備し、そして授業でのディスカッションとプレゼンテーションに参加すること。 2. ICCD はレベル 1 から 3 で構成されており、レベル 1 への履修登録をもってレベル 2(OH/OE3)レベル 3(OH/OE4)でもコースを受講することになります。 3. ICCD は全てのレベル(レベル 1-3)を履修したのちに単位が付与されます。 4. ICCD オンデマンドの履修も推奨される。 5. 履修においては TOEFL iBT61 (ITP500)程度の英語力が推奨される。

備考

オンライン授業においては AL(ペア/グループディスカッション、ケース演習など)を行う。

参照ホームページ

参考) <https://www.tmd.ac.jp/international/events/iccd/>

オフィスアワー

樺沢 勇司:平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。

1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

前川 祥吾:毎週月、火、木、金曜日 PM.17:00-18:00 10 号棟 7 階第 3 研究室

永田 瑞:10 号館 7 階 歯周病学分野医局 随時

駒田 亘:随時

金澤 学:火-金, 16:00- 18:00

1 号館 3 階 高齢者歯科学分野学分野 Lab9

關 奈央子:毎週月曜日 15:00 - 16:00 M&D タワー7階 教員室

水谷 幸嗣:D 棟 11 階 総合診療歯科学分野研究室

JANELLE RENEE MOROSS:ご予約をご希望の場合は、双方の都合のよい時間をご相談するためにメールをお送りください。

時間割番号	022263						
科目名	歯科薬理・薬剤学			科目ID	DH331105L		
担当教員	青木 和広, 永田 将司, 立石 知也, 渡部 徹郎, 平石 典子, 黒嶋 雄志, 小藤 智史, 山田 哲也, 古屋敷 智之, 筒井 健夫, 影近 弘之, 藤井 晋也, 長谷川 純矢, 道 泰之, 大槻 昌幸[AOKI Kazuhiro, NAGATA Masashi, TATEISHI Tomoya, WATABE Tetsuro, HIRAISHI Noriko, KUROSHIMA Takeshi, KOFUJI Satoshi, YAMADA Tetsuya, FURUYASHIKI Tomoyuki, TSUTSUI Takeo, KAGECHIKA Hiroyuki, FUJII Shinya, HASEGAWA Junnya, MICHI Yasuyuki, OTSUKI MASAYUKI]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
科目名: 歯科薬理・薬剤学 ユニット番号: 3001 授業形態: 講義 時間数: 必修 1 単位・15 時間 (50 分 x15 コマを 45 分間 x17 コマで充当) 科目責任者・ユニット責任者: 樺沢勇司、青木和広							
主な講義場所 対面講義は、1 号館西第 3 講義室 および LMS によるオンデマンド授業							
授業の目的、概要等 前半は 2 年生からの各論の続きを講義する。特に、呼吸器系薬、消化器系薬、内分泌系薬、悪性腫瘍治療薬、保存治療関連薬、漢方薬について学ぶ。 免疫系、局所麻酔、血液、硬組織に関する薬物の授業は、対面講義となり、アクティブラーニング(反転授業)を実施をする。 医薬品の薬理作用を理解し、薬物を安全かつ効果的に利用するために必要な基本的知識を修得するが、特に、医薬品の剤形、処方箋や薬剤の保管方法、また、医薬品の関連法規および薬害についても学ぶ。							
授業の到達目標 1. 免疫系作用薬の種類と作用について概説できる 2. 局所麻酔について概説できる 3. 止血薬・抗血栓薬について概説できる 4. 消化器系作用薬の種類と作用について概説できる 5. 薬事関連法規について概説できる 6. 医薬品の剤形、処方箋および保管方法について概説できる 7. 新薬の開発と臨床応用について概説できる 8. 保存治療関連薬について概説できる 9. 歯科用消毒薬について概説できる 10. 悪性腫瘍治療薬の種類と作用について概説できる 11. 内分泌系薬物、ホルモン剤の種類と作用について概説できる 12. 呼吸器系作用薬の種類と作用について概説できる 13. ビタミンについて概説できる 14. 漢方薬物療法について概説できる 15. 硬組織に働く薬剤について概説できる							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/7	11:40-12:25	口腔保健学科第3	免疫調節薬・免疫療法薬	免疫抑制薬、免疫増強薬、ワクチン製剤、抗アレルギー薬、特異的	青木 和広	到達目標1: 送付する資料に目

			講義室		抗リウマチ薬、抗ヒスタミン薬		を通してること 講義後、確認テスト(小テスト)と感想記入を行うこと。
2	4/13	09:45-10:30	口腔保健 学科第3 講義室	局所麻酔薬	局所麻酔薬の種類と主作用・副作用 2 年次のアドレナリン受容体について復習してきてください。	青木 和広	到達目標2: LMSを見て、予習をしてること 講義後、確認テスト(小テスト)と感想記入を行うこと。
3	4/27	10:45-11:30	口腔保健 学科第3 講義室	血液と薬物	局所性・全身性止血薬、抗血栓療法薬、血液製剤	青木 和広	到達目標3: LMSを見て、予習をしてること 講義後、確認テスト(小テスト)と感想記入を行うこと。
4	4/27	11:40-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	骨代謝およびカルシウム調節系作用薬	硬組織に働く薬物について	青木 和広	到達目標 15: LMSを見て、予習をしてること 講義後、確認テスト(小テスト)と感想記入を行うこと。
5	4/27	17:15-18:00	遠隔授業 (非同期型)	薬事関連法規および薬物の取り扱い	薬機法などの薬事関連法規と薬物の保管と取り扱い	永田 将司	到達目標5、6: 講義を視聴後、確認テスト(小テスト)と感想記入を行うこと。
6-7	4/30	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	新薬の開発と臨床応用 ①	医薬品の開発プロセス、臨床試験における医薬品の評価	永田 将司	到達目標7: 講義を視聴後、確認テスト(小テスト)と感想記入を行うこと。
8	5/7	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	新薬の開発と臨床応用 ②	医薬品の開発プロセス、臨床試験における医薬品の評価	永田 将司	到達目標7: 講義を視聴後、確認テスト(小テスト)と感想記入を行うこと。
9	5/7	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期型)	歯科用医薬品の特徴と使用	歯科保存薬・歯内療法薬・歯周疾患治療薬	平石 典子	到達目標8: 講義を視聴後、確認テスト(小テスト)と感想記入を行うこと。
10	5/28	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	消毒薬	消毒薬	黒嶋 雄志	到達目標9: 講義を視聴後、確認テスト(小テスト)と感想記入を行う

							こと。
11	5/28	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期型)	呼吸器系作用薬	鎮咳薬、去痰薬、気管支拡張薬、喘息治療薬、呼吸促進	立石 知也	到達目標12: 講義を視聴後、確認テスト(小テスト)と感想記入を行うこと。
12	6/5	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期型)	悪性腫瘍治療薬	化学療法薬、口腔領域の悪性腫瘍治療薬	渡部 徹郎	到達目標10: 講義を視聴後、確認テスト(小テスト)と感想記入を行うこと。
13	6/12	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	内分泌系作用薬・代謝系疾患治療	糖尿病治療薬、ホルモン拮抗薬	山田 哲也	到達目標11: 講義を視聴後、確認テスト(小テスト)と感想記入を行うこと。
14	6/25	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	その他の代謝調節薬およびビタミン製剤	ビタミンの作用とビタミン薬	古屋敷 智之	到達目標13: 講義を視聴後、確認テスト(小テスト)と感想記入を行うこと。
15	6/25	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期型)	消化器系作用薬	消化性潰瘍治療薬を中心に消化器系に作用する薬物の役割について	小藤 智史	到達目標4: 講義を視聴後、確認テスト(小テスト)と感想記入を行うこと。
16	6/30	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	漢方薬物療法1 (藤井 晋也先生)	漢方薬(和漢薬)	青木 和広	到達目標14: 講義を視聴後、確認テスト(小テスト)と感想記入を行うこと。
17	6/30	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期型)	漢方薬物療法2 (藤井 晋也先生)	漢方薬(和漢薬)	青木 和広	到達目標14: 講義を視聴後、確認テスト(小テスト)と感想記入を行うこと。
18	7/13	10:45-11:30	情報検索 室 1	期末テスト(11:00～12:00)		青木 和広	試験時間は午前11時からとなります。

成績評価の方法

- ・出席率(10点)授業終了時の確認テスト(20点)、期末の客観試験(70点)で総合的評価を行う。
- ・出席状況および授業態度を総合的評価に加味する。
- ・対面講義においても、授業終了時に感想記入と確認テストを行うこと。
- ・非同期授業の場合は、ビデオ視聴記録とともに回答期限までに確認テストおよび感想の記入をもって出席扱いとする。
- ・期末テストで6割の正答率が得られない場合は、再試験となる。
- ・また、再試験で再び6割の正答率が得られない場合は、不合格となる。

成績評価の基準

- ・学習の評価A以上を得るには、本試験で合格するように努めること。
- ・評価A+以上の学生は、出席率が90%以上で総合点が90点以上に達していることが一つの基準となる。

準備学習等についての具体的な指示

対面授業はすべて、反転授業とするため、LMS にアップされた資料をつかって以下のように準備してくること。

- ・4 月 16 日の対面授業の前に、免疫調節薬・免疫療法薬のビデオを視聴してくること
- ・4 月 17 日 局所麻酔の対面授業の前に、2 年生で習った自律神経系の薬理、特に高血圧治療薬やアドレナリン受容体について復習してくること。
- ・4 月 27 日の対面授業の前に、血液と薬物の授業および、硬組織薬理の授業を視聴してくること。

試験の受験資格

3 分の 2 の出席(ドリームキャンパスで確認すること)

なお、対面授業 1 コマ 45 分のうち、20 分以上の遅刻は、欠席扱いとする。

非同期授業の場合は、回答期限までに感想の記入および小テスト(確認テスト)の合格点をもって出席扱いとする。

やむを得ない事情で欠席をする場合は、前もってユニット責任者に連絡すること。

連絡も無く欠席した場合、連絡はするが正当な理由と認められない場合は、出席に関しては考慮しない。

連絡があり、正当な理由と認められた場合は、ユニット責任者が指定する出席に足るレポート提出などをもって出席とする。

公欠などの場合、しかるべき事務書類の提出は口腔保健教務係に提出・連絡すること。

なお、非同期講義の講師によっては確認テスト自体がない場合があるが、ビデオ視聴と授業の感想を記載することが出席の条件となる。

参考書

薬理学／全国歯科衛生士教育協議会 編:医歯薬出版, 2018

薬理学／全国歯科衛生士教育協議会 編:医歯薬出版, 2015

現代歯科薬理学／鈴木邦明 監修,戸莉彰史, 青木和広, 兼松隆, 筑波隆幸, 八田光世 編:医歯薬出版, 2024.1

薬理学／全国歯科衛生士教育協議会:医歯薬出版, 2013

最新薬理学: 疾病の成り立ち及び回復過程の促進／大浦清, 戸莉彰史 編集:学建書院, 2017

コメディカルのための薬理学／渡邊泰秀, 樋口マキエ編集,渡邊 泰秀,樋口, マキエ,:朝倉書店, 2012

ラング・デール薬理学: 電子書籍(日本語・英語版)付／渡邊 直樹 監修,渡邊 直樹 翻訳:丸善出版, 2018-12-17

今日の治療薬 2022: 解説と便覧／浦部 晶夫 編集,島田 和幸 編集,川合 眞一 編集,伊豆津 宏二 編集,浦部 晶夫,島田 和幸,川合 眞一,伊豆津 宏二,:南江堂

履修上の注意事項

LMS にアップロードされた資料を各自ダウンロードして、復習に役立てること。 非同期講義が多いので、感想記入と小テスト(確認テスト)の提出期日を間違えないようによく確認すること。 ギリギリになって行うことがないように、なるべく時間割通りに行うように努めること。 早めにアップされている教材は時間割より早く始めても構いません。

備考

昨年度授業終了時アンケート結果より、対面授業をふやし、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

毎週月曜日 17 時～18 時

これ以外は

メールにて面談の日程を調整すること

青木和広 kazuhiro_aoki.bhoe@tmd.ac.jp

非同期授業は、動画視聴後に小テストをそれぞれの期限までに行うこと。

対面授業では、AL(グループディスカッション、反転授業)を行う。

参照ホームページ

対面授業のまえには、LMS 上に公開した資料を視聴し、準備してくること。

オフィスアワー

青木 和広:毎週月曜日 16 時から 18 時 2 号館 2 階 216 号室(口腔基礎工学分野)

オフィスにいない場合もあるので、あらかじめメールで問い合わせることを推奨。

時間割番号	022520						
科目名	社会調査・研究の基礎			科目ID			
担当教員	木野 志保, 品田 佳世子, 大山 篤, 安達 奈穂子, 池川 麻衣, 内田 博文, 吉田 直美[KINO Shiho, SHINADA Kayoko, OHYAMA Atsushi, ADACHI Naoko, IKEGAWA Mai, UCHIDA Hirofumi, YOSHIDA Naomi]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
科目名:社会調査・研究の基礎 時間数:30 時間 2 単位 授業形態:講義							
主な講義場所 遠隔授業:非同期授業(WebClass のコース内にアップロードされた動画視聴)							
授業の目的、概要等 ・社会調査の意義と目的を理解する。 ・調査票の作成、集計・解析などを行うことができる。 ・医療法、歯科医師法、歯科技工士法他に関して理解する。							
授業の到達目標 1)社会調査の意義と目的、沿革の概要について説明できる。 2)国の統計と医療法について説明できる。 3)調査票の基本を理解し、作成できる。 4)量的調査及び質的調査の基本的な方法を説明することができる。 5)医療関連の他職種の法律に関して説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	4/6	09:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	社会調査の基礎・歴史総論	社会調査の基礎・歴史総論	品田 佳世子	1)社会調査の意義と目的、沿革の概要について説明できる。
4	4/13	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期型)	国の統計と医療法	国の統計と医療法	品田 佳世子	2)国の統計と医療法について説明できる。
5-6	4/27	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	質的研究、調査、分析方法(1)	質的研究、調査、分析方法(1)	大山 篤	4)量的調査及び質的調査の基本的な方法を説明することができる。
7-8	5/13	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	質的研究、調査、分析方法(2)	質的研究、調査、分析方法(2)	大山 篤	4)量的調査及び質的調査の基本的な方法を説明することができる。
9-10	5/20	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	質問紙調査	質問紙調査	安達 奈穂子	3)調査票の基本を理解し、作成できる。
11-12	6/3	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期型)	量的調査・分析	量的調査・分析	安達 奈穂子	4)量的調査及び質的調査の基本的な方法を説明

							することができる。
13-15	6/12	15:25-18:00	遠隔授業 (非同期型)	歯科医師法、歯科技工士法、保健師助産師看護師法、薬剤師法等医療関連法律	歯科医師法、歯科技工士法、保健師助産師看護師法、薬剤師法等医療関連法律	品田 佳世子	5)医療関連の他職種の法律に関して説明できる。
16	6/24	09:45-10:30	口腔保健 学科第3 講義室	試験	試験	木野 志保 池川 麻衣	1～5)の知識確認
17	7/8	11:40-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	再試験	再試験	木野 志保 池川 麻衣	1～5)の知識確認

授業方法
非同期授業が主であり、WebClass のコース内にアップロードされた授業動画を視聴する。

授業内容
別表のとおり。

成績評価の方法
授業動画の視聴記録を以て、授業参加とみなす。
授業の参加状況・試験により総合的評価を行う。

成績評価の基準
授業の参加状況・試験により、授業に関する知識が習得されていることを判断し、全体で60点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示
統計の基礎を復習しておくこと。

試験の受験資格
3分の2以上の出席を必要とする。

備考
責任者:木野志保 連絡先 shiho.kino.ohp@tmd.ac.jp

オフィスアワー
木野 志保毎週火曜日 10:00～17:00 1号館西8階 口腔疾患予防学分野・教授室

時間割番号	022530						
科目名	生命倫理			科目ID			
担当教員	樺沢 勇司, 飯田 香緒里, 木野 志保[KABASAWA Yuji, IIDA Kaori, KINO Shiho]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	3	単位数	0.5		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
科目名:生命倫理 時間数:45 分×16 コマ 1 単位 授業形態:講義・演習							
主な講義場所 遠隔授業:非同期授業(LMS のコース内)、対面講義							
授業の目的、概要等 ・生命倫理、個人情報保護、研究倫理について理解する。							
授業の到達目標 1)生命倫理について理解する。 2)個人情報保護、研究倫理について理解する。 3)社会調査の意義と目的、沿革の概要について説明できる。 4)調査票について基本を理解し、作成できる。 5)量的調査及び質的調査の基本的な方法を説明することができる。 6)統計法の概要について説明できる。 7)医療法、歯科医師法、歯科技工士法他に関して説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-4	4/2	08:50-12:25	遠隔授業 (非同期型)	生命倫理について1	生命倫理について1	樺沢 勇司	視聴する動画は別途メール等で指示する。
5-8	4/9	13:30-17:05	遠隔授業 (非同期型)	生命倫理ついて2	生命倫理について2	樺沢 勇司	視聴する動画は別途メール等で指示する。
9-10	4/30	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	研究倫理について1	研究倫理について1	樺沢 勇司	視聴する動画は別途メール等で指示する。
11-12	5/7	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	研究倫理について2	研究倫理について2	樺沢 勇司	視聴する動画は別途メール等で指示する。
13	5/14	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	個人情報保護について	個人情報保護について	樺沢 勇司	視聴する動画は別途メール等で指示する。
14-15	5/19	08:50-10:30	口腔保健 学科第3 講義室	臨床医学と研究倫理について	臨床医学と研究倫理について	樺沢 勇司, 飯田 香緒里	対面講義
16	7/23	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	まとめ	まとめ	樺沢 勇司	視聴する動画は別途メール等で指示する。
授業方法 非同期授業は LMS のコース上に授業がアップされる。小テスト、演習、課題発表やディスカッションを適宜行う(AL)。							

授業内容 到達目標に関する主として遠隔授業および対面授業を行い、小テストや演習で知識を確実に修得できる内容とする。
成績評価の方法 ・出欠状況と授業参加、課題発表、演習内容等で総合的に評価する。
成績評価の基準 授業に関する知識が修得されていることを合格とする。
準備学習等についての具体的な指示 参考書は卒業研究でも使用できるので、出来る限り購入して学習を進めること。
試験の受験資格 ・3分の2以上の出席(遠隔授業同期Zoomおよび非同期はLMSにアップ)を必要とする。対面授業は授業時間に出席を確認する。非同期授業は視聴記録を確認する。非同期型の遠隔授業は授業日程後も視聴可能であり、視聴記録で出席を確認する。 ・ 本学のLMSの研究倫理講習会を受講することで、研究倫理受講証番号が発行される。全員の研究倫理受講証発行を目標とする。
参考書 歯科衛生研究の進め方論文の書き方／日本歯科衛生学会,石井, 拓男,鳥山, 佳則,武井, 典子, -2021,吉田, 直美,日本歯科衛生学会 監修, 石井拓男, 鳥山佳則, 武井典子, 吉田直美 編:医歯薬出版, 2021.4 :医歯薬出版, 2021
備考 責任者:樺沢勇司 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp 学習上の疑問や質問は随時メールで行う事。
オフィスアワー 樺沢 勇司:平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。 1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022590E						
科目名	歯科矯正学(ユニット)			科目ID			
担当教員	樺沢 勇司, 伊藤 奏, 小林 起穂, 辻 美千子, 竹内 康雄[KABASAWA Yuji, ITO Kanade, KOBAYASHI Yukiho, TSUJI Michiko, TAKEUCHI Yasuo]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
科目名:臨床歯科医学 ユニット名:歯科矯正学 時間数:15 時間(1 単位) 授業形態:遠隔講義(非同期、同期併用)							
主な講義場所 在宅学習							
授業の目的、概要等 ・顎口腔機能の発達過程および不正咬合との関連を理解し、顎口腔機能の育成および個性正常咬合獲得を、口腔保健の立場から支援するための知識を修得する。							
授業の到達目標 SBOs 1.正常な歯列咬合の状態を理解する。 2.不正咬合の種類とその影響を理解する。 3.不正咬合の診断に必要な資料・情報を理解する。 4.不正咬合の診断・治療法を概説できる。 5.歯科矯正器材と装置の種類・取り扱い方を概説できる。 6.歯科矯正治療におけるチーム医療を理解する。 7.歯科矯正治療中の患者の口腔保健指導を理解する。 8.歯科矯正治療中の患者の口腔ケアと心理的支援を理解する。 9.顎口腔機能の育成を概説できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/28	10:45-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	歯科矯正学概論/成長発 育	不正咬合の生理的・心理的障害、 矯正治療の目的とその必要性、矯 正歯科治療の歴史、矯正歯科臨床 における歯科衛生士の役割、成長 発育曲線、顎・顔面・頭蓋の成長発 育歯列の成長発育(乳歯列、混合 歯列、永久歯列、歯年齢)	小林 起穂 樺沢 勇司	SBOs1,2,3,4 ミー ティング ID: 931 8233 9128 パス コード: 741631
3-4	5/19	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期 型)	咬合/口腔習癖	口腔習癖の種類と頻度、咬合・咀 嚼・発音・嚥下への影響、口腔筋機 能療法、矯正力、歯の移動・組織 反応、歯の移動様式 SBOs1,2,3,4	小林 起穂 樺沢 勇司	SBOs1,2,3,4
5-6	6/10	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期 型)	歯の移動/矯正診断 1,2	診査と情報の収集(相談・問診・写 真・口腔模型・パノラマエックス線 写真・頭部エックス線規格写真、口 腔機能検査等)、症例分析法、治 療方針の立て方 SBOs1,2,3,4	小林 起穂 樺沢 勇司	SBOs1,2,3,4
7-8	6/12	09:45-11:30	遠隔授業 (非同期 型)	矯正器具/矯正材料	矯正用器具の種類とその取扱い、 矯正材料の種類と取扱い	小林 起穂 樺沢 勇司	SBOs5

			型)				
9-10	6/16	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期 型)	矯正装置/不正咬合の 治療法と保定	舌側弧線装置、マルチブラケット 装置、床矯正装置、機能的顎矯正 装置、側方拡大装置、顎外固定装 置、保定装置など、各装置の説明 と注意事項、前後関係・垂直的 関係の不調和に対する治療法と その保定	小林 起穂 樺沢 勇司	SBOs4,5
11-12	6/16	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期 型)	チーム医療/矯正歯科 関連実習説明	先天異常疾患・顎変形症に対する チーム医療、矯正歯科関連実習説 明	小林 起穂 樺沢 勇司	SBOs4,5
13-14	7/15	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期 型)	歯科矯正学における歯 科衛生士の役割	歯科矯正学における歯科衛生士 の役割	樺沢 勇司、 伊藤 奏	SBOs9
15-18	7/15	13:30-17:05	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	歯科矯正学実習	歯科矯正学実習	伊藤 奏、小 林 起穂、樺 沢 勇司	
19	7/27	11:40-12:25	口腔保健 学科第2 講義室	最終試験	最終試験を行う	樺沢 勇司	

授業方法

遠隔授業(LMS による非同期型遠隔講義)が中心であるが、Zoom による同期型講義も予定しているため注意すること。

非同期型遠隔講義においては指定された動画および講義資料、参考資料などを閲覧し、指示された課題に回答すること。

LMS 上の掲示板を作成するので、講義内容や課題についての感想や質問、コメントを自由に記載して下さい。回答は樺沢より全員に対し
てあるいは個人的に行うため、十分に活用すること。

同期型遠隔講義においては、事前に LMS 上の講義資料、参考資料等を閲覧して講義に臨むこと。

講義中に討論、演習を実施する。

講義についての質問も含めて担当教員(樺沢)までメールでも受け付ける。

講義動画は原則学期末まで公開する。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

最終課題を課す。

各講義後に課題提出を求める。

同期型講義における演習時の評価や、期末に定期試験を行い、各課題への取り組みも含めて総合的に評価する。

特に、歯科矯正学実習への取り組みも評価に含まれる。

成績評価の基準

「到達目標」に明示している事項について、講義内容より概ね達成できている場合は B、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等につ
いて具体的に論述できる場合は B より上とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に指示した教材、アップロードされた資料、教科書に目を通して講義に臨むこと。

講義に関する質問については、科目責任者(樺沢)までメールにて適時行うこと。
試験の受験資格 遠隔授業のため、各講義内容に対する課題提出状況を成績付与の参考とする。ただし、定期試験の受験要件には用いない。 ただし、成績評価のためにも、同期型講義の日程はできる限り出席することが望ましい。 遠隔授業のため、接続に関して問題が生じた場合には、科目責任者(樺沢)までメールで必ず連絡をすること。
教科書 歯科矯正学／全国歯科衛生士教育協議会,新井一仁 ほか 著,新井一仁, 佐藤聡, 山田小枝子 編集:医歯薬出版, 2024.1
参考書 歯科矯正学／相馬 邦道／編集,飯田 順一郎／編集,山本 照子／編集,葛西 一貴／編集,後藤 滋巳／編集,相馬 邦道／〔ほか〕執筆,相馬 邦道,飯田 順一郎,山本 照子,葛西 一貴,後藤 滋巳,相馬:医歯薬出版, 2011 歯科矯正学(新・歯科衛生士教育マニュアル)／葛西一貴, 新井一仁, 須田直人, 三浦廣行 編集,:クインテッセンス出版, 2015 歯科矯正学と診療補助／遠藤敏哉 著,:クインテッセンス出版, 2001 矯正歯科治療とオーラルハイジーン・コントロール／高田健治 監修,保田好隆, 日高修 著,:クインテッセンス出版, 2000
履修上の注意事項 事前に指示した教材、アップロードされた資料に目を通して講義に臨むこと。 講義に関する質問については、科目責任者(樺沢)までメールにて適時行うこと。
備考 担当教員の Office hour 樺沢勇司 健康支援口腔保健衛生学分野 随時 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp
オフィスアワー 樺沢 勇司:平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。 1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022590F						
科目名	歯科放射線学(ユニット)				科目 ID		
担当教員	樺沢 勇司, 渡邊 裕, 栗林 亜実, 今泉 晶子, 三浦 雅彦, 戒田 篤志, 中村 伸, 竹内 康雄[KABASAWA Yuji, WATANABE Hiroshi, KURIBAYASHI Ami, IMAIZUMI Akiko, MIURA Masahiko, KAIDA Atsushi, NAKAMURA Shin, TAKEUCHI Yasuo]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する				授業形態	メディア利用科目	
科目名:臨床歯科医学 ユニット名:歯科放射線学 時間数:15 時間(1 単位) 講義形式:遠隔講義							
主な講義場所 在宅学習							
授業の目的、概要等 歯科診療の診断に必要な放射線に関して、チーム医療に必要な知識、基本の手技を習得する。							
授業の到達目標 1. 放射線物理の基本的な内容を説明できる。 2. 歯科放射線の撮影方法について説明できる。 3. 放射線撮影にあたり、撮影の意味とその被爆の程度や適切な防護について説明できる。 4. 放射線治療の概要について説明できる。 5. CT や MRI などの画像診断法について概説できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/2	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	放射線物理	放射線と放射能って何？ X 線の性質、X 線の発生、物質との相互作用	樺沢 勇司, 渡邊 裕	到達目標:1 講義中に演習を行う。
3-4	4/16	09:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	X 線撮影法と画像形成	X 線撮影装置の基本構造、フィルムの現像と管理	樺沢 勇司, 渡邊 裕	到達目標:2、3 講義中に演習を行う。
5-6	4/27	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	X 線撮影の補助 1	パノラマ X 線装置と撮影用機材、口内法撮影(二等分法、平行法、咬合法)	樺沢 勇司, 栗林 亜実	到達目標:2、3 講義中に演習を行う。
7-8	4/27	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期型)	X 線撮影の補助 2	パノラマ X 線写真の撮影と読影、デジタル X 線撮影法の仕組み	樺沢 勇司, 今泉 晶子	到達目標:2、3 講義中に演習を行う。
9-10	5/22	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	放射線治療-腫瘍学と生物学	放射線の生物学的影響とその防護	樺沢 勇司, 三浦 雅彦	到達目標:4 講義中に演習を行う。
11-12	5/25	16:20-18:00	遠隔授業 (非同期型)	放射線の管理と防護	放射線被曝、被曝線量の測定、放射線防護学	樺沢 勇司, 戒田 篤志	到達目標:3 講義中に演習を行う。
13-14	6/1	16:20-18:00	遠隔授業 (非同期型)	画像診断機器	CT,MRI,PET/CT,Ri 検査、超音波画像	樺沢 勇司, 栗林 亜実	到達目標:2、3 講義中に演習を行う。

15-16	6/3	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期 型)	顎口腔領域の放射線診 断	画像診断	樺沢 勇司, 中村 伸	到達目標:2、3 講義中に演習を 行う。
授業方法 遠隔授業の講義前に配布資料を WebClass 上に用意するので、講義の際に用意しておくこと。 講義中は毎回、演習あるいは講師との討論の時間を設ける。 講義中の質問は原則として、講義時間内に担当教員に対して行う事。 講義後の課題は原則 WebClass 上で提出を行う。 講義の動画は原則として公開しないが、課題提出等のため必要な場合には、講義についての質問も含めて担当教員(樺沢)までメールにて連絡すること。							
授業内容 授業スケジュール参照							
成績評価の方法 成績は実習、講義(演習)への取り組みと講義後の課題で評価する。毎回、注意して、精一杯取り組むこと。							
成績評価の基準 「到達目標」に明示している事項について、講義内容より概ね達成できている場合はB、発展的に学習して社会的課題に対する解決策などを具体的に論述できる場合はBより上とする。							
準備学習等についての具体的な指示 事前に対応する講義内容の教科書等にて事前学習を行なって参加すること。 事前に指示した教材、アップロードされた資料に目を通して講義に臨むこと。 講義に関する質問については、科目責任者(樺沢)までメールにて適時行うこと。							
試験の受験資格 最終課題および講義中、後の課題への取り組みにて総合的に評価を行う。 遠隔講義のため、接続に関して問題が生じた場合には、科目責任者(樺沢)までメールで必ず連絡をすること。							
教科書 歯科放射線学／全国歯科衛生士教育協議会,岡野友宏 ほか 著,岡野友宏, 升井一朗, 合場千佳子, 片岡あい子 編集:医歯薬出版, 2024.1							
履修上の注意事項 事前に指示した教材、アップロードされた資料に目を通して講義に臨むこと。 講義に関する質問については、科目責任者(樺沢)までメールにて適時行うこと。 遠隔講義のため、接続に関して問題が生じた場合には、科目責任者(樺沢)までメールで必ず連絡をすること。							
備考 科目責任者 樺沢勇司 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp 随時メールでの質問を受け付ける。							
オフィスアワー 樺沢 勇司:平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。 1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室							

時間割番号	022267						
科目名	チーム医療の実践			科目ID	DH353900Z		
担当教員	河野 章江, 西川 利恵, LIAO SHIN RU, 日高 玲奈, 篠原 弓月, 駒津 匡二, 鈴木 瞳, 篠原 弓月, 吉田 直美, 安達 奈穂子, 岩倉 俊子, 松尾 浩一郎[KONO Fumie, NISHIKAWA Toshie, LIAO SHIN RU, HIDAKA Rena, SHINOHARA Yuzuki, KOMATSU Keiji, SUZUKI Hitomi, Yuzuki Shinohara, YOSHIDA Naomi, ADACHI Naoko, IWAKURA Toshiko, MATSUO Koichiro]						
開講時期	2026 年度通年	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	対面		
主な講義場所 口腔保健学科第3 講義室・臨床基礎実習室・相互実習室							
授業の目的、概要等 ・チーム医療の重要性を理解し、歯科衛生活動の実践に生かすために必要な知識・技能・態度を修得する。							
授業の到達目標 1.医科歯科連携の重要性を説明する。 2.チーム医療の意義・目的を説明する。 3.多職種連携における歯科衛生士の役割を説明する 4.口腔健康管理の観点から、多職種連携実践の意義を説明する。 5.有病者および高齢者における口腔保健上の問題を抽出し、必要な支援方法を計画・立案できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/6	14:25-16:10	口腔保健学科第3 講義室	チーム医療における歯科衛生士の役割	多職種連携の実際/急性期病院における歯科衛生士の役	LIAO SHIN RU, 日高 玲奈	目標 1-3
3-5	4/13	13:30-16:10	口腔保健学科第3 講義室	多職種連携の実際	周術期口腔機能管理	LIAO SHIN RU, 日高 玲奈	目標 1-3
6-7	5/11	09:45-11:30	口腔保健学科第3 講義室	多職種連携の実際	小児の口腔機能管理	LIAO SHIN RU, 日高 玲奈	目標 1-3
8-9	5/26	08:50-10:30	口腔保健学科第3 講義室	多職種連携の実際	病院における歯科衛生士活動	LIAO SHIN RU	目標 1-3 演習含む 青柳美千代先生
10-11	5/26	10:45-12:25	口腔保健学科第3 講義室	多職種連携の実際	在宅における歯科衛生士の活動	LIAO SHIN RU, 篠原 弓月	目標 1-3 演習含む
12-13	6/9	10:45-12:25	口腔保健学科第3 講義室	多職種連携の実際	歯科診療所における周術期口腔機能管理	LIAO SHIN RU, 河野 章江	目標 1-3 演習含む 演習時にPC が必要です。持参ください
14-15	6/19	13:30-15:10	口腔保健学科第3 講義室	多職種連携の実際	緩和ケア	LIAO SHIN RU	目標 1-3 演習含む 緩和ケア看護師 鶴澤 茂代先生

16	6/19	15:25-16:10	口腔保健 学科第3 講義室	多職種連携の実践	本学オーラルヘルスセンターでの 歯科衛生活動	LIAO SHIN RU	目標 1-3 演習含 む OHC 歯科衛 生士 水野留 理子先生
17-20	7/3	13:30-17:05	口腔保健 学科第3 講義室	歯科衛生計画の立案	グループディスカッション 歯科衛 生計画の立案と発表	LIAO SHIN RU, 日高 玲 奈	目標 1-4 演習含 む
21-22	7/10	10:45-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	多職種連携の実践	歯科を標榜しない急性期病院にお ける活動	LIAO SHIN RU, 西川 利 恵	目標 1-3 演習含 む
23-26	10/13	08:50-12:25	遠隔授業 (同期型)	要介護高齢者の口腔健 康管理 指導計画の立 案	グループディスカッション 指導計 画の立案	LIAO SHIN RU, 日高 玲 奈, 駒津 匡 二	目標 1-4 演習含 む
27-30	10/20	08:50-12:25	遠隔授業 (同期型)	要介護高齢者の口腔健 康管理 指導計画の立 案	グループディスカッション 計画完 成 リハーサル	LIAO SHIN RU, 日高 玲 奈, 駒津 匡 二	目標 1-4 演習含 む

成績評価の方法

下記の 4 つの項目で評価を行う

- 1)事後課題: 基本的な知識、学生自身の考えや思考など課題で問われた内容について適切に記述されているかどうかを判断する。
- 2)演習におけるグループでの作成物・発表内容(歯科衛生計画・指導案等): 授業を踏まえ基本的な知識を有しているか、グループで問わ
れた課題について適切に討論し、まとめることができているか判断する
- 3)出席: 出席回数(ただし、2/3 以上の出席がない場合には、評価の対象外となるので注意すること)
- 4)参加態度・参加状況: 講義中のアクティブラーニング、質疑応答での活発な発言などの積極的な参加態度を評価する。

成績評価の基準

成績評価は、以下 4 つの項目で行い、各項目の成績の合計により評価を行う。1、2、3、4 の項目の評価は、それぞれ 30%、30%、20%、
20%とする。

- 1)事後課題: 提出期限までに、オリエンテーションで示した方法で提出された場合に評価を行う。課題内では、敬体(ですます調)ではなく
常体(である調)を使用する必要がある。
- 2)演習における作成物(歯科衛生計画・指導案等): 提出期限までに、担当教員の指示通り提出された場合に評価を行う。また、発表時の
プレゼンテーションの構成、内容等も評価する。授業内容に関する基本的事項が理解しているか、グループ内での意見がまとめられた内
容であるか等を評価する
- 3)出席状況: グループディスカッションが主体となるため、全授業への参加が基本となる
- 4)参加態度・参加状況: 積極的な参加が求められる。そのため、グループワークへの積極的な参加や質疑応答などで活発な発言など主
体的な態度が見られた場合には加点する。

準備学習等についての具体的な指示

- ・指定された教科書の内容を確認しておくこと。
- ・事前に e-learning に資料がアップされている場合は、事前に内容を確認しておくこと。

試験の受験資格

- ・定期試験はないが、3 分の 2 以上の出席で単位認定の最低条件とする
- ・授業に出席し、レポートなどの課題を提示された期限までに提出すること。

教科書

歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第 2 版／日本歯科衛生士会、植田 耕一郎、1959-、日本歯科衛生士会 監修、植田耕一郎

編集代表:医歯薬出版, 2019.8

履修上の注意事項

・講義中に行う演習に対する取り組み状況も成績評価に加味する。 ・2/3 以上の出席が必要、出席要件を満たさない場合、本科目の単位は認定しない。 ・やむをえない事情で遅刻・欠席する場合は、担当教員にその旨連絡する。 ・事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

備考

演習、実習

前年度履修学生からの強い希望はなかったが、カリキュラム変更に伴い、前年度の「チーム医療の基礎」と「チーム医療の実践」を包括した内容を予定する

			室				
12-15	7/17	08:50-12:25	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	有病高齢者の口腔衛生 管理	口腔衛生衛生管理の実際(相互実 習)	駒津 匡二, LI AO SHIN R U, 日高 玲奈	目標 1-3, 6 実習
16-17	7/23	10:45-12:25	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	要介護高齢者の栄養管 理と食支援	要介護高齢者の栄養管理と食支 援	駒津 匡二	目標 1-3 講義 臨床栄養部 清 水行栄 先生
18-21	11/4	14:25-18:00	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	食事介助/直接訓練	食事介助/直接訓練	日高 玲奈, 駒津 匡二	目標 1-3, 5 実習
22-24	11/10	08:50-11:30	遠隔授業 (同期型)	合同実習	口腔ケア合同口腔ケア実習	駒津 匡二, 伊藤 奏, LIA O SHIN RU, 池川 麻衣, 日高 玲奈	目標 1-3, 6 実習 同期型授業予定
25-28	11/18	08:50-12:25	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	摂食嚥下リハビリテーシ ョン 口腔吸引実習	口腔機能管理実習 間接訓練 吸引実習(相互・シミュレーター)	樺沢 勇司, 日高 玲奈, 駒津 匡二	目標 1-3, 5, 6 実習
29-30	11/18	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	合同実習振り返り、まと め	実習振り返り、まとめ	駒津 匡二, 日高 玲奈, LI AO SHIN R U	目標 1-3, 6 グル ープワーク
31-32	1/20	10:45-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	期末試験	期末試験	駒津 匡二	

成績評価の方法

成績評価は、以下 3 つの項目により行われる。

- 1) 筆記試験: 講義・実習にて学んだ知識を問う試験を行う。
- 2) 事後課題・グループワークの課題: 期限までに指定の方法で提出されたもののみの評価対象とする。
- 3) 出席・参加態度・参加状況: 出席回数(ただし、3/4 以上の出席がない場合には、評価の対象外となるので注意すること)、応答での活発な発言などの積極的な参加態度を評価する。

成績評価の基準

以下 3 つの項目で評価を行い、それぞれ 60%、20%、20%とする。

- 1) 筆記試験: 授業の到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。
- 2) 事後課題・グループワークの課題: 課題は提出期限までに提出された場合に評価を行う。
- 3) 出席・参加態度・参加状況: 積極的な参加が求められる。グループワークへの積極的な参加やリーダーシップ、活発な発言など主体的

な態度が見られた場合には加点する。
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 ・高齢者の生理的特徴、口腔清掃用具の使用方法を復習しておくこと。
試験の受験資格 ・3/4 以上の出席 ・出席時間不足の場合は、受験することができない。 ・特別に勘案すべき事情があるために授業に参加できない場合には、その事情とともに授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じて、補講もしくはレポート等での対応を行うこととする。
教科書 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第 2 版／日本歯科衛生士会・植田 耕一郎, 1959-,日本歯科衛生士会 監修・植田耕一郎 編集代表:医歯薬出版, 2019.8
参考書 食べる機能の障害：その考え方とリハビリテーション／金子芳洋 著；向井美恵 著；尾本和彦 著；金子芳洋 編・金子芳洋,向井美恵,尾本和彦,金子芳洋.:医歯薬出版, 2005
履修上の注意事項 ・授業中に動画・画面を撮影することを禁止する ・講義資料等を受講者以外に配布・公開することを禁止する ・授業日時・内容・実施方法(場所)が変更になる場合には、Webclass にて周知するので、Webclass からの連絡をオンタイムで確認できるメールアドレスに事前に転送設定しておくこと
備考 演習、実習 前年度履修学生からの強い希望はなかったが、新カリキュラムに伴う時間数の減少により、それぞれの授業時間数の短縮化を予定
オフィスアワー 駒津 匡二:月曜日 PM.5:00-PM.6:30 1 号館 8 階 814A

時間割番号	022269						
科目名	高齢者歯科学				科目ID	DH354100L	
担当教員	日高 玲奈, 戸原 玄, 猪原 光, 松尾 浩一郎, 大矢 靖子, 泉田 陸[HIDAKA Rena, TOHARA Haruka, Hikaru Inohara, MATSUO Koichiro, OYA Yasuko, IZUMIDA Riku]						
開講時期	2026 年度通年		対象年次	3		単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する					授業形態	対面
時間数:15 時間 1 単位 授業形態:講義(課題発表、グループワーク含む) 担当教員:松尾浩一郎、日高玲奈、戸原玄、猪原光(猪原歯科・リハビリテーション科)他							
主な講義場所 遠隔授業(同期型、非同期型)							
授業の目的、概要等 ・超高齢社会で活躍する歯科衛生士に必要となる、高齢者歯科学を理解する。特に、訪問診療による、入院や施設、在宅で療養する高齢者・要介護高齢者の口腔ケアや、口腔機能管理、摂食嚥下リハビリテーション、食支援を理解する。							
授業の到達目標 ・高齢者歯科学の概要を説明できる。 ・摂食嚥下のメカニズムと病態を説明できる。 ・摂食嚥下障害のスクリーニングテスト、VF、VE などの検査と診断を説明できる。 ・摂食嚥下リハビリテーションの目的と概要、間接訓練と直接訓練を説明できる。 ・在宅、チーム医療における摂食嚥下リハビリテーション、口腔機能管理、口腔ケアを理解できる。 ・誤嚥性肺炎予防、食支援、QOL の向上を目的とした訪問歯科診療を理解できる。 ・オーラルフレイルと口腔機能低下症を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-4	5/15	13:30-17:05	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者歯科学概論 摂食嚥下概論 摂食嚥下の解剖生理 摂食嚥下障害の病態	高齢者歯科学概論, 超高齢社会での歯科医療 摂食嚥下リハビリテーション概論 摂食嚥下に関わる解剖と運動整理 摂食嚥下障害の原疾患、異常像	松尾 浩一郎	SBOs1,2,3
5-6	6/3	09:45-11:30	遠隔授業 (同期型)	訪問診療 1 訪問診療 2	誤嚥性肺炎予防、経口摂取確立、食支援、低栄養改善、QOL 向上を目的とした訪問歯科診療 誤嚥性肺炎予防、経口摂取確立、食支援、低栄養改善、QOL 向上を目的とした訪問歯科診療	猪原 光	
7-8	6/24	10:45-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	摂食嚥下障害の評価 誤嚥性肺炎と口腔ケア	スクリーニングテスト、診察法、VF、VE、総合評価 多職種連携による口腔アセスメントと口腔ケア	松尾 浩一郎	SBOs1,2,3
9	11/4	13:30-14:15	口腔保健 学科第3 講義室	摂食嚥下の訓練	間接訓練 直接訓練	日高 玲奈 大矢 靖子	
10-12	11/24	08:50-11:30	遠隔授業 (非同期型)	在宅における摂食嚥下リハビリテーションの実 際 1,2,3	事例検討、ロールプレイ	戸原 玄	

13	11/24	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期型)	オーラルフレイルと口腔機能低下症	オーラルフレイルと口腔機能低下症	松尾 浩一郎	
14-15	12/16	10:45-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	周術期口腔管理 1 周術期口腔管理 2	入院患者への口腔管理の実際 入院患者への口腔管理の実際	松尾 浩一郎	
16-17	1/26	10:45-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者歯科学筆記試験	高齢者歯科学筆記試験	松尾 浩一郎	

授業方法

原則としてオンライン講義を用いた同期型・非同期型で実施される。各講義内で課題についてディスカッションを実施し、講義終了後に振り返りシートを作成し提出してもらう。講義資料や参考資料などは Webclass 上に講義前日までに掲載し、一定期間閲覧可能な状態に置いておくので、活用してほしい。

質問等については講義中、振り返りシート、メールにて随時対応する。

授業内容

授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。

成績評価の方法

- ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
- ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。
- ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。

成績評価の基準

- 1) 出欠状況を基準点とする(例:100%の出席率で 100 点、80%の出席率で 80 点満点)
- 2) 各回授業終了後の振り返りシートや小テスト、授業態度等 20 点
- 3) 期末試験(多肢選択問題、応用記述問題含む) 80 点

振り返りシートや応用記述問題の中で、課題やテーマに対して複数の意見や独自の考察がなされている場合などに加点対象とする。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。
- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席

教科書

高齢者歯科学／全国歯科衛生士教育協議会・植田耕一郎 ほか 著・医歯薬出版、2023.1

歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション／日本歯科衛生士会・植田 耕一郎、1959-、日本歯科衛生士会 監修・植田耕一郎 編集代表・医歯薬出版、2019.8

オフィスアワー

松尾 浩一郎毎週月曜日 16:00-18:00 1 号館 8 階 818B 室

* 要事前連絡

時間割番号	022270						
科目名	障害者歯科学			科目ID	DH354200L		
担当教員	樺沢 勇司, 楠本 康香, 綾野 理加, 岩本 勉, 正木 啓太, 石井 里加子, 鈴木 瞳[KABASAWA Yuji, KUSUMOTO Yasuka, Rika Ayano, IWAMOTO Tsutomu, MASAKI Keita, ISHII Rikako, SUZUKI Hitomi]						
開講時期	2026 年度後期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
科目名:障害者歯科学 ユニット名:障害者歯科学 時間数:15 時間(1 単位) 授業形態:遠隔講義(非同期、同期併用)、対面講義							
主な講義場所 在宅学習、対面講義は口腔保健学科講義室を予定する							
授業の目的、概要等 障害児・者に対して口腔保健の立場から支援する際に必要な知識、技術を習得する。							
授業の到達目標 1. 障害の概念を理解する。 2. 障害の種類と歯科的特徴について理解する。 3. 障害児・者の歯科治療における行動調整について理解する。 4. 障害児・者の歯科治療における健康支援と口腔管理について理解する。 5. 障害児・者のチーム医療における歯科衛生士の役割について理解する。 6. 障害児・者の歯科治療における医療体制(一次、二次、三次歯科医療体制)について理解する。 7. 障害児・者のリスク評価と安全管理について理解する。 8. 障害児・者の摂食嚥下障害とリハビリテーションの基本について理解する。 9. 発音機能の発達とその異常について理解し、構音障害の訓練法を概説できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	11/6	17:15-18:55	遠隔授業 (非同期型)	障害と歯科医療1, 2	障害の分類およびその特徴、歯科的特徴について、行動調整法について。診療計画立案、予後管理、医療体制など。	楠本 康香, 樺沢 勇司	到達目標:1ー7 講義中、講義後に学習の確認のための演習を行う
3-4	11/18	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期型)	広汎性発達障害児・者への歯科治療	広汎性発達障害児・者への歯科治療	岩本 勉 樺沢 勇司	到達目標:1ー7 講義中、講義後に学習の確認のための演習を行う
5-6	11/25	13:30-15:10	口腔保健 学科第3 講義室	摂食嚥下機能の遅滞、重症障害児の摂食訓練	摂食嚥下機能の発達遅滞、遅滞を助長する外部環境因子、異常パターンの定着、重症心身障害児の摂食訓練	綾野 理加, 樺沢 勇司	到達目標:8 講義中、講義後に学習の確認のための演習を行う
7-8	12/2	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	言語聴覚療法	構音発達、機能性構音障害、器質性構音障害(口蓋裂、舌小帯短縮症)について	正木 啓太, 樺沢 勇司	到達目標:9 講義中、講義後に学習の確認のための演習を行う
9-10	12/2	10:45-12:25	遠隔授業	発達障害児の食べる機	顎口腔の先天異常と摂食機能の	岩本 勉 樺	到達目標:1ー8

			(非同期型)	能、発達障害とその対応	発達	沢 勇司	講義中、講義後に学習の確認のための演習を行う
11-12	1/27	10:45-12:25	口腔保健学科第4講義室	障害児・者への口腔健康管理	障害児・者への口腔健康管理の実際	石井 里加子, 樺沢 勇司	
13-14	2/3	10:45-12:25	遠隔授業(非同期型)	障害児・者への口腔健康管理	障害児・者への口腔健康管理の実際と歯科衛生士の役割について	樺沢 勇司	
15	2/3	13:30-14:15	遠隔授業(非同期型)	講義のまとめを行う	講義のまとめを行う	樺沢 勇司	達成目標:すべて
16	2/3	14:25-15:10	口腔保健学科第4講義室	最終試験	学期末の試験を行う	樺沢 勇司	達成目標:すべて

授業方法

遠隔授業(LMSによる非同期型遠隔講義)が中心であるが対面講義も予定しているため注意すること。

非同期型遠隔講義においては指定された動画および講義資料、参考資料などを閲覧し、指示された課題に回答すること。

掲示板を作成するので、講義内容や課題についての感想や質問、コメントを自由に記載して下さい。回答は樺沢より全員に対してあるいは個人的に行うため、十分に活用すること。

対面講義においては、講義中に討論、演習を実施する。

講義についての質問も含めて担当教員(樺沢)までメールでも受け付ける。

講義動画は原則学期末まで公開する。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

各講義後の課題や最終課題により、総合的に評価を行う。

対面講義における演習時の評価や各課題への取り組みも含めて総合的に評価する。

成績評価の基準

「到達目標」に明示している事項について、講義内容より概ね達成できている場合は B、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等について具体的に論述できる場合は B より上とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に指示した教材、アップロードされた資料に目を通して講義に臨むこと。

講義に関する質問については、科目責任者(樺沢)までメールにて適時行うこと。

試験の受験資格

遠隔授業のため、各講義内容に対する課題提出状況を成績付与の参考とする。ただし、定期試験の受験要件には用いない。ただし、成績評価のためにも、対面講義はできる限り出席することが望ましい。

遠隔授業のため、接続に関して問題が生じた場合には、科目責任者(樺沢)までメールで必ず連絡をすること。

教科書

障害者歯科学／全国歯科衛生士教育協議会,向井美恵 [ほか] 著,遠藤圭子 [[ほか] 編集:医歯薬出版, 2023.1

履修上の注意事項

事前に指示した教材、アップロードされた資料に目を通して講義に臨むこと。 講義に関する質問については、科目責任者(樺沢)までメールにて適時行うこと。

備考

担当教員の Office hour

樺沢勇司 健康支援口腔保健衛生学分野 随時 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

樺沢 勇司:平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。

1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022600						
科目名	臨床医学			科目ID			
担当教員	樺沢 勇司, 浦本 賢吾, 杉江 学, 並木 剛, 福田 翔平, 安達 朋宏, 佐藤 信吾, 星野 傑, 具 芳明, 酒井 朋子, 野里 洵子, 神谷 尚宏, 堤 剛, 朝蔭 孝宏, 植木 穰, 橋本 正良, 江花 有亮, 清水 一秀, 藤本 侑花, 堤 剛, 宮島 美穂, 森下 幸治, 朝蔭 孝宏[KABASAWA Yuji, URAMOTO Kengo, SUGIE Manabu, NAMIKI Takeshi, FUKUDA Shohei, ADACHI Tomohiro, SATO Shingo, HOSHINO Takashi, GU Yoshiaki, SAKAI Tomoko, NOZATO Junko, KAMIYA Takahiro, Takeshi Tsutsumi, Takahiro Asakage, UEKI Yutaka, HASHIMOTO Masayoshi, EBANA Yusuke, SHIMIZU Kazuhide, FUJIMOTO Yuka, TSUTSUMI Takeshi, MIYAJIMA Miho, MORISHITA Koji, ASAKAGE Takahiro]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	3	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
科目名:臨床医学 ユニット名:臨床医学 単位数:2(30 時間) 授業形態:遠隔授業(LMS による非同同期型遠隔講義)							
本講義は基礎疾患をもつ患者に対しての適切な口腔保健活動を行なうために必要な臨床医学の修得を目指している。							
主な講義場所 在宅学習							
授業の目的、概要等 基礎疾患をもつ患者に対して、適切な口腔保健活動を行なうために必要な臨床医学の知識を習得するとともに、患者の QOL 向上に寄与する継続的な口腔ケアのための多職種連携および多職種協働について考える。							
授業の到達目標 SBOs 1. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な呼吸器内科疾患の基本的知識を習得する。 2. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な循環器内科疾患の基本的知識を習得する。 3. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な内分泌・代謝内科疾患の基本的知識を習得する。 4. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な消化器内科疾患の基本的知識を習得する。 5. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な神経変性疾患の基本的知識を習得する。 6. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な腎臓内科疾患の基本的知識を習得する。 7. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な血液内科疾患の基本的知識を習得する。 8. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な膠原病・リウマチ内科疾患の基本的知識を習得する。 9. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な脳神経外科疾患の基本的知識を習得する。 10. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な乳腺外科疾患の基本的知識を習得する。 11. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な整形外科疾患の基本的知識を習得する。 12. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な消化器外科疾患の基本的知識を習得する。 13. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な婦人科、産科疾患の基本的知識を習得する。 14. 適切な口腔健康管理を提供するための、多職種との連携に必要な精神科疾患の基本的知識を習得する。 15. 臨床医学を学び、患者さんの全身的疾患を理解した上で、適切な口腔健康管理について検討することができる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/28	17:15-18:00	遠隔授業 (非同同期型)	小児科学	低出生体重児・先天性疾患などについて歯科診療に必要な知識	樺沢 勇司, 杉江 学	到達目標:2 講義において演習課題を行う
2	5/28	18:10-18:55	遠隔授業 (非同同期型)	小児科学 1	小児が罹患しやすい感染症、小児科疾患について歯科診療に必要な知識	樺沢 勇司, 神谷 尚宏	到達目標:2 講義において演習課題を行う

遠隔授業(LMS による非同期型遠隔講義)が中心となる(同期型講義が実施される場合もあり、その場合には事前に連絡を行う) 非同期型遠隔講義においては指定された動画および講義資料、参考資料などを閲覧し、指示された課題に回答すること。 LMS 上の掲示板を作成するので、講義内容や課題についての感想や質問、コメントを自由に記載して下さい。回答は榊沢より全員に対してあるいは個人的に行うため、十分に活用すること。 講義についての質問も含めて担当教員(榊沢)までメールで受け付ける。 講義動画は原則学期末まで公開する。
授業内容 授業スケジュール参照
成績評価の方法 最終課題において理解度を評価する。 課題の提出状況と試験結果等をもって総合的に評価を行う。
成績評価の基準 「到達目標」に明示している事項について、講義内容より概ね達成できている場合は B、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等について具体的に論述できる場合は B より上とする。
準備学習等についての具体的な指示 事前に指示した教材、アップロードされた資料に目を通して講義に臨むこと。 講義に関する質問については、科目責任者(榊沢)までメールにて適時行うこと。
試験の受験資格 今年度は授業への出席状況は成績付与の参考とするが、受験要件には用いない。
モジュールの単位判定 学期末に課題レポートを行なう。 講義毎の課題の提出状況と課題レポート結果を総合的に評価に加味する。
参考書 有病者歯科学：歯科衛生士必須／日本有病者歯科医療学会 編、今井裕 監修、今井 裕、日本有病者歯科医療学会：永末書店、2020 歯科衛生士のための口腔内科 = Oral Medicine for Dental Hygienist：全身と口腔をつなぐオーラルメディスン／山根源之、酒巻裕之、里村一人、野村武史 編著、山根 源之、1946-、酒巻 裕之、里村 一人、：医歯薬出版、2019 メディックメディア社 病気が見える シリーズ に代表される、 看護、医科臨床系教科書など
履修上の注意事項 遠隔授業に関する注意事項について、周知されている内容を随時確認すること。 講義内容等の質問は、科目責任者(榊沢)までメールで随時行うこと。
備考 担当教員の Office hour 榊沢勇司 健康支援口腔保健衛生学分野 随時 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp
オフィスアワー 榊沢 勇司:平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。 1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022272					
科目名	口腔疾患予防応用学			科目ID	DH351604L	
担当教員	吉田 直美, LIAO SHIN RU, 竹内 康雄, 池川 麻衣, 三木 真規子[YOSHIDA Naomi, LIAO SHIN RU, TAKEUCHI Yasuo, IKEGAWA Mai, MIKI Makiko]					
開講時期	2026 年度前期	対象年次	3			
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	対面	
科目名:口腔疾患予防学 ユニット名:口腔疾患予防応用学 時間数:1 単位 15 時間 必要自習時間:各講義 1 時間程度 授業形態:講義・実習						
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室・臨床基礎実習室・相互実習室 遠隔授業(Zoom、WebClass)						
授業の目的、概要等 ・歯・口腔の健康状態を維持するための要因と、予防可能な口腔疾患の種類、その原因と予防法について理解する。 ・歯・口腔の状態把握および歯科予防処置の基本的知識と技術を修得する。						
授業の到達目標 ・う蝕予防と歯周歯科疾患予防の基礎を理解する。 ・歯、口腔(歯、歯肉、歯の付着物・沈着物)状態を把握できる。 ・器具の消毒・滅菌、感染予防、手指の消毒法、偶発事故の予防など生体への配慮の基本を実践しながら、歯科予防処置に必要な知識と技術を修得する。 ・歯科予防処置のうち、歯石除去、歯面清掃、SRP、う蝕予防処置、フッ化物歯面塗布、フッ化物洗口を実施できる。 ・歯科衛生過程にそって、介入および歯科衛生業務記録を記載する。 ・集団を対象としたう蝕予防の処置を計画実践する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/3	13:30-14:15	遠隔授業 (非同期型)	講義 実習のガイダンス	(AL) 試験ケースシミュレーション 実習の進め方	池川 麻衣
2-5	4/8	08:50-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	演習 試験ケースの実 際	(AL) 4 年生試験ケース発表聴講 前期を通じて計画。実施する歯科 衛生介入の参考のため先輩方の 発表に参加する。	池川 麻衣, LIAO SHIN RU
6	5/11	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期型)	講義 試験ケースシミュレーション実習のまとめ にむけて	(AL) リーフレット、プレゼンテーションの作成について	池川 麻衣
7	5/14	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期型)	演習 歯科衛生士の職業性障害	(AL) 作業関連性筋骨格系障害	池川 麻衣
8	5/20	10:45-11:30	口腔保健 学科第3 講義室	演習 歯科衛生業務記録の作成、実習準備	(AL) 情報の整理・解釈、業務記録の記載、 スケーラーの準備	吉田 直美 池川 麻衣, LIAO SHIN RU, 三木 真規子
9-10	5/27	13:30-15:10	口腔保健	講義・演習 歯面清掃器	(AL) 歯面清掃器の実習(株式会社	池川 麻衣, LIAO SHIN RU

			学科臨床 基礎実習 室		社ナカニシ)	AO SHIN R U
11	7/1	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期 型)	歯科衛生業務記録の作 成	(AL)情報の整理・解釈、業務記録 の記載	吉田 直美 池川 麻衣 U AO SHIN R U、三木 真規 子
12	7/1	16:20-17:05	遠隔授業 (非同期 型)	試験ケースシミュレーシ ョン実習のまとめ	(AL)終了報告書の作成・完成 ケ ースプレゼンテーションの準備	吉田 直美 池川 麻衣 U AO SHIN R U、三木 真規 子
13	7/8	17:15-18:00	遠隔授業 (非同期 型)	講義・演習 口腔健康管 理の応用2	(AL)セルフケアを主体とした口 腔健康管理の進め方 OE2 年生 との合同実習の概要	池川 麻衣
14-15	7/13	13:30-15:10	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	ヒューフレディ社 講義	(AL)Dr.Tami Wanless による講義・ 実習	池川 麻衣
16-17	7/29	10:45-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	試験	試験	竹内 康雄 池川 麻衣

授業方法

講義、グループワーク、課題発表、演習、実習を、対面、非同期(WebClass)、同期(Zoom)で行う。

本授業は、「口腔疾患予防応用学実習」、「歯科衛生過程専門演習」と連動している。

質問がある場合、

遠隔授業(同期型)では、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より直接回答もしくはメールで回答します。

遠隔授業(非同期型)では、授業担当者にメールで質問してください。授業担当者が確認後、メールで回答します。

成績評価の方法

・出席状況、定期試験、提出レポート・課題、実技試験などにより総合的評価する。

・プロフェッショナリズムとして、実習態度、学内規則に則る体調報告の有無を総合的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

・2 年次の歯科予防処置、歯科保健指導、口腔疾患予防等に関する復習しておくこと。

試験の受験資格

2/3 以上出席が必要

特別に勘案すべき事情がある場合には、その事情とともに、講義開始前までに科目責任者に、メール等の日時の記録が残る形で連絡すること。

なお、緊急の場合には電話でもよいが、その後メールをすること。

連絡ができないような特別な事情があったと後で判断された場合にはその限りではない。

以上の十分な対応がおこなわれていたと判断された場合には、事情などに応じて対応を考えるが、原則として補講は行わない。

教科書

歯科衛生学シリーズ 保健生態学／全国歯科衛生士教育協議会監修；眞木吉信ほか著,全国歯科衛生士教育協議会,眞木, 吉信,:医歯薬出版, 2023

歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会監修；高阪利美ほか著,全国歯科衛生士教育協議会,高阪, 利美,:医歯薬出版, 2023

参考書

歯科衛生士のためのペリオ・インプラント重要 12 キーワードベスト 240 論文：世界のインパクトファクターを決めるトムソン・ロイター社が選出：Q&Aで深める歯科衛生士臨床／岩野, 義弘,高山, 忠裕,武田, 朋子,松浦, 孝典,水谷, 幸嗣,村上, 恵子,和泉, 雄一,佐藤, 秀一,岩野義弘 [ほか] 著:クインテッセンス出版, 2017.12

目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーション I /Jill S.Nield-Gehrig 著,吉田直美, 小森朋栄 監訳堀江明子, 富田裕子 訳:医歯薬出版, 2009

目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーション II /Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳:医歯薬出版, 2010

目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーション III /Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳:医歯薬出版, 2009

ウィルキンス歯科衛生士の臨床/E・M・ウィルキンス著；遠藤圭子 [ほか] 監訳Wilkins, Esther M.,遠藤, 圭子,中垣, 晴男,西, 真紀子,眞木, 吉信,松井, 恭平,山根, 瞳,若林, 則幸,:医歯薬出版, 2015

目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションIV /Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳Nield-Gehrig, Jill Shiffer, 和泉, 雄一,吉田, 直美,小森, 朋栄,村上, 恵子, 1959-,野村, 正子, 1957-,:医歯薬出版, 2010

よくわかる歯科衛生過程／全国歯科衛生士教育協議会編,全国歯科衛生士教育協議会,:医歯薬出版, 2015

歯科衛生過程 HAND BOOK：歯科衛生士教育サブテキスト：やさしく学べる・これならわかる／吉田直美, 遠藤圭子, 渡邊麻理, 鈴木純子 著,吉田, 直美,遠藤, 圭子,渡邊, 麻理,:クインテッセンス出版, 2015

事例でわかる歯科衛生過程／全国歯科衛生士教育協議会 編,全国歯科衛生士教育協議会,:医歯薬出版, 2019

スウェーデンのすべての歯科医師・歯科衛生士が学ぶトータルカリオロジー /Hansson, Bengt Olof,Ericson, Dan,西, 真紀子,ベクト・オロフ・ハンソン, ダン・エリクソン 著,西真紀子 訳:オールラケア, 2014.3

・ザ・ペリオドントロジー 和泉雄一、沼部幸博、山本松男、木下淳博 編 永末書店

・歯周病診断のストラテジー 吉江弘正、宮田 隆 編 医歯薬出版

・最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 2 微生物学 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版

・臨床歯周病学 吉江弘正、伊藤公一、村上伸也、申 基結 編 医歯薬出版

・チームアプローチで成功させる実践的歯周治療 野口俊英、横田 誠 編 医学情報社

・授業の際に印刷物を配付、または e-learning システム上にアップロードする。

他科目との関連

本科目は、「口腔疾患予防応用学実習」、「歯科衛生過程専門演習」と連動している。

履修上の注意事項

・実習態度いかんによっては、実習停止とすることがある。 ・原則として、欠席した実習について補講は行わないので、必ず全実習に出席すること。 ・欠席の場合、事前に欠席理由と配布資料希望の連絡がない限り資料は配布しない。

備考

AL(演習、実習、課題発表)

前年度履修学生の科目評価で、特段の改善意見がなく、「知識を確認できた」との意見多数であったため、さらに臨床へつなげられる授業編成とする

オフィスアワー

竹内 康雄PM.5:00-PM.6:30 1号館8階812B

時間割番号	022273						
科目名	口腔疾患予防応用学実習			科目ID	DH351605E		
担当教員	吉田 直美, 池川 麻衣, 三木 真規子, 竹内 康雄, 伊藤 奏, 日高 玲奈, 富田 裕子, 米倉 里枝, LIAO SHIN RU, 駒津 匡二, 近藤 圭子, 塚本 恵, 岡田 昌子[YOSHIDA Naomi, IKEGAWA Mai, MIKI Makiko, TAKEUCHI Yasuo, ITO Kanade, HIDAKA Rena, TOMITA Hiroko, YONEKURA Rie, LIAO SHIN RU, KOMATSU Keiji, KONDO Keiko, TSUKAMOTO Megumi, OKADA Masako]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	対面		
科目名:口腔疾患予防学 ユニット名:口腔疾患予防応用学実習 時間数:30 時間×2 単位 60 時間 必要自習時間:各講義 1 時間程度 授業形態:講義・実習							
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室・臨床基礎実習室・相互実習室							
授業の目的、概要等 ・歯・口腔の健康状態を維持するための要因と、予防可能な口腔疾患の種類、その原因と予防法について理解する。 ・歯・口腔の状態把握および歯科予防処置の基本的知識と技術を修得する。							
授業の到達目標 ・う蝕予防と歯周歯科疾患予防の基礎を理解する。 ・歯、口腔(歯、歯肉、歯の付着物・沈着物)状態を把握できる。 ・器具の消毒・滅菌、感染予防、手指の消毒法、偶発事故の予防など生体への配慮の基本を実践しながら、歯科予防処置に必要な知識と技術を修得する。 ・歯科予防処置のうち、歯石除去、歯面清掃、SRP、う蝕予防処置、フッ化物歯面塗布、フッ化物洗口を実施できる。 ・歯科衛生過程にそって、口腔ケアを実施できる。 ・集団を対象としたう蝕予防の処置を計画実践する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	4/9	08:50-11:30	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室	リスク評価 相互実習に向けて	(AL)う蝕、歯周病のリスクアセスメントツールを使用した口腔疾患予防の実際 相互実習使用器具の準備	池川 麻衣	基礎実習の身だしなみ ※PC 持参 ※スケーラー滅菌準備(シャープニング済みのスケーラー、砥石、テストスティック持参)
4-7	4/10	13:30-17:05	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室	実習 相互実習(ケースシミュレーション)1	(AL)アセスメント1 回目(主観情報、歯周組織検査、ブラークチャート等)	竹内 康雄 駒津 匡二 池川 麻衣 LIAO SHIN RU	※PC 持参
8-11	4/15	13:30-17:05	口腔保健	実習 相互実習(ケース	(AL)アセスメント2 回目(口腔内写	竹内 康雄	※PC、USB、相

			学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室	シミュレーション)2	真撮影)	駒津 匡二、 池川 麻衣、 UO SHIN R U	互実習の手引き、 2年次の口腔内 写真撮影の資料
12-15	4/17	13:30-17:05	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室	実習 相互実習(ケース シミュレーション)3	(AL)アセスメント3回目(主観情 報、歯周組織検査、ブラークチャ ート等)	竹内 康雄、 駒津 匡二、 池川 麻衣、 UO SHIN R U	※PC 持参
16-17	4/20	13:30-15:10	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	口腔健康管理の応用1	(AL)セルフケアを主体とした口腔 健康管理:洗口液(Kenvue Inc)	池川 麻衣	基礎実習の身だ しなみ
18-21	5/14	13:30-17:05	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室、第1 総合診療 室	実習 相互実習(ケース シミュレーション)4 臨 床体験実習1	(AL)歯科衛生介入1 /第1総合 診療室2 実習見学/超音波スケー ラー	LIAO SHIN RU、池川 麻 衣、三木 真 規子、駒津 匡二	※PC 持参
22-25	5/21	13:30-17:05	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室、第1 総合診療 室	実習 相互実習(ケース シミュレーション)5 臨 床体験実習2	(AL)歯科衛生介入2 /第1総合 診療室2 実習見学/超音波スケー ラー	LIAO SHIN RU、池川 麻 衣、三木 真 規子、駒津 匡二	※PC 持参
26-27	5/27	15:25-17:05	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室、第1 総合診療 室	歯面清掃器	(AL)歯面清掃器についての実習・ 講義(株式会社ナカニシ) 相互実 習の準備	池川 麻衣、 UO SHIN R U	相互実習の身だ しなみ ※スケ ーラー滅菌準備 (シャープニング 済みのスケーラ ー、砥石、テスト スティック持参)
28-31	5/28	13:30-17:05	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習	実習 相互実習(ケース シミュレーション)6 臨 床体験実習3	(AL)歯科衛生介入3 //第1総合 診療室2 実習見学/超音波スケー ラー	LIAO SHIN RU、池川 麻 衣、三木 真 規子、駒津 匡二	※PC 持参

			室 第1 総合診療 室				
32-35	6/4	13:30-17:05	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室 第1 総合診療 室	実習 相互実習(ケース シミュレーション)7 臨 床体験実習 4	(AL)歯科衛生介入 4 /第1 総合 診療室 2 実習見学/超音波スケー ラー	LIAO SHIN RU, 池川 麻 衣 三木 真 規子, 駒津 匡二	※PC 持参
36-39	6/11	13:30-17:05	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室 第1 総合診療 室	実習 相互実習(ケース シミュレーション)9 臨 床体験実習 6	(AL)評価1 /第1 総合診療室 2 実習見学/超音波スケーラー	LIAO SHIN RU, 池川 麻 衣 三木 真 規子, 駒津 匡二	※PC 持参
40-43	6/17	13:30-17:05	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	実習 相互実習(ケース シミュレーション)10	(AL)評価 2	LIAO SHIN RU, 池川 麻 衣 三木 真 規子, 駒津 匡二	※PC 持参
44-47	6/24	13:30-17:05	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	実習 相互実習(ケース シミュレーション)11	(AL)評価(口腔内写真撮影)	LIAO SHIN RU, 池川 麻 衣, 駒津 匡 二	※PC、USB、2 年 次の口腔内写真 撮影の資料
48-50	7/1	13:30-16:10	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習 根分岐部病変の 評価 OSCE について の説明	(AL)ファークーションブローブの 基本操作	駒津 匡二, 池川 麻衣	基礎実習の身だ しなみ ※顎模 型、頬粘膜、ミラ ー・探針等マネキ ン実習に必要な 器材を持参
51-54	7/8	13:30-17:05	遠隔授業 (同期型)	演習 ケースプレゼンテ ーション 1	(AL)グループ発表	池川 麻衣, L IAO SHIN R U, 三木 真規 子	
55-56	7/15	10:45-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	演習 口腔健康管理の 応用 3 OE2 年生との合 同実習 準備	(AL)OE2 年生との合同実習 実習 準備	池川 麻衣, L IAO SHIN R U	
57-60	7/16	13:30-17:05	口腔保健 学科臨床	実習 口腔健康管理の 応用 4 OE2 年生との合	(AL)OE2 年生との合同実習 業 務記録の作成 歯科衛生実地指	竹内 康雄, 駒津 匡二	相互実習の身だ しなみ ※スケ

			基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室	同実習	導報告書の作成	池川 麻衣、LI AO SHIN R U	ーラー滅菌準備 (シャープニング 済みのスケーラ ー、砥石、テスト スティック持参)
61-64	7/22	13:30-17:05	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室、口腔 保健学科 第4講義 室	OSCE	OSCE	竹内 康雄、 駒津 匡二、 池川 麻衣、 伊藤 奏、日 高 玲奈、LIA O SHIN RU、 近藤 圭子、 富田 裕子、 米倉 里枝、 三木 真規子、 吉田 直美	グループ別の開 始・終了時間は異 なります。 詳細 については別途 説明します。

授業方法

実習、演習、講義、グループワーク、課題発表を、対面、同期型遠隔授業(Zoom)で行う。

本授業は、「口腔疾患予防応用学」、「歯科衛生過程専門演習」と連動している。

質問がある場合、

遠隔授業(同期型)では、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より直接回答もしくはメールで回答します。

成績評価の方法

- ・出席状況、定期試験、提出レポート・課題、実技試験などにより総括的評価する。
- ・プロフェッショナリズムとして、実習態度、学内規則に則る体調報告の有無を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
- ・2 年次の歯科予防処置、歯科保健指導、口腔疾患予防等に関する復習しておくこと。

試験の受験資格

3/4 以上の出席が必要

特別に勘案すべき事情がある場合には、その事情とともに、講義開始前までに科目責任者に、メール等の日時の記録が残る形で連絡すること。

なお、緊急の場合には電話でもよいが、その後メールをすること。

連絡ができないような特別な事情があったと後で判断された場合にはその限りではない。

以上の十分な対応がおこなわれていたと判断された場合には、事情などに応じて対応を考えるが、原則として補講は行わない。

教科書

歯科衛生学シリーズ 保健生態学／全国歯科衛生士教育協議会監修；眞木吉信ほか著、全国歯科衛生士教育協議会、眞木、吉信、医歯薬出版、2023

歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会監修；高阪利美ほか著、全国歯科衛生士教育協議会、高阪、利美、医歯薬出版、2023

参考書

ペリオドンタル・デブライドメント：“超音波”を攻略せよ：プラス 1／大野、純一、光家、由紀子、加藤、雄大、倉治、竜太郎、大野純一 編著、光

家由紀子, 加藤雄大, 倉治竜太郎 著:医歯薬出版, 2024.9 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅠ／Jill S.Nield-Gehrig 著,吉田直美, 小森朋栄 監訳:医歯薬出版, 2009 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅡ／Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳:医歯薬出版, 2010 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅢ／Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳:医歯薬出版, 2009 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅣ／Nield-Gehrig, Jill Shiffer,和泉 雄一,吉田 直美,小森 朋栄,村上 恵子,1959-野村, 正子, 1957-,Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳:医歯薬出版, 2010.4 スウェーデンのすべての歯科医師・歯科衛生士が学ぶトータルカリオロジー／Hansson, Bengt Olof,Ericson, Dan,西 真紀子,ベンクト・オロフ・ハンソン, ダン・エリクソン 著,西真紀子 訳:オーラルケア, 2014.3 歯科衛生士のためのペリオ・インプラント重要 12 キーワードベスト 240 論文：世界のインパクトファクターを決めるトムソン・ロイター社が選出：Q&A で深める歯科衛生士臨床／岩野 義弘,高山 忠裕,武田 朋子,松浦 孝典,水谷 幸嗣,村上 恵子,和泉 雄一,佐藤 秀一,岩野義弘 [ほか] 著:クインテッセンス出版, 2017.12 ウィルキンス歯科衛生士の臨床／Wilkins, Esther M,遠藤 圭子,中垣 晴男, 1945-,西 真紀子,E・M・ウィルキンス 著,遠藤圭子, 中垣晴男, 西真紀子, 眞木吉信, 松井恭平, 山根瞳, 若林則幸 監訳:医歯薬出版, 2015.7
他科目との関連 本実習は「口腔疾患予防応用学」、「歯科衛生過程専門演習」と連動している。
履修上の注意事項 ・実習態度いかんによって、実習中止とすることがある。 ・スキルスラボ等の利用による技術に関わる自己学習を奨励する。 ・原則として、欠席した実習について補講は行わないので、必ず全実習に出席すること。 ・欠席の場合、事前に欠席理由と配布資料希望の連絡がない限り資料は配布しない。
備考 AL(実習、グループディスカッション、ケース演習、発表など)を行う。 前年度履修学生の科目評価で、特段の改善意見がなく、「実践できて勉強になった」との意見多数であったため、さらに臨床へつなげられる授業編成とする
オフィスアワー 竹内 康雄PM.5:00-PM.6:30 1号館8階812B 伊藤 奏随時(メールにて事前にアポイントメントをとること) 1号館8階 817B

時間割番号	022610A						
科目名	健康教育の企画と実践 I (ユニット)			科目 ID			
担当教員	吉田 直美, 内田 佳代, 高橋 礼奈, 池川 麻衣, 鈴木 瞳, LIAO SHIN RU, 木野 志保[YOSHIDA Naomi, UCHIDA Kayo, TAKAHASHI Rena, IKEGAWA Mai, SUZUKI Hitomi, LIAO SHIN RU, KINO Shiho]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	対面		
科目名:健康教育の企画と実践 I 時間数:30 コマ+試験 必要自習時間:1 コマにつき 1 時間程度 授業形態:講義 8 コマ・演習 18 コマ、実習 4 コマ							
主な講義場所 1 号館 7 階第 3 講義室、学外施設							
授業の目的、概要等 ・地域歯科保健活動を展開するために必要なアセスメント、ニーズ診断、企画立案能力を高めるとともに、介入後の変化を評価する手法を培う。 ・ライフステージごとの健康課題に応じた健康教育の計画立案、実践を行う。							
授業の到達目標 1.ライフステージごとの健康課題を説明する。 2.多様なライフステージの歯科衛生ニーズを把握する。 3.小学生および幼稚園児対象の健康教育を企画立案し、実践する。 4.健康教育実施後の健康行動の変容を評価する							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	4/17	09:45-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	小学校低学年児童への 健康教育 1	授業スケジュール 小学校 1・2年生への口腔健康教育について 対象者の理解 指導案および指導用媒体とは	吉田 直美 内田 佳代 安達 奈穂子	目標1.3 グループワーク
4-6	4/21	09:45-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	小学校低学年児童への 健康教育2	グループごとにテーマおよび概要決定、媒体の確認 グループディスカッション	吉田 直美 内田 佳代	目標1.3 グループワーク
7-9	4/24	13:30-16:10	口腔保健 学科第3 講義室	小学校低学年児童への 健康教育 3	グループディスカッション (指導案、媒体作成)	吉田 直美 内田 佳代	目標1.3 グループワーク
10-12	5/7	13:30-16:10	口腔保健 学科第3 講義室	小学校低学年児童への 健康教育 4	グループワーク (指導案の大枠完成、媒体案の決定)	吉田 直美 内田 佳代	目標1.2.3 グループワーク
13-14	5/14	10:45-12:25	口腔保健	小学校低学年児童への	グループワーク (指導案の大枠	吉田 直美	目標1-3 グループワーク

			学科第3 講義室	健康教育 5	完成、媒体案の決定)	内田 佳代	プワーク
15-17	5/21	09:45-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	小学校低学年児童への 健康教育 6	グループワーク (指導案、媒体 完成し、事前練習と修正)	吉田 直美 内田 佳代 高橋 礼奈	目標1-3 グルー プワーク
18-19	5/25	13:30-15:10	口腔保健 学科第3 講義室	小学校低学年児童への 健康教育 7	グループワーク(実演による振り 返り、修正)	吉田 直美 内田 佳代 高橋 礼奈	目標1-3 グルー プワーク
20-21	5/29	09:45-11:30	口腔保健 学科第3 講義室	小学校低学年児童への 健康教育 8	OH2との合同授業(役割分担に関 しての情報共有) 直前準備練習練 習	吉田 直美 内田 佳代	目標1-3 グルー プワーク
22-23	6/1	13:30-15:10	口腔保健 学科第3 講義室	小学校低学年児童への 健康教育 9	事前準備	吉田 直美 内田 佳代 高橋 礼奈	最終確認
24-26	6/2	08:50-11:30	その他	小学校における口腔健 康教育の実践	T小学校での口腔健康教育実習	吉田 直美 内田 佳代 高橋 礼奈	目標1-3 実習 引率:
27	6/2	11:40-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	小学校における口腔健 康教育の実践	T小学校での口腔健康教育実習実 施後の振り返り	吉田 直美 内田 佳代	目標1-3 実習 引率:
28-30	6/4	09:45-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	幼児への健康教育 1	対象の理解、教育媒体の作成	吉田 直美 内田 佳代	目標1-3 グルー プワーク (続き は健康教育の企 画と実践Ⅱへ)
31-32	7/10	13:30-15:10	口腔保健 学科第3 講義室	期末試験	期末試験	吉田 直美 内田 佳代	TA: 追・再試験 は 7/14(火)8:50~ を予定

成績評価の方法

成績評価は、以下 3 つの項目により行われる。

- 1) 筆記試験: 講義・実習にて学んだ知識を問う試験を行う。
- 2) グループワークの課題(アンケート分析、指導案等): 健康教育の対象者について、適切な情報収集と分析がなされているか、さらにそれらを踏まえ健康教育の計画立案が行われているかを判断する。
- 3) 出席・参加態度・参加状況: 出席回数(ただし、3/4 以上の出席がない場合には、評価の対象外となるので注意すること)、応答での活発な発言などの積極的な参加態度を評価する。

成績評価の基準

以下 3 つの項目で評価を行い、それぞれ 50%、30%、20%とする。

1) 筆記試験

授業の到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。

2) グループワークの課題

課題は提出期限までに提出された場合に評価を行う。対象者についてデータを用いて適切に分析、評価ができているか、対象者の特性に応じた指導計画が立案されているか等を評価する。

3) 出席・参加態度・参加状況: 積極的な参加が求められる。グループワークへの積極的な参加やリーダーシップ、活発な発言など主体的な態度が見られた場合には加点する。

準備学習等についての具体的な指示

・事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

・2 年次の健康教育にて使用した資料・教本を確認しておくこと。

試験の受験資格

- ・3/4 以上の出席
- ・出席時間不足の場合は、受験することができない。
- ・特別に勘案すべき事情があるために授業に参加できない場合には、その事情とともに授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

教科書

歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版／全国歯科衛生士教育協議会、高阪利美 ほか 著：医歯薬出版、2025.1

履修上の注意事項

- ・特に指示がある場合を除き、授業中に動画・画面を撮影することを禁止する
- ・講義資料等を受講者以外に配布・公開することを禁止する
- ・授業日時・内容・実施方法(場所)が変更になる場合には、メール等にて周知するので、メールは確実に確認をすること

備考

演習 実習

前年度履修学生の科目評価で、特段の改善意見がなかったため、前年度と同様の授業編成とする

オフィスアワー

吉田 直美オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

時間割番号	022610B						
科目名	健康教育の企画と実践Ⅱ(ユニット)				科目ID		
担当教員	吉田 直美, 池川 麻衣, 駒津 匡二, 高橋 礼奈[YOSHIDA Naomi, IKEGAWA Mai, KOMATSU Keiji, TAKAHASHI Rena]						
開講時期	2026 年度通年	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する				授業形態	対面	
講義 13 時間 実習 9 時間(幼稚園実習) 演習 8 必要自習時間:1 コマにつき 1～2 時間							
主な講義場所 第3 講義室 一部臨床基礎実習室							
授業の目的、概要等 ・ライフステージごとの健康課題に応じた健康教育の計画立案、実践、評価を行う。 ・口腔健康教育の実践に必要な知識・技術・態度を修得し、実践力を培う。							
授業の到達目標 ・ライフステージごとの健康課題を説明する。 ・小学生および幼稚園児対象の健康教育を企画立案し、実践する。 ・健康教育実施後の健康行動の変容を評価する ・周術期の口腔健康管理の意義と方法を概説する ・海外事情スウェーデンの様子と口腔衛生用具などについて概説する ・動機づけ面接の重要性を説明する。 ・動機づけ面接の基本スキルを実演する。 ・動機づけ面接演習において患者役に配慮する。 ・インプラントの特徴とセルフケアの重要性を説明する。 ・職能団体の意義とその活動を説明する。 ・地域在住高齢者への対応を説明する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	6/17	9:45-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	園児への健康教育の企画	AL グループワーク（指導案の大枠完成、媒体案の決定）	吉田 直美 内田 佳代	
4-5	6/18	08:50-10:30	口腔保健 学科第3 講義室	園児への健康教育の企画	グループワーク（指導案、媒体完成し、事前練習と修正）	吉田 直美 内田 佳代 高橋 礼奈	
6-9	6/22	8:50-12:25	その他	園児への健康教育の実践(N 保育園における実践)	保育園における園児への健康教育実践	吉田 直美 内田 佳代 高橋 礼奈	
10-11	7/24	10:45-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	健康教育実践後の振り返り	健康教育実践後の振り返り	吉田 直美 内田 佳代 高橋 礼奈	
12-14	10/6	8:50-11:30	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	全身疾患を有する患者へ口腔健康管理	口腔衛生管理と口腔機能管理	高橋 礼奈	講師:サンスター 歯科衛生士

15-17	10/27	9:45-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	スポーツ歯科	スポーツ歯科における歯科衛生 士の役割	池川 麻衣 高橋 礼奈	
18-19	11/4	10:45-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	インプラント患者への口 腔健康管理	インプラントの特徴とセルフケア の重要性	駒津 匡二 高橋 礼奈	
20-21	11/17	10:45-12:25	遠隔授業 (同期型)	周術期等への口腔健康 管理		高橋 礼奈	講師:鈴木瞳(非 常勤講師)先生
22-24	12/1	9:45-12:25	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	海外における歯科保健 医療活動	スウェーデンの歯科事情	高橋 礼奈	講師:小林先生ほ か(クロスフィール ド)
25-26	12/9	9:45-11:30	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者の口腔健康管理	高齢者の口腔健康管理	高橋 礼奈	講師:白部麻樹 (東京都長寿健康 センター)
27-28	12/15	08:50-10:30	口腔保健 学科第3 講義室	がん患者の口腔管理・ 口腔支持療法	がん患者の口腔管理・口腔支持療 法	吉田 直美 高橋 礼奈	講師:がんセンタ ー中央病院八岡 先生
29-30	12/15	10:45-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	合同授業	合同授業(1-3 年生)	吉田 直美 木野 志保 高橋 礼奈	
31-32	1/19	10:45-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	期末試験	期末試験	高橋 礼奈	

成績評価の方法

期末試験 80%、課題 20%による総括的評価を行う。受講態度、出席状況等を総括的評価に加味する。

・課題締め切りは、授業日を含め 5 日以内とする。何らかの理由で提出できない場合は、締切日時より前にメールで連絡すること。連絡なしで未提出の場合は、評価できないので注意すること。

準備学習等についての具体的な指示

・事前配布資料や e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席。

出席確認

・対面の場合の出席管理は、教室のカードタッチによる記録で確認する。

教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論 第 2 版／全国歯科衛生士教育協議会 監修,高阪利美 ほか著,：医歯薬出版, 2020

参考書

マンガでわかる!歯科臨床での動機づけ面接超入門：患者さんがみるみる変わる、スタッフも楽になる／吉田 直美,新田 浩,磯村 毅うさっぱ,吉田直美, 新田浩, 磯村毅 著,うさっぱ 著・マンガ:クインテッセンス出版, 2024.5

新歯科保健指導ハンドブック：ライフコースに沿った歯・口腔の健康づくりの展開にむけて／日本歯科衛生士会,小方 頼昌, 1959-,三浦, 宏子,吉田, 直美,日本歯科衛生士会 監修,小方頼昌, 三浦宏子, 吉田直美 編集:医歯薬出版, 2024.10

他科目との関連

・健康教育を実践するためには、多岐にわたる内容を学ぶ必要があるため、本授業内容はもとより、他科目と関連する内容を予習や復習で確認しておくこと。 ・一部チーム医療の基礎などと他科目との重複する内容が含まれるが、実践に必要なことであるので、どちらでも説明できるよう、繰り返し学ぶこと

備考

・実習、演習、講義が含まれ、通年で行われる。

・前年度履修学生の科目評価の他科目と重複していたので、その旨をシラバス上で記載してほしいの指摘をもとに、他科目との関連として、記載して改善を行った

時間割番号	022640D						
科目名	歯科診療補助論Ⅲ(ユニット)			科目ID			
担当教員	日高 玲奈, 西山 暁, 樺沢 勇司, 服部 麻里子, 下岸 将博, 土田 優美, 津野 美香, LIAO SHIN RU, 駒津 匡二, 山本 麻衣子, 柴崎 真樹[HIDAKA Rena, NISHIYAMA Akira, KABASAWA Yuji, HATTORI Mariko, SHIMOGISHI Masahiro, TSUCHIDA Yumi, TSUNO Mika, LIAO SHIN RU, KOMATSU Keiji, YAMAMOTO Maiko, SHIBASAKI Masaki]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	対面		
主な講義場所							
Zoom、WebClass、口腔保健学科第3 講義室・臨床基礎実習室・相互実習室							
授業の目的、概要等							
・歯科臨床の場で必要な知識・器材の取扱い・技術を理解し、歯科衛生士に必要な基本的な技術を身につける。 ・口腔保健・歯科医療の変遷と現状、歯科医療従事者の種類と役割、歯科診療の概要を理解する。							
授業の到達目標							
・ 器材の種類・特性・用途を理解する。 ・ 患者の誘導の方法・患者とのコミュニケーションの取り方を理解する。 ・ チーム医療に必要な技能を理解し実践する。 ・ 各科で必要な器材を選択し、診療の流れにそって説明できる。 ・ バイタルサイン(意識レベルを含む)を測定し、判断できる。 ・ 救急蘇生について説明し、ダミーを使用し体験する。 ・ 歯科患者の特徴、心理状態を理解し説明できる。 ・ ライフサイクルに合わせた、歯科衛生士の関わりを理解する。 ・ 歯科診療報酬について理解する							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	4/8	13:30-16:10	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯科補綴関連実習 1	各種印象材の取扱い(基礎実習)	日高 玲奈	基礎実習
4-7	4/16	13:30-17:05	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	歯科補綴関連実習 1	各種印象材の取扱い(相互実習)	駒津 匡二, 日高 玲奈, LIAO SHIN RU	相互実習
8-9	4/23	09:45-11:30	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯科保存処置関連実習	防湿法について ラバーダム防湿法(基礎実習)	日高 玲奈, 池川 麻衣	実習
10-12	5/22	13:30-16:10	遠隔授業 (同期型)	顎顔面補綴学 顎顔面補綴治療の実際 1	顎顔面補綴学が対応する症例、補綴症例 顎顔面補綴治療における口腔衛生指導	日高 玲奈, 服部 麻里子	個人課題の提出
13-14	5/25	09:45-11:30	口腔保健 学科第3 講義室	歯科保険について	社会保障制度の体系と医療保険	日高 玲奈	個人課題の提出
15-17	5/27	08:50-11:30	口腔保健	医療安全について	医療安全に関する事例検討	西山 暁 日	グループ討論、

			学科第3 講義室			高 玲奈	グループおよび 個人課題の提出
18-21	6/15	13:30-17:05	遠隔授業 (同期型)	インプラントの臨床と制 作過程	インプラントの歴史、手技、管理 インプラントの埋入法、補綴法	日高 玲奈、 下岸 将博、 津野 美香	グループ討論、 グループおよび 個人課題の提出
22	6/18	16:20-17:05	遠隔授業 (非同期 型)	歯科補綴関連実習 3	口腔内スキャナーについて	日高 玲奈、 土田 優美	歯科診療補助実 習Ⅱの口腔内ス キャナー実習日 までに視聴するこ と
23-26	7/6	13:30-17:05	口腔保健 学科第3 講義室	歯科補綴関連実習 4	口腔内スキャナーについて	日高 玲奈、 土田 優美、 UO SHIN R U	口腔内スキャナ ー実習(工学専攻 と合同)
27-28	7/8	09:45-11:30	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室	外科手術における診療 補助	手術用ガウンの着用方法、メス、 縫合針の取り扱い、器材の展開方 法	樺沢 勇司、 日高 玲奈、 池川 麻衣	実習
29-31	7/13	15:25-18:00	遠隔授業 (非同期 型)	顎顔面補綴学 顎顔面 補綴治療の実際 2	顎顔面補綴治療の実際に求めら れる心理ケア 顎顔面補綴治療 におけるチーム医療	日高 玲奈、 服部 麻里子	個人課題の提出
32-33	7/29	08:50-10:30	口腔保健 学科第3 講義室	期末試験	期末試験	日高 玲奈	

授業方法

【非同期授業】

指定された動画や講義資料、参考資料を閲覧し、指示にあるように課題を提出する。課題にはそれぞれ期限が設けられているため、必ず確認を行うこと。原則、授業設定時間までには資料を掲示するが、それ以外の場合には適宜指示を行う。

質問は原則メール(n-rena.ohcw@tmd.ac.jp)にて対応もしくは実習時などに直接受けつける。いずれにおいても、課題提出期限内に行うことが前提である。

【同期授業】

同期授業の場合、多くは事前に授業配布資料を WebClass へ掲示する。適宜確認の上、必ず手元に準備した上で授業に臨むこと。

授業中、質問等ある場合、ミュートを外して直接発言もしくはチャットにて発言を認める。質問や意見は積極的に行うことが望ましい。

授業内でグループワークを行うことがあるが、その際にも積極的な発言や意見交換が行われることが望ましい。

【実習】

原則対面で行うため、常に感染対策を徹底して参加すること。マスク(白・不織布)の常時着用に加え、ゴーグルもしくはフェイスシールドの着用が必要である。そのほか実習ごとに必要物品が異なるので別途指示する。指示した物品を持参しない場合には、実習に参加できない可能性がある。

授業内容

授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。

成績評価の方法

- ・筆記試験、提出課題により総括的評価する。
- ・出席状況、意欲・授業態度を総括的評価に加味する。

成績評価の基準

・出欠状況を基準点とする(100%の出席であれば100点満点、80%の出席であれば80点満点で換算する) ・筆記試験により60点を超すことで試験は合格とする。60点以下の場合、再試験の対象となる。 ・筆記試験と提出課題を適宜重み付けし評価する。しかし、再試験受験者においては筆記試験の点数は60点が最高点となるため注意すること。 ・最終的には、上述の評価に加え、平常点等を考慮して判断する。
準備学習等についての具体的な指示 ・e-learningに事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClassへのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。 ・事前に資料の配布、e-learningへのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 ・欠席の場合、事前に欠席理由と配布資料希望の連絡がない限り資料は配布しない。
試験の受験資格 1)3分の2以上の出席を満たしていることが条件である。 2)非同期授業の場合には、提示した課題を期限内に提出することで出席と認める。質問等ある場合には、必ず期限内に申し出ること。 3)Zoomによる同期授業の場合は必ず顔を確認して本人が出席していることを確認した上で受講と認める。さらに、ログイン記録を参照し、所定の時間より大幅に時間が足りない場合には遅刻もしくは欠席と判断する。ただし、ネット環境等の問題で参加を試みたが参加できない場合、必ず授業時間内に日高(n-rena.ohcw@tmd.ac.jp)に連絡すること。連絡があった場合のみ、事後の動画視聴および課題提出によって出席と認める。 4)実習は、実習にふさわしい身だしなみを整えた上で開始時間前に着席していた場合に出席とみなす。着席していても身だしなみが不十分だった場合には遅刻とみなすため注意すること。また、授業開始前には必ずカードリーダーへタッチし、出席の記録をすること。万が一忘れた場合には、必ず自ら授業担当教員に申し出ること。 5)授業出席については自身で管理を徹底し、万が一何か不安や疑問がある場合には、必ず事前に日高まで連絡すること。
教科書 歯科診療補助論 第2版／全国歯科衛生士教育協議会、合場千佳子 ほか 編：医歯薬出版、2025.2 歯科衛生士のための歯科診療報酬入門 2024-／日本歯科衛生士会、鳥山、佳則、田口、円裕、吉田、直美、金澤、紀子、武藤、智美、日本歯科衛生士会 監修、鳥山佳則 ほか 編集：医歯薬出版、2024.6
参考書 歯科衛生士のための成功へ導くインプラントアシスタント／塚原、宏泰、塚原宏泰 著：医歯薬出版、2020.9 歯科材料／末瀬 一彦、1951-、全国歯科衛生士教育協議会、末瀬一彦 ほか 著：医歯薬出版、2023.1 歯科機器／全国歯科衛生士教育協議会、末瀬一彦 ほか 著、合場千佳子 [ほか] 編集：医歯薬出版、2023.1 口腔インプラント治療指針／日本口腔インプラント学会、日本口腔インプラント学会 編：医歯薬出版、2024.6
他科目との関連 ・2年生の臨床歯科医学(歯科保存学、歯科補綴学、口腔外科・歯科麻酔学、小児歯科学)の講義内容を復習して授業に臨むこと。
履修上の注意事項 ・教科書「歯科診療補助論 第2版」を必携とする。・講義場所が実習室となっている場合は、必ず実習の身だしなみを整えた状態で、授業開始時間までに実習室に集合すること。授業開始時間までに身だしなみが整っていない場合は、遅刻扱いとする。・実習に欠席しても、原則的に補講は行わないため、必ず実習に出席すること。

時間割番号	022640E						
科目名	歯科診療補助実習Ⅱ(ユニット)				科目ID		
担当教員	日高 玲奈, 大竹 志保, 樺沢 勇司, 木村 俊介, 瀧田 美奈, LIAO SHIN RU, 津野 美香, 下岸 将博, 和田 奏絵, 河内 亜希, 駒津 匡二, 高橋 礼奈, 伊藤 奏, 内田 佳代, 田端 倫子, 平石 典子, 杉本 明日菜, 鈴木 瞳, 松村 朋香, 安達 奈穂子, 山本 麻衣子, 馬場 有希子, 木村 俊介[HIDAKA Rena, OTAKE Shiho, KABASAWA Yuji, KIMURA Shunsuke, TAKITA Mina, LIAO SHIN RU, TSUNO Mika, SHIMOGISHI Masahiro, WADA Kanae, KAWAUCHI Aki, KOMATSU Keiji, TAKAHASHI Rena, ITO Kanade, UCHIDA Kayo, TABATA Tomoko, HIRAISHI Noriko, SUGIMOTO Asuna, SUZUKI Hitomi, MATSUMURA Tomoka, ADACHI Naoko, YAMAMOTO Maiko, BABA Yukiko, KIMURA Shunnsuke]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する				授業形態	対面	
主な講義場所							
WebClass、口腔保健学科第3講義室・臨床基礎実習室・相互実習室など							
授業の目的、概要等							
・歯科臨床の場で必要な知識・器材の取扱い・技術を理解し、歯科衛生士に必要な基本的な技術を身につける。 ・口腔保健・歯科医療の変遷と現状、歯科医療従事者の種類と役割、歯科診療の概要を理解する。							
授業の到達目標							
・ 器材の種類・特性・用途を理解する。 ・ 診療に必要な器械・材料・薬品の適切な準備と取り扱いを行う。 ・ 器材の特性にあわせ、滅菌・消毒を行う。 ・ 器材の管理の方法を説明できる。 ・ 患者の誘導の方法・患者とのコミュニケーションの取り方を理解する。 ・ チーム医療に必要な技能を理解し実践する。 ・ 各科で必要な器材を選択し、診療の流れにそって説明できる。 ・ バイタルサイン(意識レベルを含む)を測定し、判断できる。 ・ 救急蘇生について説明し、ダミーを使用し体験する。 ・ 歯科患者の特徴、心理状態を理解し説明できる。 ・ ライフサイクルに合わせた、歯科衛生士の関わりを理解する。 ・ 歯科保健医療に関わる職種をあげ、それぞれの役割を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	4/10	09:45-12:25	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯科保存処置関連実習 1	器材の取り扱いの実際(接着材)	日高 玲奈 高橋 礼奈	実習(基礎)
4-6	4/22	13:30-16:10	7号館3 階歯学科 実習室1	歯科補綴関連実習1	暫間被覆冠の種類と作製の実際	日高 玲奈 瀧田 美奈 大竹 志保	実習(基礎) 実 習ライター:大石 弥生先生、殷悦 先生、尾崎太亮 先生
7-9	5/12	09:45-12:25	7号館5 階歯学科 実習室3	歯科保存処置関連実習 2	器材の取り扱いの実際(充填物)	日高 玲奈 高橋 礼奈	実習(基礎)
10-12	5/15	09:45-12:25	口腔保健 学科臨床 基礎実習	救急蘇生法の実際	救急蘇生法実習	河内 亜希, 樺沢 勇司, 日高 玲奈, L	実習(基礎)

			室 口腔 保健学科 相互実習 室			AO SHIN R U 内田 佳代	
13-17	5/29	13:30-18:00	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	小児歯科関連実習	小児における診療補助の実際(相互実習)	日高 玲奈 和田 奏絵 池川 麻衣 伊藤 奏	実習(相互) 講師:黒厚子 璃佳 先生
18-21	6/1	08:50-12:25	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	口腔外科・歯科麻酔関連実習	浸潤麻酔、静脈確保の実際	樺沢 勇司, 日高 玲奈, 駒津 匡二, 河内 亜希, 伊藤 奏, 内 田 佳代	実習(基礎・相互)
22-25	6/25	13:30-17:05	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インプラントの臨床と診療補助	インプラント治療における歯科診療補助の実際	津野 美香, 日高 玲奈, 下岸 将博, U AO SHIN R U	実習(基礎)
26-30	7/9	13:30-18:00	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	歯科保存処置関連実習 3	防湿法の実際 ラバーダム防湿 法演習	木村 俊介, U AO SHIN R U, 日高 玲奈, 内田 佳代	実習(相互)

授業方法

【非同期授業】

指定された動画や講義資料、参考資料を閲覧し、指示にあるように課題を提出する。課題にはそれぞれ期限が設けられているため、必ず確認を行うこと。原則、授業設定時間までには資料を掲示するが、それ以外の場合には適宜指示を行う。

質問は原則メール(n-rena.ohcw@tmd.ac.jp)にて対応もしくは実習時などに直接受けつける。いずれにおいても、課題提出期限内に行うことが前提である。

【実習】

実習内容ごとに必要な物品が異なるため、随時指示する。万が一、紛失や忘れがあった場合には、必ず授業開始前に自己申告し、教員へ相談すること。場合によっては実習の参加を認めないこともある。

授業内容

授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。

成績評価の方法

- ・筆記試験(歯科診療補助Ⅲを含む)、実技試験、実習評価、提出課題により総括的評価する。
- ・出席状況、意欲・授業態度を総括的評価に加味する。

成績評価の基準

- ・出席点を基準点とする(100%の出席率であれば、100 点満点。80%であれば、80 点満点)
- ・筆記試験(歯科診療補助Ⅲの試験含む)、実技試験(3 年前期 OSCE の結果を反映)、実習評価および提出課題を適宜重み付けし、100 点満点として評価する。ただし、再試験の場合は筆記試験は上限 60 点満点として評価する。
- ・最終的には、上述の評価に加え、平常点等を考慮して判断する。

準備学習等についての具体的な指示

- ・e-learning に事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。
- ・事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。
- ・欠席の場合、事前に欠席理由と配布資料希望の連絡がない限り資料は配布しない。
- ・実習態度いかんによって、実習中止とすることがある。
- ・スキルスラボ等を積極的に利用し、技術習得のため自己学習に励むこと。

試験の受験資格

- 1) 4 分の 3 以上の出席を満たしていることが条件である。
- 2) 非同期授業の場合には、提示した課題を期限内に提出することで出席と認める。質問等ある場合には、必ず期限内に申し出ること。
- 3) 実習は、実習にふさわしい身だしなみを整えた上で開始時間前に着席していた場合に出席とみなす。着席していても身だしなみが不十分だった場合には遅刻とみなすため注意すること。また、授業開始前には必ずカードリーダーへタッチし、出席の記録をすること。万が一忘れた場合には、必ず自ら授業担当教員に申し出ること。
- 4) 授業出席については自身で管理を徹底し、万が一何か不安や疑問がある場合には、必ず事前に日高まで連絡すること。

教科書

歯科診療補助論／合場 千佳子, 全国歯科衛生士教育協議会, 合場千佳子 ほか 著: 医歯薬出版, 2017.3
歯科衛生士のための補綴科アシストハンドブック／宮田 孝義, 1946-; 三浦 英司, 1957-; 宮田孝義, 三浦英司 著: 学建書院, 2018.3
歯科衛生士のための成功へ導くインプラントアシスタント／塚原 宏泰, 塚原宏泰 著: 医歯薬出版, 2020.9

参考書

口腔インプラント治療指針／日本口腔インプラント学会, 日本口腔インプラント学会 編: 医歯薬出版, 2016.4
・最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版
・よくわかる口腔インプラント学 赤川安正、松浦正朗編 医歯薬出版
・声と言葉のしくみ 亀田和夫 口腔保健協会
・口唇裂口蓋裂の補綴治療 大山喬史編 医歯薬出版社
・顎顔面補綴の臨床 大山喬史・谷口 尚著 医学情報社
・言語聴覚士に必要な歯科の知識 谷口 尚・片倉伸郎・大野友久・墨田由香著 インテルナ出版

履修上の注意事項

- ・2 年生の臨床歯科医学(歯科保存学、歯科補綴学、口腔外科・歯科麻酔学、小児歯科学)の講義内容を復習して授業に臨むこと。

備考

- ・教科書「歯科診療補助論 第 2 版」を必携とする。
- ・講義場所が実習室となっている場合は、必ず実習の身だしなみを整えた状態で、授業開始時間までに実習室に集合すること。授業開始時間までに身だしなみが整っていない場合は、遅刻扱いとする。
- ・実習に欠席しても、原則的に補講は行わないため、必ず実習に出席すること。

時間割番号	022280						
科目名	歯科衛生臨床実習Ⅰ			科目ID	DH374401E		
担当教員	LIAO SHIN RU, 内田 佳代, 竹内 康雄, 駒津 匡二, 池川 麻衣, 鈴木 瞳, 近藤 圭子, 樺沢 勇司[LIAO SHIN RU, UCHIDA Kayo, TAKEUCHI Yasuo, KOMATSU Keiji, IKEGAWA Mai, SUZUKI Hitomi, KONDO Keiko, KABASAWA Yui]						
開講時期	2026 年度後期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	対面		
科目名: 歯科衛生臨床実習 ユニット名: 歯科衛生臨床実習Ⅰ 必要時間数: 45 時間×7 単位 315 時間 必要自習時間: 各実習 1 時間程度 授業形態: 実習							
主な講義場所 大学病院							
授業の目的、概要等 ・歯科診療施設において、チーム医療の一員として、対象者本位の歯科予防処置・歯科保健指導・歯科診療の補助を実践するために必要な態度・知識・技術を習得する。							
授業の到達目標 ・対象者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出・整理する。 ・対象者の不安・不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。 ・歯科ユニット各部の名称と機能を説明できる。 ・診療に必要な器材を説明する。 ・診療室への患者の誘導を適切にできる。 ・対象者に挨拶して自己紹介できる。 ・対象者との信頼関係を築くことができる。 ・個人的、社会的背景等が異なる対象者に、わけへだてなく対応できる。 ・対象者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 ・必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。 ・説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。 ・対象者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。 ・医療事故や潜在的医療事故(ニアミス)に関する情報を共有し、再発防止に役立てることができる。 ・インフォームドコンセントを行うことができる。 ・対象者に応じた歯科予防処置を実施する。 ・対象者に応じた歯科保健指導を実施する。 ・対象者に応じた歯科診療補助を実施する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-9	9/30	08:50-18:00	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室 第1 総合診療	【3年生】臨床実習Ⅰガイ ダンス	3 年生後期 臨床実習ガイダンス1	竹内 康雄, 駒津 匡二, LIAO SHIN RU, 池川 麻衣, 安達 奈穂子, 内田 佳代	手引きを必ず読 みこみ、動画を視 聴しておくこと 臨床実習の身だ しなみ 持ち物: ネームカード、筆 記用具、メモ帳 (ユニフォームの

時間割番号	022283						
科目名	歯科衛生過程専門演習			科目ID	DH352302S		
担当教員	吉田 直美, 池川 麻衣, 内田 佳代, LIAO SHIN RU, 三木 真規子[YOSHIDA Naomi, IKEGAWA Mai, UCHIDA Kayo, LIAO SHIN RU, MIKI Makiko]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	3				
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
科目名: 歯科衛生過程の専門演習 時間数: 30 コマ 授業形態: 講義 10 コマ 演習 20 コマ 必要自習時間: 1 コマにつき 1 時間程度							
主な講義場所 1 号館 8 階 臨床系基礎実習室 1 号館 8 階 第 3 講義室							
授業の目的、概要等 人々の歯科衛生ニーズにあった支援を提供するために活用する問題解決思考ツールの歯科衛生過程の概念と展開の方法を理解する。							
授業の到達目標 1. 対象に合わせたセルフケア用品を選択する。 2. 歯科衛生過程を概説する 3. 口腔疾患予防学実習で行う対象者からの情報収集の方法を確認する。 4. 収集した対象者の情報を分類・整理、統合し、記録する。 5. 対象者の歯科衛生関連の問題を明確化し、優先順位をつける。 6. 明確化した問題の関連因子を特定し、歯科衛生診断文を作成する。 7. 個別性の高い歯科衛生計画を立案(目標・介入方法・期待される結果)する。 8. 歯科衛生介入の経過記録を記載する。 9. 歯科衛生評価を行う。 10. 実施した全過程を振り返り、改善点をみつける 11. 看護概論について概説する 12. 看護過程について概説する							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/13	10:45-11:30	口腔保健 学科第3 講義室	臨床実践のための演習	AL 歯科衛生過程復習 SOPAP 形式の確認	吉田 直美 内田 佳代	目標 2
2-4	4/20	08:50-11:30	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	臨床実践のための演習	口腔衛生用品選択② 傳坂氏	吉田 直美 内田 佳代	目標 1 身支度をして参加すること
5	4/20	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期 型)	臨床実践のための演習	口腔衛生用具等に関する課題提示、振り返り	吉田 直美 内田 佳代	
6-9	4/24	08:50-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	臨床実践のための演習	AL 歯科衛生診断文作成・歯科衛生計画の立案(情報を記載、歯科衛生診断文までの計画書を事前提出、添削指導を受け、完成させる。計画を立案する。)	池川 麻衣 吉田 直美 内田 佳代, LIAO SHIN RU, 三木 真規	目標 2~7 集合は、第 3 講義室「試験ケースシミュレーション実習計画書」書式を使

						子	用して、授業前に ＜歯科衛生診断 文＞の部分まで 作成したものを提 出、授業時間内 に添削を受けて 完成させる。
10-13	5/8	08:50-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	臨床実践のための演習	AL 歯科衛生計画確定（計画の 添削指導、計画の完成・提出）	池川 麻衣 吉田 直美 内田 佳代、LI AO SHIN R U、三木 真規 子	目標 2～7 計画 の添削指導、計 画の完成・提出 6（介入初日 2026/5/14 までに 完成する必要あ り）
14	5/13	11:40-12:25	遠隔授業 （非同期 型）	臨床実践のための演習	AL 歯科衛生計画確定（計画の 添削指導、計画の完成・提出）	池川 麻衣 吉田 直美 内田 佳代、LI AO SHIN R U、三木 真規 子	目標 8 計画の 完成・提出
15	5/20	09:45-10:30	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	臨床実践のための演習	AL 経過記録の確認	池川 麻衣 吉田 直美 内田 佳代、LI AO SHIN R U、三木 真規 子	目標 8 介入1 2026/5/14 の記 録 各自担当教 員に相談ながら すすめ、確認・修 正が終了したら 押印をもらって提 出すること
16	5/27	11:40-12:25	遠隔授業 （非同期 型）	臨床実践のための演習	AL 経過記録の確認	池川 麻衣 吉田 直美 内田 佳代、LI AO SHIN R U、三木 真規 子	目標 9 介入2 2026/05/21 の記 録 各自担当教 員に相談ながら すすめ、確認・修 正が終了したら 押印をもらって提 出すること
17	6/3	11:40-12:25	遠隔授業 （非同期 型）	臨床実践のための演習	AL 経過記録の確認	池川 麻衣 吉田 直美 内田 佳代、LI AO SHIN R U、三木 真規 子	目標 8 介入3 2026/05/28 の記 録 各自担当教 員に相談ながら すすめ、確認・修 正が終了したら 押印をもらって提 出すること *6/26 終了報告書 提出、7/6 までに 終了報告書完成
18	6/10	11:40-12:25	遠隔授業 （非同期 型）	臨床実践のための演習	AL 経過記録の確認	池川 麻衣 吉田 直美 内田 佳代、LI	目標 8 介入4 2026/06/04 の記 録 各自担当教

						AO SHIN R U. 三木 真規 子	員に相談しながら すすめ、確認・修 正が終了したら 押印をもらって提 出すること *6/26 終了報告書 提出、7/6 までに 終了報告書完成
19	6/17	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期 型)	臨床実践のための演習	AL 経過記録の確認	池川 麻衣 吉田 直美 内田 佳代, LI AO SHIN R U. 三木 真規 子	目標 8 介入・評 価 1 2026/06/11 の記録 各自担 当教員に相談し ながらすすめ、確 認・修正が終了し たら押印をもらっ て提出すること *6/26 終了報告書 提出、7/6 までに 終了報告書完成
20-23	6/26	08:50-12:25	遠隔授業 (非同期 型)	臨床実践のための演 習	AL 経過記録/終了報告書の確認	池川 麻衣 吉田 直美 内田 佳代, LI AO SHIN R U. 三木 真規 子	目標 8 評価 2026/06/17・24 の 記録・終了報告書 各自担当教員に 相談しながらす め、確認・修正 が終了したら押 印をもらって提出 すること *6/26 終了報告書提 出、7/6 までに終 了報告書完成
24	7/3	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期 型)	臨床実践のための演習	AL 終了報告書の確認	池川 麻衣 吉田 直美 内田 佳代, LI AO SHIN R U. 三木 真規 子	目標 9,10 各自 担当教員に相談 しながらすすめ、 確認・修正が終了 したら押印をもら って提出すること *6/26 終了報告書 提出、7/6 までに 終了報告書完成
25-26	7/7	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期 型)	臨床実践のための演習	症例発表資料の作成	池川 麻衣 吉田 直美 内田 佳代, LI AO SHIN R U. 三木 真規 子	プレゼン資料の 提出 プレゼン 資料提出 7/8(水)13:00
27-28	7/14	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期 型)	臨床実践のための講義	看護概論 看護部 岡田 祥治郎 先生	吉田 直美 内田 佳代	目標 11 *視聴 後課題を提出す ること
29-30	7/22	08:50-10:30	遠隔授業	臨床実践のための講義	看護過程 看護部 森口 知子先	吉田 直美	目標 12 *視聴

			(非同期型)		生	内田 佳代	後課題を提出すること
成績評価の方法 小テスト等課題 20%、歯科衛生過程レポート 80%で総括的評価を行う。受講態度、出席状況等を総括的評価に加味する。 ・課題締切を厳守すること。締切日時は、課題によって異なるため、その都度学修システム・メールもしくは授業内で伝える。何らかの理由で提出できない場合は、締切日時より前にメールで連絡すること。連絡なく遅延あるいは未提出の場合は、評価できないので注意すること。							
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 ・2 年次の健康教育および歯科衛生過程の講義・実習で使用した資料・教本を確認しておくこと。							
試験の受験資格 3/4 以上の出席 対面の場合の出席管理は、教室のカードタッチによる記録で確認する。 遠隔授業の場合、同非同期型の場合は、課題提出をもって出席とみなす。							
教科書 歯科衛生過程 HAND BOOK：歯科衛生士教育サブテキスト：やさしく学べる・これならわかる／吉田直美、遠藤圭子、渡邊麻理、鈴木純子 著、クインテッセンス出版、2015 事例でわかる歯科衛生過程／全国歯科衛生士教育協議会 編全国歯科衛生士教育協議会：医歯薬出版、2019							
参考書 よくわかる歯科衛生過程／全国歯科衛生士教育協議会編全国歯科衛生士教育協議会：医歯薬出版、2015							
備考 ・歯科衛生過程シートは、担当指導者から、個別に丁寧に指導がうけられるようにしてあるため、担当指導者と密に連絡をとって、OK をもらってから次のステップに進むこと。 ・前年度履修学生の科目評価での指摘事項はなかったため、前年度と同様の編成とする。							
オフィスアワー 吉田 直美オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡してから訪問すること。							

時間割番号	022285Z					
科目名	卒業研究			科目ID		
担当教員	竹内 康雄, 駒津 匡二, 伊藤 奏, 樺沢 勇司[TAKEUCHI Yasuo, KOMATSU Keiji, ITO Kanade, KABASAWA Yuji]					
開講時期	2024 年度4年通年	対象年次	1～4	単位数	4	
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目	
科目名:卒業研究 必要自習時間:1 回あたり 0.5～1.5 時間 授業形式:実習 卒業研究Ⅰ 16コマ、卒業研究Ⅱ 46コマ、卒業研究Ⅲ 39コマ、卒業研究Ⅳ 45コマ						
主な講義場所 ・口腔保健学科 第3・第4講義室、情報検索室Ⅰ ・遠隔講義の場合は webclass および zoom 利用						
授業の目的、概要等 ・各学生の知的興味、将来の方向性に沿って研究テーマを選択し、計画・立案に基づいてこれを実施する。結果をまとめ、また十分に考察し、論文とすることで、研究の意義・実際の活動についての理解と意欲を培う。 ・第4学年において卒業研究の発表および卒業論文を提出する。						
授業の到達目標 ・自分の知的興味、将来の方向性に沿って研究テーマが設定できる。 ・研究テーマに対応した論文の検索と科学的吟味を行い、これまでの知見が整理できる。 ・EBM・EBHC の概念を説明できる。 ・知見や問題点に基づいた研究の計画・立案ができる。 ・実験・調査などの研究を実施できる。 ・実験・調査などの結果を分析整理し、統計学的な解析ができる。 ・結果に基づき、新たな問題点と課題を抽出、提起できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	12/2	08:50-09:35		はじめに	卒業研究概論	竹内 康雄
2	12/2	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期型)	これまでの卒業研究について	卒業研究指導例の紹介	竹内 康雄
3-6	1/7	08:50-12:25	遠隔授業 (非同期型)	これまでの卒業研究について	卒業研究指導例の紹介	竹内 康雄
7-8	1/17	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	これまでの卒業研究について	卒業研究指導例の紹介	竹内 康雄
9-10	1/17	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究の立案に向けて	文献検索の方法	竹内 康雄
11-12	1/27	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究の立案に向けて	文献の読み方	竹内 康雄
13-14	1/31	10:45-12:25		卒業研究の立案について	卒業研究の立案について	竹内 康雄
15-16	2/3	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究の結果解析について	卒業研究の結果解析について	竹内 康雄

			型)			
17-18	6/9	13:30-15:10	口腔保健 学科第4 講義室	論文の読み方 2	論文を読む目的、論文の構造等について再確認するとともに、精読するための要点について知る。	竹内 康雄 駒津 匡二
19-20	6/12	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期 型)	論文抄読 1-1	口腔保健およびその関連分野に関する論文を読み、その内容について要点をまとめる。	竹内 康雄 駒津 匡二
21-22	6/24	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期 型)	論文抄読 1-2	口腔保健およびその関連分野に関する論文を読み、その内容について要点をまとめる。	竹内 康雄 駒津 匡二
23-24	6/24	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期 型)	論文抄読 1-3	口腔保健およびその関連分野に関する論文を読み、その内容について要点をまとめる。	竹内 康雄 駒津 匡二
25-26	7/1	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期 型)	論文抄読 2-1	口腔保健およびその関連分野に関する論文を読み、その内容について要点をまとめる。	竹内 康雄 駒津 匡二
27-28	7/8	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期 型)	論文抄読 2-2	口腔保健およびその関連分野に関する論文を読み、その内容について要点をまとめる。	竹内 康雄 駒津 匡二
29	7/11	14:25-15:10	口腔保健 学科第4 講義室	論文内容の記録・管理法 プレゼンテーションスラ イド作成	論文内容を記録しておく目的およびその実際について学ぶ。抄読した論文を他者に紹介するためプレゼンテーションスライド作成について学ぶ。	竹内 康雄 駒津 匡二
30	7/11	15:25-16:10	遠隔授業 (非同期 型)	論文抄読 2-3	口腔保健およびその関連分野に関する論文を読み、その内容について要点をまとめる。	竹内 康雄 駒津 匡二
31-32	7/17	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期 型)	論文抄読 2-4	口腔保健およびその関連分野に関する論文を読み、その内容について要点をまとめる。	竹内 康雄 駒津 匡二
33-34	9/24	10:45-12:25	情報検索 室 1	文献検索実習・文献管理 実習	医中誌・PubMed・Web of Science を用いた文献検索の実習 RefWorks を用いた文献管理の実習	竹内 康雄 駒津 匡二
35-36	9/26	10:45-12:25	遠隔授業 (同期型)	論文抄読 3-1	自身の興味のある研究分野に関する論文を検索し、その内容について要点をまとめる。(グループワーク)	竹内 康雄 駒津 匡二
37-38	9/29	10:45-12:25	情報検索 室 1	文献検索実習・文献管理 実習	医中誌・PubMed・Web of Science を用いた文献検索の実習 RefWorks を用いた文献管理の実習	竹内 康雄 駒津 匡二
39-40	10/1	10:45-12:25	情報検索 室 1	文献検索実習・文献管理 実習	医中誌・PubMed・Web of Science を用いた文献検索の実習 RefWorks を用いた文献管理の実習	竹内 康雄 駒津 匡二
41-42	10/7	16:20-18:00	遠隔授業 (非同期 型)	論文抄読 3-2	自身の興味のある研究分野に関する論文を検索し、その内容について要点をまとめる。(グループ	竹内 康雄 駒津 匡二

					ワーク)	
43-44	10/14	16:20-18:00	遠隔授業 (非同期 型)	論文抄読 3-3	自身の興味のある研究分野に関 する論文を検索し、その内容につ いて要点をまとめる。(グループ ワーク)	竹内 康雄 駒津 匡二
45-46	11/4	16:20-18:00	遠隔授業 (非同期 型)	論文抄読・中間報告	論文抄読 3-1~3において選んだ論 文について要点を中間報告として まとめ、プレゼンテーション資料を 作成する。(グループワーク)	竹内 康雄 駒津 匡二
47-48	11/11	16:20-18:00	遠隔授業 (非同期 型)	論文抄読 3-4	論文抄読 3-1~3において選んだ論 文について要点を中間報告として まとめ、プレゼンテーション資料を 作成する。(グループワーク)	竹内 康雄 駒津 匡二
49-50	12/2	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期 型)	論文抄読 3-5	論文抄読 3-1~3において選んだ論 文について要点を中間報告として まとめ、プレゼンテーション資料を 作成する。(グループワーク)	竹内 康雄 駒津 匡二
51-60	12/8	08:50-18:55	特別講堂 (D 棟 4 階)、遠隔 授業(同 期型)	卒業研究発表会	卒業研究発表会	竹内 康雄 駒津 匡二
61	12/12	15:25-16:10	遠隔授業 (非同期 型)	論文抄読会	論文内容紹介のプレゼンテーショ ンを行い、その内容について討議 し考察する。(グループワーク)	竹内 康雄 駒津 匡二
62	12/12	16:20-17:05	遠隔授業 (同期型)	定期試験	定期試験	竹内 康雄 駒津 匡二
63-64	5/18	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期 型)	卒業研究テーマ立案 1	テーマの探し方について	竹内 康雄 駒津 匡二
65-66	6/10	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期 型)	卒業研究テーマ立案 2	先行研究の検索、検討	竹内 康雄 駒津 匡二
67-68	6/12	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期 型)	卒業研究テーマ立案 3	研究目的および仮説設定につい て	竹内 康雄 駒津 匡二
69-70	6/26	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期 型)	卒業研究テーマ立案 4	研究方法、解析方法の検討	竹内 康雄 駒津 匡二
71-72	7/13	08:50-10:30	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究テーマ立案 5	予想される結果とそのまとめ方	竹内 康雄 駒津 匡二
73-75	7/21	08:50-11:30	遠隔授業 (非同期 型)	卒業研究テーマ立案 6	結果の考察、今後の卒業研究の 進め方説明	竹内 康雄 駒津 匡二
76-77	7/22	10:45-12:25		卒業研究テーマ立案	卒業研究テーマ立案、提出	竹内 康雄 駒津 匡二
78-81	9/14	08:50-12:25	遠隔授業 (非同期 型)	卒業研究中間発表会	卒業研究発表会 に参加し、上級 生の研究テーマおよび方法の確	竹内 康雄 駒津 匡二

			型)		認、自身の卒業研究テーマの内容 見直し	
82-85	12/8	08:50-12:25	特別講堂 (D 棟 4 階)、遠隔 授業(同 期型)	卒業研究発表会	卒業研究発表会 に参加し、質疑 応答を通じて研究内容の理解、ま た研究を行う上での理論的思考に ついて学ぶ、その経験を自身の研 究実施の参考とする	竹内 康雄 駒津 匡二
86-89	2/2	08:50-12:25	遠隔授業 (非同期 型)	研究の計画立案と実施	研究の計画立案と実施、担当教員 と各自相談し研究を進める	竹内 康雄 駒津 匡二
90-93	2/9	08:50-12:25	遠隔授業 (非同期 型)	研究の計画立案と実施	研究の計画立案と実施、担当教員 と各自相談し研究を進める	竹内 康雄 駒津 匡二
94-97	2/16	08:50-12:25	遠隔授業 (非同期 型)	研究の計画立案と実施	研究の計画立案と実施、担当教員 と各自相談し研究を進める	竹内 康雄 駒津 匡二
98-10 1	2/22	08:50-12:25	遠隔授業 (非同期 型)	研究の計画立案と実施	研究の計画立案と実施、担当教員 と各自相談し研究を進める	竹内 康雄 駒津 匡二

授業方法

- ・授業で出された課題に対し自己学習および集団での PBL 等を実施する。
- ・配属された分野の担当教員と相談し、研究計画の立案およびそれを実施する。

授業内容

- ・授業スケジュール参照

成績評価の方法

- ・単位認定(4 単位)は 4 学年終了時に行う。
- ・単位認定は、1 年次からの各課題の提出状況(論文抄読、論文抄読会プレゼンテーションファイル、研究計画書、中間発表会プレゼンテーションファイル、成果報告会プレゼンテーションファイル、卒業研究論文ファイル)の期限内提出状況および内容についての総括的評価により行う。

成績評価の基準

- ・35%:1・2・3 年前期に実施する研究実施に向けた学習(論文抄読、文献検索、PBL 発表等)における出席状況、レポート等プロダクトの提出状況および内容
- ・65%: 卒業研究の実施状況(研究計画書、中間発表会プレゼンテーションファイル、成果報告会プレゼンテーションファイル、卒業研究論文ファイル)の提出状況および内容)

準備学習等についての具体的な指示

- ・口腔保健学、歯科学、また関連分野に関し興味のある事象について、関連する文献を検索し、文献を読むこと。

試験の受験資格

- ・授業の 3/4 以上の出席を必要とする。
- ・出席状況の判定について、非同期で行われるものについては、webclass の視聴記録およびレポート・プロダクトの提出状況で確認する。
- ・特別に勘案すべき事情がある場合には、その事情とともに、科目責任者に、メール等の日時の記録が残る形で連絡すること。

教科書

歯科衛生研究の進め方論文の書き方／日本歯科衛生学会 監修、石井拓男、鳥山佳則、武井典子、吉田直美:医歯薬出版、2021

:共立出版

:共立出版

参考書

卒業研究 HAND BOOK／眞木吉信 監著・著、薄井由枝、品田佳世子、白鳥たかみ、杉原直樹、田村清美、松田裕子:クインテッセンス出版、2011

歯科衛生士のためのペリオ・インプラント重要 12 キーワードベスト 240 論文：世界のインパクトファクターを決めるトムソン・ロイター社が選出：Q&A で深める歯科衛生士臨床／和泉雄一、佐藤秀一、岩野義弘、高山忠裕、武田朋子、松浦孝典、水谷幸嗣、村上恵子：クインテッセンス出版、2017

日常臨床に活かすエビデンスの調べかた・読み解きかた入門／丸尾勝一郎、蓮池 聡、上野大輔、豊嶋健史：クインテッセンス出版、2022

ゼロからわかる歯科臨床論文を読み解く方法：Evidence-based dentistry の実践のために／石丸美穂、大野幸子、康永秀生：新興医学出版社、2022

これからレポート・卒論を書く若者のために／酒井聡樹：共立出版、2017

これから論文を書く若者のために／酒井聡樹：共立出版、2015

・「保健・医療のための研究法入門」、朝倉隆司監訳、協同医書出版社

・「医薬研究者の視点からみた道具としての統計学」、奥田千恵子、金芳堂

履修上の注意事項

・常に指導教員、副指導教員と密接な連絡をとり、助言を得ながら研究を進めること。

オフィスアワー

竹内 康雄：PM.5:00-PM.6:30 1 号館 8 階 812B

時間割番号	022690						
科目名	社会福祉実習				科目ID		
担当教員	日高 玲奈, 山田 美代子, 金原 明子, 小山 幸, 國見 真理子, 横地 厚, 長谷川 洋昭, 堀 千鶴子, 竹内 周平, 松尾 浩一郎[HIDAKA Rena, YAMADA Miyoko, KANEHARA Akiko, OYAMA Tsukasa, KUNIMI Mariko, Atsushi Yokochi, HASEGAWA Hiroaki, HORI Chizuko, Shuhei Takeuchi, MATSUO Koichiro]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	3		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する				授業形態	対面	
主な講義場所							
口腔保健学科 第3 講義室							
遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等							
・社会福祉における相談援助の知識と技術に関わる他の科目との関連性も視野に入れつつ、専門的な相談援助に係る知識と技術について実践的に修得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を滋養する。							
授業の到達目標							
・相談援助の内容・方法・プロセスを説明できる。							
・相談援助の実践について、事例を通じて理解できる。							
・ロールプレイを通じて相談援助の実践を理解できる。							
・様々な事例を通して、医療と福祉の連携や、現状・課題について説明できる							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	4/14	08:50-11:30	口腔保健学科第3講義室	相談の技法を身に付けるⅠ	事例に基づくロールプレイ、事例検討(子育て世代の事例)	日高 玲奈	グループ討論、グループワーク及び個人課題の提出 SBO 1,2,3
4-6	4/22	08:50-11:30	遠隔授業(同期型)	地域における多職種連携	医療ソーシャルワーカーの役割	小山 幸, 日高 玲奈	グループ討論、グループワーク及び個人課題の提出 SBO 1,4
7-9	5/8	13:30-16:10	口腔保健学科第3講義室	医療と福祉に関わる専門職	精神保健福祉士の役割	金原 明子, 日高 玲奈	グループ討論、グループワーク及び個人課題の提出 SBO 1,4
10-12	5/18	09:45-12:25	遠隔授業(同期型)	相談の技法を身に付けるⅡ	生活を視る視点、様々な理論やアプローチ	山田 美代子, 日高 玲奈	グループ討論、グループワーク及び個人課題の提出 SBO 1,2
13-14	6/5	13:30-15:10	オンデマンド	対人援助職における相談援助技術	面接技術(障害者)	日高 玲奈	グループ討論、グループワーク及び個人課題の提出 SBO 1,2,4
15-21	6/8	09:45-17:05	その他	地域の社会資源	障害者就労支援施設の見学	横地 厚, 日高 玲奈	グループ討論、グループワーク及び個人課題の提出 SBO 1,2,4
22-24	6/18	13:30-16:10	口腔保健学科第3	憲法と医療・福祉サービス	事例に基づくロールプレイ、事例検討(法律に基づく解釈について)	日高 玲奈, 國見 真理子	グループ討論、グループワーク

			講義室				及び個人課題の提出 SBO 1,2,3,4
25-27	7/24	13:30-16:10	口腔保健 学科第3 講義室	まとめ 相談援助技法 の応用 まとめ 相談 援助技法の応用	DV 事例に基づくロールプレイ、事 例検討 事例に基づくロールプレ イ、事例検討	日高 玲奈 堀 千鶴子	グループ討論、 グループワーク 及び個人課題の 提出 SBO 1,2,3,4 グループ 討論、グループ ワーク及び個人 課題の提出 SBO 1,2,3,4
28-30	7/27	08:50-11:30	口腔保健 学科第3 講義室	司法福祉	更生保護制度の概要と社会復帰 に向けて	長谷川 洋昭 日高 玲奈	グループ討論、 グループワーク 及び個人課題の 提出 SBO 1,2,4

授業方法
ZOOM を用いた同期型および対面で実施される。各講義内で課題についてディスカッションを実施し、講義終了後に振り返りシートを作成し提出してもらう。講義資料や参考資料などは Webclass 上に講義前日までに掲載し、一定期間閲覧可能な状態に置いておくので、活用してほしい。質問等については講義中、振り返りシート、メールにて随時対応する。

授業内容
授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。

成績評価の方法
・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。
・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。

成績評価の基準
1) 出欠状況を基準点とする(例:100%の出席率で 100 点、80%の出席率で 80 点満点)
2) 各回授業終了後の振り返りシートや小テスト、授業態度等 40 点
3) 講義終了後の最終レポート課題 60 点
振り返りシートや最終レポート課題の中で、課題やテーマに対して複数の意見や独自の考察がなされている場合などに加点対象とする。

準備学習等についての具体的な指示
・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。
・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。

試験の受験資格
3 分の 2 以上の出席

教科書
社会福祉士相談援助演習／日本社会福祉士養成校協会、長谷川 匡俊、1943-、上野谷 加代子、1949-、白沢 政和、1949-、日本社会福祉士養成校協会 監修、長谷川匡俊、上野谷加代子、白澤政和、中谷陽明 編集：中央法規出版、2015.2

他科目との関連
高齢者福祉、介護福祉、障害児者福祉、地域福祉、相談援助演習 1 などの関連科目の資料にも十分に目を通してから望むこと。

備考
課題発表、グループワークを含む

オフィスアワー
松尾 浩一郎毎週月曜日 16:00-18:00 1 号館 8 階 818B 室
* 要事前連絡

時間割番号	022830						
科目名	口腔保健と国際協力			科目ID			
担当教員	樺沢 勇司, 安達 奈穂子, 關 奈央子, 吉津 智慧, ポーンポット・ファンターンシップ, 大島 俊之, LIAO SHIN RU[KABASAWA Yuji, ADACHI Naoko, SEKI Naoko, YOSHIZU Chie, Pompoj Fuangthamthip, OSHIMA Toshiyuki, LIAO SHIN RU]						
開講時期	2026 年度通年	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
科目名:口腔保健と国際協力 ユニット名:口腔保健と国際協力 時間数:15 時間(1 単位) 講義:遠隔講義(非同期、同期併用)							
主な講義場所 第4 講義室、オンライン							
授業の目的、概要等 国際保健医療福祉の現状を知り、国際的な視点から、歯科衛生士として活躍できる人材になるための基礎を学習する。							
授業の到達目標 SBOs 1国際保健医療とは何かを説明できる。 2それぞれの国の歯科保健医療福祉を説明できる。 3国際保健医療の場で、活躍するために必要な基礎的事項・思考・学習方法を説明できる。 4海外での口腔保健活動について、自分の関心のあることをまとめ、説明できる。 5海外での口腔保健活動の目標、計画、実施を立案し、説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	5/28	10:45-12:25	オンデマンド	国際保健医療1-2	グローバルヘルスの歴史と基本概念 国際保健の目指すもの	安達 奈穂子	到達目標:1, 3 講義中に演習を行う
3-4	6/5	10:45-12:25	オンデマンド	国際保健医療 3-4	国際保健の戦略と理論 口腔保健分野における国際協力:WHO Oral Health Programme	安達 奈穂子	到達目標:1, 3 講義中に演習を行う
5	6/10	10:45-11:30	ライブ	国際保健医療 5	歯科衛生士の海外歯科保健活動・研究にむけての英語学習	樺沢 勇司, 關 奈央子, LIAO SHIN RU	到達目標:3, 4, 5 講義中に演習を行う
6	6/18	10:45-11:30	口腔保健学科第4講義室	国際保健医療 6	歯科衛生士の海外歯科保健活動に向けて・Critical appraisal の思考	樺沢 勇司, 關 奈央子, LIAO SHIN RU	到達目標:2, 3 講義中に演習を行う
7	6/18	11:40-12:25	オンデマンド	国際保健医療 7	世界の口腔保健事情について	安達 奈穂子, 樺沢 勇司	到達目標:1, 3 講義中に演習を行う
8-9	6/25	10:45-12:25	口腔保健学科第4講義室	国際保健医療 8-9	世界の歯科衛生士	LIAO SHIN RU, 樺沢 勇司	到達目標:2, 3 グループ発表
10-11	7/2	10:45-12:25	ライブ	国際保健医療 10-11	世界の歯科事情(ドイツ開業大島先生より)	樺沢 勇司, 安達 奈穂子,	到達目標:1, 3 講義中に演習を

						大島 俊之 LI AO SHIN RU	行う
12-13	7/9	1045-12:25	ライブ	国際保健医療 12-13	世界の歯科事情(マヒドン大学ポーンポット先生)	樺沢 勇司, 安達 奈穂子, ポーンポット・ ファンターンシ ップ, LIAO S HIN RU	到達目標:1, 3 講義中に演習を 行う
14-15	7/23	1045-12:25	口腔保健 学科第4 講義室	海外医療援助の実際 14-15	国際機関に勤務されていた先輩 からの講義	樺沢 勇司, 安達 奈穂子, 吉津 智慧 LI AO SHIN RU	到達目標:1, 3 講義中に演習を 行う

授業方法

非同期型、同期型遠隔講義の併用で実施される。

非同期型遠隔講義においては指定された動画および講義資料、参考資料などを閲覧し、指示された課題に回答すること。

WebClass 上の掲示板を作成するので、講義内容や課題についての感想や質問、コメントを自由に記載して下さい。回答は樺沢あるいは安達より全員に対してあるいは個人的に行うため、十分に活用すること。

同期型遠隔講義においては、事前に WebClass 上の講義資料、参考資料等を閲覧して講義に臨むこと。

講義中に討論、演習を実施する。

講義についての質問も含めて担当教員(樺沢、安達、Liao)までメールでも受け付ける。

講義動画は原則学期末まで公開する。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

提出レポートで総括的評価を行う。出席状況および授業態度を総括的評価する。

出席、講義、グループ討論、発表の態度等を総括評価に加味する。

成績評価の基準

「到達目標」に明示している事項について、講義内容より概ね達成できている場合は B、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等について具体的に論述できる場合は B より上とする。

準備学習等についての具体的な指示

授業では、授業範囲についてのディスカッション等のアクティブラーニングにて行うので、事前に教科書等でよく予習の上、授業に臨むこと。

試験の受験資格

遠隔授業のため、各講義内容に対する課題提出状況を成績付与の参考とする。定期試験は実施しないため、受験要件には用いない。成績評価のためにも、同期型講義の日程はできる限り出席することが望ましい。

参考書

講義中に指示する。

履修上の注意事項

遠隔授業に関して、周知されている注意事項に留意すること。 授業に関する質問は、科目責任者(樺沢・安達・Liao)まで、メールにて遠慮なく行うこと。

備考

担当教員の Office hour メールにて随時うけつける。

樺沢 勇司 健康支援口腔保健衛生学分野 随時 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

安達 奈穂子 口腔健康教育学分野 随時 adachi.pvoh@tmd.ac.jp

Liao, Shin-Ru 健康支援口腔保健衛生学分野 随時 liao.ocsh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

樺沢 勇司:平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。

1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022289				
科目名	口腔保健衛生エクスターンシップ			科目 ID	DH495000Z
担当教員	樺沢 勇司[KABASAWA Yūji]				
開講時期	2025 年度 1.5 通年 (秋)	対象年次	3～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	対面
主な講義場所 未定					
授業の目的、概要等 本科目のための講義は特に行われない。 学生海外研修報告会については、開催日、開催方法ともに、現在のところ未定である。 報告会に該当する研修が行われた場合に適時連絡する。					
授業の到達目標 学生海外研修を奨励し、国際的な視野を持った歯科衛生士の育成を目指す。					
授業方法 本科目のための講義は特に行われない。 学生海外研修報告会については、開催日、開催方法ともに、現在のところ未定である。 報告会に該当する研修が行われた場合に適時連絡する。					
授業内容 本科目のための講義は特に行われない。 学生海外研修報告会については、開催日、開催方法ともに、現在のところ未定である。 報告会に該当する研修が行われた場合に適時連絡する。					
成績評価の方法 それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して合否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。					
成績評価の基準 それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して合否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。 評価としては、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等について具体的に論述できる場合は 80 点より上とする。					
準備学習等についての具体的な指示 外国での生活に支障をきたさないように語学の事前準備を行うこと。 別に記載している、履修上の注意事項に従うこと。					
試験の受験資格 ○単位認定条件 1)海外研修奨励賞による研修プログラムへの参加 (1) 語学能力(英語) 選考時面接にて英語能力を評価。Common European Framework of Reference for Languages (CEFR) B2 以上を積極的に評価する。(2) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修 (3) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (4) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。(5) 本学または海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上) 2)その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) (1) 語学能力(英語) 選考時面接にて英語能力を評価。Common European Framework of Reference for Languages (CEFR) B2 以上を積極的に評価する。もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。(2) 研修特別コースの履修 研修内容によって、特別に提供されるコースの履修(詳細は別に定める) (3) 海外における生活上の注意、危機管理に関する研修(講義)の履修 (4) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (5) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。(6) 本学または海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上) (*)なお、COVID-19 等の特殊な事情により、実際の海外派遣プログラムが実施できない場合に限り、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加をもって、単位申請することができる。					

・国際活動ポイント Point System for International Exchange (P-Sie)の総計が15以上あること。
(各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。)
・大学が開催するP-Sie対象のオンラインまたは対面のプログラムの単位認定条件は2)(2)以外のすべての条件を満たすこと。

履修上の注意事項

1. 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。 2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラムにおける単位認定条件は別に定める。 1) 大学海外研修奨励賞による研修プログラム(事前研修を含む) 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) 3. 所定のプログラムを終了した学生に対し、口腔保健学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は1単位を上限とする。また、「その他の海外研修プログラム」に該当するプログラムで認定できる単位は、プログラムの内容・年次・年度・回数に限らず、在学期間を通じて1単位とする。 (*)なお、COVID-19等の特殊な事情により、実際の海外派遣プログラムが実施できない場合に限り、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加をもって、単位申請することができる。 ・国際活動ポイント Point System for International Exchange (P-Sie)の総計が15以上あること。(各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。) ・大学が開催するP-Sie対象のオンラインまたは対面のプログラムの単位認定条件は2)(2)以外のすべての条件を満たすこと。 履修についての質問は、科目責任者(樺沢)までメールで随時行うこと。

備考

担当教員の Office hour

樺沢勇司 健康支援口腔保健衛生学分野 随時 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。

1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022289				
科目名	口腔保健衛生エクスターンシップ			科目 ID	DH495000Z
担当教員	榎沢 勇司[KABASAWA Yūji]				
開講時期	2026 年度 1.5 通年 (秋)	対象年次	3～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	対面
主な講義場所 未定					
授業の目的、概要等 本科目のための講義は特に行われない。 学生海外研修報告会については、開催日、開催方法が決まり次第、連絡する。					
授業の到達目標 学生海外研修を奨励し、国際的な視野を持った歯科衛生士の育成を目指す。					
授業方法 本科目のための講義は特に行われない。 学生海外研修報告会については、開催日、開催方法ともに、現在のところ未定である。 報告会に該当する研修が行われた場合に適時連絡する。					
授業内容 本科目のための講義は特に行われない。 学生海外研修報告会については、開催日、開催方法ともに、現在のところ未定である。 報告会に該当する研修が行われた場合に適時連絡する。					
成績評価の方法 それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して合否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。					
成績評価の基準 それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して合否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。 評価としては、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等について具体的に論述できる場合は 80 点より上とする。					
準備学習等についての具体的な指示 外国での生活に支障をきたさないように語学の事前準備を行うこと。 別に記載している、履修上の注意事項に従うこと。					
試験の受験資格 ○単位認定条件 1)海外研修奨励賞による研修プログラムへの参加 (1) 語学能力(英語) 選考時面接にて英語能力を評価。Common European Framework of Reference for Languages (CEFR) B2 以上を積極的に評価する。(2) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修 (3) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (4) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。(5) 本学または海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上) 2)その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) (1) 語学能力(英語) 選考時面接にて英語能力を評価。Common European Framework of Reference for Languages (CEFR) B2 以上を積極的に評価する。もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。(2) 研修特別コースの履修 研修内容によって、特別に提供されるコースの履修(詳細は別に定める) (3) 海外における生活上の注意、危機管理に関する研修(講義)の履修 (4) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (5) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。(6) 本学または海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上) (*)なお、COVID-19 等の特殊な事情により、実際の海外派遣プログラムが実施できない場合に限り、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加をもって、単位申請することができる。					

・国際活動ポイント Point System for International Exchange (P-Sie) の総計が 15 以上あること。
(各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。)
・大学が開催する P-Sie 対象のオンラインまたは対面のプログラムの単位認定条件は2) (2)以外のすべての条件を満たすこと。

履修上の注意事項

1. 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。 2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラムにおける単位認定条件は別に定める。 1) 大学海外研修奨励賞による研修プログラム(事前研修を含む) 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) 3. 所定のプログラムを終了した学生に対し、口腔保健学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は1単位を上限とする。また、「その他の海外研修プログラム」に該当するプログラムで認定できる単位は、プログラムの内容・年次・年度・回数に限らず、在学期間を通じて1単位とする。 (*)なお、COVID-19 等の特殊な事情により、実際の海外派遣プログラムが実施できない場合に限り、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加をもって、単位申請することができる。 ・国際活動ポイント Point System for International Exchange (P-Sie) の総計が 15 以上あること。(各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。) ・大学が開催する P-Sie 対象のオンラインまたは対面のプログラムの単位認定条件は2) (2)以外のすべての条件を満たすこと。 履修についての質問は、科目責任者(樺沢)までメールで随時行うこと。

備考

担当教員の Office hour

樺沢勇司 健康支援口腔保健衛生学分野 随時 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

木野志保 口腔疾患予防学分野 随時 shiho.kino.ohp@tmd.ac.jp

連絡先(メールアドレス)

kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。

1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

第 4 学年
履修科目

時間割番号	022410a		
科目名	英語Ⅱ (A) Topical Discussion	科目 ID	
担当教員	WHITAKER SIMON[WHITAKER SIMON]		
開講時期	2026 年度通年	対象年次	2～4
実務経験のある教員による授業		授業形態	メディア利用科目
・曜日・時間:水曜 3 講 ・対象:全学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3ー4) 別表4ー5)			
授業の目的、概要等 A course focused on in-depth discussion of contemporary social topics which affect everyone, from AI and social media to new or growing health and environmental challenges. We will consider a small set of such topics from different angles. You will continuously work on and develop important skills like those of open and impromptu discussion. You will also be building up and consolidating vocabulary, and even your own ideas, as we explore points of connection between these topical debates and the often-overlapping ways they can be approached.			
授業の到達目標 To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics 多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる To be able to comprehend and use new vocabulary 新しい語彙を理解して使用することができる To be able to speak in front of others more effectively 他の人の前でより効果的に話すことができる To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English 完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる To be able to productively engage in activities in a cross-cultural environment by collaborating with people from different cultural backgrounds in English 様々な文化的背景を持つ仲間と協働し、生産的に業務に貢献・遂行できる To be able to utilize critical thinking skills (including productively making and responding to counterarguments) and lateral thinking skills in English 英語でクリティカルシンキングやラテラルシンキングスキルを活用できる(健全で建設的な反論およびそれへの対応を含む) To be able to productively engage in academic and professional activities using English in an international setting 国際的な場面で、英語を使い、学問的および専門的な活動に生産的に貢献することができる 以下の 3 点を満たすことが、この授業の到達目標を概ね達成したレベル(70 点以上)の必要条件として要求される。 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。			

授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	6/10	13:30-14:15	遠隔授業 (同期型)	Class 1	Half-length session. Introduction to course and introducing each other.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar
2-3	6/17	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 2, Class 3	Topic 1. First tutor-led discussion.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar
4-5	6/24	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 4, Class 5	Further group discussion around topic 1.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar
6-7	7/1	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 6, Class 7	Topic 2. Second tutor-led discussion.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar
8-9	7/8	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 8, Class 9	Further group discussion around topic 2.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar
10-11	7/15	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 10, Class 11	Topic 3. Third tutor-led discussion.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar
12-13	7/22	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 12, Class 13	Further group discussion around topic 3.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar
14-15	7/29	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 14, Class 15	Discussion of topics covered + further areas of study/consideration.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar
授業方法							
Skills Instruction and Practice							
授業内容							
Class 1: Orientation							
Classes 2-15: Skills Instruction and Continuous Assessment							
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法							
Participation: 50%, Presentations: 30%. Discussion contributions: 20%							
再評価: 再評価はありません。							
成績評価の基準							
「東京科学大学学修規程第6条」による							
準備学習等についての具体的な指示							
Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格							
「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45 分×15 コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。							

履修上の注意事項

教員がとる出欠を優先します。 既に履修済の英語Ⅱ科目と同一名の科目は原則として履修できません。

オフィスアワー

WHITAKER SIMON:水・木曜日 12 時 30 分～13 時 管理研究棟 3 階 ウィタカー研究室

時間割番号	022420				
科目名	英語Ⅱ: Global Connections			科目ID	
担当教員	PATRICK FOSS[PATRICK FOSS]				
開講時期	2026 年度通年	対象年次	2～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目
・曜日・時間:水曜 3 講 ・対象:全学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3ー4) 別表4ー5)					
授業の目的、概要等					
While it is important for medical professionals in Japan to study and understand issues specific to their own country, it is also crucial to remember that we are all part of a global community as well. Learning about problems or innovations in other contexts can lead to greater respect and empathy and may spark ideas concerning ways we can better help others or even ourselves. This course will examine societal and healthcare-related challenges being faced in various countries through the perspectives of people from those countries.					
授業の到達目標					
To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics 多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる					
To be able to comprehend and use new vocabulary 新しい語彙を理解して使用することができる					
To be able to speak in front of others more effectively 他の人の前でより効果的に話すことができる					
To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English 完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる					
To be able to productively engage in activities in a cross-cultural environment by collaborating with people from different cultural backgrounds in English 様々な文化的背景を持つ仲間と協働し、生産的に業務に貢献・遂行できる					
To be able to utilize critical thinking skills (including productively making and responding to counterarguments) and lateral thinking skills in English 英語でクリティカルシンキングやラテラルシンキングスキルを活用できる(健全で建設的な反論およびそれへの対応を含む)					
To be able to productively engage in academic and professional activities using English in an international setting 国際的な場で、英語を使い、学問的および専門的な活動に生産的に貢献することができる					
以下の 3 点を満たすことが、この授業の到達目標を概ね達成したレベル(70 点以上)の必要条件として要求される。					
1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。					
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。					
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。					

授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	9/16	13:30-14:15	遠隔授業 (同期型)	Orientation	Introduction to course	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom
2-3	9/30	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Discussion 1	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
4-5	10/7	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Discussion 2	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
6-7	10/14	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Discussion 3	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
8-9	10/21	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Discussion 4	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
10-11	10/28	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Discussion 5	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
12-13	11/4	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Discussion 6	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
14-15	11/11	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Discussion 7	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
授業方法 Skills Instruction and Practice							
授業内容 Class 1: Orientation Classes 2-15: Skills Instruction and Continuous Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法 Active and thoughtful participation: 80% Group discussion: 20% 再評価: 再評価はありません。							
成績評価の基準 「東京科学大学学修規程第 6 条」による							
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格 「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45 分×15 コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。							
履修上の注意事項							

教員がとる出欠を優先します。 既に履修済の英語Ⅱ科目と同一名の科目は原則として履修できません。

オフィスアワー

PATRICK FOSS:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:00

管理研究棟 2階 フォス研究室

時間割番号	022430						
科目名	英語Ⅱ: Conversation I(前期)			科目ID			
担当教員	REED JESSE RYAN[REED JESSE RYAN]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	2～4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
・曜日・時間:水曜 3 講 ・対象:全学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3ー4) 別表4ー5)							
授業の目的、概要等							
English II, "Conversation I" is a course for students who want to improve their spoken English skills. The course focuses on practical conversational abilities, and students will engage in interviews, role-playing, and group discussions on a variety of topics. The course prioritizes vocabulary development, effective public speaking, and the development of confidence in expressing opinions, even in imperfect English. The course aims to create an active and supportive learning environment, emphasizing not only the improvement of English skills but also the use of those skills in real-world situations.							
授業の到達目標							
To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics 多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる							
To be able to comprehend and use new vocabulary 新しい語彙を理解して使用することができる							
To be able to speak in front of others more effectively 他の人の前でより効果的に話すことができる							
To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English 完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる							
以下の 3 点を満たすことが、この授業の到達目標を概ね達成したレベル(70 点以上)の必要条件として要求される。							
1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。							
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。							
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/1	13:30-14:15	遠隔授業 (同期型)	Class 1	Intro to Conversation I	REED JESS E RYAN	Active Learning, Seminar, Zoom
2-3	4/8	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 2, Class 3	Discussion/Presentation Practice	REED JESS E RYAN	Active Learning, Seminar, Zoom

時間割番号	022431						
科目名	英語Ⅱ ConversationⅠ（後期）			科目ID			
担当教員	REED JESSE RYAN[REED JESSE RYAN]						
開講時期	2026 年度後期	対象年次	2～4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
・曜日・時間:水曜 3 講 ・対象:全学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)							
授業の目的、概要等							
EnglishⅡ, "ConversationⅠ" is a course for students who want to improve their spoken English skills. The course focuses on practical conversational abilities, and students will engage in interviews, role-playing, and group discussions on a variety of topics. The course prioritizes vocabulary development, effective public speaking, and the development of confidence in expressing opinions, even in imperfect English. The course aims to create an active and supportive learning environment, emphasizing not only the improvement of English skills but also the use of those skills in real-world situations.							
授業の到達目標							
To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics 多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる							
To be able to comprehend and use new vocabulary 新しい語彙を理解して使用することができる							
To be able to speak in front of others more effectively 他の人の前でより効果的に話すことができる							
To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English 完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる							
以下の3点を満たすことが、この授業の到達目標を概ね達成したレベル(70点以上)の必要条件として要求される。							
1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。							
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。							
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	9/16	13:30-14:15	遠隔授業 (同期型)	Class 1	Intro to ConversationⅠ	REED JESSE RYAN	Active Learning, Seminar, Zoom
2-3	9/30	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 2, Class 3	Discussion/Presentation Practice	REED JESSE RYAN	Active Learning, Seminar, Zoom
4-5	10/7	13:30-15:10	遠隔授業	Class 4, Class 5	Discussion/Presentation Practice	REED JESSE	Active Learning,

時間割番号	022440						
科目名	英語Ⅱ: ConversationⅡ(前期)			科目ID			
担当教員	REED JESSE RYAN[REED JESSE RYAN]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	2～4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
・曜日・時間:水曜 3 講 ・対象:全学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3ー4) 別表4ー5)							
授業の目的、概要等							
EnglishⅡ“ConversationⅡ”(Improving Conversational Proficiency) is an advanced course designed for students aiming to refine their spoken English skills. Students will actively engage in extensive discussions, interviews, and group discussion tasks, fostering a higher level of language proficiency, cultural adaptability, and effective communication. The course places a strong emphasis on vocabulary expansion, advanced public speaking techniques, and the continued cultivation of confidence in expressing opinions, even within the complexities of the English language. Evaluation methods include individual interviews, group discussions, and reflective homework assignments. The objective is to create a stimulating and encouraging learning environment, helping students to not only excel in language proficiency but also to develop the application of advanced English skills in diverse real-world contexts.							
授業の到達目標							
To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics 多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる							
To be able to comprehend and use new vocabulary 新しい語彙を理解して使用することができる							
To be able to speak in front of others more effectively 他の人の前でより効果的に話すことができる							
To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English 完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる							
以下の3点を満たすことが、この授業の到達目標を概ね達成したレベル(70点以上)の必要条件として要求される。							
1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	6/10	13:30-14:15	遠隔授業 (同期型)	Class 1	Intro to ConversationⅡ	REED JESSE RYAN	Active Learning, Seminar, Zoom
2-3	6/17	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 2, Class 3	Discussion/Presentation Practice	REED JESSE RYAN	Active Learning, Seminar,

							Zoom
4-5	6/24	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 4, Class 5	Discussion/Presentation Practice	REED JESS E RYAN	Active Learning, Seminar, Zoom
6-7	7/1	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 6, Class 7	Discussion/Presentation Practice	REED JESS E RYAN	Active Learning, Seminar, Zoom
8-9	7/8	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 8, Class 9	Discussion/Presentation Practice	REED JESS E RYAN	Active Learning, Seminar, Zoom
10-11	7/15	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 10, Class 11	Discussion/Presentation Practice	REED JESS E RYAN	Active Learning, Seminar, Zoom
12-13	7/22	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 12, Class 13	Discussion/Presentation Practice	REED JESS E RYAN	Active Learning, Seminar, Zoom
14-15	7/29	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 14, Class 15	Discussion Test	REED JESS E RYAN	Active Learning, Seminar, Zoom

授業方法
Skills Instruction and Practice

授業内容
Class 1: Orientation
Classes 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment
Classes 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法
Conversation II 評価: Attendance & Participation: 40% Homework: 10% English Interview: 25% Discussion Test: 25%

再評価: 再評価はありません。

成績評価の基準
「東京科学大学学修規程第6条」による

準備学習等についての具体的な指示
Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格
「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45分×15コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。

履修上の注意事項
教員がとる出欠を優先します。既に履修済みの英語Ⅱ科目と同一名の科目は原則として履修できません。

オフィスアワー
猪熊 恵子・水・木曜日 12時30分～13時 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	022450					
科目名	International Course for Clinical Dentistry (ICCD) L1-L3 On-demand			科目ID		
担当教員	樺沢 勇司, JANELLE RENEE MOROSS, 關 奈央子, LIAO SHIN RU, 金森 ゆうな, 駒ヶ嶺 友梨子, 水谷 幸嗣 [KABASAWA Yuji, JANELLE RENEE MOROSS, SEKI Naoko, LIAO SHIN RU, KANAMORI Yuna, KOMAGAMINE Yuriko, MIZUTANI Koji]					
開講時期	2024 年度3年通年	対象年次	3	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目	
主な講義場所 オンデマンド教材						
授業の目的、概要等 歯学部国際歯科臨床教育コース (International Course for Clinical Dentistry, ICCD) オンデマンドは歯学分野における語彙力向上や文章理解力と臨床の専門的な知識を習得するために、学部学生の臨床的な知識を高めることを目的としています。						
授業の到達目標 学生が全てのレベル (L1-3) を修了したとき、 1. 英語の理解能力を向上 2. 歯学分野の英語の語彙力を向上 することができる。 コース修了時、 英語で臨床歯学を学修することを期待できます。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/9	08:50-09:35	オンデマンド	L1 1. オンデマンド学習 配信期間 9/9(月) (9:00)- 13(金)(23:59)	・歯科英単語学習 ・リーディング教材	樺沢 勇司, JANELLE RENEE MOROSS, 關 奈央子, 駒ヶ嶺 友梨子, 金森 ゆうな, LIAO SHIN RU
2	9/12	08:50-09:35	オンデマンド	L1 2. 学習確認テスト 配信期間 9/12(木) (9:00)-13(金)(23:59) (学修所要時間: 70 分)	・学習確認テスト	樺沢 勇司, JANELLE RENEE MOROSS, 關 奈央子, 駒ヶ嶺 友梨子, 金森 ゆうな, LIAO SHIN RU
3	9/20	08:50-09:35	オンデマンド	L1 3. 復習教材提供 配信期間 9/20(金) (9:00)- 27(金)(23:59)	・歯科英単語学習 ・リーディング教材	樺沢 勇司, JANELLE RENEE MOROSS, 關 奈央子, 駒ヶ嶺 友梨子, 金森 ゆうな, LIAO SHIN RU
4	9/26	08:50-09:35	オンデマンド	L1 4. 学習確認テスト 配信期間 9/26(木)	・学習確認テスト	樺沢 勇司, JANELLE RE

				(9:00)~27(金)(23:59) (学修所要時間:70分)		NEE MORO SS, 關 奈央 子, 駒ヶ嶺 友 梨子, 金森 ゆうな, LIAO SHIN RU
5	10/6	08:50-09:35	オンデマ ンド	L2 1. オンデマンド学習 配信期間 10/6(月) (9:00)~10(金)(23:59)	・歯科英単語学習 ・リーディ ング教材	關 奈央子, J ANELLE RE NEE MORO SS, 水谷 幸 嗣, 金森 ゆう な
6	10/9	08:50-09:35	オンデマ ンド	L2 2. 学習確認テスト 配信期間 10/9(木) (9:00)~10(金)(23:59) (学修所要時間:70分)	・学習確認テスト	關 奈央子, J ANELLE RE NEE MORO SS, 水谷 幸 嗣, 金森 ゆう な
7	10/10	08:50-09:35	オンデマ ンド	L2 3. オンデマンド学習 配信期間 10/10(金) (9:00)~17(金)(23:59)	・医療面接・インフォームドコンセ ント教材	關 奈央子, J ANELLE RE NEE MORO SS, 水谷 幸 嗣, 金森 ゆう な
8	10/16	08:50-09:35	オンデマ ンド	L2 4. 学習確認テスト 配信期間 10/16(木) (9:00)~27(金)(23:59) (学修所要時間:210分)	・学習確認テスト	關 奈央子, J ANELLE RE NEE MORO SS, 水谷 幸 嗣, 金森 ゆう な
9	11/9	08:50-09:35	オンデマ ンド	L3 1. オンデマンド学習 配信期間 11/9(月) (9:00)~13(金)(23:59)	・歯科英単語学習 ・リーディ ング教材	關 奈央子, J ANELLE RE NEE MORO SS, 金森 ゆ うな
10	11/12	08:50-09:35	オンデマ ンド	L3 2. 学習確認テスト 配信期間 11/12(木) (9:00)~13(金)(23:59) (学修所要時間:70分)	・学習確認テスト	關 奈央子, J ANELLE RE NEE MORO SS, 金森 ゆ うな
11	11/16	08:50-09:35	オンデマ ンド	L3 3. オンデマンド学習 配信期間 11/16(月) (9:00)~20(金)(23:59)	・Case study report ・英語臨床シ ミュレーション教材	關 奈央子, J ANELLE RE NEE MORO SS, 金森 ゆ うな
12	11/19	08:50-09:35	オンデマ ンド	L3 4. 学習確認ビデオ視 聴 配信期間 11/19 (木)(9:00)~20(金)(23:59) (学修所要時間:280分)	・学習確認ビデオ視聴	關 奈央子, J ANELLE RE NEE MORO SS, 金森 ゆ うな

授業方法

L1では高齢者歯科学、L2では歯周病学、L3では保存修復学と矯正歯科学に関する歯科英単語と知識について、自習や課題を行います。

成績評価の方法

オンデマンド教材履修状況により評価されます。履修期間内に全ての教材学習を行ってください。

準備学習等についての具体的な指示

課題に取り組む前に、記事／論文を読み、語彙を学んでください。

試験の受験資格

1. WebClass コースに配信される課題

WebClass の指定のコースにオンデマンドの課題が提供される。全ての当該課題を定められた期間内に履修し一定のスコアを記録すること。

履修上の注意事項

1. このコースを選択する学生は、必要な WebClass のオンデマンド課題を全て修了すること。 2. ICCD はレベル 1 から 3 で構成されており、レベル 1 への履修登録をもってレベル 2(OH/OE3)レベル 3(OH/OE4)でもコースを受講することになります。 3. ICCD は全てのレベル(レベル 1-3)を履修したのちに単位が付与されます。

参照ホームページ

参考) <https://www.tmd.ac.jp/international/events/iccd/>

オフィスアワー

樺沢 勇司:平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。

1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

關 奈央子:毎週月曜日 15:00 - 16:00 M&D タワー7階 教員室

水谷 幸嗣D 棟 11 階 総合診療歯科学分野研究室

JANELLE RENEE MOROSS:ご予約をご希望の場合は、双方の都合のよい時間をご相談するためにメールをお送りください。

時間割番号	022460				
科目名	International Course for Clinical Dentistry (ICCD) L1-L3 On-line			科目 ID	
担当教員	樺沢 勇司, JANELLE RENEE MOROSS, 關 奈央子, LIAO SHIN RU, 金森 ゆうな, 金澤 学, 駒田 亘, 駒ヶ嶺 友梨子, 水谷 幸嗣, 米満 郁男, 畑山 貴志, 保坂 啓一, Richard Foxton, 前川 祥吾, 永田 瑞, 矢野 孝星[KABASAWA Yuji, JANELLE RENEE MOROSS, SEKI Naoko, LIAO SHIN RU, KANAMORI Yuna, KANAZAWA Manabu, KOMADA Wataru, KOMAGAMINE Yuriko, MIZUTANI Koji, YONEMITSU Ikuo, HATAYAMA Takashi, HOSAKA Keiichi, Richard Foxton, MAEKAWA Shogo, NAGATA Mizuki, YANO Kosei]				
開講時期	2024 年度3年通年	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目

主な講義場所

オンラインセッション(入室のための ID とパスワードは WebClass に掲示)

授業の目的、概要等

歯学部国際歯科臨床教育コース(International Course for Clinical Dentistry, ICCD)オンラインは学部学生の臨床的な知識、文化的コンピテンシー、そしてコミュニケーションと論理的な問題解決の基本的な能力を高めることを目的としています。

ICCD は学生に国際的なネットワーキングに参加できるようにし、歯学分野における語彙と英語でのコミュニケーション能力を向上させ、さらに、歯学に関連した様々なアクティビティを通して臨床の専門的な知識を習得することを可能にします。

ディスカッションや、問題解決のためにチームで仕事をしたり、論理的な議論を作り上げたりする機会を提供し、チームビルディングや批判的吟味、批判的思考能力、そして学際的な臨床の治療計画の基本を強化します。

授業の到達目標

学生が全てのレベル(L1-3)を修了したとき、

1. 英語の理解能力を向上
2. 歯学分野の英語の語彙力を向上
3. 仲間や教員と歯学分野のトピックについてディスカッション
4. 文化的規範について学び、互いの文化について理解することができる。

コース修了時、

1. 文化的コンピテンシーの向上
2. ネットワーキング能力の向上
3. 問題解決能力の向上
4. 英語で臨床歯学を学修すること
5. コミュニケーション上の課題に対処するためのレジリエンス／柔軟性の獲得
6. 情報を批判的かつ客観的に吟味する能力の向上
7. より明確な推論能力と論理的な説明を行う能力の獲得

を期待できます。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/4	17:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	L1 1. イントロ Zoom ID は後日配布	・コースイントロダクション(日本語) ・本コースをプロデュースする臨床系教員との対談(日本語) ※前後で 9/11 プレゼンの打ち合わせがあります。	樺沢 勇司, 金澤 学, 駒田 亘 關 奈央子, 水谷 幸嗣 畑山 貴志, 米満 郁男, 駒ヶ嶺 友梨子, 保坂 啓一, 金森 ゆうな, LIAO SHIN RU
2	9/4	17:00-17:50	遠隔授業	L1 2. プレゼン準備	・プレゼンテーション準備 ※	樺沢 勇司,

			(同期型)		WebClass「IL2400215 歯学部国際 歯科臨床教育コースL1 2024」の掲 示板を適宜使用してください。	金森 ゆうな, LIAO SHIN RU
3	9/11	18:30-20:30	遠隔授業 (同期型)	L1 3. 国際交流 Zoom ID は後日配布	・自己紹介 ・プレゼンテーション (国や文化、大学の紹介) ・コミュ ニケーションアクティビティ	樺沢 勇司, J ANELLE RE NEE MORO SS, 關 奈央 子, 金森 ゆう な, LIAO SHI N RU
4-5	9/18	18:30-20:50	遠隔授業 (同期型)	L1 4. 国際交流 Zoom ID は後日配布	・講義 ・ディスカッションとプレゼ ンテーション(「高齢化に伴った 問題点と解決策」) ・フィードバッ ク(20:35-20:50)	樺沢 勇司, J ANELLE RE NEE MORO SS, 關 奈央 子, 駒ヶ嶺 友 梨子, LIAO SHIN RU
6	10/17	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期 型)	L2 1. 事前学習 各自 で実施	・LMSを参照し事前学習・準備をし て今後のオンライン授業に臨むこ と	關 奈央子, J ANELLE RE NEE MORO SS, 金森 ゆ うな
7	10/22	17:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	L2 2. ライブ講義 Zoom ID は後日配布	・インタラクティブ講義(英語で医療 面接)健康調査票等医療面接に関 する資料は開催1週間前の9:00 から配信(WebClass のユニットに アップロード)	關 奈央子, J ANELLE RE NEE MORO SS
8	10/29	18:00-18:50	遠隔授業 (同期型)	L2 3. ライブ講義 Zoom ID は後日配布	・講義「インフォームドコンセン ト」 ・ディスカッション ・プレゼ ンテーション	金森 ゆうな, Richard Fox on, 關 奈央 子, JANELLE RENEE MO ROSS
9	11/7	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期 型)	L2 4. 事前学習 各自 で実施	・LMSを参照し事前学習・準備をし て次週のオンライン授業に臨むこ と	關 奈央子, J ANELLE RE NEE MORO SS, 金森 ゆ うな
10-11	11/12	18:30-20:50	遠隔授業 (同期型)	L2 5. 国際交流セッ ション Zoom ID は後日配 布	・講義 ・ディスカッションとプレゼ ンテーション(「歯周病と全身疾 患」) ・フィードバック (20:35-20:50) ・ライティング提出	關 奈央子, J ANELLE RE NEE MORO SS, 水谷 幸 嗣, Richard F oxton
12	11/20	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期 型)	L3 1. 事前学習 各自 で実施	・LMSを参照し事前学習・準備をし て次週のオンライン授業に臨むこ と	關 奈央子, J ANELLE RE NEE MORO SS, 金森 ゆ うな

13	11/25	18:10-18:55	遠隔授業 (同期型)	L3 2. 国際交流セッション Zoom ID は後日配布 授業時間: 18:30-19:30	・ケースレポートの読み方・症例検討へのアプローチ(critical appraisal, critical thinkingを磨く) ・フィードバック	Richard Foxton, 金森 ゆうな, 保坂 啓一, 水谷 幸嗣
14	12/4	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	L3 3. 事前学習 各自で実施	・LMSを参照し事前学習・準備をして次週のオンライン授業に臨むこと	關 奈央子, JANELLE RE NEE MOROSS, 金森 ゆうな
15	12/9	18:30-20:30	遠隔授業 (同期型)	L3 4. 国際交流セッション Zoom ID は後日配布 授業時間: 18:30-20:30	・大学院(留学)生との症例検討会 聴講・参加 ・症例の復習 ・最新の歯科治療に関するライブ講義	關 奈央子, 金澤 学, 駒田 亘, 米満 郁男, 水谷 幸嗣, 駒ヶ嶺 友梨子, 保坂 啓一, 畑山 貴志, 前川 祥吾, 永田 瑞, Richard Foxton, 矢野 孝星, 金森 ゆうな

成績評価の方法

授業への参加、授業でのプレゼンテーションと論理的なスピーキングが考慮されます

準備学習等についての具体的な指示

コース開始前に WebClass にて提示する予定表により、各回で取り上げるテーマを再確認し、事前に当該テーマについて十分に予習した上で、授業に参加してください。

試験の受験資格

オンラインセッションへの出席と参加

定刻までにオンラインセッションに入室し、クラスでのディスカッションやアクティビティに参加する準備をしてくること。

各日、予定されているオンラインセッション時間の2/3以上の出席をもって出席とみなす。

履修上の注意事項

1. このコースを選択する学生は、全てのオンラインセッションに出席し、プレゼンテーションを準備し、そして授業でのディスカッションとプレゼンテーションに参加すること。 2. ICCD はレベル1から3で構成されており、レベル1への履修登録をもってレベル2(OH/OE3)レベル3(OH/OE4)でもコースを受講することになります。 3. ICCD は全てのレベル(レベル1-3)を履修したのちに単位が付与されます。 4. ICCD オンデマンドの履修も推奨される。 5. 履修においては TOEFL iBT61 (ITP500)程度の英語力が推奨される。

備考

オンライン授業においてはAL(ペア/グループディスカッション、ケース演習など)を行う。

参照ホームページ

参考) <https://www.tmd.ac.jp/international/events/iccd/>

オフィスアワー

樺沢 勇司:平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。

1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

前川 祥吾:毎週月、火、木、金曜日 PM.17:00-18:00 10 号棟 7 階第 3 研究室

永田 瑞:10 号館 7 階 歯周病学分野医局 随時

駒田 亘:随時

金澤 学:火-金, 16:00- 18:00

1号館3階 高齢者歯科学分野学分野 Lab9

關 奈央子:毎週月曜日 15:00 - 16:00 M&D タワー7階 教員室

水谷 幸嗣D棟11階 総合診療歯科学分野研究室

JANELLE RENEE MOROSS:ご予約をご希望の場合は、双方の都合のよい時間をご相談するためにメールをお送りください。

時間割番号	022470						
科目名	International Course for Clinical Dentistry (ICCD) Advanced			科目 ID			
担当教員	樺沢 勇司, 關 奈央子, 金森 ゆうな, Janelle Renee Moross[KABASAWA Yuji, SEKI Naoko, KANAMORI Yuna, Janelle Renee Moross]						
開講時期	2026 年度通年	対象年次	4	単位数	0.5		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
主な講義場所							
オンデマンド教材とオンラインセッション(入室のための ID とパスワードは LMS に掲示)							
授業の目的、概要等							
歯学部国際歯科臨床教育コース(International Course for Clinical Dentistry, ICCD)は学部学生の臨床的な知識、文化的コンピテンシー、そしてコミュニケーションと論理的な問題解決の基本的な能力を高めることを目的としています。							
ICCD L1-L3 では、学生に国際的なネットワーキングに参加できるようにし、歯学分野における語彙と英語でのコミュニケーション能力を向上させ、さらに、歯学に関連した様々なアクティビティを通して臨床の専門的な知識を習得することを可能としました。							
また、ディスカッションや、問題解決のためにチームで協働したり、論理的な議論を作り上げる機会を提供し、チームビルディングや批判的吟味、批判的思考能力、そして学際的な臨床の治療計画の基本についてもスキルの強化をはかりました。							
ICCD Advanced では、ICCD L1-L3 を履修した学生の希望者を対象とし、さらなる歯学分野における英語によるコミュニケーション能力や、批判的吟味、批判的思考能力、問題解決能力等の様々なソフトスキルの向上を目指します。							
授業の到達目標							
全てのレベル(L1-3 及び Advanced)を受講後、							
1. 英語の理解能力を向上							
2. 歯学分野の英語の語彙力を向上							
3. 仲間や教員と歯学分野のトピックについてディスカッション							
4. 文化的規範について学び、互いの文化について理解							
することができる。							
コース修了時、							
1. 問題解決能力の向上							
2. 英語で臨床歯学を学修すること							
3. コミュニケーション上の課題に対処するためのレジリエンス／柔軟性の獲得							
4. 情報を批判的かつ客観的に吟味する能力の向上							
5. より明確な推論能力と論理的な説明を行う能力の獲得							
を期待できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	1/6	16:20-18:00	遠隔授業 (同期型)	1. オンラインセッション	英語による医療面接	關 奈央子, J ANELLE RE NEE MORO SS, 金森 ゆ うな	Zoom 情報については LMS を参照
3-4	1/13	16:20-18:00	オンデマ ンド	2. オンデマンド学習	LMS の教材の実施: 歯科英単語 学習、リーディング教材、リスニン グ教材	關 奈央子, J ANELLE RE NEE MORO SS, 金森 ゆ	LMS 参照

						うな	
5-6	1/20	16:20-18:00	遠隔授業 (同期型)	3. オンラインセッション	英語による治療計画の説明、イン フォームドコンセント	關 奈央子, J ANELLE RE NEE MORO SS, 金森 ゆ うな	Zoom 情報につい ては LMS を参照
7-8	1/27	16:20-18:00	オンデマ ンド	4. オンデマンド学習	LMS の教材の実施: 学習確認テ スト	關 奈央子, J ANELLE RE NEE MORO SS, 金森 ゆ うな	LMS 参照
9-10	2/3	16:20-18:00	遠隔授業 (同期型)	5. オンラインセッション	英語による診療	關 奈央子, J ANELLE RE NEE MORO SS, 金森 ゆ うな	Zoom 情報につい ては LMS を参照

授業方法

歯科英単語と知識、英語による医療面接、治療計画の説明、インフォームドコンセント、等について学習と課題を行う。

成績評価の方法

授業への参加、授業でのプレゼンテーションと論理的なスピーキング、LMS の課題修了をもって評価する。

準備学習等についての具体的な指示

コース開始前に LMS にて提示する予定表により、各回で取り上げるテーマを再確認し、事前に当該テーマについて十分に予習した上で、授業に参加すること。

試験の受験資格

1. オンラインセッションへの出席と参加

定刻までにオンラインセッションに入室し、クラスでのディスカッションやアクティビティに参加する準備をしてくること。

各日、予定されているオンラインセッション時間の 2/3 以上の出席をもって出席とみなす。

2. LMS コースに配信される課題

LMS の指定のコースにオンデマンドの課題が提供される。当該課題を定められた期間内に履修すること。

参考書

:クインテッセンス出版

履修上の注意事項

1. このコースを選択する学生は、全てのオンラインセッションに出席し、必要な LMS のオンデマンド課題を全て修了し、授業でのディスカッションやアクティビティに参加すること。 2. ICCD L1-L3 On-demand・On-line を修了した学生が希望する場合に、本コースへの履修登録が可能である。 3. 履修においては TOEFL iBT61 (ITP500) (スピーキングは 18 以上)相当程度の英語力が必要。

備考

オンライン授業においては AL (ペア/グループディスカッション、ケース演習など)を行う。

樺沢勇司 kabasawa.y.16e8(@)misct.ac.jp

※E-mail は上記アドレス(@)の部分を@に変えてください。

關奈央子 seki.n.03df(@)misct.ac.jp

※E-mail は上記アドレス(@)の部分を@に変えてください。

※オフィスアワー: 月曜日 15~16 時

MOROSS Janelle

moross.j.1ee3(@)misct.ac.jp

※E-mail は上記アドレス(@)の部分を@に変えてください。

※オフィスアワー:ご予約をご希望の場合は、双方の都合のよい時間をご相談するためにメールをお送りください。

参照ホームページ

参考) <https://www.tmd.ac.jp/international/events/iccd/>

オフィスアワー

樺沢 勇司:平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。

1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

關 奈央子:毎週月曜日 15:00 - 16:00 M&D タワー7階 教員室

時間割番号	022305						
科目名	臨床口腔保健応用学			科目ID	DH456600L		
担当教員	樺沢 勇司, 黒嶋 雄志, 西山 暁, 樺沢 勇司, 豊福 明, 山口 朱見, 中久木 康一, 川越 正平, 石山 裕之, 秀島 雅之, 飯田 香緒里, 川越 正平[KABASAWA Yuji, KUROSHIMA Takeshi, NISHIYAMA Akira, KABASAWA Yuji, TOYOFUKU Akira, Akemi Yamaguchi, NAKAKUKI Koichi, KAWAGOE Shohei, ISHIYAMA Hiroyuki, HIDEISHIMA Masayuki, IIDA Kaori, Shohei Kawagoe]						
開講時期	2026 年度前期	対象年次	4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
科目名:臨床口腔保健応用学 ユニット名:臨床口腔保健応用学 時間数:15 時間(1 単位) 講義形式:遠隔講義 (Zoom による同期型遠隔授業と非同期型遠隔講義)							
主な講義場所 在宅学習							
授業の目的、概要等 多様な患者に対して、その医療・歯科医療内容を理解し、歯科衛生過程に基づいて、歯科衛生活動を展開できる知識と応用力を修得する。							
授業の到達目標 SBOs 1. 口腔がん患者の口腔健康評価を行い、その概要を説明できる。 2. 顎関節症患者の口腔健康評価を行い、その概要を説明できる。 3. 地域医療における多職種連携を理解し、その概要を説明できる。 4. 地域医療(訪問診療)において患者の口腔健康評価を行い、その概要を説明できる。 5. 睡眠時無呼吸症候群患者の口腔健康評価を行い、その概要を説明できる。 6. 臨床医学における研究倫理について理解し、その概要を説明できる。 7. 歯科心身症患者の口腔健康評価を行い、その概要を説明できる。 8. 災害時における歯科の役割、特に歯科衛生士の役割について、その概要を説明できる							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/7	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	口腔がん患者への対応	口腔がん患者への対応	樺沢 勇司, 黒嶋 雄志	到達目標:1、2 講義後に演習、課題解答を行う
3-4	5/26	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	歯科心身症患者への対応	歯科心身症患者への対応	樺沢 勇司, 豊福 明	到達目標:3、4 講義中に演習・討論を行う
5	6/2	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	睡眠時無呼吸症候群患者への対応	睡眠時無呼吸症患者への対応	石山 裕之 樺沢 勇司	到達目標:5 講義中に演習・討論を行う
6	6/3	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期型)	歯科衛生士と漢方	歯科における漢方の基本知識について1	樺沢 勇司	到達目標:6 講義中に演習・討論を行う
7-8	6/9	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	地域医療において必要なこと	地域医療において必要なこと	樺沢 勇司, 川越 正平	到達目標:3、4 講義中に演習・討論を行う

9-10	6/16	13:30-15:10	口腔保健 学科第3 講義室	顎関節症患者への対応	顎関節症患者への対応	樺沢 勇司, 西山 暁	到達目標:2 講 義中に演習・討論 を行う
11	6/30	13:30-14:15	遠隔授業 (非同期 型)	歯科衛生士と漢方	歯科における漢方の基本知識に ついて2	樺沢 勇司	到達目標:6 講 義中に演習・討論 を行う
12-14	7/8	13:30-16:10	遠隔授業 (同期型)	災害時の歯科対応	災害時の歯科衛生士の役割とは	樺沢 勇司, 中久木 康一	到達目標:8 講 義中に演習・討論 を行う
15	7/27	09:45-10:30	遠隔授業 (同期型)	地域医療における歯科 衛生士の役割	地域医療における歯科衛生士の 役割	樺沢 勇司, 山口 朱見	到達目標:3、4 講義中に演習・討 論を行う

授業方法

遠隔授業 (Zoom による同期型遠隔講義と LMS による非同期型遠隔講義) を原則とする。講義前に配布資料を LMS 上に用意するので、講義の際に用意しておくこと。

講義中は毎回、演習あるいは講師との討論の時間を設ける。

講義中の質問は原則として、講義時間内に担当教員に対して行う事。

講義後の課題は原則 LMS 上で提出を行う。

講義の動画は原則として公開しないが、課題提出等のため必要な場合には、講義についての質問も含めて担当教員 (樺沢) までメールにて連絡すること。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

・授業内での演習、リアクションペーパー、レポートなどで総合的に評価する。

・授業内容について十分に理解できていること、授業内容と口腔健康管理を実施する上で臨牀的に問題とされている事柄に関連付けて考えられているものをより評価する。

成績評価の基準

「到達目標」に明示している事項について、講義内容より概ね達成できている場合は B、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等について具体的に論述できる場合は B より上とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に対応する講義内容の教科書等にて事前学習を行なって参加すること。

事前に指示した教材、アップロードされた資料に目を通して講義に臨むこと。

講義に関する質問については、科目責任者 (樺沢) までメールにて適時行うこと。

試験の受験資格

本科目では学期末に筆記試験を実施しない。成績評価のためには全授業の 2/3 以上の出席を原則とする。遠隔講義のため、接続に関して問題が生じた場合には、科目責任者 (樺沢) までメールで必ず連絡をすること。

教科書

講義中に参考図書を指示する。

参考書

有病者歯科学：歯科衛生士必須／日本有病者歯科医療学会、今井 裕、日本有病者歯科医療学会 編、今井裕 監修：永末書店、2020.2

歯科衛生士のための口腔内科：全身と口腔をつなぐオーラルメディスン／山根 源之、1946-、酒巻 裕之、里村 一人、山根源之、酒巻裕之、里村一人、野村武史 編著：医歯薬出版、2019.10

歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第 2 版／一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会、一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会 監修

講義中に参考図書を指示する。

履修上の注意事項

事前に指示した教材、アップロードされた資料に目を通して講義に臨むこと。 講義に関する質問については、科目責任者 (樺沢) までメールにて適時行うこと。

備考

科目責任者

樺沢勇司 kabsawa.ocsh@tmd.ac.jp

メールでの相談は随時受け付ける

時間割番号	022620A						
科目名	歯科衛生学演習 I (ユニット)			科目 ID			
担当教員	樺沢 勇司, 駒津 匡二, 内田 佳代, 池川 麻衣, 伊藤 奏, LIAO SHIN RU, 三上 理沙子, 竹内 康雄, 吉田 直美[KABASAWA Yuji, KOMATSU Keiji, UCHIDA Kayo, IKEGAWA Mai, ITO Kanade, LIAO SHIN RU, MIKAMI Risako, TAKEUCHI Yasuo, YOSHIDA Naomi]						
開講時期	2026 年度通年	対象年次	4				
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	対面		
必要自習時間:1 コマにつき 1~3 時間 授業形態:演習 30 時間							
授業の目的、概要等							
心身の状態が口腔機能の低下や口腔衛生状態の不良へ及ぼす影響の実際を知り、歯科医療従事者としてそれらを改善するための知識・態度を理解する。 歯科臨床における歯科衛生士の役割を考え、応用に必要な知識と技術および態度を習得する。							
授業の到達目標							
1.対象の口腔衛生・口腔機能の状態を説明する。 2.口腔健康管理の方法を概説する。 3.多職種連携における歯科衛生士の役割を説明する。 4.チーム医療に必要な技能を応用する方法を説明する。 5.口腔機能が低下する要因について概説する。 6.口腔機能評価法を説明する。 7.口腔機能に応じた食形態や障害に応じた食具を説明する。 8.疾病や障害に応じた食事摂取法を説明する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/15	16:20-17:05	歯学部演習室	D6-OH4 合同授業	AL OH4-D6 合同クリニカルケース検討授業	樺沢 勇司, 内田 佳代, 駒津 匡二	16:30-17:30 目標 1~8
2	5/22	16:20-17:05	歯学部演習室	D6-OH4 合同授業	AL OH4-D6 合同クリニカルケース検討授業	樺沢 勇司, 内田 佳代, 駒津 匡二	16:30-17:30 目標 1~8
3	5/29	16:20-17:05	歯学部演習室	D6-OH4 合同授業	AL OH4-D6 合同クリニカルケース検討授業	樺沢 勇司, 内田 佳代, 駒津 匡二	16:30-17:30 目標 1~8
4	6/5	16:20-17:05	歯学部演習室	D6-OH4 合同授業	AL OH4-D6 合同クリニカルケース検討授業	駒津 匡二, 樺沢 勇司, 池川 麻衣	16:30-17:30 目標 1~8
5-6	6/9	09:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	D6-OH4 合同授業	D6-OH4 合同授業の準備学習	樺沢 勇司, 駒津 匡二, 池川 麻衣	目標 1~8
7	6/12	16:20-17:05	歯学部演習室	D6-OH4 合同授業	AL OH4-D6 合同クリニカルケース検討授業	駒津 匡二, 樺沢 勇司, 池川 麻衣	16:30-17:30 目標 1~8
8-11	6/16	08:50-12:25	遠隔授業 (非同期型)	OH4-NS4 合同実習	D6-OH4 合同授業の準備学習	樺沢 勇司, 伊藤 奏, LIAO SHIN RU	目標 1~8
12-14	6/17	08:50-11:30	遠隔授業	OH4-NS4 合同実習	D6-OH4 合同授業の準備学習	樺沢 勇司,	目標 1~8

			(非同期型)			伊藤 奏, LIA O SHIN RU	
15	6/19	16:20-17:05	歯学部演習室	D6-OH4 合同授業	AL OH4-D6 合同クリニカルケース検討授業	樺沢 勇司, 内田 佳代, 駒津 匡二	16:30-17:30 目標 1~8
16-18	6/30	09:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	OH4-NS4 合同実習	D6-OH4 合同授業の準備学習	樺沢 勇司, 伊藤 奏, LIA O SHIN RU	目標 1~8
19-20	7/1	13:30-15:10	口腔保健 学科第3 講義室	OH4-NS4 合同実習	OH4-NS4 合同実習の準備	樺沢 勇司, 伊藤 奏, LIA O SHIN RU	目標 1~8
21-23	7/8	09:45-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	OH4-NS4 合同実習	OH4-NS4 合同実習の準備	樺沢 勇司, LIA O SHIN RU, 伊藤 奏	目標 1~8
24-31	7/15	08:50-17:05	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	OH4-NS4 合同実習	OH4-NS4 合同実習を行う	樺沢 勇司, 伊藤 奏, LIA O SHIN RU	目標 1~8

成績評価の方法

- ・課題レポート 100%で総括的評価を行う。
- ・課題締め切りは、授業ごとに異なるため注意する。何らかの理由で提出できない場合は、締切日時より前にメールで連絡すること。連絡なしで未提出の場合は、評価できないので注意すること。
- ・受講態度、出席状況等を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

事前配布資料や e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

D6-H4 合同症例検討授業およびチーム医療入門看護学科との合同授業はそれぞれにおいて全履修時間の4分3以上出席する。

備考

- ・演習、グループワーク
- ・前年度履修学生の科目評価の一緒に学べる職種が増えるなどよいなどの指摘をもとに、これまでおこなわれていなかった看護学生4年生 OH4 年との合同演習を導入し改善する予定。

オフィスアワー

樺沢 勇司:平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。

1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022620B						
科目名	歯科衛生学演習Ⅱ(ユニット)			科目ID			
担当教員	樺沢 勇司, 三上 理沙子, 駒津 匡二, 竹内 康雄, 吉田 直美[KABASAWA Yuji, MIKAMI Risako, KOMATSU Keiji, TAKEUCHI Yasuo, YOSHIDA Naomi]						
開講時期	2026 年度通年	対象年次	4				
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
必要自習時間:1 コマにつき 1〜3 時間 授業形態:演習 30 時間							
授業の目的、概要等							
患者・家族の視点を起点に、医療・歯科医療・保健・福祉の多職種が協働して課題を捉え、よりよい支援へつなげる力を養うことを目的とする。臨床現場を舞台に、専門職それぞれの強みと限界を理解しながら、対話を通じて情報を共有し、患者中心の目標をチームで考える。実習では、カンファレンスや現場での観察・参加、振り返りを通して、チーム医療に必要なコミュニケーション、合意形成、役割調整、プロフェッショナルリズムを実践的に学ぶ。多様な価値観が交わる現場で、学生自身が「自分はチームに何を持ち寄れるか」を考え、将来の専門職としての協働のあり方を描けるようになることを目指す。							
授業の到達目標							
1. 自らの知識や価値観を、他学科の学生に共有することができる。 2. 他学科学生の役割や意見を尊重した説明や返答、問いかけができる。 3. 他学科学生との演習活動の中で、円滑な協働を進めるために、自らの役割を果たすことができる。 4. 自らの価値観や言動について、他学科の学生との関係性の中で、相対化できる。 5. 自分の職種の役割を他職種及び他の医療系学部の学生に説明できる。 6. 病院・診療所・施設等の職場環境やチームや部門等の所属に応じた他職種の役割を理解している。 7. 患者・家族・地域の課題について、他学科学生とともに検討を行い、課題解決に必要な取り組みを提案することができる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	6/2	09:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	多職種連携Ⅲ(チーム医療入門)	事前課題実施	樺沢 勇司	目標 1〜8
3-6	6/23	08:50-12:25	遠隔授業 (同期型)	多職種連携Ⅲ(チーム医療入門)	AL 演習、グループワーク	樺沢 勇司	目標 1〜8
7-9	6/23	13:30-16:10	遠隔授業 (同期型)	多職種連携Ⅲ(チーム医療入門)	AL 演習、グループワーク	樺沢 勇司, 三上 理沙子, 駒津 匡二, 竹内 康雄	目標 1〜8
10-13	6/24	08:50-12:25	遠隔授業 (同期型)	多職種連携Ⅲ(チーム医療入門)	AL 演習、グループワーク	樺沢 勇司	目標 1〜8
14-15	6/24	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	多職種連携Ⅲ(チーム医療入門)	AL 演習、グループワーク	樺沢 勇司, 三上 理沙子, 駒津 匡二	目標 1〜8
授業方法							
演習、講義(同期・非同期) 事前に e-learning(LMS)に提示された資料を学習し、準備しておくこと。 医学部・歯学部の全学科・全専攻(医・歯:6 年、看護・検査・口衛・口工:4 年)に加え、他大学の薬学系・社会福祉系学生も参加する。 合同授業として、グループに分かれて討論を行う。 課題の提出を e-learning(LMS)にて行うこと(実習後課題の提出期限は 1 週間後)。							

成績評価の方法

試験は実施しない

- ・出席を基本とし、演習に参加する。
- ・演習発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。
- ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

成績はグループワークへの参加態度(50%)、レポート等の提出物(50%)により評価する。

出席状況、授業態度を総合評価に加味する。

成績評価の基準

- ・合計点数が60%以上のものを合格とする。
 - ・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。
- 参加態度は、司会や書記を務め、積極的に発言しただけではなく、グループメンバーの話しやすい雰囲気を作るなど、聞く姿勢も評価の対象となる。
- ・期日までに提出された課題を採点対象とし、講演で聞いた内容やグループワークで話し合った内容が含まれているか、自分自身の考えが描かれているかについて授業の到達目標の達成度に応じて採点する。

準備学習等についての具体的な指示

事前配布資料や e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

D6-H4 合同症例検討授業および多職種連携Ⅲ、看護学科との合同授業はそれぞれにおいて全履修時間の4分3以上出席する。特にⅡにおいては、多職種連携Ⅲを中心とした評価となる。

参考書

患者中心の医療の方法／Stewart, Moira, Brown, Judith Belle, Weston, W. Wayne, McWhinney, Ian R., -2012, McWilliam, Carol L, Freeman, Thomas, 1948-, 葛西 龍樹, 1957-, Moira Stewart, Judith Belle Brown, W Wayne Weston, Ian R McWhinney, Carol L McWilliam, Thomas R Freeman 著, 葛西龍樹 監訳, 若手医:羊土社, 2021.4

備考

事前学習と2日間の取り組みを含めた1単位の科目である。

昨年の学生アンケートの結果を受けて、下記とする。

- ・提出課題、発表形式を見直した。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

樺沢勇司 随時 メールで連絡 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

樺沢 勇司:平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。

1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022281						
科目名	歯科衛生臨床実習Ⅱ			科目ID	DH474402E		
担当教員	竹内 康雄, 樺沢 勇司, 池川 麻衣, 駒津 匡二, LIAO SHIN RU, 安達 奈穂子, 鈴木 瞳, 吉田 直美, 佐々木 好幸, 伊藤 奏, 日高 玲奈, 内田 佳代[TAKEUCHI Yasuo, KABASAWA Yuji, IKEGAWA Mai, KOMATSU Keiji, LIAO SHIN RU, ADACHI Naoko, SUZUKI Hitomi, YOSHIDA Naomi, SASAKI Yoshiyuki, ITO Kanade, HIDAKA Rena, UCHIDA Kayo]						
開講時期	2026 年度通年	対象年次	4				
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	対面		
科目名: 歯科衛生臨床実習 ユニット名: 歯科衛生臨床実習Ⅱ 必要時間数: 45 時間×3 単位 135 時間 必要自習時間: 各実習 1 時間程度 授業形態: 実習							
主な講義場所 大学病院							
授業の目的、概要等 ・歯科診療施設において、チーム医療の一員として、対象者本位の歯科予防処置・歯科保健指導・歯科診療の補助を実践するために必要な態度・知識・技術を習得する。							
授業の到達目標 ・対象者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出・整理する。 ・対象者の不安・不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。 ・歯科ユニット各部の名称と機能を説明できる。 ・診療に必要な器材を説明する。 ・診療室への患者の誘導を適切にできる。 ・対象者に挨拶して自己紹介できる。 ・対象者との信頼関係を築くことができる。 ・個人的、社会的背景等が異なる対象者に、わけへだてなく対応できる。 ・対象者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 ・必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。 ・説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。 ・対象者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。 ・医療事故や潜在的医療事故(ニアミス)に関する情報を共有し、再発防止に役立てることができる。 ・インフォームドコンセントを行うことができる。 ・対象者に応じた歯科予防処置を実施する。 ・対象者に応じた歯科保健指導を実施する。 ・対象者に応じた歯科診療補助を実施する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	4/3	13:30-16:10	口腔保健 学科第3 講義室	【4年生】臨床実習ガイ ダンス	【4年生】臨床実習ガイダンス	駒津 匡二, 池川 麻衣, 竹内 康雄	
4	4/3	16:20-17:05	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	【4年生】臨床実習ガイ ダンスⅡ (D6OH4 連携実 習について)	4 年生前期 臨床実習ガイダンス (D6OH4 連携実習について)	樺沢 勇司, 駒津 匡二, 池川 麻衣	15:30-16:30 の 予定 対面で実施 予定

5-8	4/8	08:50-12:25	口腔保健 学科第3 講義室	【4年生】試験ケース発表 会1	【4年生】試験ケース発表会1	竹内 康雄 池川 麻衣 U AO SHIN R U	
授業内容 ・4年生前期臨床実習ガイダンス ・第1 総合診療室2期 ・歯周病科2期 ・試験ケース発表会							
成績評価の方法 ・出席状況、提出レポート・課題、取得ケース数を総合的に判断する。 実技試験を実施する場合もある。 ・プロフェッショナリズムとして、実習態度、学内規則に則る体調報告の有無を総括的評価に加味する。							
準備学習等についての具体的な指示 実習の詳細は「臨床実習の手引き」に示す。 実習前の目標の設定、予習、実施後の報告書作成、復習を行うこと。							
試験の受験資格 各科実習時間における 3/4 以上の出席							
履修上の注意事項 各科実習時間における 3/4 以上の出席が必要 必要ケース数に達していない場合には補講を実施する場合がある。 服装、態度等に留意すること。不適切な場合、指示に従わない場合は実習停止とする場合がある。							
備考 実習							
オフィスアワー 竹内 康雄PM.5:00-PM.6:30 1号館8階 812B							

時間割番号	022282						
科目名	歯科衛生臨床実習Ⅲ			科目ID	DH474403E		
担当教員	竹内 康雄, 樺沢 勇司, 駒津 匡二, 池川 麻衣, 安達 奈穂子, 鈴木 瞳, 吉田 直美, 内田 佳代[TAKEUCHI Yasuo, KABASAWA Yuji, KOMATSU Keiji, IKEGAWA Mai, ADACHI Naoko, SUZUKI Hitomi, YOSHIDA Naomi, UCHIDA Kayo]						
開講時期	2026 年度通年	対象年次	4				
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	対面		
科目名: 歯科衛生臨床実習 ユニット名: 歯科衛生臨床実習Ⅲ 時間数: 45 時間×3 単位 必要自習時間: 各講義 1 時間程度 授業形態: 実習							
授業の目的、概要等							
・歯科診療施設において、チーム医療の一員として、対象者本位の歯科予防処置・歯科保健指導・歯科診療の補助を実践するために必要な態度・知識・技術を習得する。							
授業の到達目標							
・対象者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出・整理する。 ・対象者の不安・不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。 ・歯科ユニット各部の名称と機能を説明できる。 ・診療に必要な器材を説明する。 ・診療室への患者の誘導を適切にできる。 ・対象者に挨拶して自己紹介できる。 ・対象者との信頼関係を築くことができる。 ・個人的、社会的背景等が異なる対象者に、わけへだてなく対応できる。 ・対象者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 ・必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。 ・説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。 ・対象者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。 ・医療事故や潜在的医療事故(ニアミス)に関する情報を共有し、再発防止に役立てることができる。 ・インフォームドコンセントを行うことができる。 ・対象者に応じた歯科予防処置を実施する。 ・対象者に応じた歯科保健指導を実施する。 ・対象者に応じた歯科診療補助を実施する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-4	10/2	08:50-12:25	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	【4年生】臨床実習ガイ ダンスⅢ	4 年生後期 臨床実習ガイダンス	池川 麻衣 竹内 康雄 駒津 匡二	
5-10	10/6	08:50-15:10	口腔保健 学科第3 講義室	試験ケースリコール発 表会	試験ケースリコール発表会	駒津 匡二, 池川 麻衣, 樺沢 勇司, 竹内 康雄	相互評価を実施 する 詳細は別 途連絡します
授業内容							
●4 年生							
・臨床実習ガイダンス							

・臨床実習(本実習) 矯正歯科実習 顎顔面補綴外来実習 高齢者歯科外来実習 障害者歯科外来実習 病棟実習 OHC 歯科アレルギー外来実習 歯科心身医療外来実習 顎関節治療外来実習 スポーツ歯科外来実習 息さわやか外来実習 摂食嚥下リハビリテーション科
成績評価の方法 ・実習記録・実習報告書、出席状況、臨床実習指導者評価等により総括的評価を行う。 ・実習態度・取組み、提出物の提出状況を総括的評価に加味する。 ・提出レポート、課題発表等で総括的評価を行う。
準備学習等についての具体的な指示 実習の詳細は「臨床実習の手引き」に示す。 実習前の目標の設定、予習、実施後の報告書提出、復習を行うこと。
試験の受験資格 各科実習時間の 3/4 以上の出席
履修上の注意事項 各科実習時間における 3/4 以上の出席が必要 必要ケース数に達していない場合には補講を実施する場合がある。 服装、態度等に留意すること。不適切な場合は実習停止とする場合がある。
備考 実習
オフィスアワー 駒津 匡二:月曜日 PM.5:00-PM.6:30 1号館8階 814A 竹内 康雄:PM.5:00-PM.6:30 1号館8階 812B

時間割番号	022307				
科目名	歯科衛生臨床実習			科目 ID	DH476700E
担当教員	樺沢 勇司, 伊藤 奏, 日高 玲奈, LIAO SHIN RU[KABASAWA Yuji, ITO Kanade, HIDAKA Rena, LIAO SHIN RU]				
開講時期	2026 年度通年	対象年次	4	単位数	6
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	対面
授業の目的、概要等					
授業目的:患者の口腔内状況、生活背景、基礎疾患等および地域の状況を把握し、口腔保健に関する問題・課題を発見する。また、それらを解決するための臨床口腔保健活動および地域口腔保健活動を効果的に展開するために必要な知識・技術・実践能力・評価方法等を、実習を通して習得する。					
概要:					
1)病院の患者について歯科衛生診断・計画を立案し、口腔疾患予防や保健指導などの実践を行う。					
2)基礎疾患を有する患者や地域住民の生活上の特徴をふまえ、口腔保健に関する問題・課題およびニーズを解決するため効果的な活動方法を、実践する。					
3)口腔保健事業の具体的な展開方法と口腔保健サービスの実践力と方法論および施策化の方法を習得するために、行政機関での実習を行う。					
4)地域口腔保健活動に関連する業種との連携を推進し、地域住民との協働活動、他職種連携、活動の施策化、地域住民活動の基盤づくりの方法を検討し、発表する。					
5)その他					
授業の到達目標					
東京科学大学病院(歯系診療部門、医系診療部門)における臨床実習および地域における臨床実習を行い、口腔保健に関する問題・課題を発見し、それらを解決するための臨床口腔保健活動および地域口腔保健活動を効果的に展開するために必要な知識・技術・実践能力・評価方法等を、実習を通して習得する。					
授業方法					
臨床実習:東京科学大学病院(医系診療部門)における口腔ケア等、学外の保健センター、学校、地域の施設等において見学実習等を行う。					
授業内容					
具体的な日程、診療科、施設名は、実習前までに決定し、連絡する。					
成績評価の基準					
成績評価は、提出レポート内容(50 点)と参加状況(50 点)を総合して評価する。					
準備学習等についての具体的な指示					
各施設ごとに異なるため、事前に説明を行う。					
参考書					
担当教員が指示する。					
他科目との関連					
4 年次までに学習した講義や実習での知識・技術を全て総合的に使用する。また 3 年次に実施した臨床実習の事前講義の内容も復習しておくこと。					
履修上の注意事項					
Webclass 上に各施設での実習上の注意事項を随時更新するため、必ずこまめに確認すること					
備考					
遅刻および休み場合は、実習指導教員および科目責任者に連絡する(メールまたは電話)。					
事前に実習内容を担当教員に確認し、予習しておくこと。					
オフィスアワー					
樺沢 勇司:平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。					
1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室					

伊藤 奏随時(メールにて事前にアポイントメントをとること)

1 号館 8 階 817B

時間割番号	022285Z						
科目名	卒業研究			科目ID			
担当教員	樺沢 勇司[KABASAWA Yûji]						
開講時期	2023 年度4年通年	対象年次	1～4	単位数	4		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
第4 学年において卒業研究の発表および卒業論文を提出すること							
主な講義場所 非同期型遠隔講義が中心であり、自宅学習							
授業の目的、概要等 各学生の知的興味、将来の方向性に沿ってテーマを選択し、計画・立案に基づいて研究を実施する。さらに結果を論文にまとめて十分考察することにより、研究への理解と意欲を培う。							
授業の到達目標 ・自分の知的興味、将来の方向性に沿って研究テーマが設定できる。 ・研究テーマに対応した論文の検索と科学的吟味を行い、これまでの知見が整理できる。 ・EBM・EBHC の概念を説明できる。 ・知見や問題点に基づいた研究の計画・立案ができる。 ・実験・調査などの研究を実施できる。 ・実験・調査などの結果を分析整理し、統計学的な解析ができる。 ・結果に基づき、新たな問題点と課題を抽出、提起できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	11/13	13:20-15:00	遠隔授業 (非同期型)	はじめに	卒業研究概論	樺沢 勇司	
3-4	12/4	09:45-11:25	遠隔授業 (非同期型)	これまでの卒業研究について	卒業研究指導例の紹介	樺沢 勇司	
5-6	12/11	09:45-11:25	遠隔授業 (非同期型)	これまでの卒業研究について	卒業研究指導例の紹介	樺沢 勇司	
7-8	12/12	14:15-15:55	遠隔授業 (非同期型)	これまでの卒業研究について	卒業研究指導例の紹介	樺沢 勇司	
9-10	12/18	09:45-11:25	遠隔授業 (非同期型)	これまでの卒業研究について	卒業研究指導例の紹介	樺沢 勇司	
11-12	12/19	10:40-12:20	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究の立案に向けて	文献検索の方法	樺沢 勇司	
13-14	1/9	10:40-12:20	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究の立案に向けて	文献の読み方	樺沢 勇司	
15-16	1/12	09:45-11:25	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究の結果解析について	卒業研究の結果解析について	樺沢 勇司	

17-18	1/15	09:45-11:25	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究の立案に向けて	文献の読み方	樺沢 勇司	
19-20	1/19	09:45-11:25	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究の結果解析について	卒業研究の結果解析について	樺沢 勇司	
21-22	1/22	09:45-11:25	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究の結果解析について	卒業研究の結果解析について	樺沢 勇司	
23-24	1/26	09:45-11:25	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究の立案について	卒業研究の立案について	樺沢 勇司	
25-26	1/29	09:45-11:25	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究の立案について	卒業研究の立案について	樺沢 勇司	
27-28	2/2	09:45-11:25	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究の立案について	卒業研究の立案について	樺沢 勇司	
29-30	2/5	09:45-11:25	遠隔授業 (同期型)	卒業研究の立案に向けての相談	卒業研究の立案に向けての相談	樺沢 勇司	ミーティング ID: 920 2718 4626 パスコード: 112969
31	6/9	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究の立案について	卒業研究の立案について	樺沢 勇司	
32	6/11	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究のテーマ調査1	卒業研究のテーマ調査1	樺沢 勇司	
33	6/18	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究のテーマ調査2	卒業研究のテーマ調査2	樺沢 勇司	
34	6/24	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究のテーマ調査3	卒業研究のテーマ調査3	樺沢 勇司	
35-38	6/30	13:30-17:05	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究のテーマ調査4	卒業研究のテーマ調査4	樺沢 勇司	
39	7/1	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究のテーマ決め、研究目的の立案1	卒業研究のテーマ決め、研究目的の立案1	樺沢 勇司	
40-41	7/4	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	先行論文の検索について	先行論文の検索について	樺沢 勇司	
42	7/8	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期型)	研究倫理審査についての確認	研究倫理審査についての確認	樺沢 勇司	
43-46	7/14	08:50-12:25	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究テーマの提出	卒業研究テーマの提出	樺沢 勇司	

47-51	8/4	13:30-18:00	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究テーマ決定	面談を含めて卒業研究のテーマ を相談します。	樺沢 勇司	18 時までではかか らない予定です
52-61	12/8	08:50-18:55	特別講堂 (D 棟 4 階)	卒業研究発表会	卒業研究発表会に参加して、質疑 応答に加わる	樺沢 勇司	詳細は別途連絡 します。
62-64	2/9	13:30-16:10	遠隔授業 (非同期 型)	卒業研究	卒業研究の所属分野の教員と各 自相談して進める	樺沢 勇司	
65-66	2/10	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期 型)	卒業研究	卒業研究の所属分野の教員と各 自相談して進める	樺沢 勇司	
67-71	2/10	13:30-18:00	遠隔授業 (非同期 型)	卒業研究	卒業研究の所属分野の教員と各 自相談して進める	樺沢 勇司	
72-75	3/3	08:50-12:25	遠隔授業 (非同期 型)	卒業研究	卒業研究の所属分野の教員と各 自相談して進める	樺沢 勇司	
76-79	4/10	08:50-12:25	遠隔授業 (非同期 型)	卒業研究	卒業研究の所属分野の教員と各 自相談して進める	樺沢 勇司	
80-83	4/15	08:50-12:25	遠隔授業 (非同期 型)	卒業研究	卒業研究の所属分野の教員と各 自相談して進める	樺沢 勇司	
84	6/30	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期 型)	卒業研究	卒業研究の所属分野の教員と各 自相談して進める	樺沢 勇司	
85-87	6/30	16:20-18:55	遠隔授業 (非同期 型)	卒業研究	卒業研究の所属分野の教員と各 自相談して進める	樺沢 勇司	
88-91	7/7	08:50-12:25	遠隔授業 (非同期 型)	卒業研究	卒業研究の所属分野の教員と各 自相談して進める	樺沢 勇司	
92-94	7/8	16:20-18:55	遠隔授業 (非同期 型)	卒業研究	卒業研究の所属分野の教員と各 自相談して進める	樺沢 勇司	
95-97	7/21	16:20-18:55	遠隔授業 (非同期 型)	卒業研究	卒業研究の所属分野の教員と各 自相談して進める	樺沢 勇司	
98-10 5	7/28	16:20-18:55	遠隔授業 (非同期 型)	卒業研究中間発表	卒業研究の中間発表を行う	樺沢 勇司	詳細は後日連絡 します。
106-1 09	10/13	08:50-12:25	遠隔授業 (非同期 型)	卒業研究	卒業研究の所属分野の教員と各 自相談して進める	樺沢 勇司	
110-1 13	10/20	08:50-12:25	遠隔授業 (非同期 型)	卒業研究	卒業研究の所属分野の教員と各 自相談して進める	樺沢 勇司	
114-1	10/21	13:30-17:05	遠隔授業	卒業研究	卒業研究の所属分野の教員と各	樺沢 勇司	

17			(非同期型)		自相談して進める		
118-1 25	11/4	13:30-17:05	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究	卒業研究の所属分野の教員と各自相談して進める	樺沢 勇司	
126-1 29	11/10	08:50-12:25	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究	卒業研究の所属分野の教員と各自相談して進める	樺沢 勇司	
130-1 33	11/11	08:50-12:25	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究	卒業研究の所属分野の教員と各自相談して進める	樺沢 勇司	
134-1 38	11/11	13:30-18:00	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究	卒業研究の所属分野の教員と各自相談して進める	樺沢 勇司	
139-1 46	11/17	08:50-17:05	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究	卒業研究の所属分野の教員と各自相談して進める	樺沢 勇司	
147-1 50	11/24	13:30-17:05	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究	卒業研究の所属分野の教員と各自相談して進める	樺沢 勇司	
151-1 60	12/2	08:50-18:55	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究	卒業研究の所属分野の教員と各自相談して進める	樺沢 勇司	
161-1 70	12/8	08:50-18:55	特別講堂 (D 棟 4 階)	卒業研究発表会	卒業研究発表会	樺沢 勇司	詳細は別途連絡します。
171-1 74	12/9	08:50-12:25	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究	卒業研究論文作成を所属分野の教員と各自相談して進める	樺沢 勇司	
175-1 76	12/15	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究	卒業研究論文作成を所属分野の教員と各自相談して進める	樺沢 勇司	
177-1 81	12/15	13:30-18:00	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究	卒業研究論文作成を所属分野の教員と各自相談して進める	樺沢 勇司	
182-1 85	12/16	08:50-12:25	遠隔授業 (非同期型)	卒業研究	卒業研究論文作成を所属分野の教員と各自相談して進める	樺沢 勇司	
186-1 95	1/15	08:50-18:55	特別講堂 (D 棟 4 階)	工学専攻卒業発表会	工学専攻卒業研究発表会に参加して、質疑応答に加わる	樺沢 勇司	詳細は別途連絡します。

授業方法

授業方法は非同期型遠隔講義を中心とする。具体的な講義内容は科目責任者から通知する場合があるため連絡に留意すること。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

- ・単位認定(4 単位)は 4 学年終了時に行う。
- ・単位認定は、3 年次から各課題(論文抄録、研究計画書、中間発表会プレゼンテーションファイル、成果報告会プレゼンテーションファイル)

ル、卒業研究論文ファイル)の期限内提出、研究計画書・中間発表会プレゼンテーション・成果報告会プレゼンテーション・論文についての総括的評価により行う。
準備学習等についての具体的な指示 研究テーマを考え、それに関する文献を検索し、文献を読んでおくこと。
試験の受験資格 講義は遠隔講義が中心となるため自宅学習が中心となるが、研究発表会や研究指導においては、原則、対面で行う。適時、科目責任者や研究指導担当教員からの指示に従う事。
教科書 歯科衛生研究の進め方論文の書き方／石井拓男〔ほか〕編、石井、拓男、鳥山、佳則、武井、典子、吉田、直美、日本歯科衛生学会：医歯薬出版、2021 ：医歯薬出版
参考書 卒業研究 Hand book／真木吉信監著；薄井由枝〔ほか〕著、真木、吉信、薄井、由枝、品田、佳世子、白鳥、たかみ、杉原、直樹、田村、清美、松田、裕子：クインテッセンス出版、2011 SPSS で学ぶ医療系多変量データ解析／対馬栄輝著、対馬、栄輝：東京図書、2008 SPSS による医学・歯学・薬学のための統計解析／石村貞夫、謝承泰、久保田基夫著、石村、貞夫、謝、承泰、久保田、基夫：東京図書、2011 歯科衛生研究の進め方論文の書き方／武井典子〔ほか〕編、武井、典子、金澤、紀子(歯科衛生士)、合場、千佳子、石井、拓男、岩久、正明、日本歯科衛生学会：医歯薬出版、2015
履修上の注意事項 ・常に指導教員、副指導教員と密接な連絡をとり、助言を得ながら研究を進めること。
オフィスアワー 平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。 1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022700					
科目名	地域口腔保健論			科目ID		
担当教員	木野 志保 松尾 浩一郎[KINO Shiho, MATSUO Koichiro]					
開講時期	2026 年度通年	対象年次	4	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目	
科目名:地域口腔保健論 時間数:15 時間 1 単位 授業形態:講義、課題発表、演習(AL)含む						
主な講義場所 遠隔授業:非同期授業、同期授業						
授業の目的、概要等 公表されている地域の口腔保健の実態を調べ、口腔保健推進に関して計画や施策を考える力を培う。						
授業の到達目標 1)世界の口腔保健の実態を知る。 2)日本の口腔保健の実態を知る。 3)東京都の口腔保健の実態を知る。 4)都市部の口腔保健の実態を知る。 5)口腔保健を推進するための計画・施策を考える。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	4/22	09:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	世界の口腔保健の実態	世界の口腔保健の実態	木野 志保
4-6	5/19	13:30-16:10	遠隔授業 (非同期型)	日本の口腔保健の実態	日本の口腔保健の実態	木野 志保
7-8	5/26	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	東京都の口腔保健の実態	東京都の口腔保健の実態	木野 志保
9-10	5/26	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期型)	都市部の口腔保健の実態	都市部の口腔保健の実態	木野 志保
11-13	6/9	15:25-18:00	その他	自分で国、都道府県または市区町村を決め、口腔保健について調べる(自己学習)	自分で国、都道府県または市区町村を決め、口腔保健について調べる(自己学習)	木野 志保
14-15	6/16	15:25-17:05	遠隔授業 (同期型)	自分で調べた地域の歯科保健を発表	自分で調べた地域の歯科保健を発表	木野 志保
授業方法 非同期授業および課題発表やディスカッションを適宜行う(AL)。						
授業内容 資料について説明し、課題を出すので、課題発表・質疑応答を行う。演習をとおして、基礎知識を応用する力を養う。						
成績評価の方法 授業の参加状況および課題により、総括的評価を行う。						
成績評価の基準 授業の参加状況および課題により、授業に関する知識が習得されていることを判断し、全体で60点以上を合格とする。						

準備学習等についての具体的な指示

全国の都道府県、市区町村の保健に関するホームページの中に、口腔保健に関してどのような情報が公表されているのか調べておく。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席を必要とする。

他科目との関連

1 年生の公衆衛生学、2 年生の口腔疾患予防学基礎 I、3 年生の社会調査の基礎との関連

備考

責任者:木野志保 連絡先 shiho.kino.ohp@tmd.ac.jp

オフィスアワー

木野 志保毎週火曜日 10:00～17:00 1 号館西 8 階 口腔疾患予防学分野・教授室

時間割番号	022710					
科目名	先端歯科医療学			科目ID		
担当教員	竹内 康雄, 駒津 匡二, 青木 章, 松浦 孝典, 渡辺 数基, 芝 多佳彦[TAKEUCHI Yasuo, KOMATSU Keiji, AOKI Akira, TAKANORI MATSUURA, WATANABE , SHIBA Takahiko]					
開講時期	2026 年度通年	対象年次	4	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目	
科目名:先端歯科医療学 必要自習時間:1 講義あたり 0.5 時間 授業形態:講義(討論含む)15 コマ						
主な講義場所 遠隔非同期(Webclass) シラバスにおいて日程を確認すること						
授業の目的、概要等 ・主に歯周病の予防および治療に関連した最新のトピックに関する知識を得るとともに、口腔の健康維持を通じて生活の質(QOL)の向上や健康寿命の延伸に寄与する歯科医療のあり方について考える。 ・口腔疾患の予防や治療に関わるだけでなく、口腔の健康を通じたヘルスプロモーションの推進に寄与する歯科衛生士として、今後のあるべき姿や考え方などについて学ぶ。						
授業の到達目標 ・歯周病と全身の健康との関連について説明する。 ・歯周治療における最新の治療法および予防管理法について説明する。 ・最新の口腔疾患のマネジメント方法を実践する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/12	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期型)	最新の歯周病学・歯周治療学のトピックス	近年の歯周病学・歯周治療学の進展・トピックスについて紹介する	竹内 康雄
2-3	5/12	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	インプラント表面科学の基礎と応用	歯科用インプラントの改良・進展において、特に生体組織と接する表面性状の役割・影響について述べる。	竹内 康雄 駒津 匡二
4-5	5/19	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	歯周治療におけるレーザーの応用	歯周治療においてレーザーを中心とする光が応用されている。光を用いた治療の基本原理、種類、特徴を活かした臨床応用など、最新の知見を紹介する	竹内 康雄 青木 章
6-7	5/19	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	運動が口腔と全身に与える影響	運動や食事など生活習慣が口腔や全身の健康に与える影響について紹介する。	竹内 康雄
8-9	5/26	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	歯周組織再生治療	細胞をソースとする歯周組織の再生について最新の知見を紹介する	竹内 康雄 松浦 孝典
10-11	7/7	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	歯周病と全身疾患との関係	歯周病と糖尿病などの様々な全身疾患と関係について、最新の知見を紹介する	竹内 康雄 渡辺 数基
12-13	7/7	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期型)	歯周病による認知機能障害	加齢による認知機能の低下と歯周病との関連について、最新の知見を紹介する。	竹内 康雄 渡辺 数基

14-15	7/14	14:25-16:10	遠隔授業 (非同期 型)	包括的な歯周治療とインプラント治療の実践	主に重度歯周炎患者に対し行われている歯周治療を中心とした包括的歯科治療、また先端的な治療の取り組みについて症例を交えて歯周病専門医が概説する。	竹内 康雄 芝 多佳彦
授業方法 遠隔非同期(Webclass)						
授業内容 講義日程表を参照。						
成績評価の方法 ・講義の出席状況、講義課題の提出状況で総括的評価を行う。 ・講義課題に対する内容が不十分な場合には別に試験もしくはレポートを課す。						
成績評価の基準 講義の出席状況(20%)、講義課題の提出状況、期限内の提出および内容(80%)						
準備学習等についての具体的な指示 ・歯周病の病因や歯周治療の基本的流れについて確認しておくこと。 ・今後の社会において歯科衛生士が求められる役割、および自身が歯科衛生士として成長するために必要な事柄について考えおくこと。						
試験の受験資格 ・講義の2/3以上出席すること(出席は視聴記録と課題の提出がともにされたことを要件とする) ・特別に勘案すべき事情がある場合には、その事情とともに科目責任者にメール等の日時の記録が残る形で連絡すること。						
備考 ・質問がある場合、科目責任者にメールで質問すること。科目責任者または授業担当者よりメール等で回答します。 ・歯科衛生士が口腔を通じたヘルスプロモーターとして、近年、研究の進んでいる口腔の健康と全身の健康との関係について講義の時間を増やした。また前年度の学生からの意見として歯周病患者におけるインプラント治療についての講義希望があったため、これを追加した。						
オフィスアワー 竹内 康雄PM.5:00-PM.6:30 1号館8階812B						

時間割番号	022720						
科目名	在宅訪問・災害口腔保健医療			科目ID			
担当教員	日高 玲奈, 山田 美代子, 松尾 浩一郎[HIDAKA Rena, YAMADA Miyoko, MATSUO Koichiro]						
開講時期	2026 年度通年	対象年次	4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目		
時間数:15 時間 1 単位 授業形態:講義(課題発表、グループワーク含む) 担当教員:松尾浩一郎、日高玲奈 地域に出るため、履修の際には事前に担当教員に相談のこと							
主な講義場所 口腔保健学科 第2 講義室							
授業の目的、概要等 ・超高齢社会で活躍する歯科衛生士に必要となる、訪問歯科診療の実際について理解する。特に、病院、在宅、施設への訪問診療による、療養中の高齢者・要介護高齢者の口腔衛生管理や、口腔機能管理、摂食嚥下リハビリテーション、食支援の実際について理解する。また、一部、災害時の訪問歯科診療についても触れる。							
授業の到達目標 ・歯科訪問診療と往診の違いを説明できる ・病院への訪問歯科診療を説明できる ・居宅(自宅、施設)への訪問歯科診療を説明できる ・在宅、チーム医療における摂食嚥下リハビリテーション、口腔機能管理、口腔ケアの実際を理解できる。 ・誤嚥性肺炎予防、食支援、QOL の向上を目的とした訪問歯科診療の実際を理解できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-8	4/28	08:50-17:05	遠隔授業 (同期型)	訪問歯科診療の在り方	医療介護連携、地域連携、多職種連携	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs2, 3, 4, 5
9-12	7/1	08:50-12:25	遠隔授業 (同期型)	訪問歯科診療とは	訪問歯科診療と往診の違い、訪問歯科診療の概要	日高 玲奈	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs4, 5
13-15	7/21	09:45-12:25	遠隔授業 (同期型)	災害と訪問歯科診療	災害時の訪問歯科診療	日高 玲奈 山田 美代子	グループ討論、グループおよび個人課題の提出 SBOs1
授業方法 各講義内で課題についてディスカッションを実施し、講義終了後に振り返りシートを作成し提出してもらう。 また、地域でのフィールドワークも実施する。							
授業内容 授業スケジュールに各回の授業内容は示してある。							
成績評価の方法 ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時的小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。							
成績評価の基準							

1)出欠状況を基準点とする(例:100%の出席率で 100 点、80%の出席率で 80 点満点) 2)各回授業終了後の振り返りシートや授業態度等 40 点 3)レポート課題 60 点 振り返りシートや最終レポート課題の中で、課題やテーマに対して複数の意見や独自の考察がなされている場合などに加点対象とする。
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席
教科書 高齢者歯科／植田耕一郎 ほか 著、:医歯薬出版, 2015
参考書 歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション／金子芳洋 編,日本歯科衛生士会 監修,:医歯薬出版, 2011
履修上の注意事項 地域の現場に出るため、履修の際には事前に担当教員に相談のこと
備考 授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。
オフィスアワー 松尾 浩一郎 毎週月曜日 16:00-18:00 1 号館 8 階 818B 室 * 要事前連絡

時間割番号	022309						
科目名	歯科衛生臨床・臨床応用論				科目ID	DH496900Z	
担当教員	木野 志保 吉田 直美 池川 麻衣[KINO Shiho, YOSHIDA Naomi, IKEGAWA Mai]						
開講時期	2026 年度通年	対象年次	4		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する				授業形態	メディア利用科目	
科目名: 歯科衛生臨床・臨床応用論 講義・演習 15 時間 1 単位							
授業の目的、概要等 既習の臨床実習および臨床実習で関心を抱いた場での実習、ボランティア活動、また学会等への参加を通して、その領域に関する知識を深め、技能を高める。							
授業の到達目標 1) 歯科衛生士の臨床の実際についてより深く理解する。 2) 歯科衛生士の専門性をより深く理解する。 3) 歯科衛生関連の学会会議や講演会でより深く歯科衛生学を理解する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/14	10:45-12:25	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生関連の臨床、 研究等のテーマを決める 情報提供	歯科衛生関連の臨床、研究等のテーマを決める情報提供	木野 志保	到達目標: 1)、 2)、3) 学習方法: テーマを決め、自分で計画を立てる
3-5	5/27	09:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	歯科衛生関連の臨床、 研究等のテーマを決める 情報提供とアドバイス	歯科衛生関連の臨床、研究等のテーマを決める情報提供とアドバイス	木野 志保	到達目標: 1)、 2)、3) 学習方法: 計画について 教員のアドバイス等を受け実践する。
6-8	6/3	8:50-11:30	遠隔授業 (非同期型)	歯科衛生関連の臨床、 研究等の実践報告書について	歯科衛生関連の臨床、研究等の実践報告書について	木野 志保	到達目標: 1)、 2)、3) 学習方法: 実践報告書作成(自学)
9-11	6/10	09:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	活動報告会での発表について	活動報告会での発表について	木野 志保	到達目標: 1)、 2)、3) 学習方法: 活動報告会での発表資料作成(自学)
12-13	7/1	15:25-17:05	遠隔授業 (同期型)	実践報告書に関するコメント	実践報告書に関するコメント	木野 志保	到達目標: 1)、 2)、3) 学習方法: 実践報告書に関するコメント
14-15	7/14	9:45-11:30	遠隔授業 (同期型)	活動報告会	活動報告会	木野 志保	到達目標: 1)、 2)、3) 学習方法: 活動報告会

						の発表
授業内容 ボランティア活動:高齢者施設、地域のイベント参加 学会:歯科衛生分野の学会、関連学会参加 歯科関連セミナー:産業保健研究会、大学院講義、その他への参加						
成績評価の方法 活動報告書の提出および活動報告会での発表、質疑応答を行う。 授業の参加状況および課題により総括的評価を行う。						
成績評価の基準 授業の参加状況および課題により、授業に関する知識が習得されていることを判断し、全体で60点以上を合格とする。						
準備学習等についての具体的な指示 歯科衛生関連の学会および地域のボランティア募集について調べておくこと。						
試験の受験資格 3分の2以上の出席を必要とする。						
他科目との関連 歯科衛生関連科目と関連						
備考 責任者:木野志保 連絡先 shiho.kino.ohp@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 木野 志保毎週火曜日 10:00～17:00 1号館西8階 口腔疾患予防学分野・教授室						

時間割番号	022289				
科目名	口腔保健衛生エクスターンシップ			科目 ID	DH495000Z
担当教員	樺沢 勇司[KABASAWA Yūji]				
開講時期	2025 年度 1.5 通年 (秋)	対象年次	3～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	対面
主な講義場所 未定					
授業の目的、概要等 本科目のための講義は特に行われない。 学生海外研修報告会については、開催日、開催方法ともに、現在のところ未定である。 報告会に該当する研修が行われた場合に適時連絡する。					
授業の到達目標 学生海外研修を奨励し、国際的な視野を持った歯科衛生士の育成を目指す。					
授業方法 本科目のための講義は特に行われない。 学生海外研修報告会については、開催日、開催方法ともに、現在のところ未定である。 報告会に該当する研修が行われた場合に適時連絡する。					
授業内容 本科目のための講義は特に行われない。 学生海外研修報告会については、開催日、開催方法ともに、現在のところ未定である。 報告会に該当する研修が行われた場合に適時連絡する。					
成績評価の方法 それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して合否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。					
成績評価の基準 それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して合否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。 評価としては、発展的に学習して自ら教員の課題の解決策等について具体的に論述できる場合は 80 点より上とする。					
準備学習等についての具体的な指示 外国での生活に支障をきたさないように語学の事前準備を行うこと。 別に記載している、履修上の注意事項に従うこと。					
試験の受験資格 ○単位認定条件 1)海外研修奨励賞による研修プログラムへの参加 (1) 語学能力(英語) 選考時面接にて英語能力を評価。Common European Framework of Reference for Languages (CEFR) B2 以上を積極的に評価する。(2) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修 (3) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (4) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。(5) 本学または海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上) 2)その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) (1) 語学能力(英語) 選考時面接にて英語能力を評価。Common European Framework of Reference for Languages (CEFR) B2 以上を積極的に評価する。もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。(2) 研修特別コースの履修 研修内容によって、特別に提供されるコースの履修(詳細は別に定める) (3) 海外における生活上の注意、危機管理に関する研修(講義)の履修 (4) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (5) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。(6) 本学または海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上) (*)なお、COVID-19 等の特殊な事情により、実際の海外派遣プログラムが実施できない場合に限り、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加をもって、単位申請することができる。					

・国際活動ポイント Point System for International Exchange (P-Sie) の総計が 15 以上あること。
(各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。)
・大学が開催する P-Sie 対象のオンラインまたは対面のプログラムの単位認定条件は2) (2)以外のすべての条件を満たすこと。

履修上の注意事項

1. 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。 2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラムにおける単位認定条件は別に定める。 1) 大学海外研修奨励賞による研修プログラム(事前研修を含む) 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) 3. 所定のプログラムを終了した学生に対し、口腔保健学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は1単位を上限とする。また、「その他の海外研修プログラム」に該当するプログラムで認定できる単位は、プログラムの内容・年次・年度・回数に限らず、在学期間を通じて1単位とする。 (*)なお、COVID-19 等の特殊な事情により、実際の海外派遣プログラムが実施できない場合に限り、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加をもって、単位申請することができる。 ・国際活動ポイント Point System for International Exchange (P-Sie) の総計が 15 以上あること。 (各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。) ・大学が開催する P-Sie 対象のオンラインまたは対面のプログラムの単位認定条件は2) (2)以外のすべての条件を満たすこと。 履修についての質問は、科目責任者(樺沢)までメールで随時行うこと。

備考

担当教員の Office hour

樺沢勇司 健康支援口腔保健衛生学分野 随時 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

平日 PM5 時以降 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。

1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022310																																														
科目名	口腔保健マネジメント論			科目 ID	DH497000L																																										
担当教員	木野 志保 吉田 直美 池川 麻衣[KINO Shiho, YOSHIDA Naomi, IKEGAWA Mai]																																														
開講時期	2026 年度通年	対象年次	4	単位数	1																																										
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目																																										
科目名:口腔保健マネジメント論 時間数:15 時間 1 単位 授業形態:講義、演習(AL)含む																																															
主な講義場所 遠隔授業:非同期授業、同期授業																																															
授業の目的、概要等 口腔保健におけるマネジメントを考え、その方法を理解する。																																															
授業の到達目標 ・ライフステージにおけるマネジメントを考える。 ・対象によるマネジメントを考える。 ・地域や環境によるマネジメントを考える。																																															
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td><td>10/7</td><td>8:50-11:30</td><td>遠隔授業 (非同期型)</td><td>マネージメントとは</td><td>授業の進め方 課題の提示</td><td>木野 志保</td></tr> <tr> <td>4-7</td><td>10/21</td><td>08:50-12:25</td><td>遠隔授業 (非同期型)</td><td>ライフステージとマネージメント</td><td>演習</td><td>木野 志保</td></tr> <tr> <td>8-11</td><td>10/27</td><td>08:50-12:25</td><td>遠隔授業 (非同期型)</td><td>対象によるマネージメント</td><td>演習</td><td>木野 志保</td></tr> <tr> <td>12-15</td><td>11/18</td><td>8:50-12:25</td><td>遠隔授業 (非同期型)</td><td>地域・環境によるマネージメント</td><td>演習</td><td>木野 志保</td></tr> <tr> <td>16</td><td>11/24</td><td>10:45-11:30</td><td>口腔保健 学科第4 講義室</td><td>試験</td><td>試験</td><td>木野 志保</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-3	10/7	8:50-11:30	遠隔授業 (非同期型)	マネージメントとは	授業の進め方 課題の提示	木野 志保	4-7	10/21	08:50-12:25	遠隔授業 (非同期型)	ライフステージとマネージメント	演習	木野 志保	8-11	10/27	08:50-12:25	遠隔授業 (非同期型)	対象によるマネージメント	演習	木野 志保	12-15	11/18	8:50-12:25	遠隔授業 (非同期型)	地域・環境によるマネージメント	演習	木野 志保	16	11/24	10:45-11:30	口腔保健 学科第4 講義室	試験	試験	木野 志保
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																									
1-3	10/7	8:50-11:30	遠隔授業 (非同期型)	マネージメントとは	授業の進め方 課題の提示	木野 志保																																									
4-7	10/21	08:50-12:25	遠隔授業 (非同期型)	ライフステージとマネージメント	演習	木野 志保																																									
8-11	10/27	08:50-12:25	遠隔授業 (非同期型)	対象によるマネージメント	演習	木野 志保																																									
12-15	11/18	8:50-12:25	遠隔授業 (非同期型)	地域・環境によるマネージメント	演習	木野 志保																																									
16	11/24	10:45-11:30	口腔保健 学科第4 講義室	試験	試験	木野 志保																																									
授業内容 授業の参加状況および試験により、総括的評価を行う。																																															
成績評価の方法 授業の参加状況および試験により、授業に関する知識が習得されていることを判断し、全体で60点以上を合格とする。																																															
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配布等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。																																															
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席を必要とする。																																															
オフィスアワー 木野 志保:毎週火曜日 10:00～17:00 1 号館西 8 階 口腔疾患予防学分野・教授室																																															

時間割番号	022311																																																				
科目名	保健行動科学			科目ID	DH497100L																																																
担当教員	木野 志保, 吉田 直美, 池川 麻衣, 高橋 礼奈[KINO Shiho, YOSHIDA Naomi, IKEGAWA Mai, TAKAHASHI Rena]																																																				
開講時期	2026 年度通年	対象年次	4	単位数	1																																																
実務経験のある教員による授業	該当する			授業形態	メディア利用科目																																																
科目名:保健行動科学 時間数:45 分×15 コマ 1 単位 授業形態:講義(対面・非同期型)																																																					
主な講義場所 対面および遠隔授業(非同期型・同期型)																																																					
授業の目的、概要等 保健医療福祉分野における行動変容を支援するするために必要な知識・技術・態度を理解する。																																																					
授業の到達目標 1)保健行動の維持・行動変容に関する理論を学ぶ。 2)保健行動の意思決定と感情について学ぶ。 3)社会規範とナッジ理論について学ぶ。																																																					
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>到達目標・学習方法・その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>4/7</td> <td>13:30-16:10</td> <td>科目責任者へ要確認</td> <td>オリエンテーション</td> <td>オリエンテーション</td> <td>木野 志保</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>5/12</td> <td>13:30-16:10</td> <td>遠隔授業(非同期型)</td> <td>保健行動の維持・行動変容</td> <td>保健行動の維持・行動変容</td> <td>木野 志保</td> <td>1)保健行動の維持・行動変容に関する理論を学ぶ。</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>5/20</td> <td>09:45-12:25</td> <td>遠隔授業(非同期型)</td> <td>保健健康の意思決定と感情</td> <td>保健健康の意思決定と感情</td> <td>木野 志保</td> <td>2)保健行動の意思決定と感情について学ぶ。</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>10/2</td> <td>13:30-16:10</td> <td>遠隔授業(非同期型)</td> <td>社会規範・ナッジ理論</td> <td>社会規範・ナッジ理論</td> <td>木野 志保</td> <td>3)社会規範とナッジ理論について学ぶ。</td> </tr> <tr> <td>13-15</td> <td>10/13</td> <td>13:30-16:10</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> <td>課題発表会</td> <td>課題発表会</td> <td>木野 志保</td> <td>1-3)のまとめ</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他	1-3	4/7	13:30-16:10	科目責任者へ要確認	オリエンテーション	オリエンテーション	木野 志保		4-6	5/12	13:30-16:10	遠隔授業(非同期型)	保健行動の維持・行動変容	保健行動の維持・行動変容	木野 志保	1)保健行動の維持・行動変容に関する理論を学ぶ。	7-9	5/20	09:45-12:25	遠隔授業(非同期型)	保健健康の意思決定と感情	保健健康の意思決定と感情	木野 志保	2)保健行動の意思決定と感情について学ぶ。	10-12	10/2	13:30-16:10	遠隔授業(非同期型)	社会規範・ナッジ理論	社会規範・ナッジ理論	木野 志保	3)社会規範とナッジ理論について学ぶ。	13-15	10/13	13:30-16:10	遠隔授業(同期型)	課題発表会	課題発表会	木野 志保	1-3)のまとめ
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他																																														
1-3	4/7	13:30-16:10	科目責任者へ要確認	オリエンテーション	オリエンテーション	木野 志保																																															
4-6	5/12	13:30-16:10	遠隔授業(非同期型)	保健行動の維持・行動変容	保健行動の維持・行動変容	木野 志保	1)保健行動の維持・行動変容に関する理論を学ぶ。																																														
7-9	5/20	09:45-12:25	遠隔授業(非同期型)	保健健康の意思決定と感情	保健健康の意思決定と感情	木野 志保	2)保健行動の意思決定と感情について学ぶ。																																														
10-12	10/2	13:30-16:10	遠隔授業(非同期型)	社会規範・ナッジ理論	社会規範・ナッジ理論	木野 志保	3)社会規範とナッジ理論について学ぶ。																																														
13-15	10/13	13:30-16:10	遠隔授業(同期型)	課題発表会	課題発表会	木野 志保	1-3)のまとめ																																														
授業方法 講義および課題発表																																																					
授業内容 授業明細の通り。																																																					
成績評価の方法 授業の参加状況および課題により、総括的評価を行う。																																																					
成績評価の基準 授業の参加状況および課題により、授業に関する知識が習得されていることを判断し、全体で60点以上を合格とする。																																																					
準備学習等についての具体的な指示																																																					
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席を必要とする。																																																					

非同期型授業の場合は、授業動画の視聴記録を以て、授業参加とみなす。

備考

本授業の選択をしたものは、実施日時や実施場所の調整を行うために授業担当者に講義開始数週間前までに連絡をとること。

オフィスアワー

木野 志保 毎週火曜日 10:00～17:00 1号館西8階 口腔疾患予防学分野・教授室